

茅ヶ崎市

第7期茅ヶ崎市高齢者福祉計画・ 介護保険事業計画に関する調査 報告書

平成29年3月

茅ヶ崎市

はじめに

本市の高齢者人口は6万人を超え、高齢化率は平成29年3月1日現在の住民基本台帳によると、25.5%に達しており、人口推計では、平成37年には26.2%に、平成42年には28.3%に上昇するものと見込んでおります。

長い間日本の経済をけん引されてきた団塊の世代の方々が全て65歳以上の高齢者となっており、高齢者を取り巻く状況の変化に対して、適切な対応が求められております。

今回の調査は、高齢者等の方々の健康や生活の状況、介護保険サービスの利用意向や要望などについての的確に把握し、平成30年度に策定する第7期高齢者福祉計画・介護保険事業計画の基礎資料とするために実施いたしました。本調査の結果を活かして、団塊の世代がすべて75歳以上の後期高齢者となる平成37年を念頭においた計画を策定してまいります。

最後になりましたが、本調査を実施するにあたり、ご協力をいただきました8,000人の市民の皆様及び275の事業者の皆様、調査票案の作成等についてご審議いただきました、茅ヶ崎市高齢者福祉計画・介護保険事業計画推進委員会の委員の皆様及び関係各位に厚く御礼申し上げます。

平成29年3月

茅ヶ崎市長 服部 信明

〔 目 次 〕

第1章 調査実施の概要	3
1 調査の目的	3
2 調査実施方法及び回収状況	3
（1）一般高齢者個別調査	3
（2）要支援・要介護認定者個別調査（在宅）	3
（3）要支援・要介護認定者個別調査（施設）	4
（4）介護サービス事業者調査	4
3 報告書の見方	4
第2章 一般高齢者個別調査	9
1 記入者等について	9
（1）要支援・要介護認定の有無	9
（2）調査回答者	9
（2-1）本人に代わって記入した理由	9
2 回答者（調査対象者）について	10
（1）性別	10
（2）年齢	10
（3）家族構成	11
（3-1）30分以内に駆けつけられる子どもや親族の有無	11
（4）居住地区	12
3 健康状態について	13
（1）健康状態	13
（2）健康状態を保つために実践していること	13
（3）健康診断の受診の有無	14
（3-1）健康診断を受けていない理由	14
（4）歯の健康診断の受診の有無	15
（5）認知機能の状況	15
4 運動について	16
（1）運動の習慣	16
（1-1）運動の頻度	16
（1-2）運動の継続期間	17
（1-3）運動の種類	17
5 食生活や口腔について	18
（1）食事で気をつけていること	18
（2）食事を抜く頻度	18
（3）口腔機能や食事について	19
6 介護予防事業について	20
（1）参加している介護予防事業	20
（2）今後、参加したい（参加し続けたい）介護予防事業	21

(2-1) 参加したい事業はない理由	23
(3) ちがさき体操の認知度	24
(3-1) ちがさき体操の実施状況	24
7 日常生活について	25
(1) 日常生活動作	25
(2) 外出頻度	26
(2-1) あまり外出しない理由	26
(2-2) 外出しない日に過ごすことが多い人	27
(3) 現在のくらしで不安に思っていること	27
(4) 安全で安心なまちづくりで必要だと思うこと	28
(5) 悩みや心配ごとを相談できる人や場所の有無	29
(5-1) 悩みや心配ごとの相談先	29
8 日常生活について	30
(1) 振り込め詐欺に対する考え	30
(2) 振り込め詐欺等の電話を受けた経験	30
(3) 振り込め詐欺の対策で留守番電話が有効であることへの認識	30
(4) 公的機関が還付金について電話で知らせることがあると思うかについて	31
(5) 防災行政用無線による振り込め詐欺の注意喚起の役立ち度	31
(6) 自分らしい最期を迎えるための準備	32
(6-1) 自分らしい最期を迎えるために必要だと思う準備	32
(7) 自分らしい最期を迎えることを具体的に考える機会への参加意向	33
(8) かかりつけの医療機関の有無	34
9 社会参加について	35
(1) 社会参加の状況	35
(2) 社会参加の今後の意向	36
(3-1) 社会参加の活動をしやすい（続けやすい）なる条件	38
(3-2) 活動したいとは思わない（できない）理由	39
(3-3) 就労するうえで重視すること	40
(3-4) 就労（したい）日数	42
(4) 興味を持っていること	43
10 今後の「支え合い」のあり方について	44
(1) 地域のボランティア活動への参加意向	44
(1-1) ボランティア等で支える側として参加したい（している）活動	44
(2) ボランティア等へ支えられる側としてお願いしたい内容	46
(3) 成年後見制度の認知度	46
(4) 成年後見制度の利用・相談窓口の認知度	47
(4-1) 知っている相談窓口	47
(5) 防災無線による行方不明の高齢者等の市民への呼びかけについての考え	48
11 住まいについて	49
(1) 住まいの種類	49
(1-1) 今後10年の間の住宅の利用予定	49
(2) 現在の住まいで困っていること	50

(2-1) 住まいで困っていることを解消するための対策	50
12 防災について	51
(1) 大きな災害に備えた対策	51
(2) 災害時や緊急時に身近で手助けしてくれる人の有無	51
(2-1) 災害時や緊急時に身近で手助けしてくれる人	52
(2-2) 災害時要援護者支援制度の認知度	52
13 介護保険について	53
(1) 介護保険の所得段階区分	53
(2) 介護保険料の支払い額について	53
(3) 地域を担当している地域包括支援センターの認知度	54
(3-1) 地域包括支援センターの利用状況	54
(4) 身近な公的機関等に相談したいこと	55
(5) 生活の情報源	56
(6) 市からの介護保険や高齢者福祉に関する情報源	57
(7) 家族介護の状況	58
(8) 介護が必要となったときの介護予定者の有無	58
(8-1) 主な介護予定者	58
(8-2) 主な介護予定者の年齢	59
(8-3) 主な介護予定者の同居の有無	59
(9) 介護が必要となったときに希望する介護	60
(9-1) 自宅等の介護対応度	60
14 自由回答	61
(1) 高齢者福祉サービスや介護保険サービスについての市への要望や意見	61
第3章 要支援・要介護認定者個別調査（在宅）	65
1 記入者等について	65
(1) 資格喪失や施設入所の有無	65
(2) 調査回答者	65
(2-1) 本人に代わって記入した理由	65
2 回答者（調査対象者）について	66
(1) 性別	66
(2) 年齢	66
(3) 家族構成	67
(3-1) 30分以内に駆けつけられる子どもや親族の有無	67
(4) 居住地区	68
3 日常生活について	69
(1) 外出頻度	69
(1-1) 外出しない日に過ごすことが多い人	69
(2) 日常生活の中で不自由を感じる事	70
(3) かかりつけの医療機関の有無	71
(4) 在宅医療サービスの利用状況	72
(5) 悩みや心配ごとを相談できる人の有無	72

(5-1) 悩みや心配ごとの相談先	73
(6) 民間事業者によるサービスの利用状況	74
(6-1) 利用している民間事業者によるサービス	74
(7) 振り込め詐欺に対する考え	75
(8) 振り込め詐欺等の電話を受けた経験	75
(9) 振り込め詐欺の対策で留守番電話が有効であることへの認識	75
(10) 公的機関が還付金について電話で知らせることがあると思うかについて	76
(11) 防災行政用無線による振り込め詐欺の注意喚起の役立ち度	76
(12) 自分らしい最期を迎えるための準備	77
(12-1) 自分らしい最期を迎えるために必要だと思う準備	77
(13) 自分らしい最期を迎えることを具体的に考える機会への参加意向	78
4 住まいについて	79
(1) 住まいの種類	79
(2) 現在の住まいで困っていること	80
(2-1) 住まいで困っていることを解消するための対策	80
5 防災について	81
(1) 大きな災害に備えた対策	81
(2) 災害時や緊急時に身近で手助けしてくれる人の有無	81
(2-1) 災害時や緊急時に身近で手助けしてくれる人	82
(2-2) 災害時要援護者支援制度の認知度	82
6 介護者について	83
(1) 主な介護者	83
(2) 主な介護者の年齢	83
(3) 主な介護者の同居の有無	84
(4) 主な介護者の介護期間	84
(5) 主な介護者が行っている介護等の内容	85
(6) 主な介護者の1日あたりの介護時間	86
(7) 主な介護者を取り巻く状況	86
(8) 家族や親族の中で介護のために仕事を辞めた人の有無	87
(9) 主な介護者の勤務形態	87
(9-1) 主な介護者の勤務形態の調整等	88
(9-2) 仕事と介護を両立するために効果的だと思う支援等	88
(9-3) 働きながら介護を続けることの今後の見込み	89
(10) 主な介護者が不安に感じている介護等	90
(11) 主な介護者の相談先	91
7 介護保険について	92
(1) 要介護認定を申請した理由	92
(2) 要介護度	92
(3) 市からの介護保険や高齢者福祉に関する情報源	93
(4) 介護保険サービスの利用状況	93
(4-1) 利用している介護保険サービスの種類	94
(4-1-1) 福祉具購入や住宅改修の効果	95

(4-1-2) 福祉具購入や住宅改修の内容の適切さ	95
(4-2) 介護保険サービスを利用していない理由	96
(5) 施設等への入所・入居の検討状況	96
(5-1) 入所希望時期	97
(5-2) 入所・入居の申し込みをしている（申し込みをしたい）施設等	97
(6) 介護保険サービスを利用したことによる変化	98
(7) 介護保険サービス提供事業者の満足度	98
(7-1) 介護保険サービス提供事業者に不満を感じた理由	99
(8) 今後利用したい介護保険サービス	99
(9) 介護保険の所得段階区分	100
(10) 介護保険料の支払い額について	100
(11) 今後介護を受けたい場所	101
(12) 受けている介護サービスと医療機関の連携状況	101
8 今後の「支え合い」のあり方について	102
(1) 介護保険サービス以外の地域の支え合いによる支援	102
(1-1) 受けている地域の支え合いによる支援の内容	102
(1-2) 地域の支え合いによる支援の提供者	103
(2) 地域の支え合いによる支援で希望するサービス	103
9 自由回答	104
(1) 高齢者福祉サービスや介護保険サービスについての市への要望や意見	104
第4章 要支援・要介護認定者個別調査（施設）	107
1 回答者について	107
(1) 入所・入居している施設と退所状況	107
(2) 調査回答者	108
2 回答者（調査対象者）について	109
(1) 性別	109
(2) 年齢	110
3 日常生活について	111
(1) 相談者の有無	111
(1-1) 悩みや心配ごとの相談先	112
(2) 有料老人ホーム・グループホーム入居者の在宅医療サービス利用状況	113
4 介護保険について	114
(1) 要介護認定を申請した理由	114
(2) 要介護度	115
(3) 施設入所の決定者	116
(4) 施設入所の理由	117
(5) 施設サービスの満足度	118
(5-1) 施設サービスに不満を感じている内容	119
(6) 部屋の定員数	120
(6-1) 個室への移動希望の有無	121
(6-1-1) 個室への移動を希望しない理由	122

(7) 介護保険の所得段階区分	123
(8) 介護保険料の支払額について	124
(9) 今後の生活の場についての考え	125
(9-1) 生活の場を移したい施設の種類の種類	125
(9-2) 在宅生活をする場合に必要となる介護サービス	126
5 自由回答	128
(1) 高齢者福祉サービスや介護保険サービスについての市への要望や意見	128
第5章 介護サービス事業所調査	131
1 事業所の概要について	131
(1) 事業所の所在地	131
(2) 事業所の組織（法人格）	132
2 事業実態及び今後の事業展開について	133
(1) 実施している介護サービス	133
(2) 昨年度決算の収支が黒字であったサービス	134
(3) 休止や撤退、縮小を検討・予定しているサービス	135
(3-1) 休止や撤退、縮小を検討・予定している理由	136
(4) 新規参入・提供量の拡大を予定しているサービス	137
(5) 円滑な事業運営を進めていく上での経営上の問題	138
3 職員体制について	139
(1) 管理者及び職員数	139
(2) 職員の平均勤続年数	141
4 人材確保や育成・定着について	142
(1) この1年間の人材確保の状況	142
(2) この1年間の人材確保の方針	142
(3) 人材確保の取り組み	143
(3-1) 人材確保の取り組みの効果	144
(4) この1年間の離職率	144
(4-1) 離職者数	145
(4-2) 離職者の離職理由	145
(5) 人材の定着・育成（離職の防止）の取り組み	146
(5-1) 人材の定着・育成（離職の防止）の取り組みの効果	147
(6) 人材の確保・定着・育成に関して行政に求める支援	148
5 自由回答	149
(1) 高齢者福祉サービスや介護保険サービスについての市への要望や意見	149
資料編	153
1 一般高齢者個別調査 調査票	153
2 要支援・要介護認定者個別調査（在宅） 調査票	163
3 要支援・要介護認定者個別調査（施設） 調査票	171
4 介護サービス事業者調査	175

第 1 章 調査実施の概要

第1章 調査実施の概要

1 調査の目的

平成30～32年度を計画期間とする第7期茅ヶ崎市高齢者福祉計画・介護保険事業計画を策定するに当たって、高齢者とその家族及び事業者の意見や要望等を把握するために実施しました。

2 調査実施方法及び回収状況

(1) 一般高齢者個別調査

調査対象	満65歳以上の市民の方（要支援・要介護認定者を除く）
対象数	4,500人
調査方法	郵送配布－郵送回収
調査期間	平成28年11月11日～12月9日 ※集計の対象には、平成28年12月22日到着分までを含めています。
回収状況	対象数 : 4,500件 回収数 : 3,460件 (76.9%) うち、白票等が3件、調査実施時点で要支援・要介護認定を「受けている」との回答が26件ありました。 有効回答数 : 3,431人 (76.2%)

(2) 要支援・要介護認定者個別調査（在宅）

調査対象	平成28年10月時点で、要支援・要介護の認定を受け、在宅で生活している方
対象数	3,000人
調査方法	郵送配布－郵送回収
調査期間	平成28年11月11日～12月9日 ※集計の対象には、平成28年12月22日到着分までを含めています。
回収状況	対象数 : 3,000件 回収数 : 2,000件 (66.7%) うち、白票等が21件、調査実施時点で「要支援・要介護認定を受けていない、または市外転出などにより資格を喪失している」との回答が36件、「要支援・要介護認定を受けていて、施設に入所している」との回答が161件ありました。 有効回答数 : 1,782人 (59.4%)

(3) 要支援・要介護認定者個別調査（施設）

調査対象	平成28年10月時点で、要支援・要介護の認定を受け、施設サービス等を利用している方
対象数	500人
調査方法	郵送配布－郵送回収
調査期間	平成28年11月11日～12月9日 ※集計の対象には、平成28年12月22日到着分までを含めています。
回収状況	対象数 : 500件 回収数 : 301件 (60.2%) うち、白票等が3件、調査実施時点で「既に退所している」との回答が1件、施設と退所状況に無回答が2件ありました。 有効回答数 : 295人 (59.0%)

(4) 介護サービス事業者調査

調査対象	市民に介護サービスを提供している事業所
対象数	275事業所
調査方法	郵送配布－郵送回収
調査期間	平成28年11月11日～12月9日 ※集計の対象には、平成28年12月22日到着分までを含めています。
回収状況	対象数 : 275件 回収数 : 194件 (70.5%) うち、白票等が1件ありました。 有効回答数 : 193人 (70.2%)

3 報告書の見方

- ①図表中の「n」（number of caseの略）は、集計対象者総数（あるいは回答者限定設問の限定条件に該当する人数）を表しています。
- ②調査結果の割合は、その設問の回答者数(n)を基数として、小数点以下第2位を四捨五入し算出しています。そのため、端数処理の関係で合計が100.0%にならない場合があります。
- ③複数回答の設問の場合、回答割合の合計は100.0%を超える場合があります。
- ④本文や図表中の選択肢表記は、語句を短縮・簡略化している場合があります。
- ⑤クロス集計結果の図表や分析では、次のような留意点があります。
 - ・分析の軸（＝表側）とした調査回答者の属性や設問の無回答は表示していません。そのため、各調査回答者の属性のnの合計が、全体と一致しない場合があります。
 - ・分析の軸（＝表側）でnが少ないもの（25人未満を目安）は、誤差が大きくなるため、参考として図示していますが、分析の対象からは除いています。

⑥統計数値を記述するにあたり、割での表記を用いている場合があります。その際の目安は、おおむね以下のとおりとしています。また、状況に応じて、〇割台、〇割以上、〇割前後などとまとめている場合もあります。

例	表現
17.0～19.9%	約2割
20.0～20.9%	2割
21.0～22.9%	2割を超える
23.0～26.9%	2割台半ば
27.0～29.9%	約3割

第2章 一般高齡者個別調査

第2章 一般高齢者個別調査

1 記入者等について

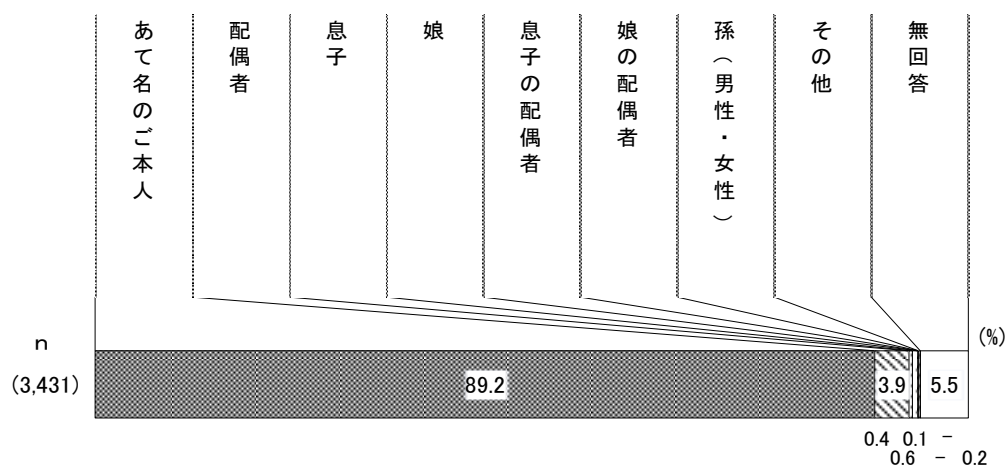
(1) 要支援・要介護認定の有無

回収された調査票3,457件のうち、調査実施時点で要支援・要介護認定を「受けている」との回答が26件ありました。そのため、本調査の有効回答数は3,431件です。

(2) 調査回答者

この調査票にご記入いただいているのは、どなたですか。(ひとつだけに○)

調査回答者は、「あて名のご本人」が89.2%で最も高く、「配偶者」が3.9%となっています。

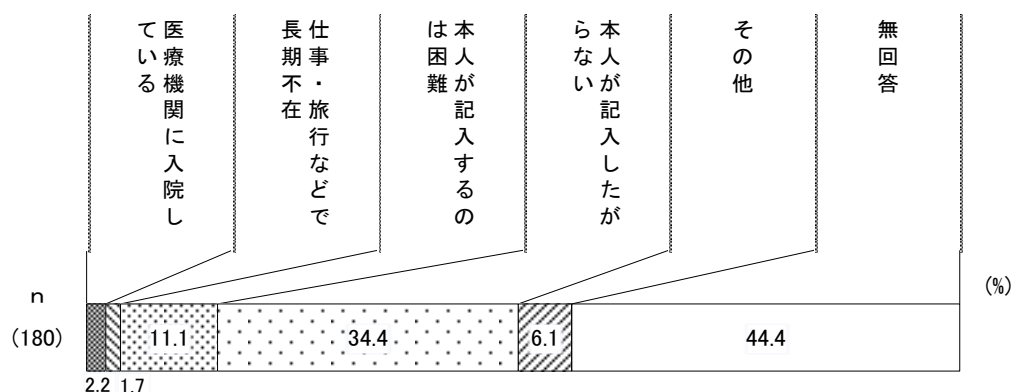


(2-1) 本人に代わって記入した理由

【あて名のご本人以外が記入している場合お答えください。】

◇ご本人に代わって記入した理由をお聞かせください。(ひとつだけに○)

本人以外が記入していると回答した方に、代わって記入した理由をたずねたところ、「本人が記入したがない」が34.4%で最も高く、次いで「本人が記入するのは困難」が11.1%となっています。

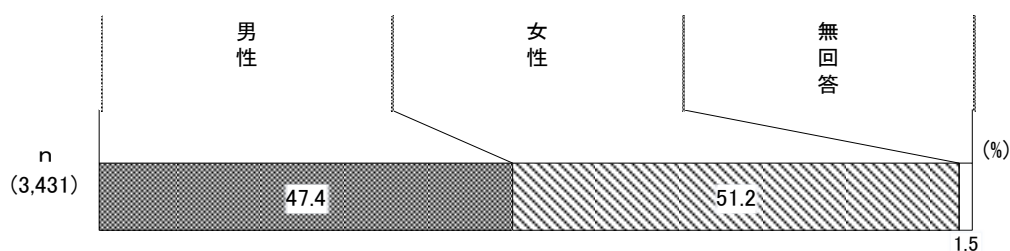


2 回答者（調査対象者）について

（１）性別

問１ あなたの性別をおたずねします。（ひとつだけに○）

調査対象者の性別は、「男性」が47.4%、「女性」が51.2%となっています。

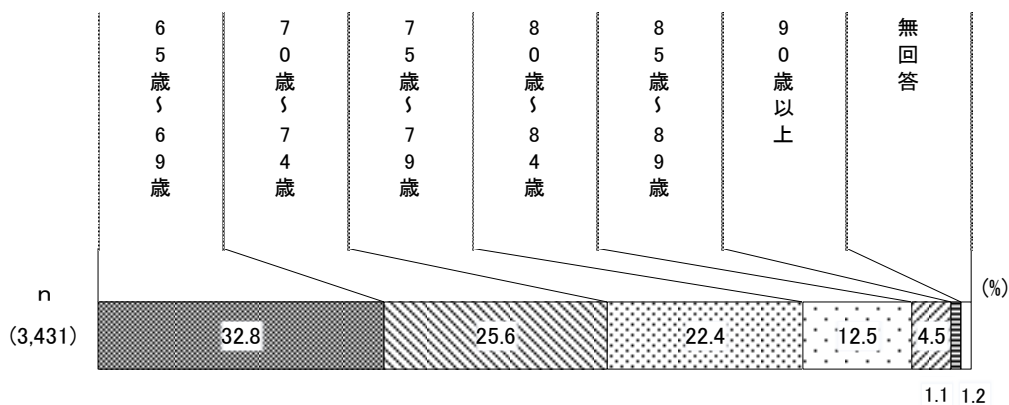


（２）年齢

問２ あなたの年齢はおいくつですか。（平成28年10月1日現在の満年齢）

（ひとつだけに○）

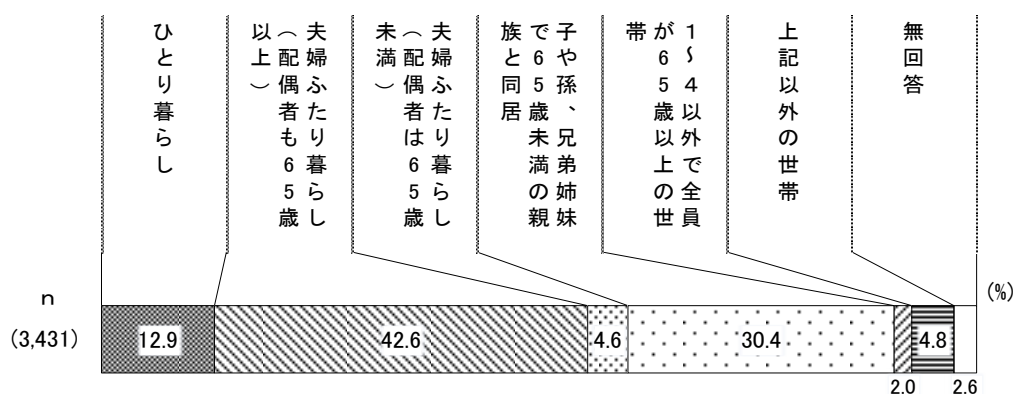
調査対象者の年齢は、「65歳～69歳」が32.8%で最も高く、次いで「70歳～74歳」が25.6%となっています。これらを合わせた《前期高齢者》は58.4%となっています。一方、「75歳～79歳」（22.4%）、「80歳～84歳」（12.5%）、「85歳～89歳」（4.5%）、「90歳以上」（1.1%）を合わせた《後期高齢者》は40.5%です。



(3) 家族構成

問3 あなたの家族構成をご記入ください。二世帯住宅の場合は同居と扱います。
(ひとつだけに○)

調査対象者の家族構成は、「夫婦ふたり暮らし（配偶者も65歳以上）」が42.6%で最も高く、次いで「子や孫、兄弟姉妹で65歳未満の親族と同居」が30.4%となっています。なお、「ひとり暮らし」は12.9%です。

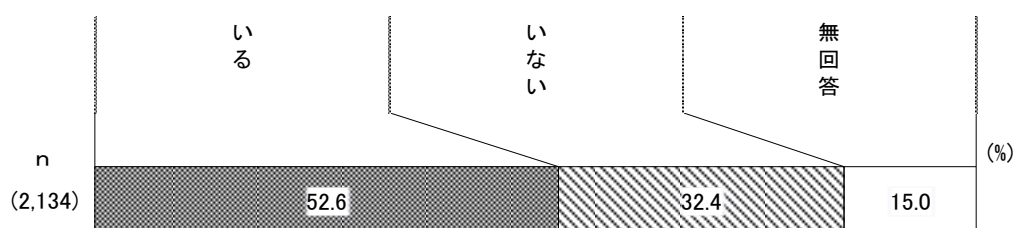


(3-1) 30分以内に駆けつけられる子どもや親族の有無

【問3で「1.」～「3.」か「5.」に○をつけた方におたずねします。】

問3-1 あなたのお子さんやご親族で30分以内に駆けつけられる方はいらっしゃいますか。(ひとつだけに○)

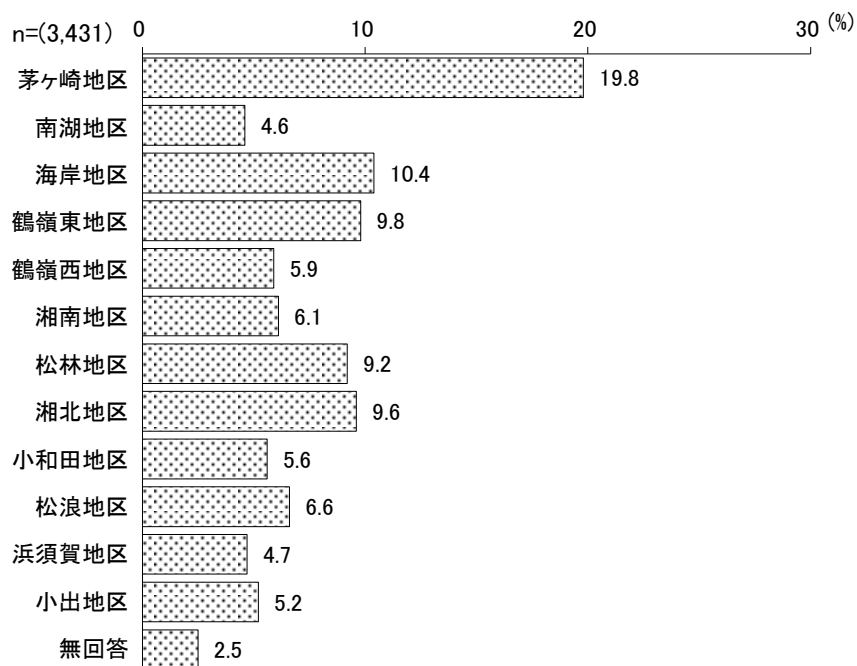
「ひとり暮らし」、「夫婦ふたり暮らし（配偶者も65歳以上）」、「夫婦ふたり暮らし（配偶者は65歳未満）」、「(同居者の) 全員が65歳以上の世帯」と回答した方に、30分以内に駆けつけられる子どもや親族の有無をたずねたところ、「いる」が52.6%で、「いない」が32.4%となっています。



(4) 居住地区

問4 あなたのお住まいはどちらですか。(下記の地区から、ひとつだけに○)
※あなたの地区は、封筒の宛名ラベルの右下に記載されています。

調査対象者の居住地区は、「茅ヶ崎地区」が19.8%で最も高くなっています。次いで「海岸地区」が10.4%、「鶴嶺東地区」が9.8%、「湘北地区」が9.6%、「松林地区」が9.2%と1割前後です。

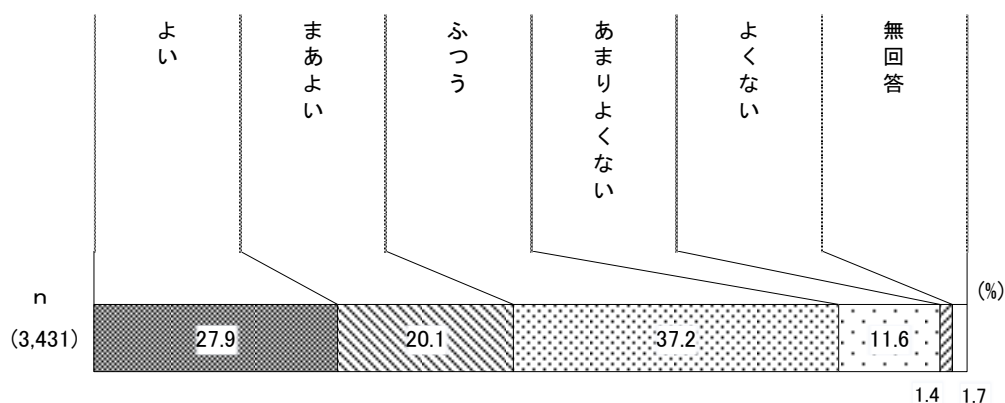


3 健康状態について

(1) 健康状態

問5 あなたの現在の健康状態はいかがですか。(ひとつだけに○)

健康状態は、「よい」が27.9%、「まあよい」が20.1%で、これらを合わせた《よい》は48.0%となっています。「ふつう」が37.2%で最も高くなっており、「あまりよくない」(11.6%)と「よくない」(1.4%)を合わせた《よくない》は13.0%です。

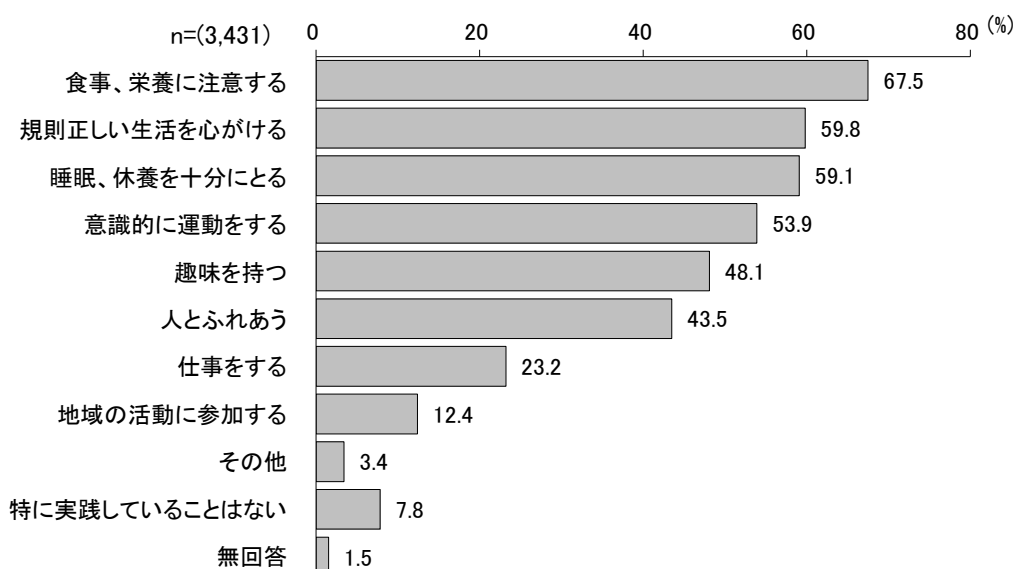


(2) 健康状態を保つために実践していること

問6 健康状態を保つために実践していることはありますか。

(あてはまるものすべてに○)

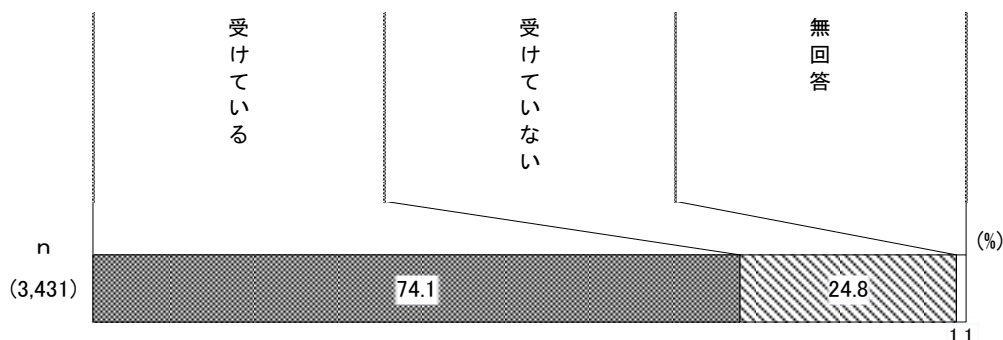
健康状態を保つために実践していることとしては、「食事、栄養に注意する」が67.5%で最も高くなっています。次いで「規則正しい生活を心がける」が59.8%、「睡眠、休養を十分にとる」が59.1%、「意識的に運動をする」が53.9%などとなっています。一方、「特に実践していることはない」が7.8%みられます。



(3) 健康診断の受診の有無

問7 あなたは、1年に1回以上、健康診断を受けていますか。

健康診断を「受けている」が74.1%で高く、「受けていない」が24.8%となっています。

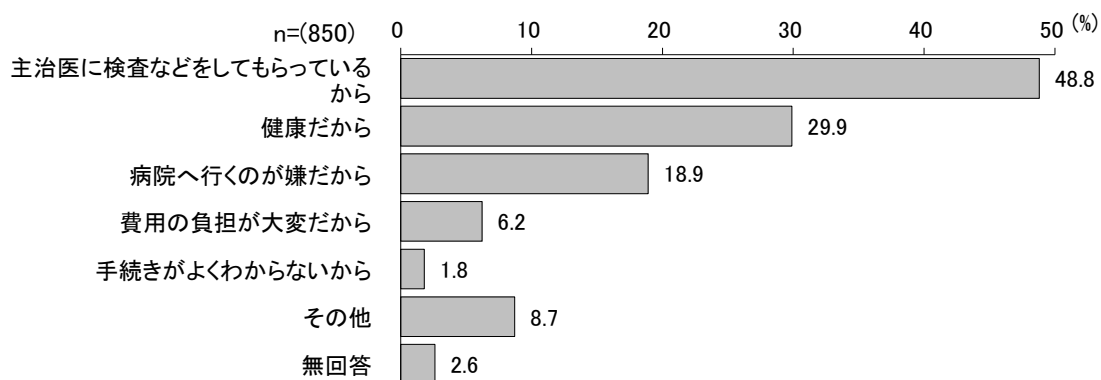


(3-1) 健康診断を受けていない理由

【問7で「2. 受けていない」に○をつけた方におたずねします。】

問7-1 健康診断を受けていない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

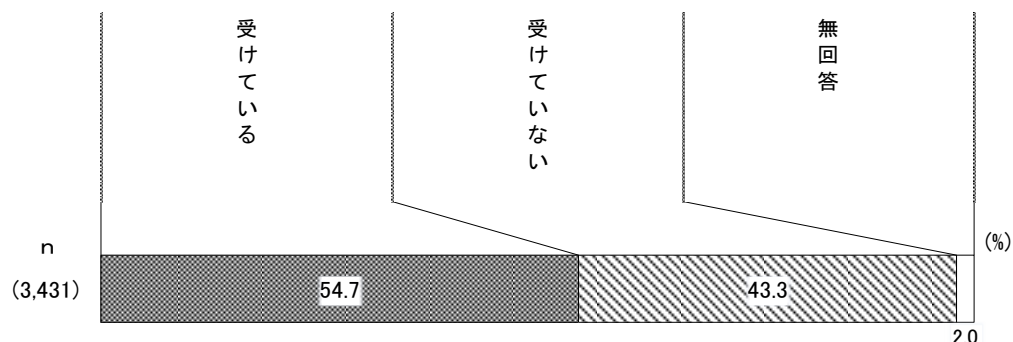
健康診断を「受けていない」と回答した方に、その理由をたずねたところ、「主治医に検査などをしてもらっているから」が48.8%で最も高く、次いで「健康だから」が29.9%、「病院へ行くのが嫌だから」が18.9%などとなっています。



(4) 歯の健康診断の受診の有無

問8 あなたは、1年に1回以上、歯の健康診断を受けていますか。

歯の健康診断を「受けている」が54.7%で高く、「受けていない」が43.3%となっています。



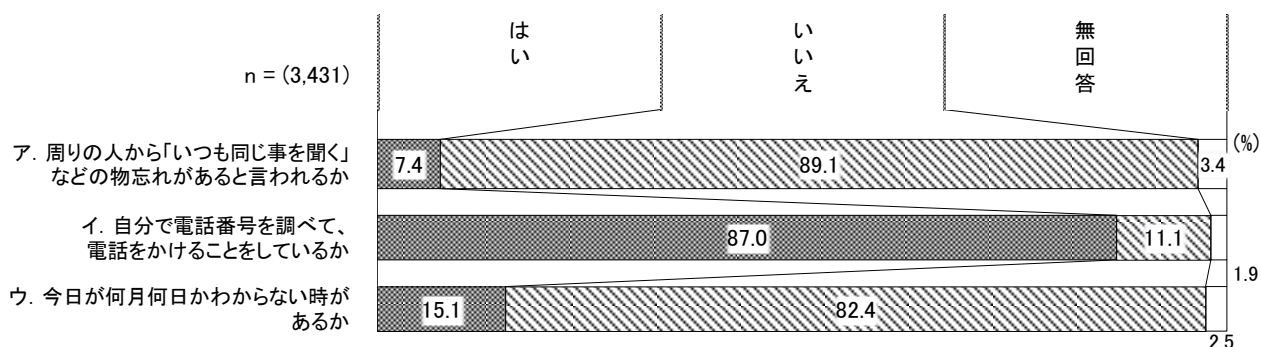
(5) 認知機能の状況

問9 あなたは、下記のようなことがどのくらいあてはまりますか。(ひとつずつ○)

認知機能について、3つの設問をたずねました。

“ア 周りの人から「いつも同じ事を聞く」などの物忘れがあるとされますか”と“ウ 今日が何月何日かわからない時がありますか”が「はい」の場合、また、“イ 自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしていますか”が「いいえ」の場合に、認知機能のリスクがみられることとなります。

結果として、“ア”が「はい」は7.4%、“ウ”が「はい」は15.1%、“イ”が「いいえ」は11.1%となっています。

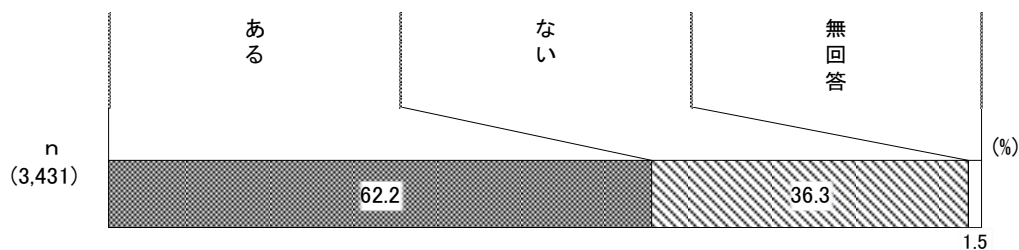


4 運動について

(1) 運動の習慣

問10 あなたには、運動の習慣がありますか。(ひとつだけに○)

運動の習慣が「ある」は62.2%と高く、「ない」が36.3%となっています。

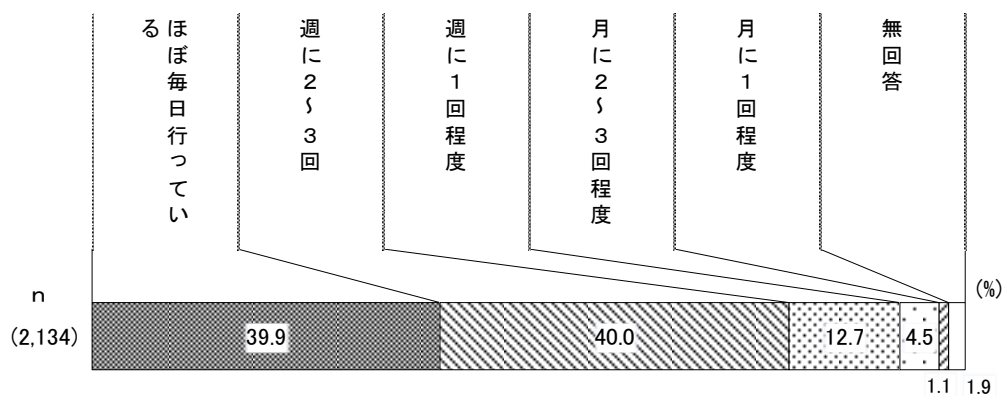


(1-1) 運動の頻度

【問10で「1. ある」に○をつけた方におたずねします。】

問10-1 運動の頻度はどのくらいですか。(ひとつだけに○)

運動の習慣が「ある」と回答した方に、運動の頻度をたずねたところ、「ほぼ毎日行っている」が39.9%、「週に2～3回」が40.0%とおおむね並んで高く、これらを合わせた《週に2回以上》は79.9%となります。

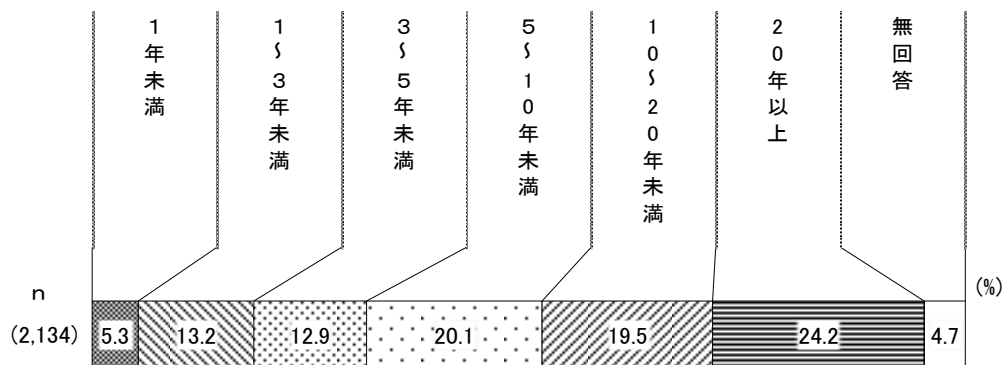


(1-2) 運動の継続期間

【問10で「1. ある」に○をつけた方におたずねします。】

問10-2 どのくらいの期間続けていますか。(ひとつだけに○)

運動の習慣が「ある」と回答した方に、運動の継続期間をたずねたところ、「20年以上」が24.2%で最も高く、次いで「5～10年未満」が20.1%、「10～20年未満」が19.5%とおおむね並んでいます。

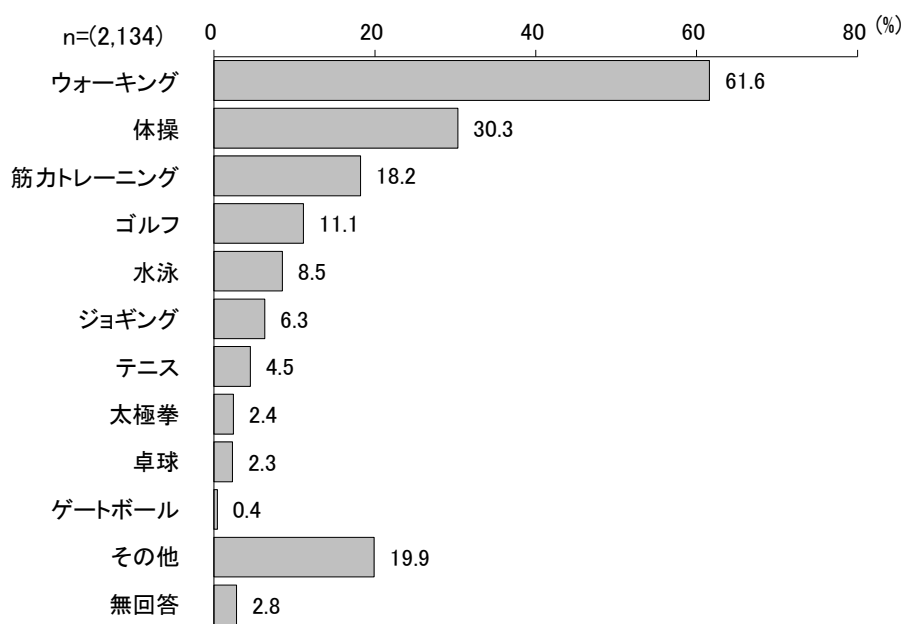


(1-3) 運動の種類

【問10で「1. ある」に○をつけた方におたずねします。】

問10-3 どのような運動を行っていますか。(あてはまるものすべてに○)

運動の習慣が「ある」と回答した方に、どのような運動を行っているかたずねたところ、「ウォーキング」が61.6%で最も高く、次いで「体操」が30.3%、「筋力トレーニング」が18.2%などとなっています。



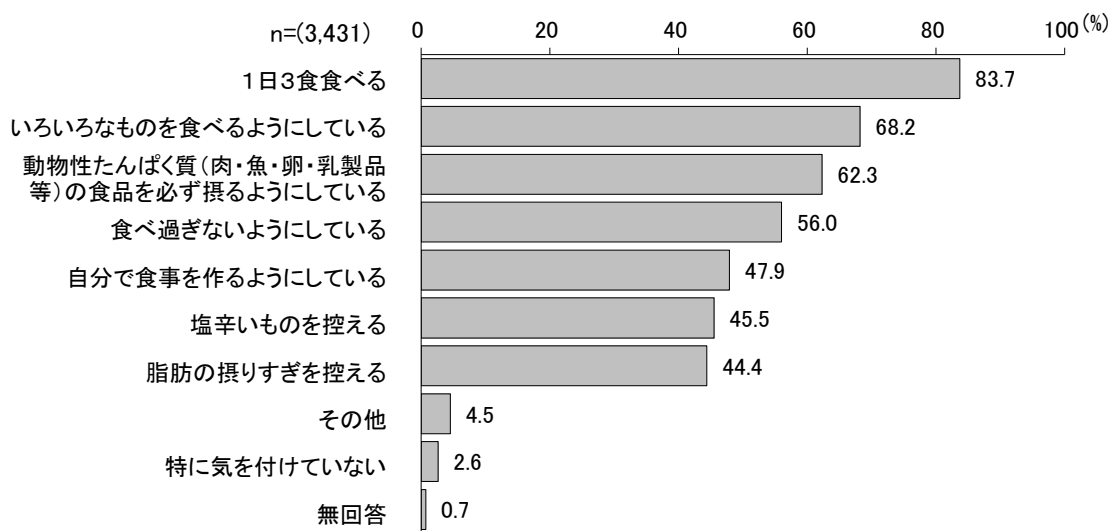
5 食生活や口腔について

(1) 食事で気をつけていること

問11 あなたは、どのようなことに気をつけて食事をしていますか。

(あてはまるものすべてに○)

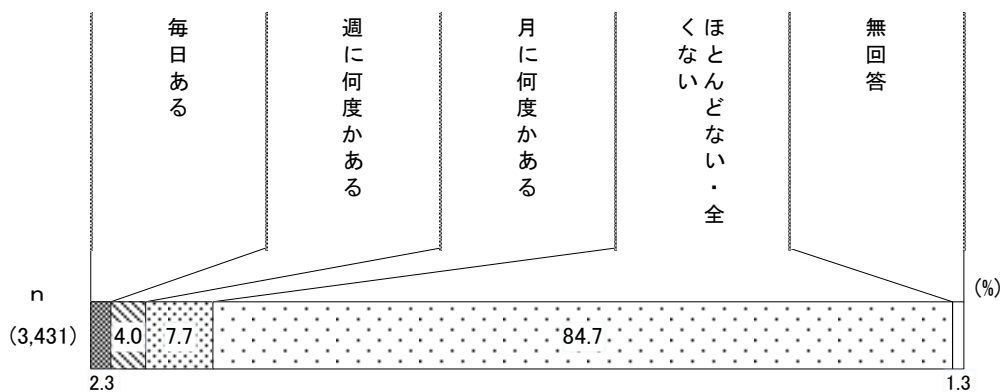
食事で気をつけていることとしては、「1日3食食べる」が83.7%が最も高く、次いで「いろいろなものを食べるようにしている」が68.2%、「動物性たんぱく質(肉・魚・卵・乳製品等)の食品を必ず摂るようにしている」が62.3%、「食べ過ぎないようにしている」が56.0%などとなっています。



(2) 食事を抜く頻度

問12 食事を抜くことがありますか。(ひとつだけに○)

食事を抜く頻度は、「ほとんどない・全くない」が84.7%で最も高くなっています。しかし、「毎日ある」が2.3%、「週に何度かある」が4.0%、「月に何度かある」が7.7%みられます。



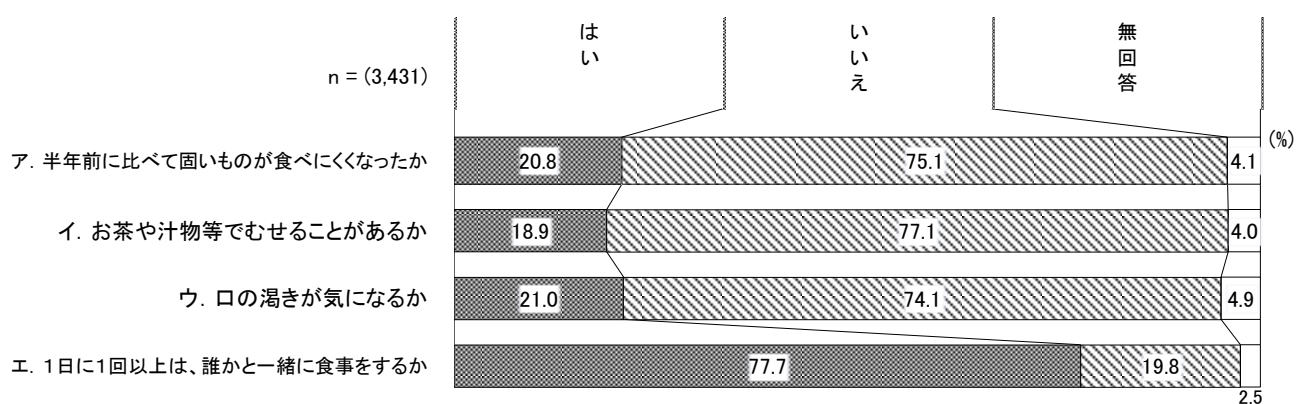
(3) 口腔機能や食事について

問13 あなたは、食事などについて、下記のようなことがどのくらいあてはまりますか。
(ひとつずつ○)

口の健康や食事について、4つの設問をたずねました。

“ア 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか”、“イ お茶や汁物等でむせることがありますか”、“ウ 口の渇きが気になりますか”の3つは口腔機能についての設問で、いずれも「はい」が2割前後となっています。

“エ 1日に1回以上は、誰かと一緒に食事をしますか”は、孤食の状況を把握する設問で、「いいえ」が19.8%みられます。



6 介護予防事業について

(1) 参加している介護予防事業

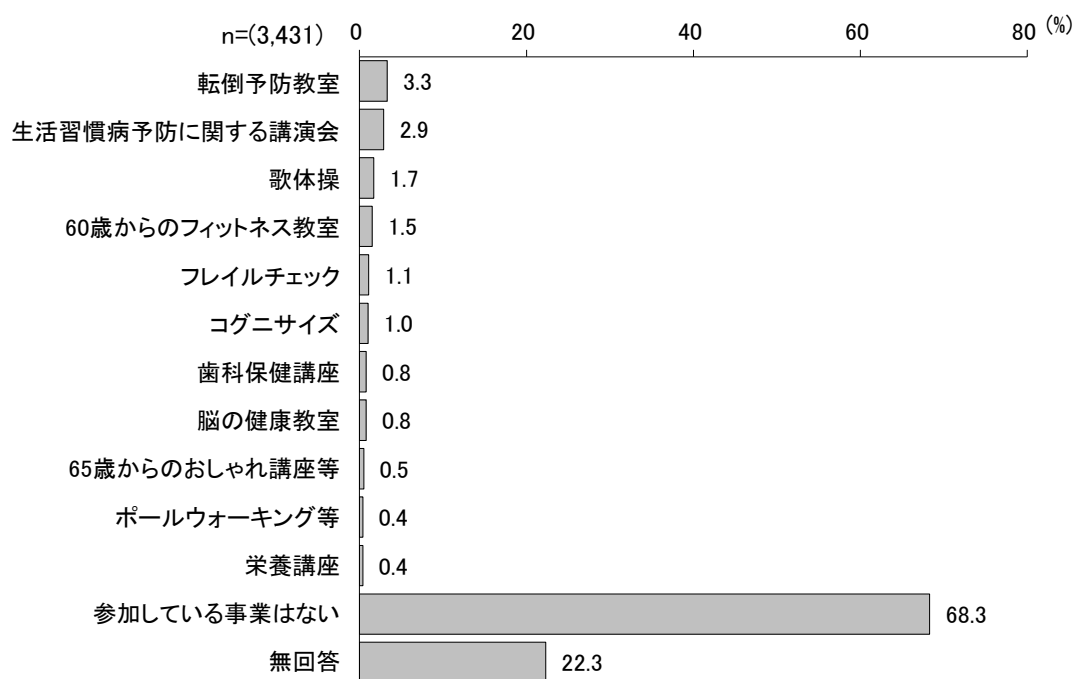
問14 茅ヶ崎市では、下記のような一般高齢者向けの介護予防事業を行っています。

(1) あなたは、現在、下記の介護予防事業に参加していますか。

(あてはまるものすべてに○)

参加している介護予防事業では、《参加している事業がある》が9.4%で、「参加している事業はない」が68.3%と高くなっています。

参加している事業の中では、「転倒予防教室」が3.3%、「生活習慣病予防に関する講演会」が2.9%などとなっています。



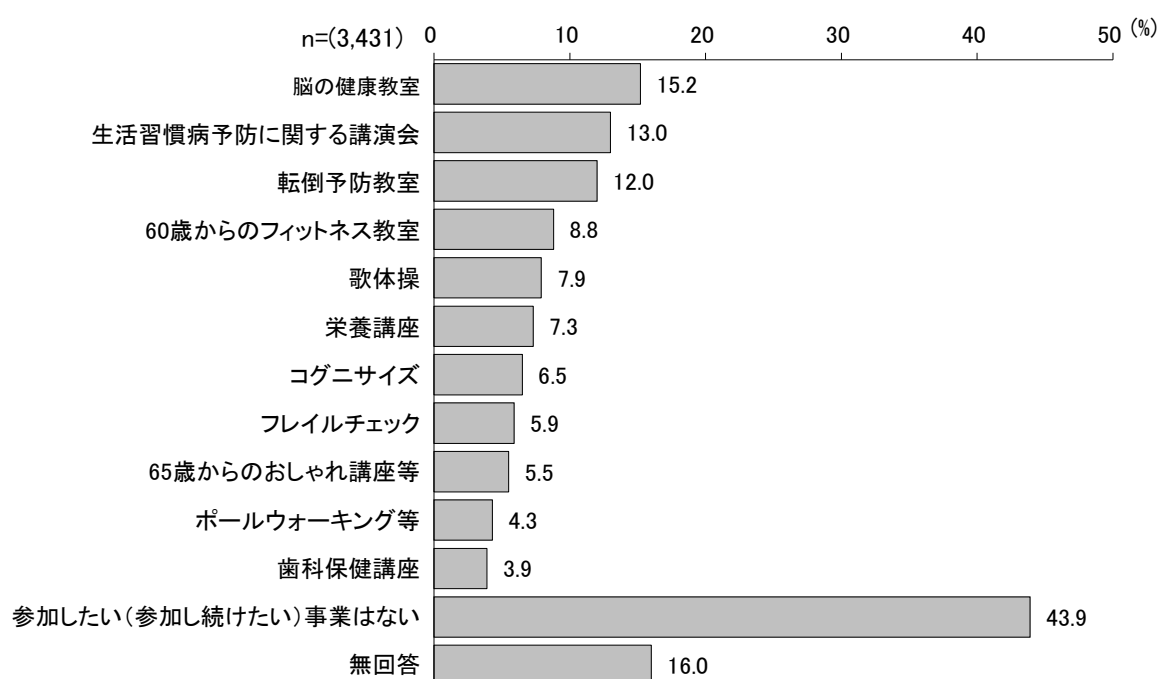
※ 《参加している事業がある》＝100%－「参加している事業はない」－無回答

(2) 今後、参加したい（参加し続けたい）介護予防事業

(2) あなたは、今後、どの介護予防事業へ参加したい（参加し続けたい）と思いますか。
(あてはまるものすべてに○)

今後、参加したい（参加し続けたい）介護予防事業では、《参加したい事業がある》は40.1%、「参加したい（参加し続けたい）事業はない」が43.9%となっています。

参加したい事業の中では、「脳の健康教室」が15.2%、「生活習慣病予防に関する講演会」が13.0%、「転倒予防教室」が12.0%となっています。



※《参加したい事業がある》＝100%－「参加したい（参加し続けたい）事業はない」－無回答

【参加し続けたい方の割合と今後参加したい方の割合の詳細】

この設問は、問14(1) 参加している介護予防事業 (20ページ参照) とも関連する設問で、問14(1)の回答状況によって、結果の解釈が異なります。

そこで、問14(1)の回答状況を整理し、(現在も参加していて) 参加し続けたい方の割合と、(現在参加していなくて) 今後参加したい方の割合を、介護予防事業別に算出しました。

現在、それぞれの介護予防事業に参加していて、今後も参加し続けたい方の割合については、「脳の健康教室」が71.4%で最も高く、次いで「転倒予防教室」が67.0%、「コグニサイズ」が58.3%、「生活習慣病予防に関する講演会」が56.0%などとなっています。

○介護予防事業別でみた、現在参加していて、今後も参加し続けたい方の割合

	A	B	$B/A \times 100$
介護予防事業	問 14 (1) 各事業を回答した人数 <現在の参加者>	問 14 (2) 各事業を回答した人数	参加し続けたい方の 割合
生活習慣病予防に関する講演会	100	56	56.0
コグニサイズ	36	21	58.3
ポールウォーキング等	15	7	46.7
栄養講座	14	7	50.0
歯科保健講座	26	11	42.3
65 歳からのおしゃれ講座等	16	8	50.0
転倒予防教室	112	75	67.0
歌体操	57	28	49.1
脳の健康教室	28	20	71.4
60 歳からのフィットネス教室	53	18	34.0
フレイルチェック	39	22	56.4

現在、それぞれの介護予防事業には参加していないが、今後参加したい方の割合については、「脳の健康教室」が27.8%で最も高く、次いで「生活習慣病予防に関する講演会」が19.3%、「転倒予防教室」が18.5%などとなっています。

○介護予防事業別でみた、現在参加していなくて、今後参加したい方の割合

	C	D	$D/C \times 100$
介護予防事業	問 14 (1) 各事業を 回答しなかった人数 <現在の未参加者>	問 14 (2) 各事業を回答した人数	参加したい方の 割合
生活習慣病予防に関する講演会	223	43	19.3
コグニサイズ	287	47	16.4
ポールウォーキング等	308	24	7.8
栄養講座	309	47	15.2
歯科保健講座	297	27	9.1
65 歳からのおしゃれ講座等	307	36	11.7
転倒予防教室	211	39	18.5
歌体操	266	44	16.5
脳の健康教室	295	82	27.8
60 歳からのフィットネス教室	270	25	9.3
フレイルチェック	284	15	5.3

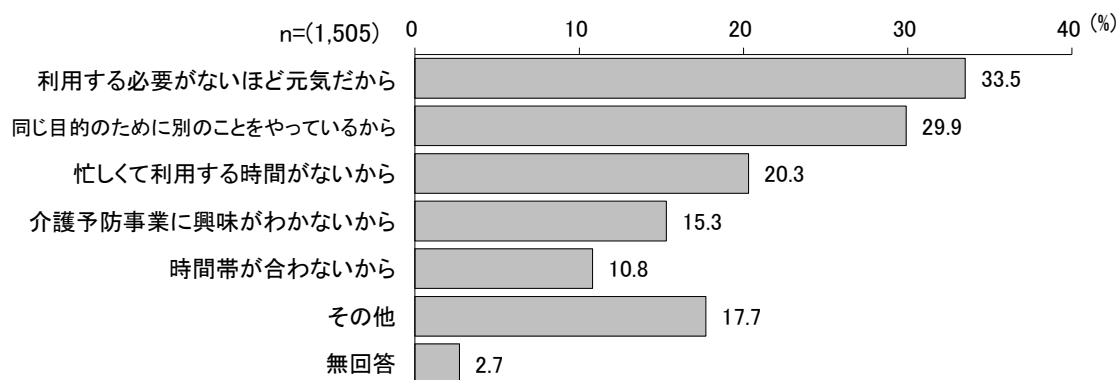
※各事業を回答しなかった人数は、1つひとつの介護予防事業について、全体の人数－「その介護予防事業に参加している人数」－「参加している事業はない」－無回答により算出しています。

(2-1) 参加したい事業はない理由

【問14(2)で「12. 参加したい(参加し続けたい)事業はない」に○をつけた方におたずねします。】

問14-1 その理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

今後、参加したい(参加し続けたい)介護予防事業で、「参加したい(参加し続けたい)事業はない」と回答した方に、その理由をたずねたところ、「利用する必要がないほど元気だから」が33.5%で最も高く、次いで「同じ目的のために別のことをやっているから」が29.9%、「忙しくて利用する時間がないから」が20.3%などとなっています。

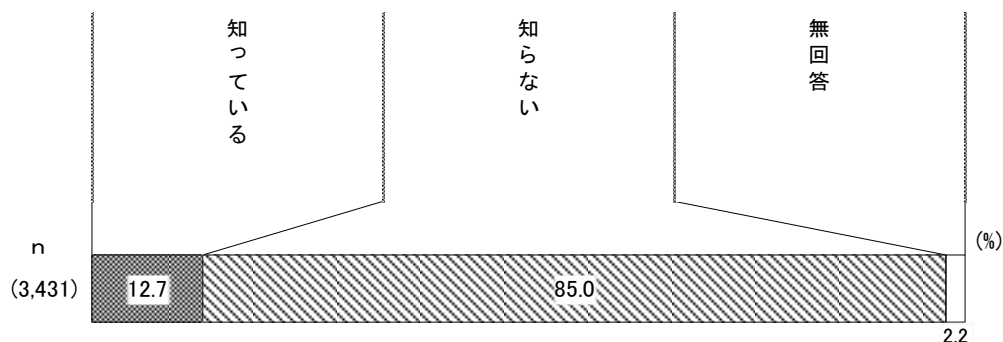


(3) ちがさき体操の認知度

問15 あなたはちがさき体操を知っていますか。(ひとつだけに○)

※ちがさき体操は、茅ヶ崎の特徴を取り入れた介護予防、健康づくりの体操

ちがさき体操を「知っている」が12.7%で、「知らない」が85.0%と高くなっています。

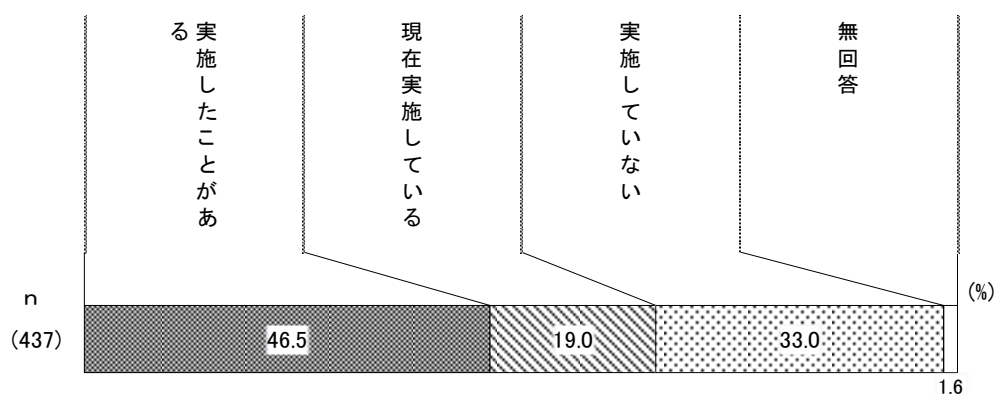


(3-1) ちがさき体操の実施状況

【問15で「1. 知っている」に○をつけた方におたずねします。】

問15-1 ちがさき体操の実施状況を教えてください。(ひとつだけに○)

ちがさき体操を「知っている」と回答した方に、実施状況をたずねたところ、「実施したことがある」が46.5%で最も高く、「現在実施している」が19.0%となっています。これらを合わせた《ちがさき体操経験者》は65.5%です。一方、「実施していない」が33.0%みられます。



7 日常生活について

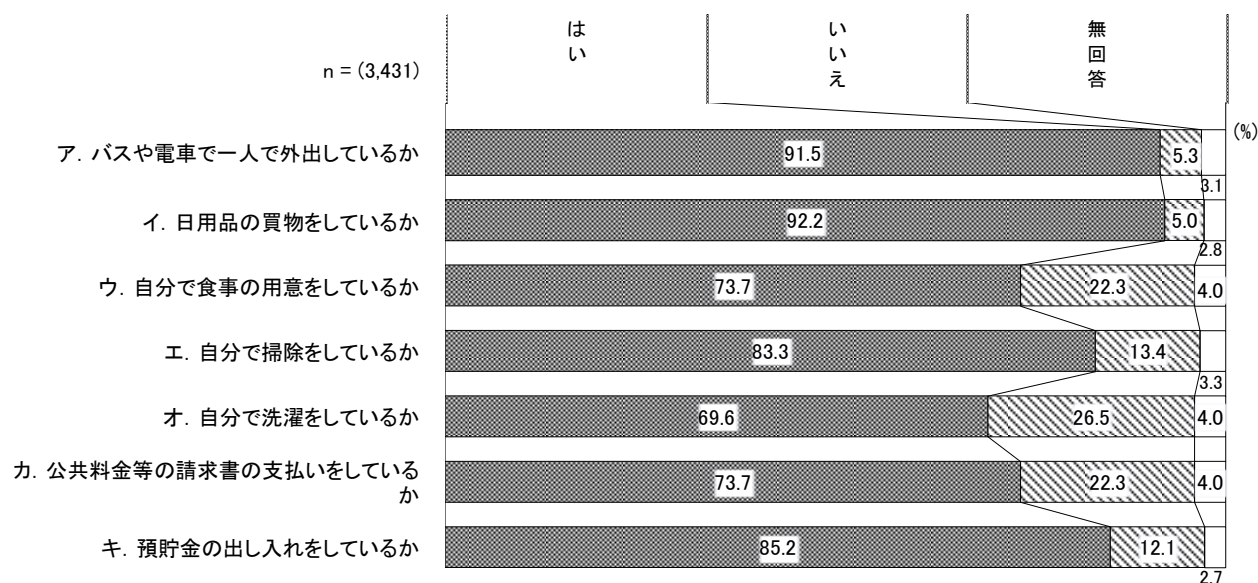
(1) 日常生活動作

問16 あなたは、下記のようなことが一人でできますか。(あてはまるものすべてに○)

日常生活動作について、7つの設問をたずねました。

“ア バスや電車で一人で外出していますか”、“イ 日用品の買物をしていますか”、“ウ 自分で食事の用意をしていますか”、“カ 公共料金等の請求書の支払いをしていますか”、“キ 預貯金の出し入れをしていますか”の5つの設問は、特に、手段的日常生活動作（IADL）を把握する設問です。これらの設問で、「はい」は、“イ 日用品の買物をしていますか”が92.2%、“ア バスや電車で一人で外出していますか”が91.5%と高くなっています。一方、「いいえ」は、“ウ 自分で食事の用意をしていますか”と“カ 公共料金等の請求書の支払いをしていますか”でともに22.3%となっています。

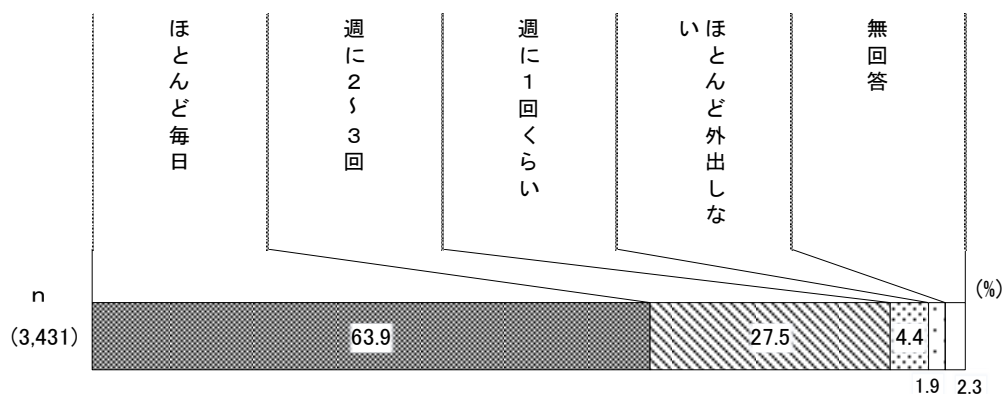
また、“エ 自分で掃除をしていますか”、“オ 自分で洗濯をしていますか”については、“オ 自分で洗濯をしていますか”で「いいえ」が26.5%となっています。



(2) 外出頻度

問17 あなたは、週に何回くらい外出（散歩や通院も含む）していますか。
(ひとつだけに○)

外出頻度は、「ほとんど毎日」が63.9%で最も高く、次いで「週に2～3回」が27.5%となっています。「週に1回くらい」(4.4%)と「ほとんど外出しない」(1.9%)を合わせた《閉じこもり傾向》は6.3%です。

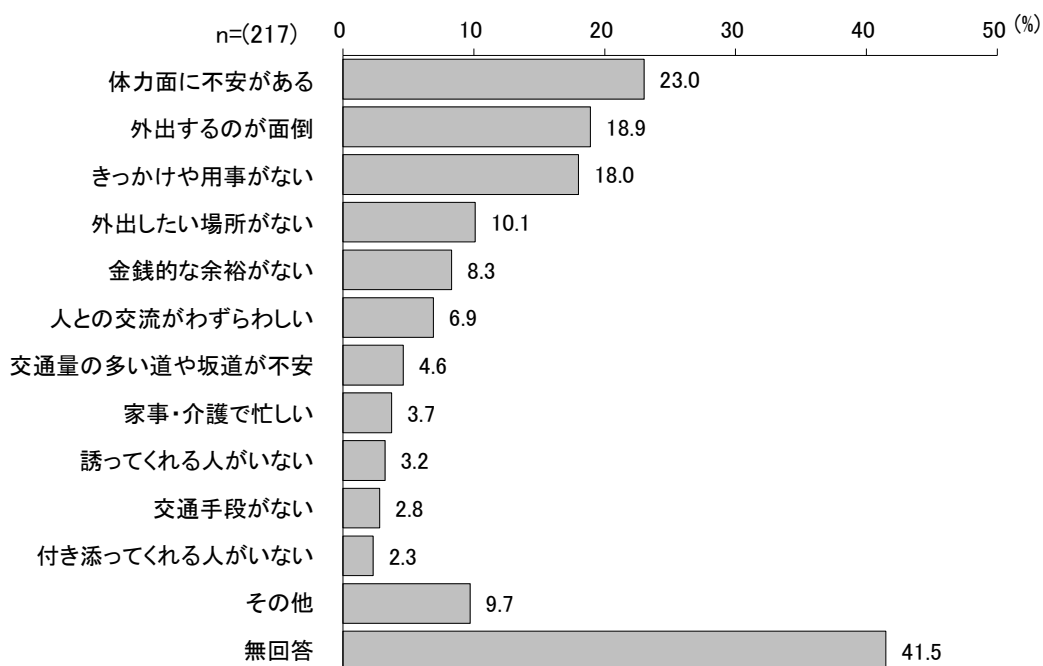


(2-1) あまり外出しない理由

【問17で「3. 週に1回くらい」、「4. ほとんど外出しない」に○をつけた方におたずねします。】

問17-1 あまり外出しない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

外出の頻度で《閉じこもり傾向》と回答した方に、その理由をたずねたところ、「体力面に不安がある」が23.0%で最も高く、次いで「外出するのが面倒」が18.9%、「きつかけや用事がない」が18.0%などとなっています。

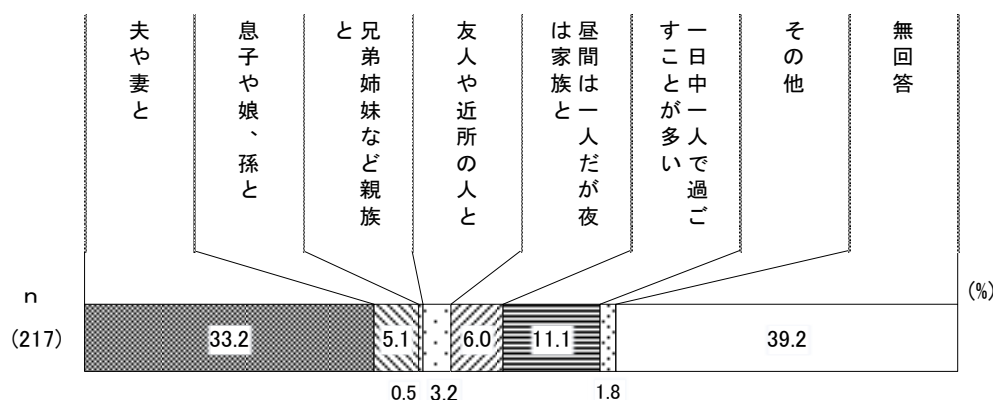


(2-2) 外出しない日に過ごすことが多い人

【問17で「3. 週に1回くらい」、「4. ほとんど外出しない」に○をつけた方におたずねします。】

問17-2 外出しない日はどなたと過ごすことが多いですか。(ひとつだけに○)

外出の頻度で《閉じこもり傾向》と回答した方に、外出しない日に過ごすことが多い人をたずねたところ、「夫や妻と」が33.2%で最も高くなっています。一方、「一日中一人で過ごすことが多い」が11.1%みられます。

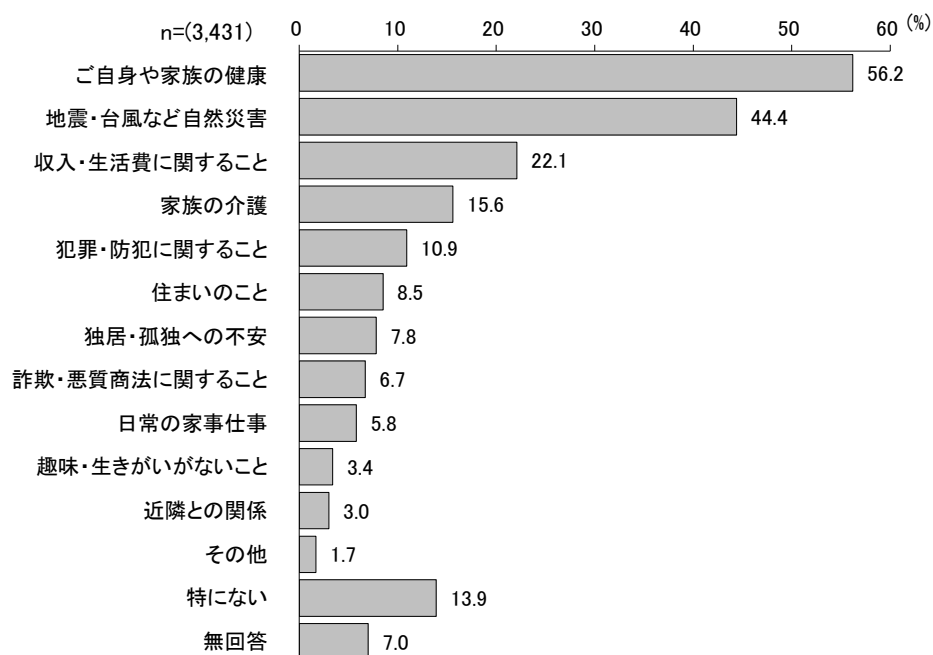


(3) 現在のくらしで不安に思っていること

問18 現在のくらしで、不安に思っていることはありますか。

(あてはまるものすべてに○)

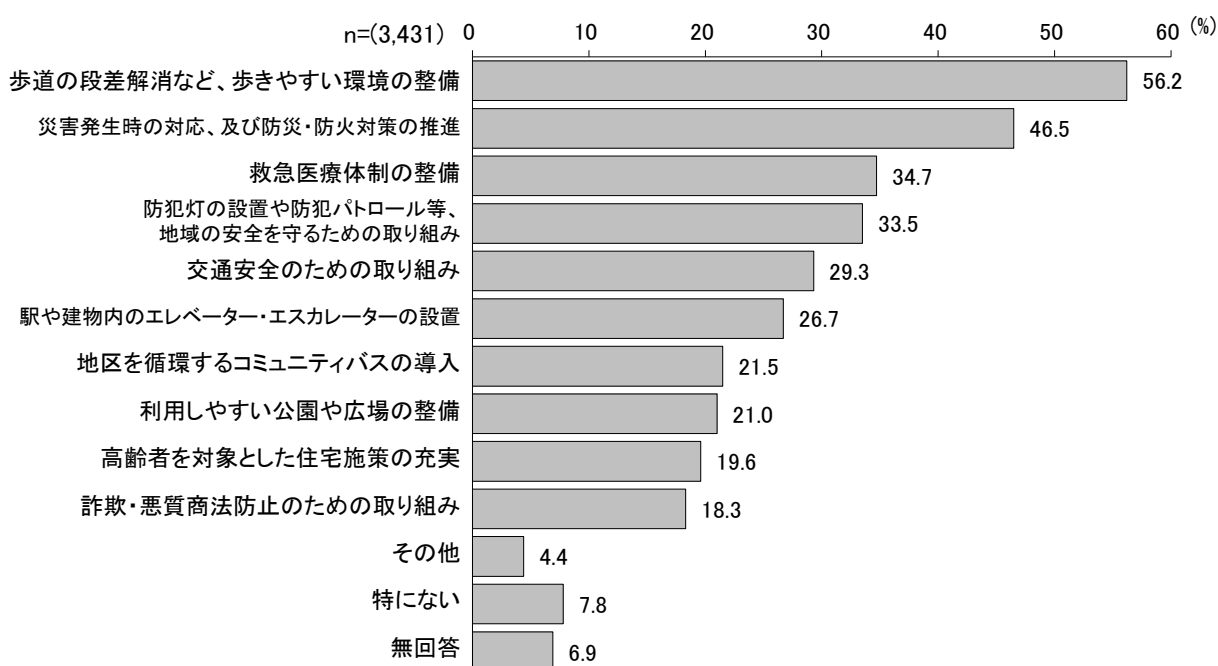
現在のくらしで不安に思っていることとしては、「ご自身や家族の健康」が56.2%で最も高く、次いで「地震・台風など自然災害」が44.4%、「収入・生活費に関すること」が22.1%などとなっています。



(4) 安全で安心なまちづくりで必要だと思うこと

問19 あなたは、安全で安心なまちづくりを進めるうえで、どのようなことが必要だと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

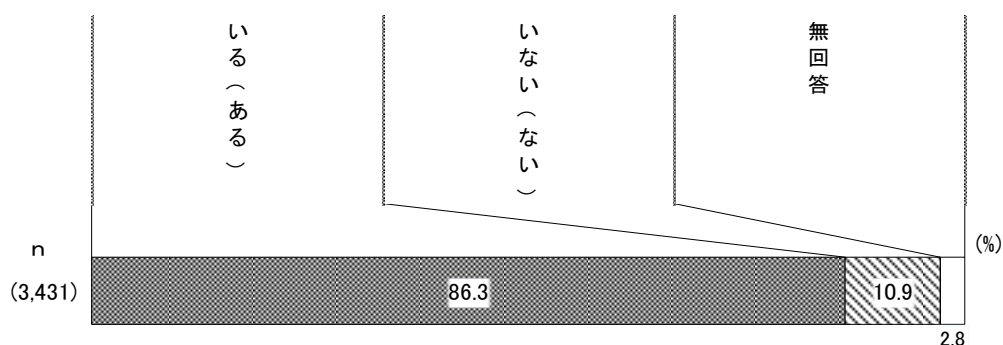
安全で安心なまちづくりで必要だと思うこととしては、「歩道の段差解消など、歩きやすい環境の整備」が56.2%で最も高く、次いで「災害発生時の対応、及び防災・防火対策の推進」が46.5%、「救急医療体制の整備」が34.7%、「防犯灯の設置や防犯パトロール等、地域の安全を守るための取り組み」が33.5%などとなっています。



（５）悩みや心配ごとを相談できる人や場所の有無

問20 あなたには、悩みや心配ごとを相談できる人や相談できるところがありますか。
（ひとつだけに○）

悩みや心配ごとを相談できる人や場所が、「いる（ある）」は86.3%と高くなっていますが、「いない（ない）」が10.9%みられます。

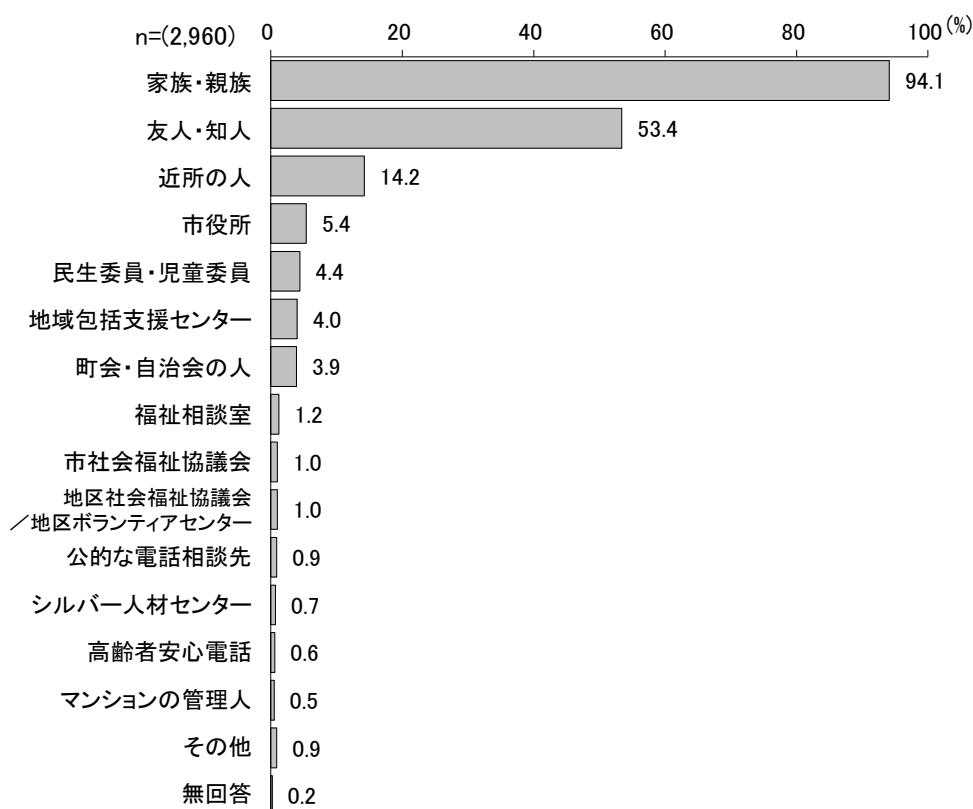


（５－１）悩みや心配ごとの相談先

【問20で「1. いる（ある）」に○をつけた方におたずねします。】

問20－1 それは誰（どこ）ですか。（あてはまるものすべてに○）

悩みや心配ごとを相談できる人や場所が「いる（ある）」と回答した人に、その相談先をたずねたところ、「家族・親族」が94.1%で最も高く、次いで「友人・知人」が53.4%となっています。このほか、「近所の人」が14.2%、「市役所」が5.4%、「民生委員・児童委員」が4.4%、「地域包括支援センター」が4.0%、「町会・自治会の人」が3.9%などとなっています。

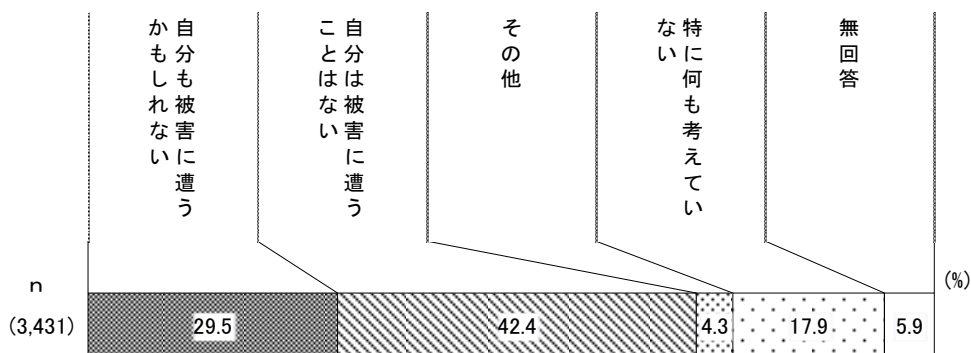


8 日常生活について

(1) 振り込み詐欺に対する考え

問21 あなたは、振り込み詐欺についてどのように考えていますか。(ひとつだけに○)

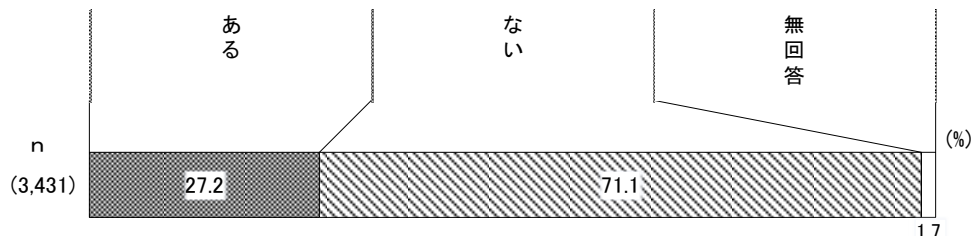
振り込み詐欺について、「自分は被害に遭うことはない」が42.4%で最も高くなっています。また、「特に何も考えていない」が17.9%みられます。



(2) 振り込み詐欺等の電話を受けた経験

問22 あなたは、振り込み詐欺や還付金詐欺の犯人から電話を受けたことがありますか。(ひとつだけに○)

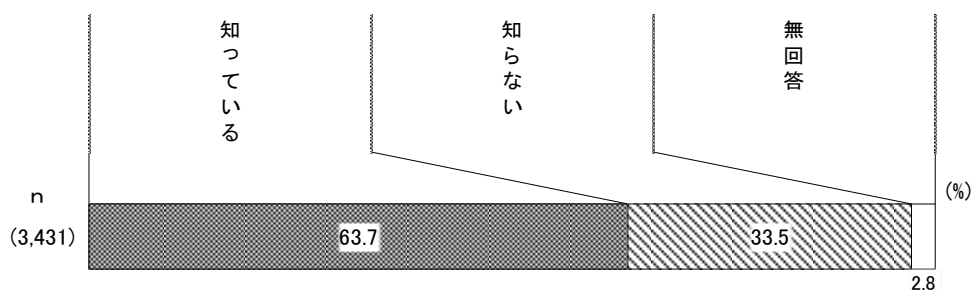
振り込み詐欺等の電話を受けた経験が「ある」は27.2%となっています。



(3) 振り込み詐欺の対策で留守番電話が有効であることへの認識

問23 振り込み詐欺の犯人は、留守番電話に自分の声を残すことは稀ですが、振り込み詐欺に留守番電話が有効であることを知っていますか。(ひとつだけに○)

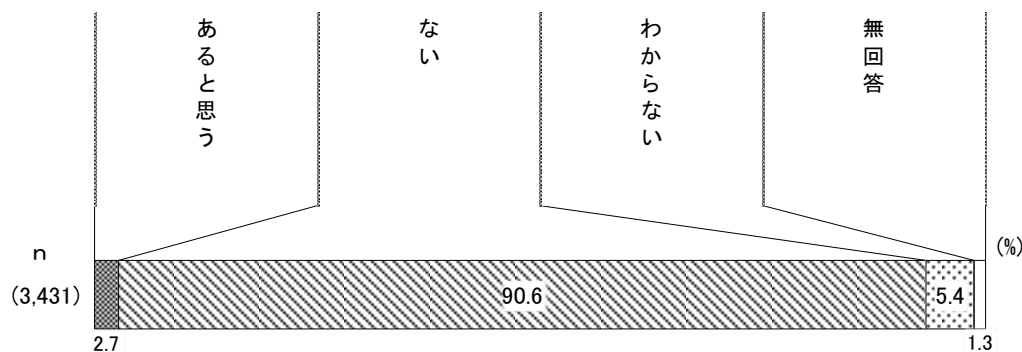
振り込み詐欺の対策で留守番電話が有効であることを、「知っている」は63.7%と高くなっていますが、「知らない」が33.5%みられます。



(4) 公的機関が還付金について電話で知らせることがあると思うかについて

問24 市役所等の公的機関が保険料や医療費の還付（お金が戻ってくる）があることを電話で知らせたりすることがあると思いますか。（ひとつだけに○）

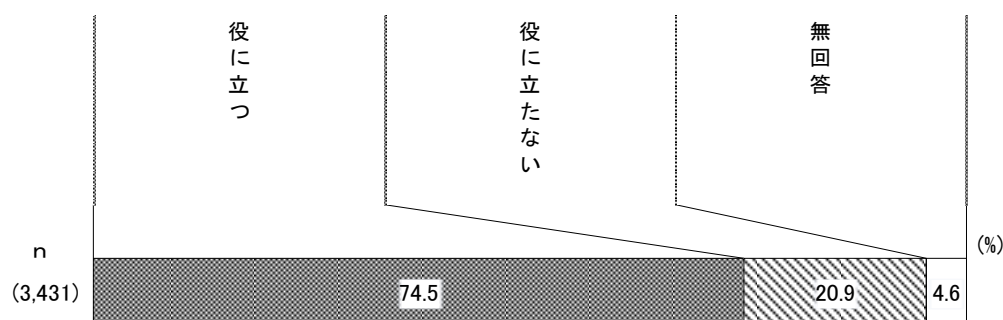
公的機関が還付金について電話で知らせたりすることが、「ない」が90.6%と高くなっていますが、「あると思う」が2.7%みられます。



(5) 防災行政用無線による振り込め詐欺の注意喚起の役立ち度

問25 防災行政用無線による振り込め詐欺の注意喚起の放送についておたずねします。役に立ちますか。（ひとつだけに○）

防災行政用無線による振り込め詐欺の注意喚起は、「役に立つ」が74.5%で高く、「役に立たない」が20.9%となっています。

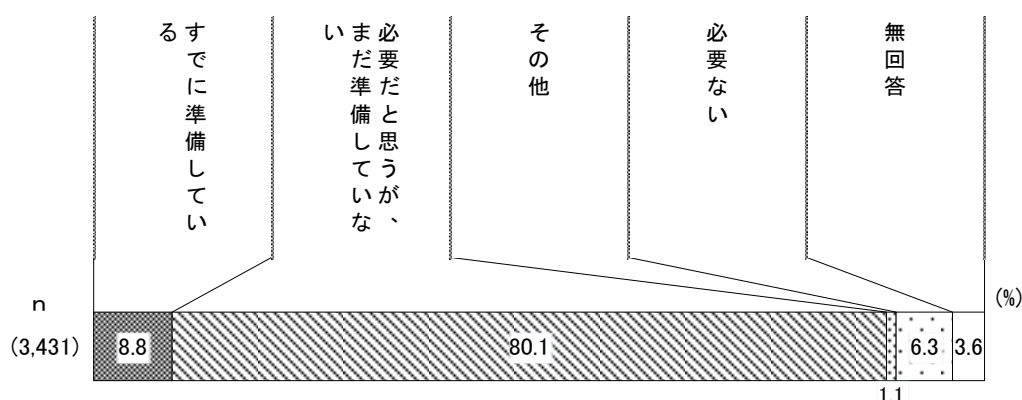


（６）自分らしい最期を迎えるための準備

問26 あなたは自分らしい最期を迎えるために、何か準備していますか。

（ひとつだけに○）

自分らしい最期を迎えるための準備については、「すでに準備している」が8.8%で、「必要だと思うが、まだ準備していない」が80.1%と高くなっています。

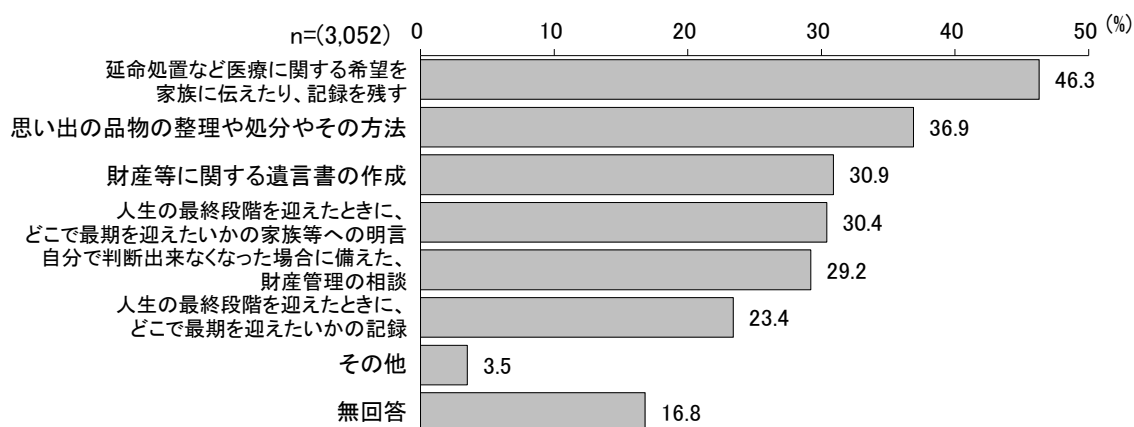


（６－１）自分らしい最期を迎えるために必要だと思う準備

【問26で「１．すでに準備している」、「２．必要だと思うが、まだ準備していない」に○をつけた方におたずねします。】

問26－１ どのようなことを準備していますか。また、どのようなことが必要だと思いますか。（あてはまるものすべてに○）

自分らしい最期を迎えるために「すでに準備している」、「必要だと思うが、まだ準備していない」と回答した方に、必要だと思う準備をたずねたところ、「延命処置など医療に関する希望を家族に伝えたり、記録を残す」が46.3%で最も高く、次いで「思い出の品物の整理や処分やその方法」が36.9%となっています。



【自分らしい最期を迎えるための準備の現状別にみた割合の詳細】

この設問は、問26自分らしい最期を迎えるための準備（32ページ参照）の回答状況によって、結果の解釈が異なります。

そこで、問26の回答状況を掛け合わせることによって、すでに準備している方と、まだ準備していない方の必要だと思う準備の割合を算出しました。

その結果、すでに準備している方では、「延命処置など医療に関する希望を家族に伝えたり、記録を残す」が50.5%で最も高く、次いで「財産等に関する遺言書の作成」が40.9%などとなっています。一方、まだ準備していない方では、「延命処置など医療に関する希望を家族に伝えたり、記録を残す」が45.9%で最も高いのは、すでに準備している方と同様ですが、次いで「思い出の品物の整理や処分やその方法」が37.1%となっています。

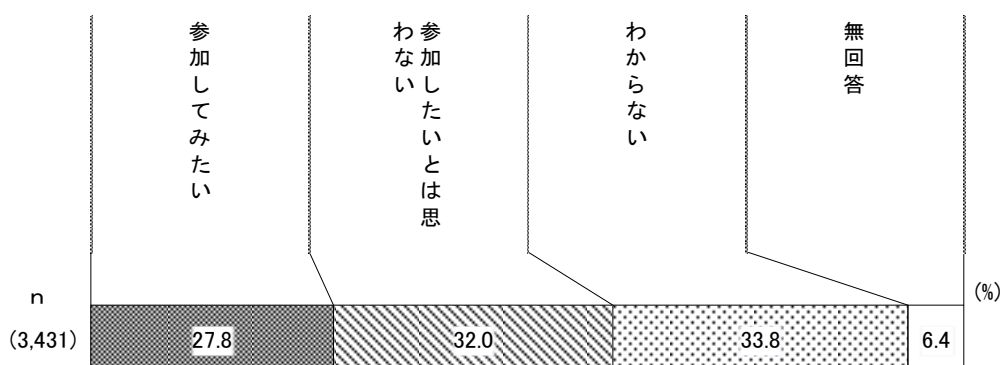
すでに準備している方とまだ準備していない方で大きく違うのは、「財産等に関する遺言書の作成」で、すでに準備している方が約11ポイント高くなっています。

										(%)
		延命処置など医療に関する希望を家族に伝えたり、記録を残す	思い出の品物の整理や処分	財産等に関する遺言書の作成	人生の最終段階を迎えたとき、どこで最期を迎えたのかの家族等への明言	人生の最終段階を迎えたとき、どこで最期を迎えたのかの記録	自分で判断出来なくなった場合、備えた、財産管理の相談	人生の最終段階を迎えたとき、どこで最期を迎えたのかの記録	その他	無回答
全 体	3,052	46.3	36.9	30.9	30.4	29.2	23.4	3.5	16.8	
すでに準備している	303	50.5	35.6	40.9	32.3	23.4	22.8	7.6	6.6	
必要だと思うが、まだ準備していない	2,749	45.9	37.1	29.8	30.2	29.9	23.5	3.0	18.0	

（7）自分らしい最期を迎えることを具体的に考える機会への参加意向

問27 あなたは、自分らしい最期を迎えるために、エンディングノートや家族等への伝達など、具体的に考える機会があれば参加してみたいですか。（ひとつだけに○）

自分らしい最期を迎えるために具体的に考える機会へ、「参加してみたい」が27.8%、「参加したいとは思わない」が32.0%、「わからない」が33.8%と、それぞれの意向がおおむね並んでいます。



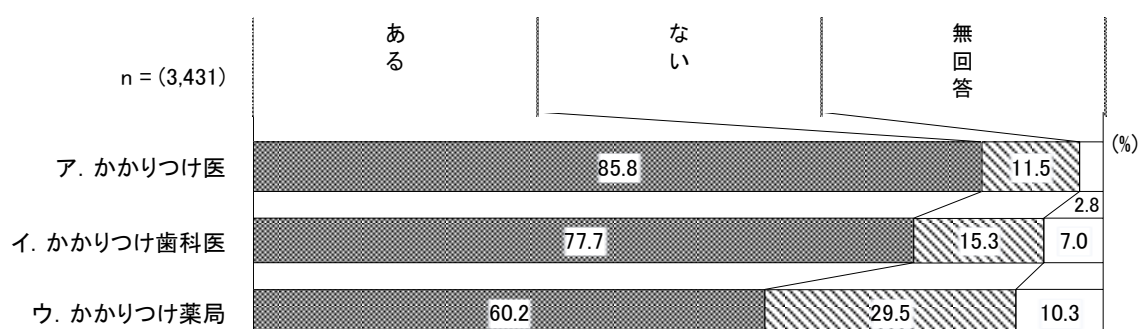
(8) かかりつけの医療機関の有無

問28 あなたには、かかりつけ医、かかりつけ歯科医、かかりつけの薬局がありますか。
(ひとつずつ○)

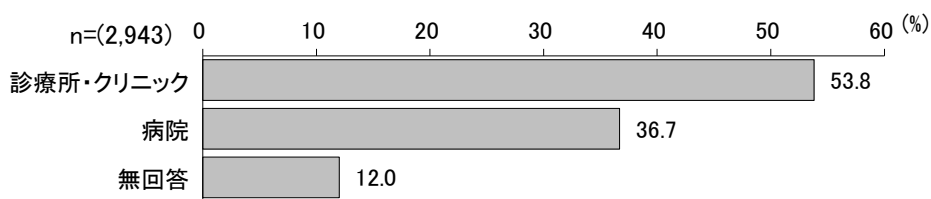
また、かかりつけ医を「1. ある」に○をつけた方は、医療機関も併せてお答えください。(あてはまるものすべてに○)

※かかりつけ薬局とは、薬に関するいろいろな相談に応じ、情報提供してくれる薬局のこと

かかりつけの医療機関について、「ある」は、“ア かかりつけ医”が85.8%で最も高く、次いで“イ かかりつけ歯科医”が77.7%、“ウ かかりつけ薬局”が60.2%となっています。



“ア かかりつけ医”が「ある」と回答した方に、医療機関の種類をたずねたところ、「診療所・クリニック」が53.8%、「病院」が36.7%となっています。



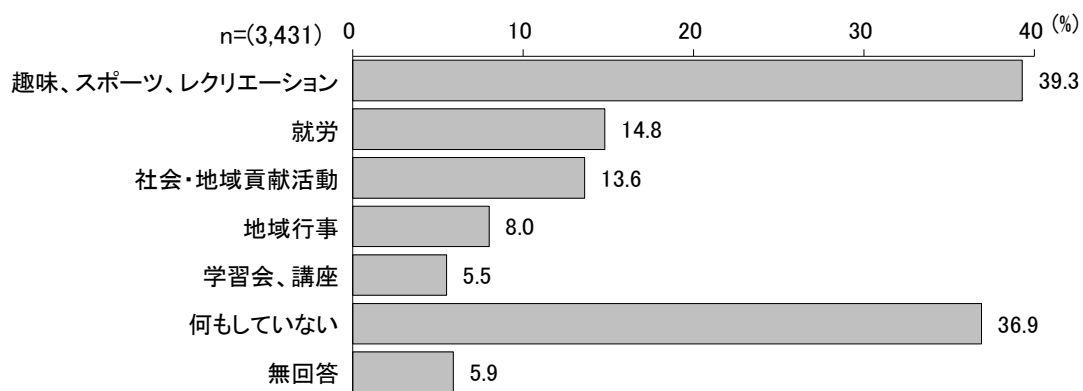
9 社会参加について

(1) 社会参加の状況

問29 あなたの社会参加の状況や今後の意向についておたずねします。

(1) あなたは、現在、下記のような活動をしていますか。(あてはまるものすべてに○)

社会参加の状況では、《活動をしている》が57.2%で、「何もしていない」が36.9%となっています。
活動している中では、「趣味、スポーツ、レクリエーション」が39.3%で最も高く、次いで「就労」が14.8%、「社会・地域貢献活動」が13.6%などとなっています。



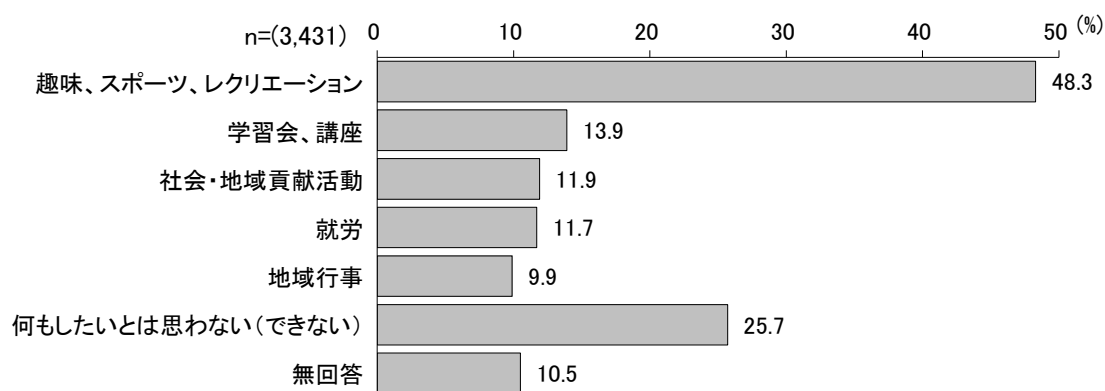
※《活動をしている》＝100%－「何もしていない」－無回答

(2) 社会参加の今後の意向

(2) あなたは、今後、どのような活動をしたい(活動をし続けたい)と思いますか。
(あてはまるものすべてに○)

社会参加の今後の意向では、《今後活動したい(活動をし続けたい) ことがある》が63.8%で、「何
もしたいとは思わない(できない)」が25.7%となっています。

今後活動したい(活動をし続けたい) 中では、「趣味、スポーツ、レクリエーション」が48.3%で最
も高くなっています。このほか、「学習会、講座」が13.9%、「社会・地域貢献活動」が11.9%、「就労」
が11.7%などとなっています。



※ 《今後活動したい(活動をし続けたい) ことがある》 = 100% - 「何もしたいとは思わない(できない)」 - 無回答

【活動をし続けたい方の割合と今後活動したい方の割合の詳細】

この設問は、問29（１）社会参加の状況（35ページ参照）とも関連する設問で、問29（１）の回答状況によって、結果の解釈が異なります。

そこで、問29（１）の回答状況を整理し、（活動をしていて）活動し続けたい方の割合と、（現在活動してなくて）今後活動したい方の割合を、活動別に算出しました。

現在、それぞれの活動に参加していて、今後も活動し続けたい方の割合については、「趣味、スポーツ、レクリエーション」が84.4%で最も高く、次いで「学習会、講座」が76.3%などとなっています。また、それ以外も活動し続けたい方の割合は5割以上です。

○活動別にみた、現在活動していて、活動し続けたい方の割合

	A	B	$B/A \times 100$
活動	問 29（１） 各活動を回答した人数 ＜現在の活動者＞	問 29（２） 各活動を回答した人数	活動し続けたい方の 割合
趣味、スポーツ、レクリエーション	1,349	1,139	84.4
学習会、講座	190	145	76.3
地域行事	274	141	51.5
社会・地域貢献活動	468	246	52.6
就労	507	288	56.8

現在、それぞれの活動には参加していないが、今後活動したい方の割合については、「趣味、スポーツ、レクリエーション」が27.6%で最も高く、次いで「学習会、講座」が13.2%などとなっています。

○活動別にみた、現在活動してなくて、今後活動したい方の割合

	C	D	$D/C \times 100$
活動	問 29（１） 各活動を 回答しなかった人数 ＜現在の未活動者＞	問 29（２） 各活動を回答した人数	活動したい方の 割合
趣味、スポーツ、レクリエーション	615	170	27.6
学習会、講座	1,774	235	13.2
地域行事	1,690	150	8.9
社会・地域貢献活動	1,496	101	6.8
就労	1,457	48	3.3

※各活動を回答しなかった人数は、1つひとつの活動について、全体の人数－「その活動に参加している人数」－「何もしない」－無回答により算出しています。

（３－１）社会参加の活動をしやすい（続けやすい）なる条件

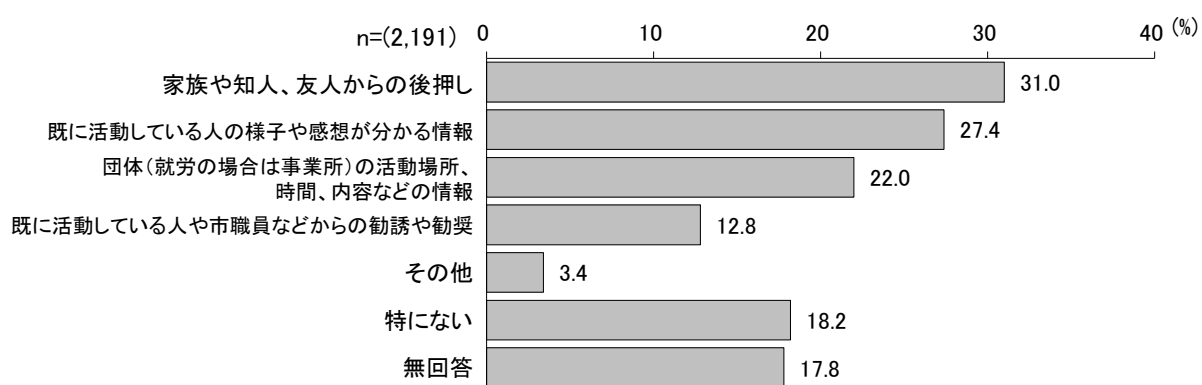
【問 29（２）で「１．」～「５．」に○をつけた方におたずねします。】

問29－１ 何があれば、より活動をしやすい（続けやすい）になりますか。

（あてはまるものすべてに○）

社会参加の今後の意向で、「趣味、スポーツ、レクリエーション」、「学習会、講座」、「社会・地域貢献活動」、「就労」、「地域行事」のいずれかを回答した方に、社会参加の活動をしやすい（続けやすい）なる条件をたずねました。

その結果、「家族や知人、友人からの後押し」が31.0%で最も高く、次いで「既に活動している人の様子や感想が分かる情報」が27.4%などとなっています。一方で、「特にない」が18.2%みられます。



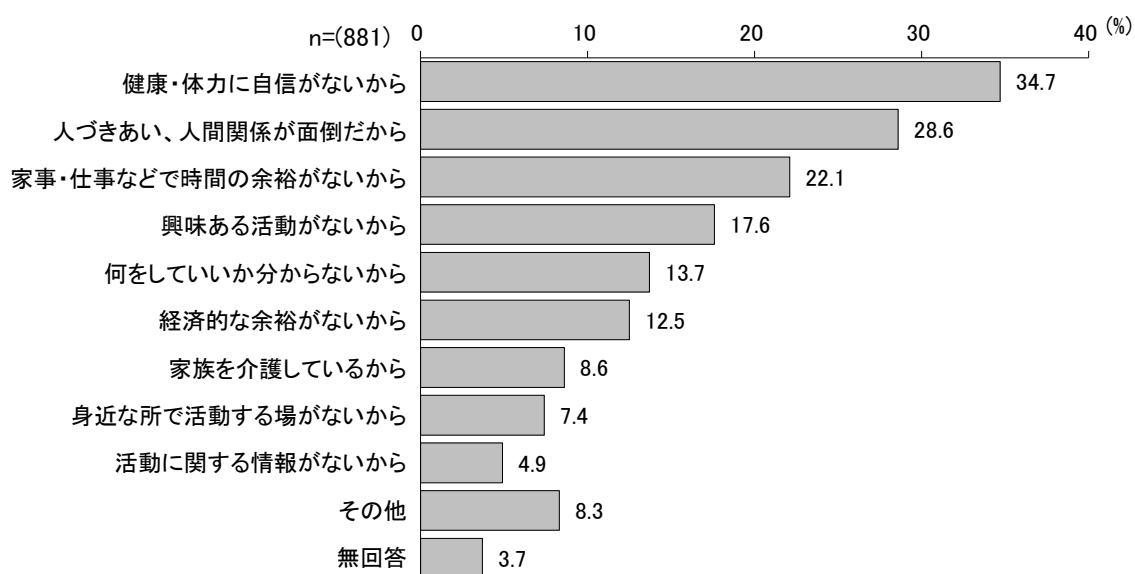
(3-2) 活動したいとは思わない(できない)理由

【問29(2)で「6. 何もうしたいとは思わない(できない)」に○をつけた方におたずねします。】

問29-2 活動をしたいとは思わない(できない)理由は何ですか。

(あてはまるものすべてに○)

社会参加の今後の意向で、「何もうしたいとは思わない(できない)」と回答した方に、活動したいとは思わない(できない)理由をたずねたところ、「健康・体力に自信がないから」が34.7%で最も高く、次いで「人づきあい、人間関係が面倒だから」が28.6%、「家事・仕事などで時間の余裕がないから」が22.1%などとなっています。

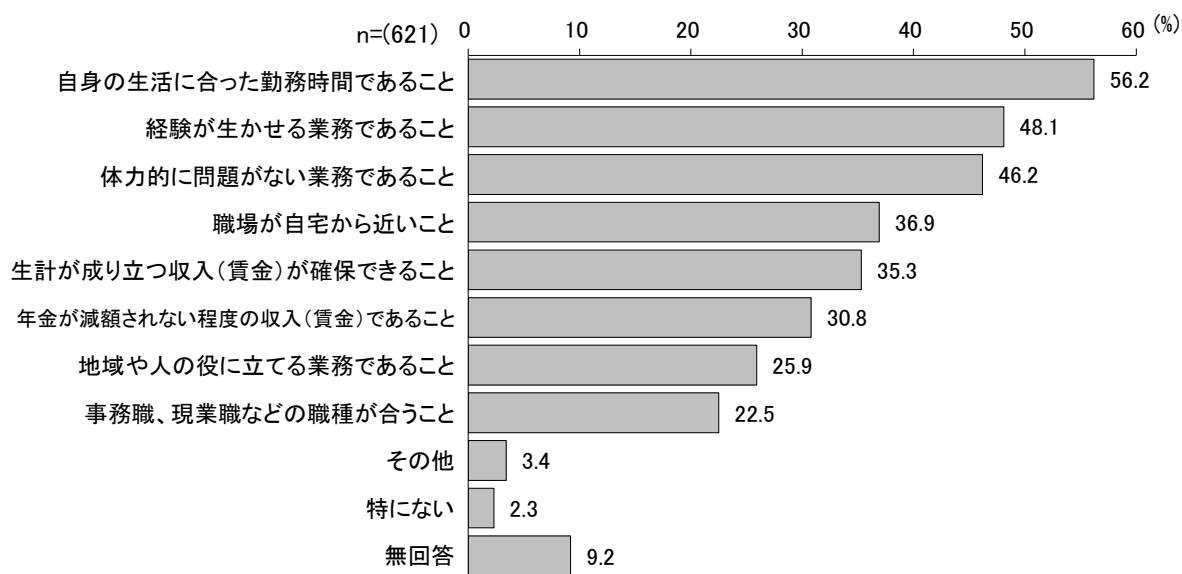


（３－３）就労するうえで重視すること

【問29（１）で「５．就労」、又は、問29（２）で「５．就労」に○をつけた方におたずねします。】

問29－３ 就労するうえで、重視することは何ですか。（あてはまるものすべてに○）

社会参加の状況で「就労」と回答した方、又は社会参加の今後の意向で「就労」と回答した方に、就労するうえで重視することをたずねたところ、「自身の生活に合った勤務時間であること」が56.2%で最も高く、次いで「経験が生かせる業務であること」が48.1%、「体力的に問題がない業務であること」が46.2%などとなっています。



【現在の就労状況と今後の就労意向の場合分けの分析】

この設問は、問29（１）社会参加の状況（35ページ参照）と問29（２）社会参加の今後の意向（36ページ参照）における、就労に焦点をあてた設問です。

問29（１）と問29（２）はそれぞれ独立した設問ですが、就労についての回答状況を場合分けして分析を行いました。場合分けの考え方は、次のとおりです。

- ・問29（１）で「就労」と回答＋問29（２）でも「就労」と回答
＝現在就労していて、今後も就労し続けたい方
- ・問29（１）でのみ「就労」を回答（問29（２）では「就労」を回答していない）
＝現在就労しているが、今後就労意向のない方
- ・問29（２）でのみ「就労」を回答（問29（１）では「就労」を回答していない）
＝現在就労していないが、今後、就労したい方

“現在就労していて、今後も就労し続けたい方”と“現在就労しているが、今後就労意向のない方”では、「自身の生活に合った勤務時間であること」が最も高く、次いで「経験が生かせる業務であること」、「体力的に問題がない業務であること」となっています。一方、“現在就労していないが、今後、就労したい方”では、「自身の生活に合った勤務時間であること」が最も高いことは変わりませんが、2番目に「職場が自宅から近いこと」が続き、他の回答状況との違いがみられます。また、“現在就労していて、今後も就労し続けたい方”では、「生計が成り立つ収入（賃金）が確保できること」も42.4%と4割を超えています。

		自身の生活に合った勤務時間であること	経験が生かせる業務であること	体力的に問題がない業務であること	職場が自宅から近いこと	生計が成り立つ収入（賃金）が確保できること	年金が減額されない程度の収入（賃金）であること	地域や人の役に立っている業務であること	事務職、現業職などの職種が合うこと	その他	特になし	無回答
	n											
全 体	621	56.2	48.1	46.2	36.9	35.3	30.8	25.9	22.5	3.4	2.3	9.2
現在就労していて、今後も就労し続けたい方	288	59.0	52.4	48.6	35.4	42.4	31.6	29.2	22.2	4.2	2.8	2.8
現在就労しているが、今後就労意向のない方	219	48.9	45.2	42.0	32.4	27.4	25.1	21.5	22.8	1.8	2.3	19.6
現在就労していないが、今後、就労したい方	114	63.2	43.0	48.2	49.1	32.5	39.5	26.3	22.8	4.4	0.9	5.3

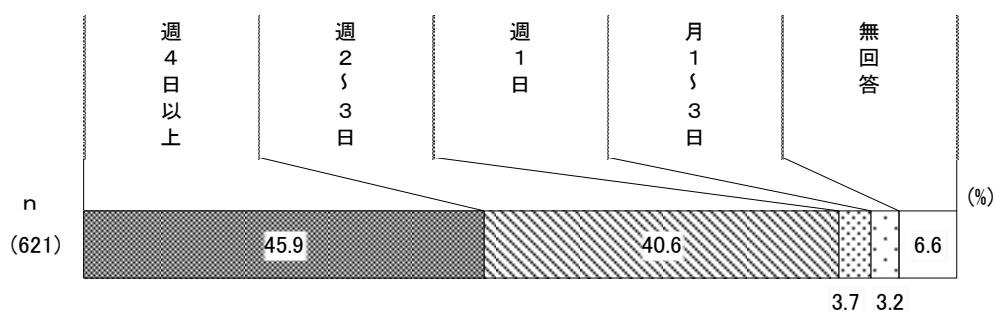
(3-4) 就労(したい)日数

【問29(1)で「5. 就労」、又は、問29(2)で「5. 就労」に○をつけた方におたずねします。】

問29-4 あなたは週にどれくらい仕事をしていますか(したいですか)。

(ひとつだけに○)

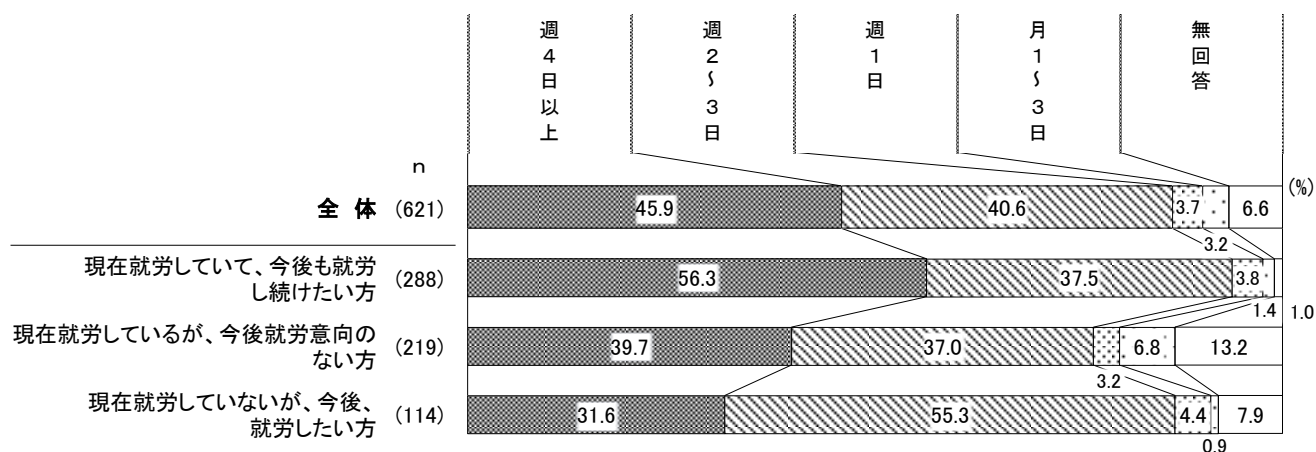
社会参加の状況で「就労」と回答した方、又は社会参加の今後の意向で「就労」と回答した方に、就労(したい)日数をたずねたところ、「週4日以上」が45.9%で最も高く、次いで「週2～3日」が40.6%となっています。



【現在の就労状況と今後の就労意向の場合分けの分析】

この設問についても、就労の回答状況の場合分けの分析を行いました(40ページ参照)。

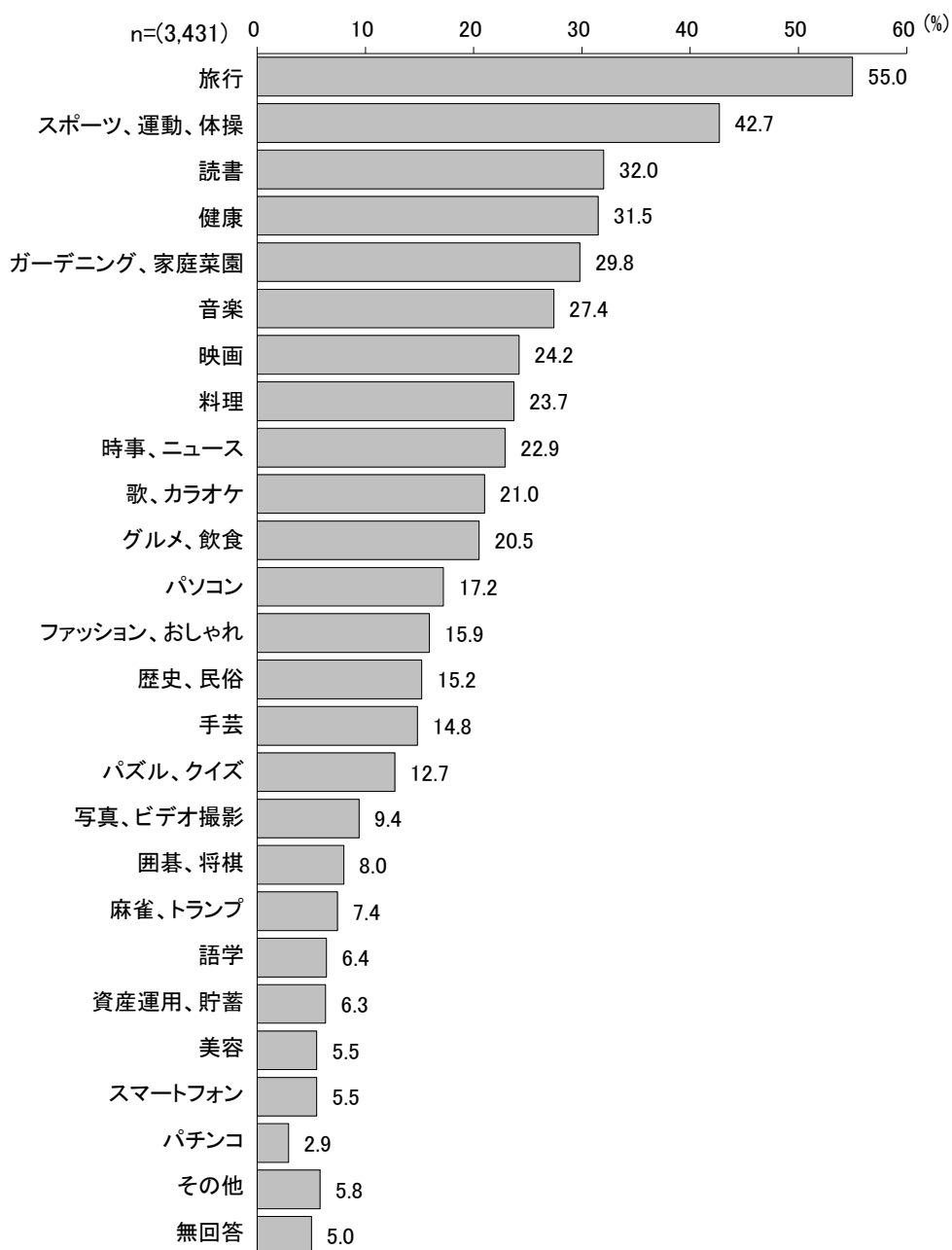
「週4日以上」は“現在就労していて、今後も就労し続けたい方”で56.3%、「週2～3日」は“現在就労していないが、今後、就労したい方”で55.3%と、それぞれ他の回答状況よりも高くなっています。



(4) 興味を持っていること

問30 あなたが興味を持っていることは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

興味を持っていることとしては、「旅行」が55.0%で最も高く、次いで「スポーツ、運動、体操」が42.7%、「読書」が32.0%、「健康」が31.5%、「ガーデニング、家庭菜園」が29.8%、「音楽」が27.4%などとなっています。

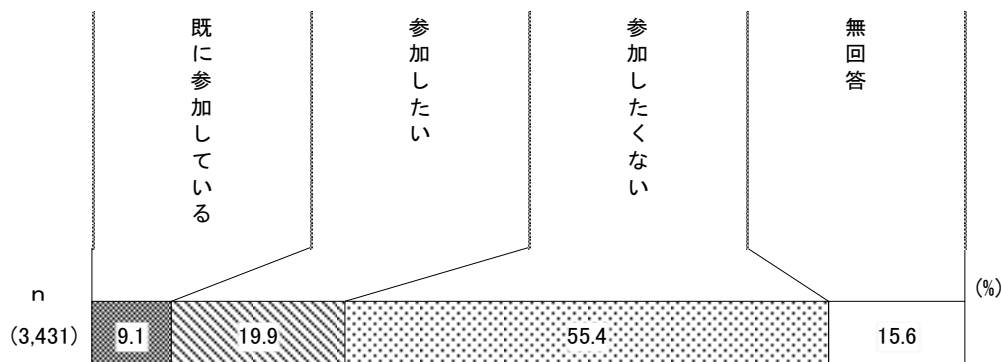


10 今後の「支え合い」のあり方について

(1) 地域のボランティア活動への参加意向

問31 あなたは、地域のボランティア活動に参加したいと思いますか。(ひとつだけに○)

地域のボランティア活動への参加意向では、「既に参加している」が9.1%で、「参加したい」が19.9%となっています。しかし、「参加したくない」が55.4%で最も高くなっています。

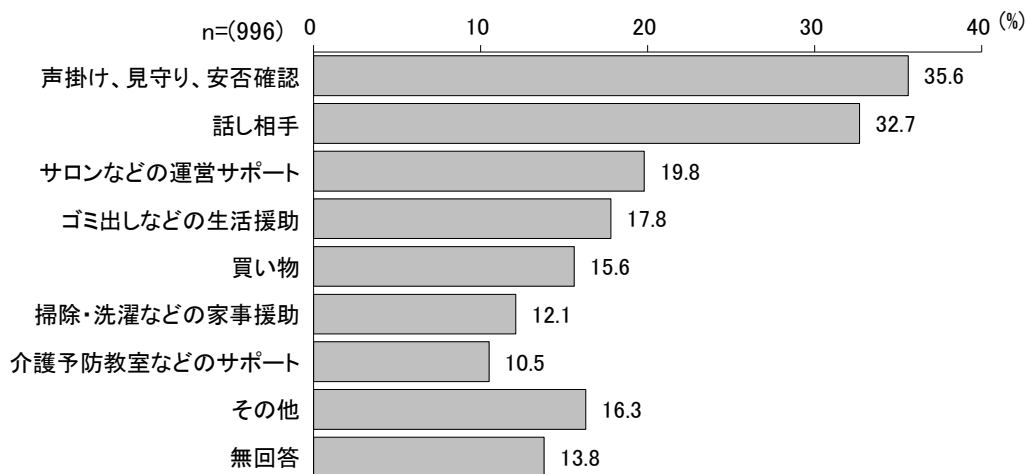


(1-1) ボランティア等で支える側として参加したい(している)活動

【問31で「1. 既に参加している」、又は「2. 参加したい」に○をつけた方におたずねします。】

問31-1 あなたがボランティア等で「支える側」として活動したい(している)内容はどのようなものですか。(あてはまるものすべてに○)

地域のボランティア活動への参加意向で、「既に参加している」、又は「参加したい」と回答した方に、支える側として参加したい(している)活動をたずねたところ、「声掛け、見守り、安否確認」が35.6%で最も高く、次いで「話し相手」が32.7%となっています。このほか、「サロンなどの運営サポート」が19.8%、「ゴミ出しなどの生活援助」が17.8%、「買い物」が15.6%などと続きます。



【地域のボランティア活動への参加意向別にみた割合の詳細】

この設問は、問31地域のボランティア活動への参加意向（44ページ参照）の回答状況によって、結果の解釈が異なります。

そこで、問31の回答状況を掛け合わせることによって、既に参加している方と、参加したい方の参加している、又は参加したいボランティア活動の割合を算出しました。

その結果、既に参加している方は、現状として参加している内容となりますが、「声掛け、見守り、安否確認」が26.3%、「話し相手」が23.7%などとなっています。

参加したい方の内容でも、「声掛け、見守り、安否確認」が39.9%、「話し相手」が36.8%と高くなっています。

										(%)
	n	声掛け、見守り、安否確認	話し相手	サロンなどの運営サポート	ゴミ出しなどの生活援助	買い物	掃除・洗濯などの家事援助	介護予防教室などのサポート	その他	無回答
全 体	996	35.6	32.7	19.8	17.8	15.6	12.1	10.5	16.3	13.8
既に参加している	312	26.3	23.7	20.2	9.9	7.4	9.3	4.8	42.3	12.8
参加したい	684	39.9	36.8	19.6	21.3	19.3	13.5	13.2	4.4	14.2

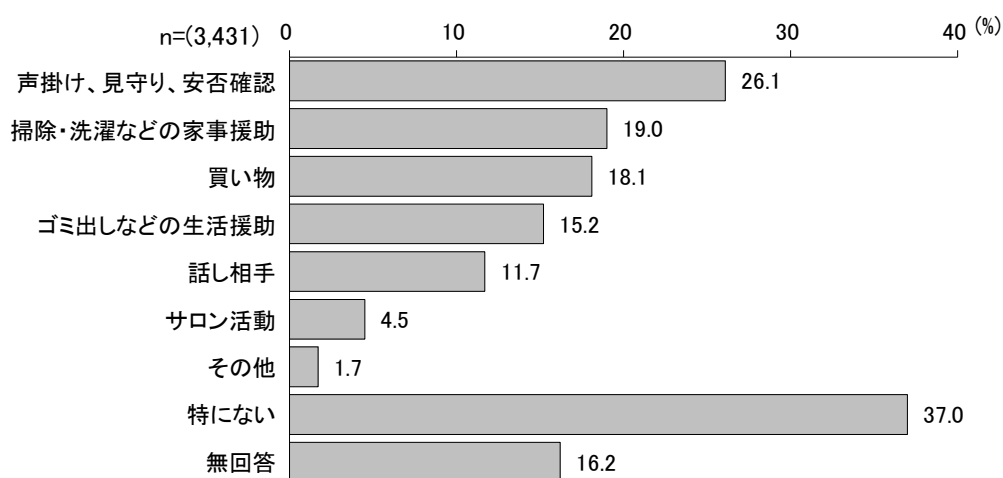
（２）ボランティア等へ支えられる側としてお願いしたい内容

問32 あなたは将来、ボランティア等に「支えられる側」としてお願いしたいと思う内容又はボランティア等に既にお願している内容はどのようなものですか。

（あてはまるものすべてに○）

ボランティア等へ支えられる側としてお願いしたい内容では、《お願いしたい内容がある》が46.8%で、「特にない」が37.0%となっています。

お願いしたい内容の中では、「声掛け、見守り、安否確認」が26.1%で最も高く、次いで「掃除・洗濯などの家事援助」が19.0%、「買い物」が18.1%などとなっています。

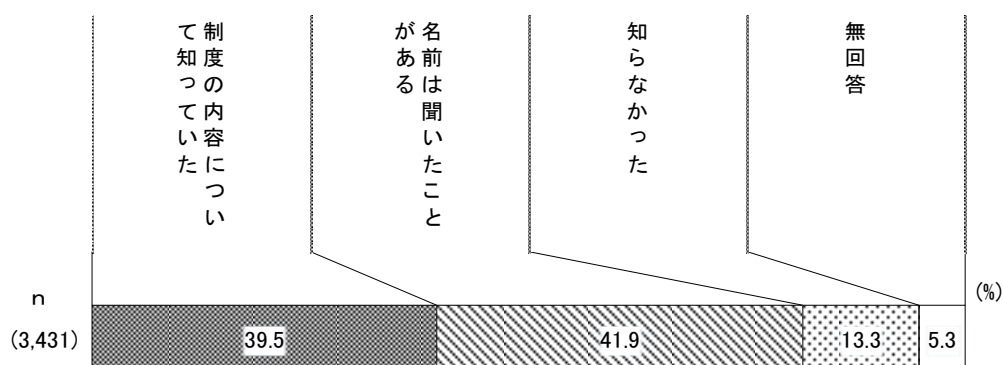


※ 《お願いしたい内容がある》＝100%－「特にない」－無回答

（３）成年後見制度の認知度

問33 あなたは、成年後見制度について知っていますか。（ひとつだけに○）

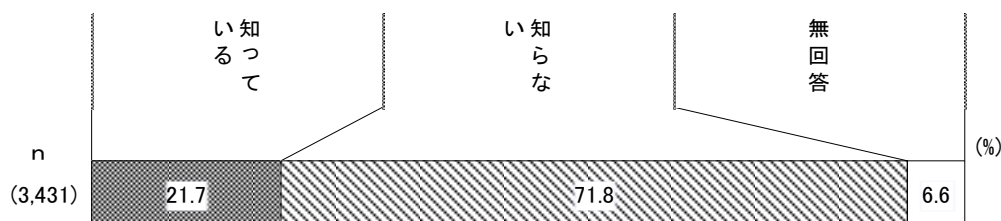
成年後見制度について、「制度の内容について知っていた」が39.5%、「名前は聞いたことがある」が41.9%と、4割前後でおおむね並んでいます。これらを合わせた《知っている》は81.4%です。一方、「知らなかった」が13.3%みられます。



(4) 成年後見制度の利用・相談窓口の認知度

問34 本市に成年後見制度の利用・相談窓口があることを知っていますか。
(ひとつだけに○)

市に成年後見制度の利用・相談窓口があることを、「知っている」は21.7%で、「知らない」が71.8%と高くなっています。

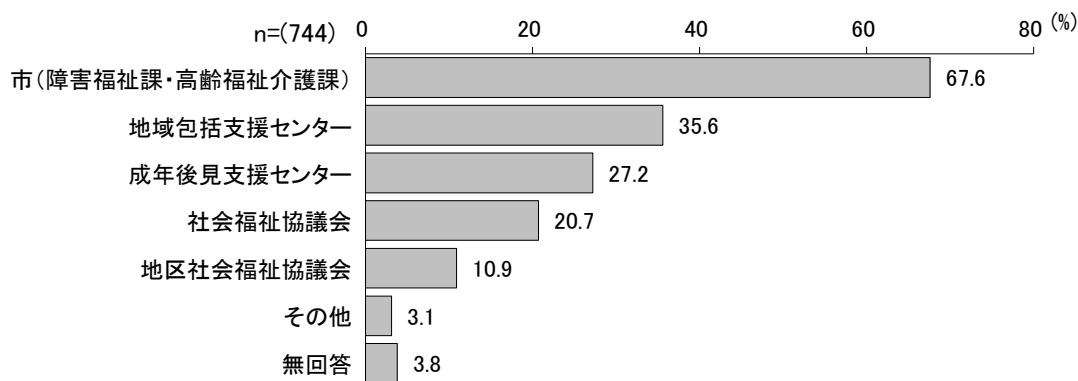


(4-1) 知っている相談窓口

【問34で「1. 知っている」に○をつけた方におたずねします。】

問34-1 あなたの知っている相談窓口はどこですか。(あてはまるものすべてに○)

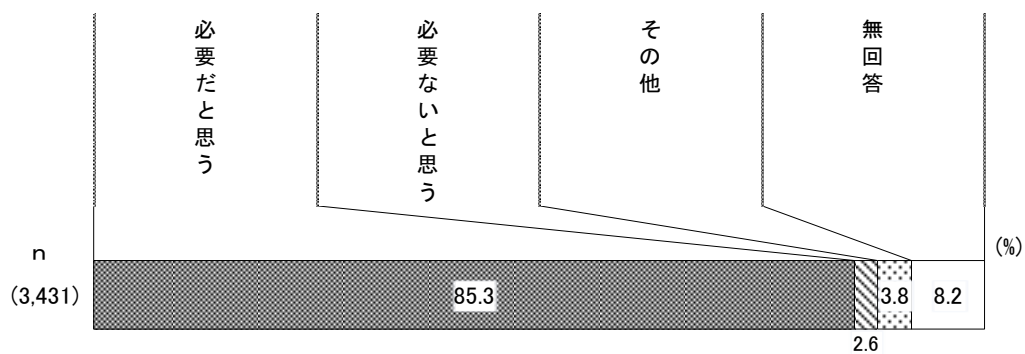
市に成年後見制度の利用・相談窓口があることを、「知っている」と回答した方に、どの相談窓口を知っているかたずねたところ、「市(障害福祉課・高齢福祉介護課)」が67.6%で最も高く、次いで「地域包括支援センター」が35.6%、「成年後見支援センター」が27.2%などとなっています。



(5) 防災無線による行方不明の高齢者等の市民への呼びかけについての考え

問35 あなたは、防災無線を使って、行方不明の高齢者等を市民に呼びかけて捜していることについて、どうお考えですか。(ひとつだけに○)

防災無線による行方不明の高齢者等の市民への呼びかけについては、「必要だと思う」が85.3%と高くなっています。

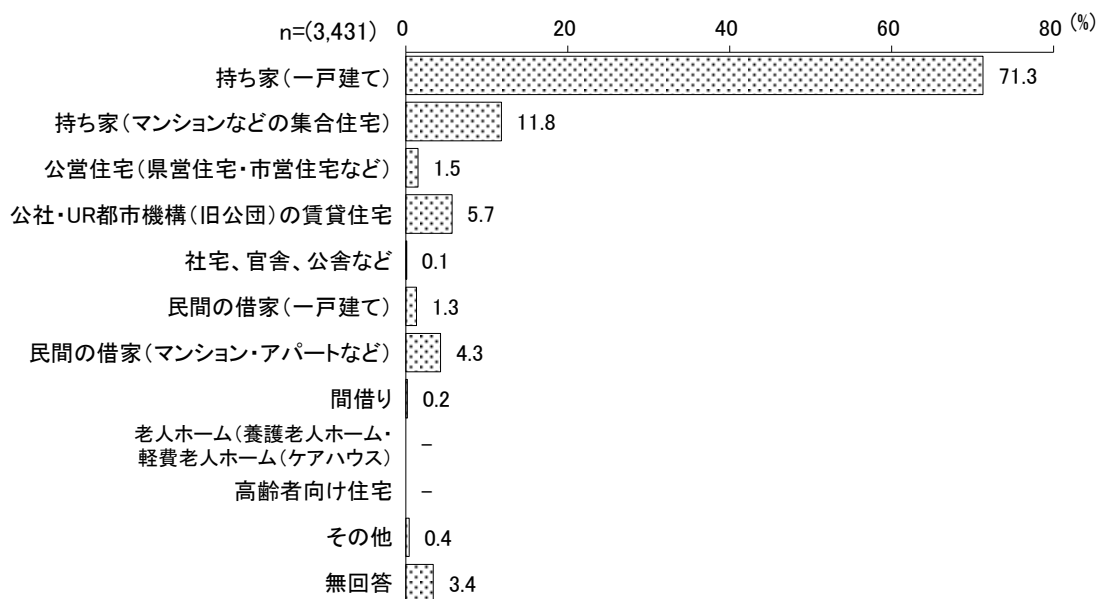


11 住まいについて

(1) 住まいの種類

問36 あなたのお住まいについておたずねします。(ひとつだけに○)

住まいの種類は、「持ち家（一戸建て）」が71.3%で最も高く、次いで「持ち家（マンションなどの集合住宅）」が11.8%などとなっています。



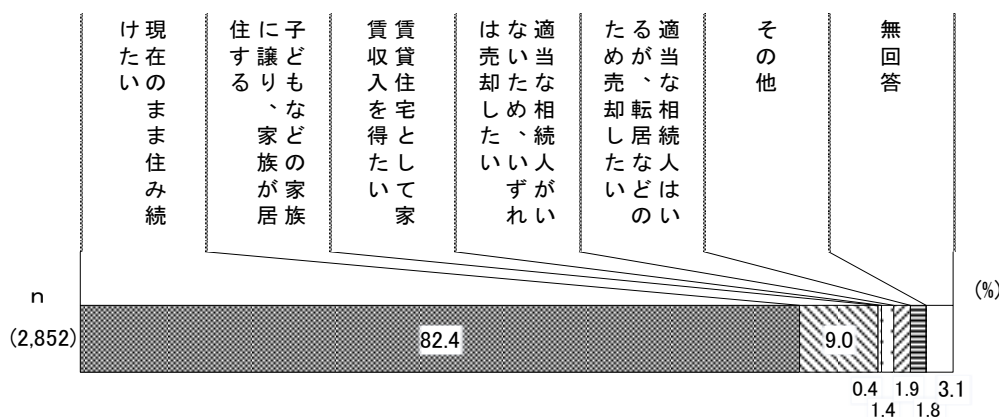
(1-1) 今後10年の間の住宅の利用予定

【問36で「1. 持ち家（一戸建て）」、「2. 持ち家（マンションなどの集合住宅）」に○をつけた方におたずねします。】

問36-1 今後10年の間に、住宅（持ち家）はどのように利用される予定ですか。

(ひとつだけに○)

住まいの種類で、「持ち家（一戸建て）」、「持ち家（マンションなどの集合住宅）」と回答した方に、今後10年の間の利用予定をたずねたところ、「現在のまま住み続けたい」が82.4%で最も高く、次いで「子どもなどの家族に譲り、家族が居住する」が9.0%となっています。



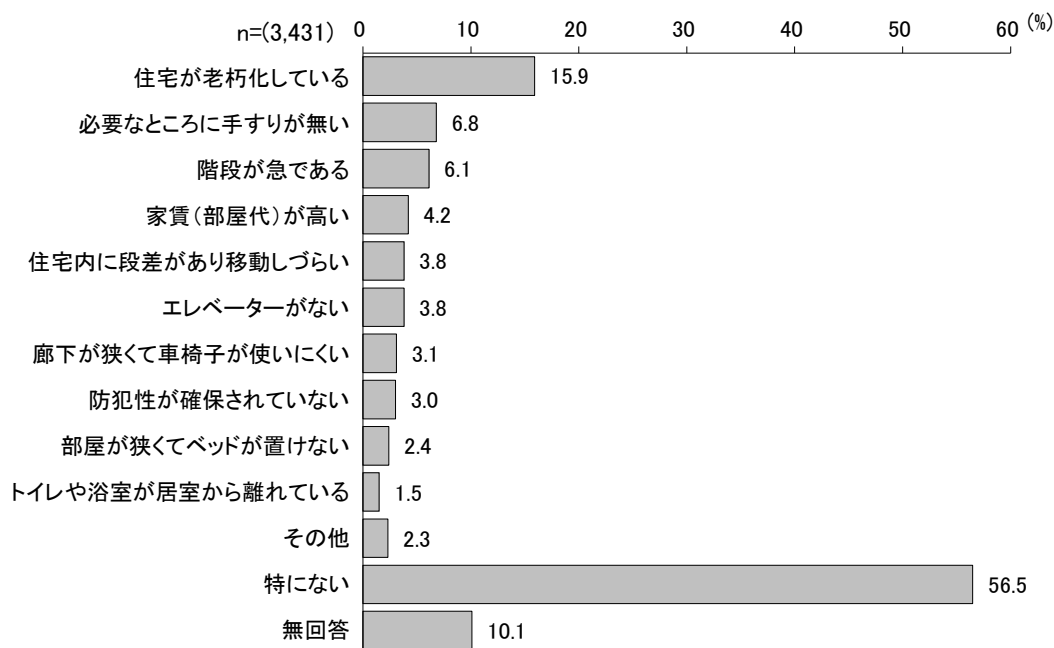
(2) 現在の住まいで困っていること

問37 あなたは、現在のお住まいで困っていることはありますか。

(あてはまるものすべてに○)

現在の住まいで困っていることでは、《困っていることがある》が33.4%で、「特にない」が56.5%となっています。

困っていることの中では、「住宅が老朽化している」が15.9%で最も高くなっています。



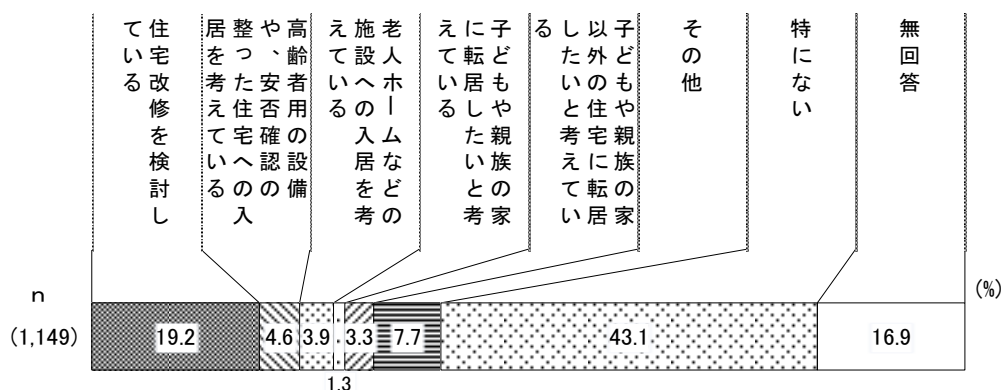
※《困っていることがある》＝100%－「特にない」－無回答

(2-1) 住まいで困っていることを解消するための対策

【問37で「1.」～「11.」に○をつけた方におたずねします。】

問37-1 あなたは、お住まいで困っていることを解消するため何か対策を考えていますか。(ひとつだけに○)

現在の住まいで困っているで、《困っていることがある》と回答した方に、解消するための対策を考えているかたずねたところ、「特にない」が43.1%で最も高くなっています。「住宅改修を検討している」は19.2%です。



12 防災について

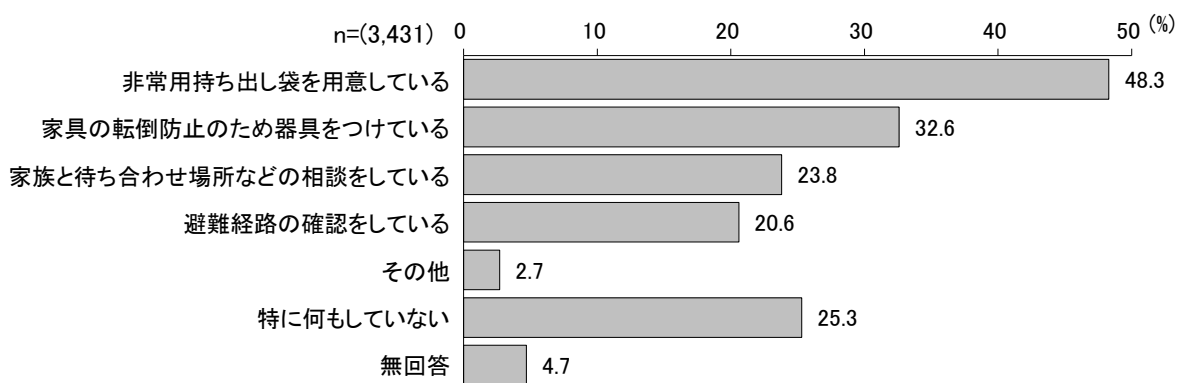
(1) 大きな災害に備えた対策

問38 あなたは、大きな災害に備えて、何か対策をしていますか。

(あてはまるものすべてに○)

大きな災害に備えた対策では、《対策をしている》が70.0%で、「特に何もしていない」が25.3%となっています。

対策をしている中では、「非常用持ち出し袋を用意している」が48.3%で最も高く、次いで「家具の転倒防止のため器具をつけている」が32.6%などとなっています。



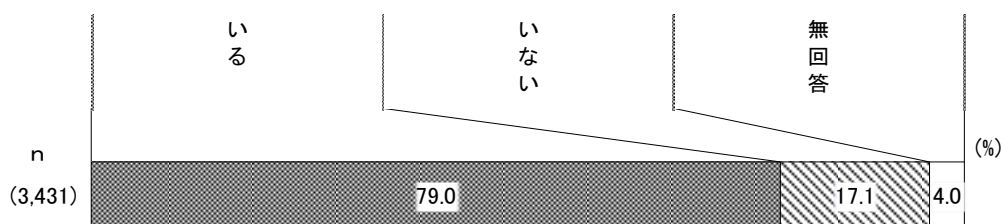
※《対策をしている》＝100%－「特に何もしていない」－無回答

(2) 災害時や緊急時に身近で手助けしてくれる人の有無

問39 あなたは、災害時や緊急時に身近で手助けしてくれる人がいますか。

(ひとつだけに○)

災害時や緊急時に身近で手助けしてくれる人が、「いる」が79.0%で高くなっていますが、「いない」が17.1%みられます。

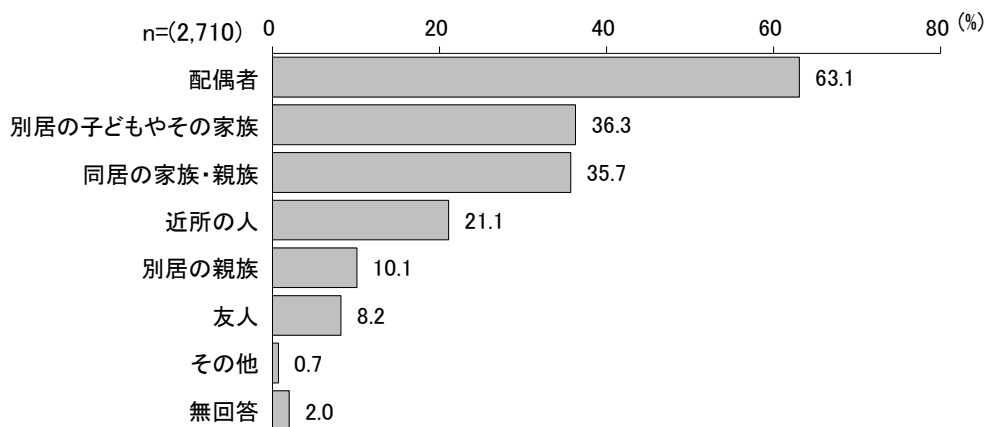


（２－１）災害時や緊急時に身近で手助けしてくれる人

【問39で「１．いる」に○をつけた方におたずねします。】

問39－１ その方はどなたですか。（あてはまるものすべてに○）

災害時や緊急時に身近で手助けしてくれる人が「いる」と回答した方に、誰が手助けしてくれるのかをたずねたところ、「配偶者」が63.1%で最も高く、次いで「別居の子どもやその家族」が36.3%、「同居の家族・親族」が35.7%などとなっています。



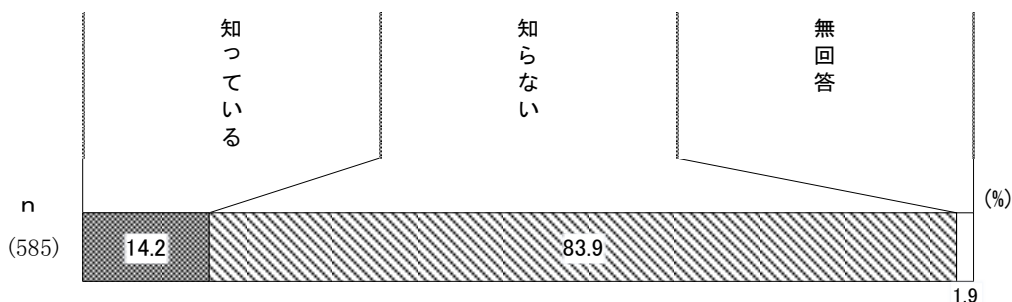
（２－２）災害時要援護者支援制度の認知度

【問39で「２．いない」に○をつけた方におたずねします。】

問39－２ 市では、災害時要援護者支援制度という、障害者や高齢者など、日常生活の中で手助けを必要とする人に対して、災害時などに地域の中で支援を受けられるようにする制度があります。

あなたは、この制度を知っていますか。（ひとつだけに○）

災害時や緊急時に身近で手助けしてくれる人が「いない」と回答した方に、災害時要援護者支援制度の認知度をたずねたところ、「知っている」が14.2%で、「知らない」が83.9%と高くなっています。



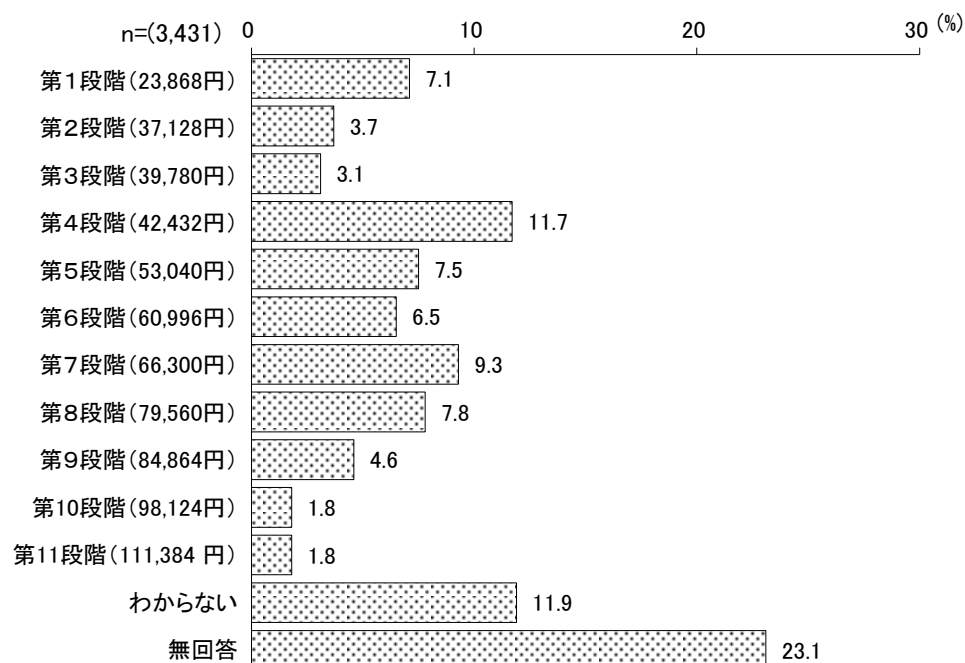
13 介護保険について

(1) 介護保険の所得段階区分

問40 あなたの介護保険の「所得段階区分」は、どの段階ですか。

平成28年度納入通知書の所得段階区分をご確認ください。ご不明な方は、納入通知書をご覧ください。(ひとつだけに○)

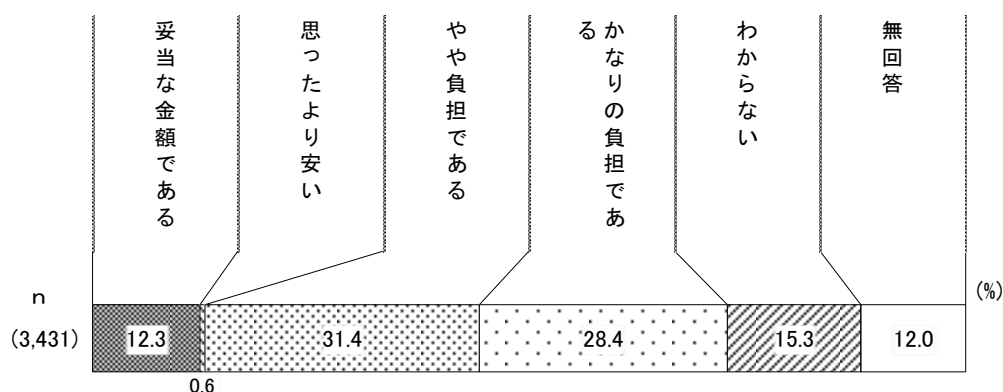
介護保険の所得段階区分では、「第4段階(42,432円)」が11.7%で最も高く、次いで「第7段階(66,300円)」が9.3%となっています。このほか、「第8段階(79,560円)」が7.8%、「第5段階(53,040円)」が7.5%、「第1段階(23,868円)」が7.1%などと続いています。



(2) 介護保険料の支払い額について

問41 介護保険料の支払い額について、どのように思いますか。(ひとつだけに○)

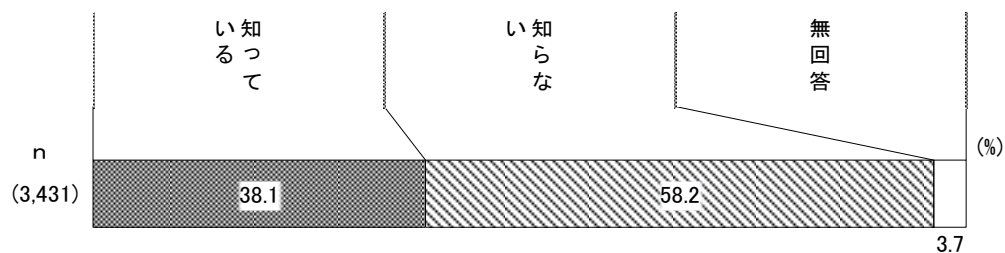
介護保険料の支払い額については、「妥当な金額である」が12.3%、「思ったより安い」が0.6%となっています。一方、「やや負担である」が31.4%で最も高く、「かなりの負担である」(28.4%)を合わせた《負担である》は59.8%です。



(3) 地域を担当している地域包括支援センターの認知度

問42 あなたは、あなたの地域を担当している「地域包括支援センター」がどこにあるか知っていますか。(ひとつだけに○)

地域を担当している地域包括支援センターについて、「知っている」は38.1%で、「知らない」が58.2%と高くなっています。

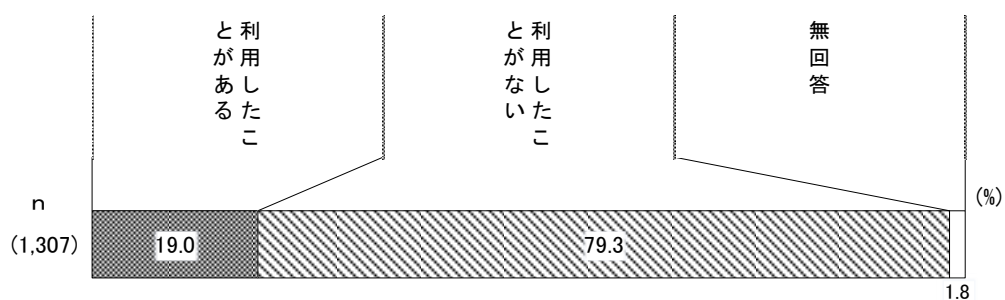


(3-1) 地域包括支援センターの利用状況

【問42で「1. 知っている」に○をつけた方におたずねします。】

問42-1 あなたは、「地域包括支援センター」を利用したことがありますか。(ひとつだけに○)

地域を担当している地域包括支援センターを、「知っている」と回答した方に、利用状況をたずねたところ、「利用したことがある」は19.0%で、「利用したことがない」が79.3%と高くなっています。

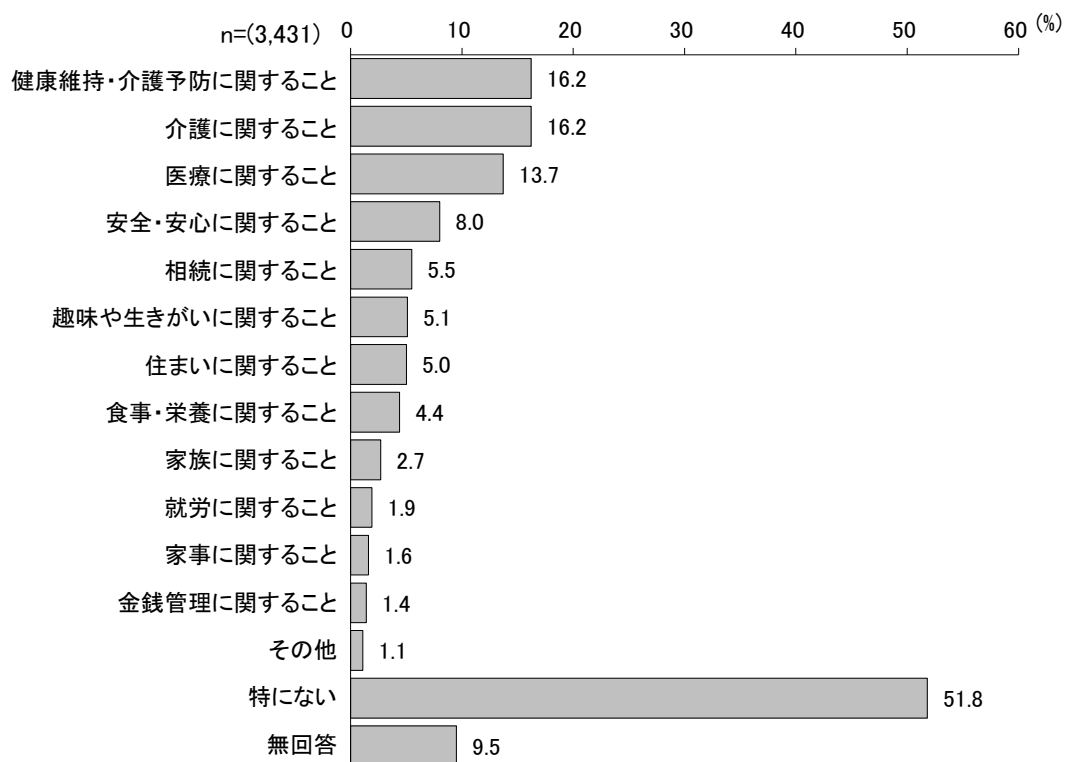


(4) 身近な公的機関等に相談したいこと

問43 あなたは、身近な公的機関等に対し、どのようなことを相談したいですか。
(あてはまるものすべてに○)

身近な公的機関等に相談したいことでは、《相談したいことがある》が38.7%で、「特にない」が51.8%となっています。

相談したいことの中では、「健康維持・介護予防に関すること」と「介護に関すること」が16.2%で並んで高く、次いで「医療に関すること」が13.7%などとなっています。

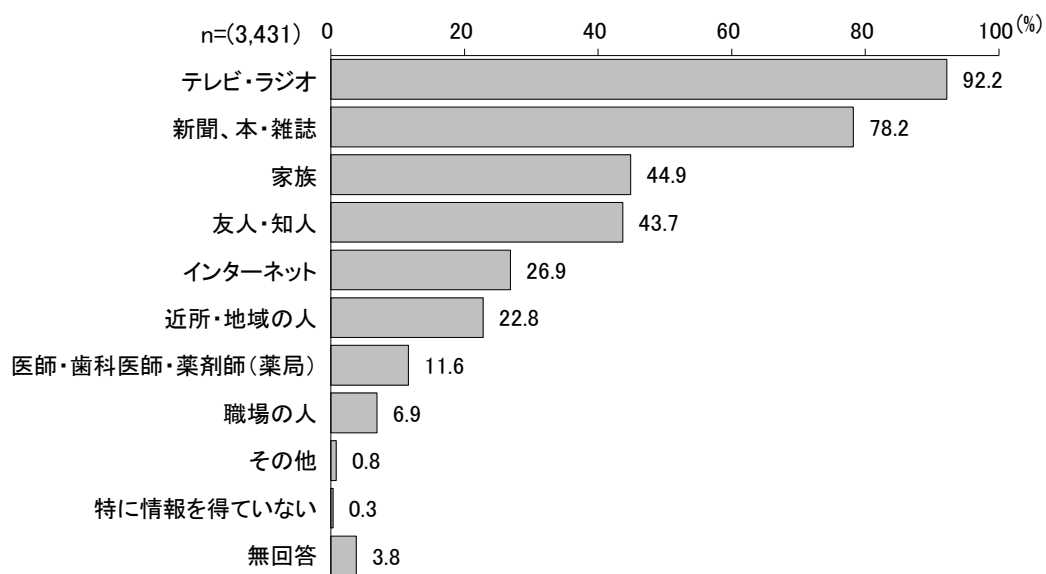


※《相談したいことがある》＝100%－「特にない」－無回答

(5) 生活の情報源

問44 あなたは普段生活をしている中で、どのようなところで様々な情報を得ることが多いですか。(あてはまるものすべてに○)

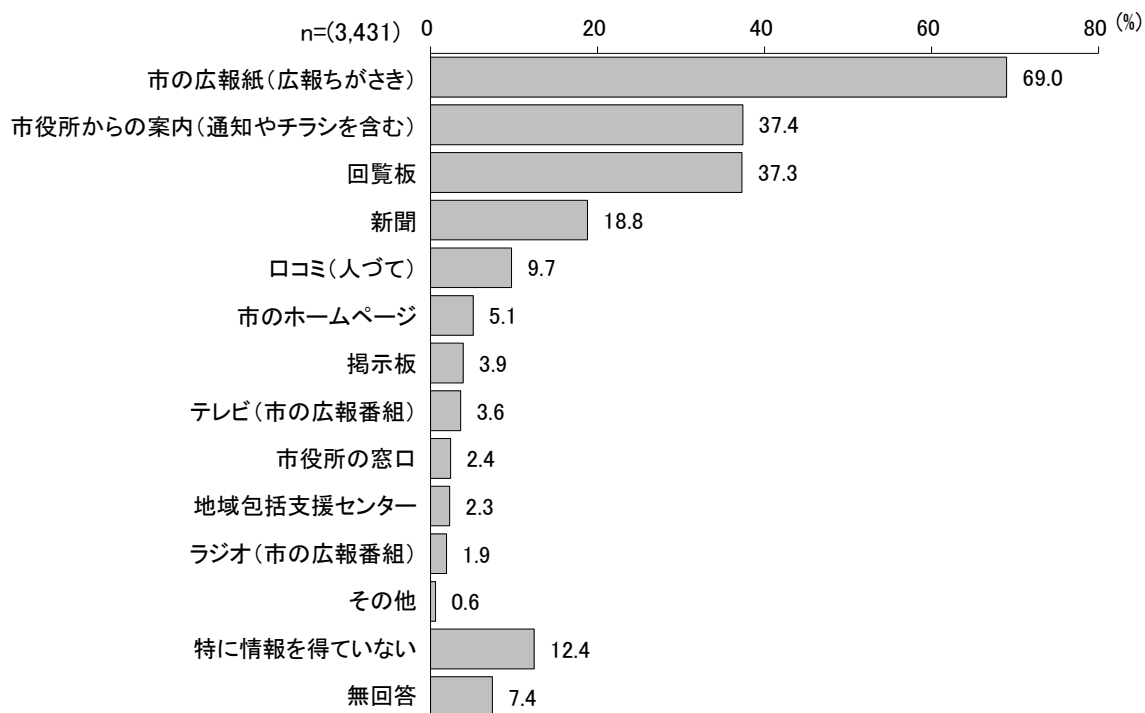
生活の情報源としては、「テレビ・ラジオ」が92.2%で最も高く、次いで「新聞、本・雑誌」が78.2%となっています。このほか、「家族」が44.9%、「友人・知人」が43.7%などとなっています。



（６）市からの介護保険や高齢者福祉に関する情報源

問45 市からの、介護保険や高齢者福祉に関する情報について、どのようなところで得ることが多いですか。（あてはまるものすべてに○）

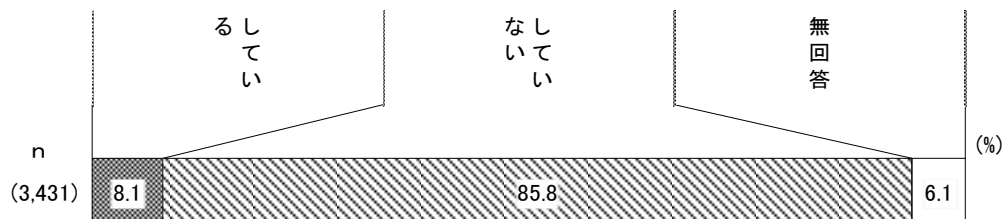
市からの介護保険や高齢者福祉に関する情報源としては、「市の広報紙（広報ちがさき）」が69.0%で最も高く、次いで「市役所からの案内（通知やチラシを含む）」が37.4%、「回覧板」が37.3%、「新聞」が18.8%などとなっています。一方、「特に情報を得ていない」が12.4%みられます。



(7) 家族介護の状況

問46 あなたは現在、家族の介護をしていますか。(ひとつだけに○)

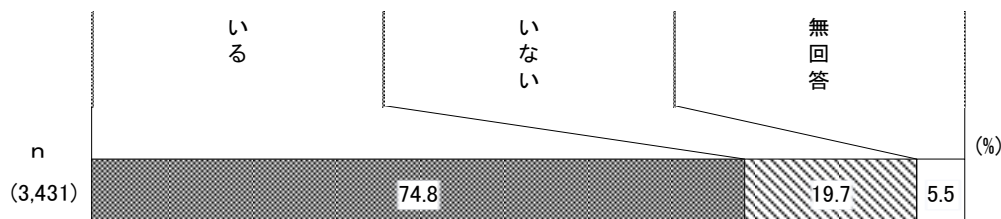
家族の介護を「している」は8.1%で、「していない」が85.8%と高くなっています。



(8) 介護が必要となったときの介護予定者の有無

問47 あなたは、介護が必要となったとき、日常生活の世話をしてくれる人（介護予定者）はいますか。(ひとつだけに○)

介護が必要となったときに、介護予定者が「いる」は74.8%と高く、「いない」が19.7%となっています。

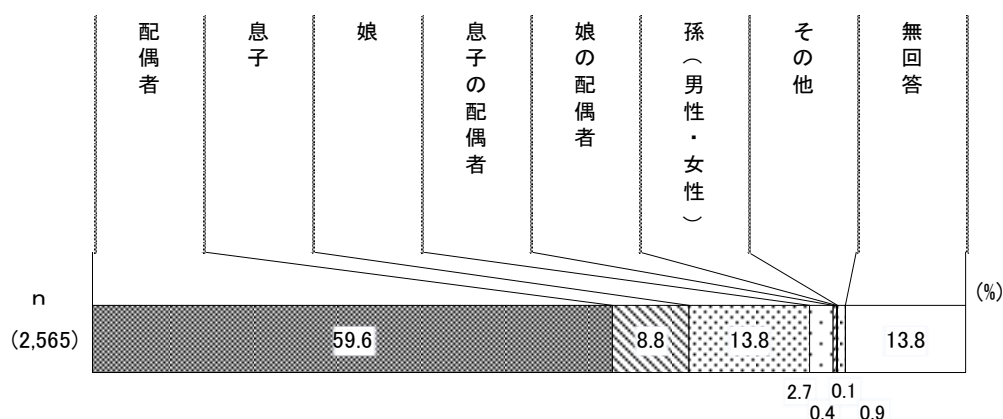


(8-1) 主な介護予定者

【問47で「1. いる」に○をつけた方におたずねします。】

問47-1 主な介護予定者はどなたですか。(ひとつだけに○)

介護予定者が「いる」と回答した方に、主な介護予定者をたずねたところ、「配偶者」が59.6%で最も高く、次いで「娘」が13.8%などとなっています。

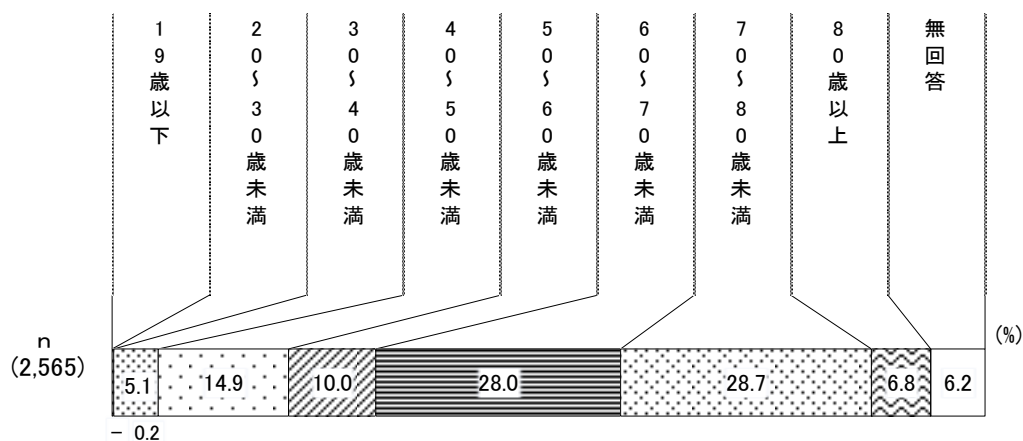


(8-2) 主な介護予定者の年齢

【問47で「1. いる」に○をつけた方におたずねします。】

問47-2 主な介護予定者の年齢についておたずねします。(ひとつだけに○)

介護予定者が「いる」と回答した方に、主な介護予定者の年齢がたずねたところ、「70～80歳未満」が28.7%で最も高く、次いで「60～70歳未満」が28.0%となっています。これらに「80歳以上」(6.8%)を合わせると、「60歳以上」は63.5%です。

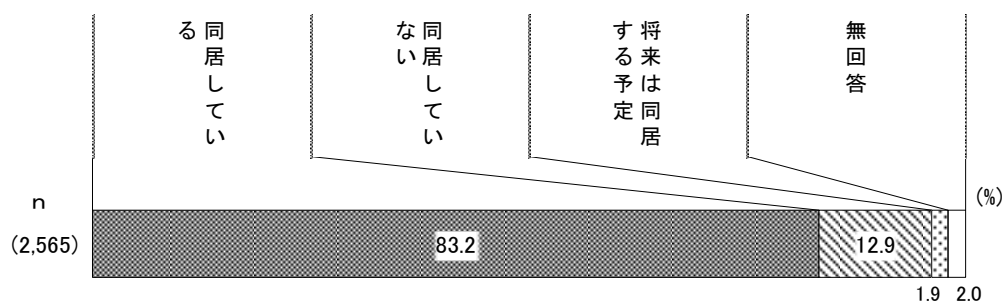


(8-3) 主な介護予定者の同居の有無

【問47で「1. いる」に○をつけた方におたずねします。】

問47-3 主な介護予定者は、あなたと同居していますか。(ひとつだけに○)

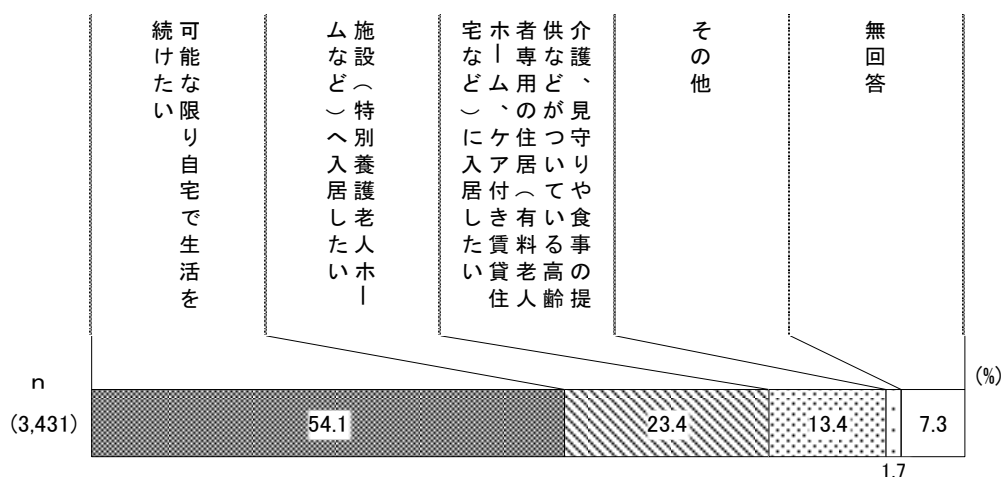
介護予定者が「いる」と回答した方に、主な介護予定者の同居の有無をたずねたところ、「同居している」が83.2%と高く、「同居していない」が12.9%となっています。



(9) 介護が必要となったときに希望する介護

問48 あなたは、寝たきりや認知症になるなど、介護が必要になったとき、どのような介護を希望しますか。(ひとつだけに○)

介護が必要となったときに希望する介護では、「可能な限り自宅で生活したい」が54.1%で最も高くなっています。次いで「施設（特別養護老人ホームなど）へ入居したい」が23.4%、「介護、見守りや食事の提供などがついていない高齢者専用の住居（有料老人ホーム、ケア付き賃貸住宅など）に入居したい」が13.4%です。

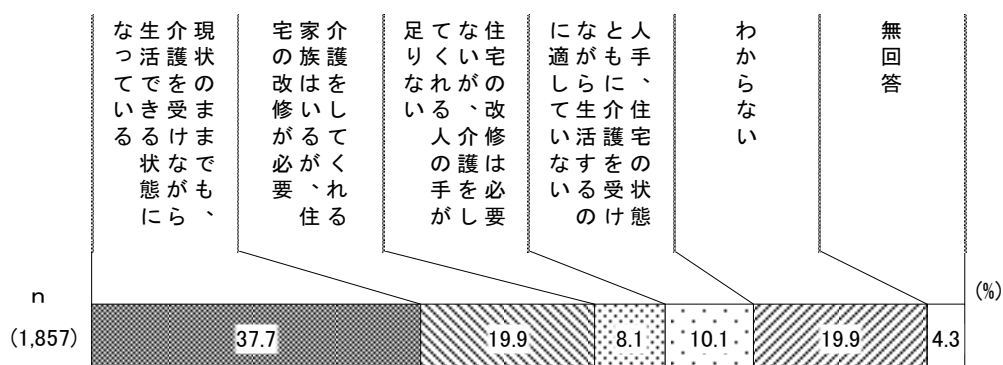


(9-1) 自宅等の介護対応度

【問48で「1. 可能な限り自宅で生活したい」に○をつけた方におたずねします。】
問48-1 あなたの自宅、もしくは子どもや親戚の家は、介護を受けながら生活するのに適した状態になっていると思いますか。(ひとつだけに○)

介護が必要となったときに希望する介護で、「可能な限り自宅で生活したい」と回答した方に、自宅等が介護を受けながら生活するのに適した状態になっているかたずねました。

その結果、「現状のままだでも、介護を受けながら生活できる状態になっている」が37.7%で最も高くなっています。一方、「介護をしてくれる家族はいるが、住宅の改修が必要」は19.9%、「住宅の改修は必要ないが、介護をしてくれる人の手が足りない」(8.1%)と「人手、住宅の状態ともに介護を受けながら生活するのに適していない」(10.1%)は1割前後となっています。



14 自由回答

(1) 高齢者福祉サービスや介護保険サービスについての市への要望や意見

問49 最後になりますが、高齢者福祉サービスや介護保険サービスについて、市へのご要望、ご意見などがございましたら、お聞かせください。

回答者から寄せられた自由回答の総数は818件でした。回答の主な内容は、以下のとおりです。

なお、「介護保険、福祉などに関する情報提供、及び情報発信に対する要望」が122件と最も多く、内容としては、「現在は元気に生活をしているので実感がないが、いざ必要となった時にすぐ行動できるように、サービスの内容がわかりやすく説明されたパンフレットのようなものを作って市民に配布してほしい」、「介護予防事業がこんなにたくさんあるとは知らなかった。認識不足と思うが、まとめて詳しくなにかの方法で知らせていただくとありがたい」といったものが多くみられました。

【介護保険サービスに対する要望・意見】

①介護保険サービスの充実に対する要望	70 件
②介護サービスの質の向上に関すること	30 件
③要支援・要介護状態区分の認定に関すること	11 件

【費用負担に関する要望・意見】

①介護保険料に関すること	57 件
②費用負担全般に関すること（生活費、医療費等を含む）	48 件

【茅ヶ崎市の高齢者保健福祉に関する要望・意見】

①介護予防・健康づくりに関すること	29 件
②福祉サービスの充実に関すること	55 件

【まちづくり、生きがいづくりに関すること】

①ハード面の整備に関すること（施設、道路の整備バリアフリー化）	98 件
②ソフト面の整備に関すること（行事、ボランティア活動等）	37 件

【その他】

①介護保険、福祉などに関する情報提供、及び情報発信に対する要望	122 件
②茅ヶ崎市に対する要望・意見	106 件
③「現状ではまだわからない」、「これから考えたい」という回答	114 件
④「元気で自立した生活を送りたい」という意向	60 件
⑤上記以外（その他の意見、メッセージ等）	113 件

※複数の項目について記入されている回答もあるため、各項目における回答件数の合計と自由回答の総数は一致しません。

第3章 要支援・要介護認定者 個別調査（在宅）

第3章 要支援・要介護認定者個別調査（在宅）

1 記入者等について

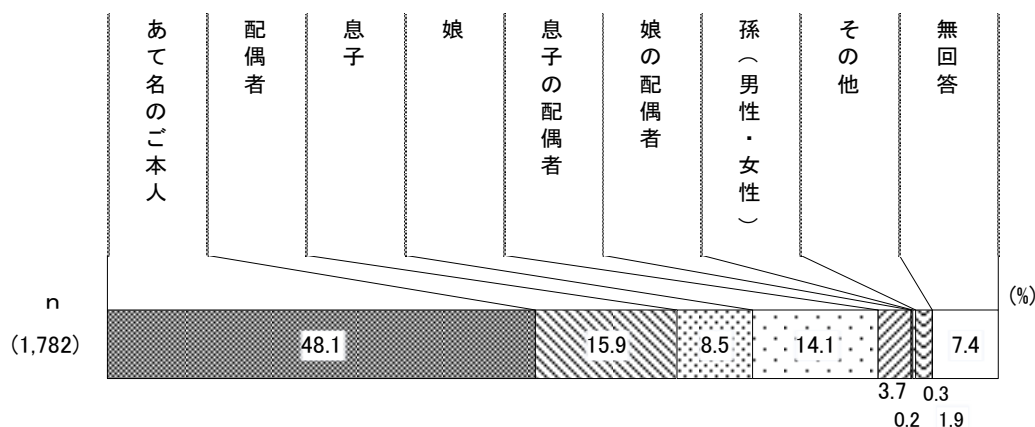
（1）資格喪失や施設入所の有無

回収された調査票1,979件のうち、調査実施時点で「要支援・要介護認定を受けていない、または市外転出などにより資格を喪失している」との回答が36件、「要支援・要介護認定を受けていて、施設に入所している」との回答が161件ありました。そのため、本調査の有効回答数は1,782件です。

（2）調査回答者

この調査票にご記入いただいているのは、どなたですか。（ひとつだけに○）

調査回答者は、「あて名のご本人」が48.1%で最も高く、次いで「配偶者」が15.9%、「娘」が14.1%などとなっています。

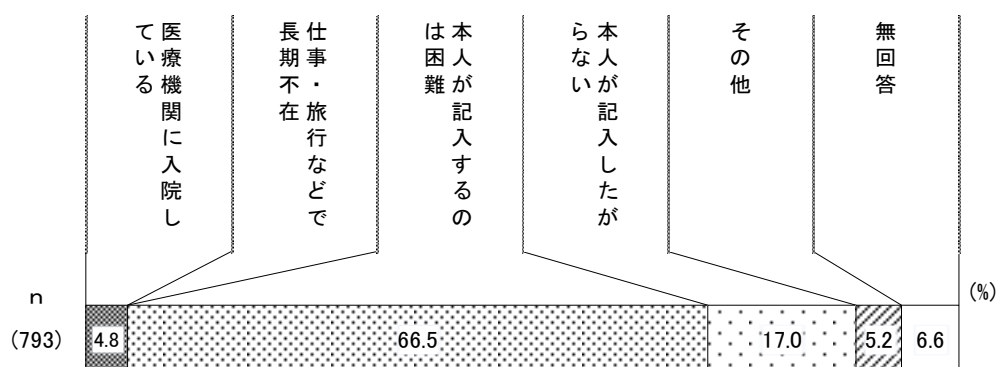


（2－1）本人に代わって記入した理由

【あて名のご本人以外が記入している場合お答えください。】

◇ご本人に代わって記入した理由をお聞かせください。（ひとつだけに○）

本人以外が記入していると回答した方に、代わって記入した理由をたずねたところ、「本人が記入するのは困難」が66.5%で最も高く、次いで「本人が記入したくない」が17.0%となっています。

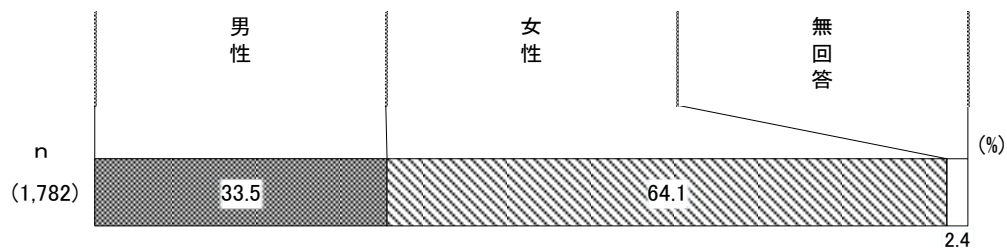


2 回答者（調査対象者）について

（１）性別

問１ あなたの性別をおたずねします。（ひとつだけに○）

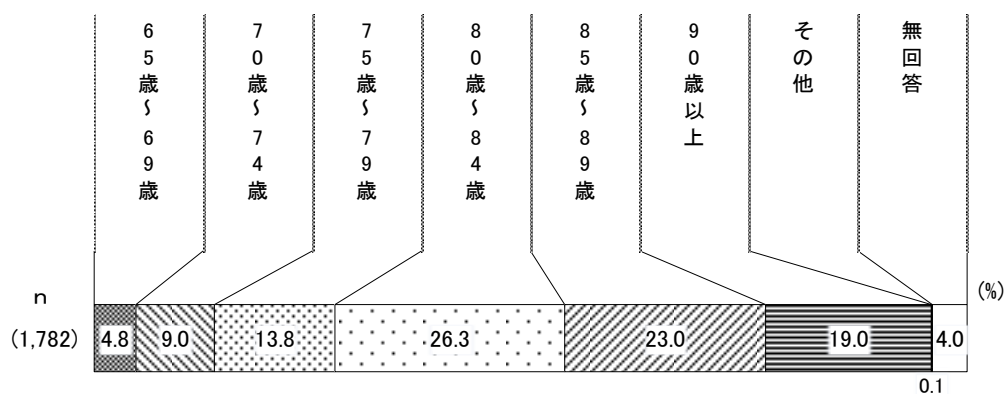
調査対象者の性別は、「男性」が33.5%、「女性」が64.1%となっています。



（２）年齢

問２ あなたの年齢はおいくつですか。（平成28年10月1日現在の満年齢）
（ひとつだけに○）

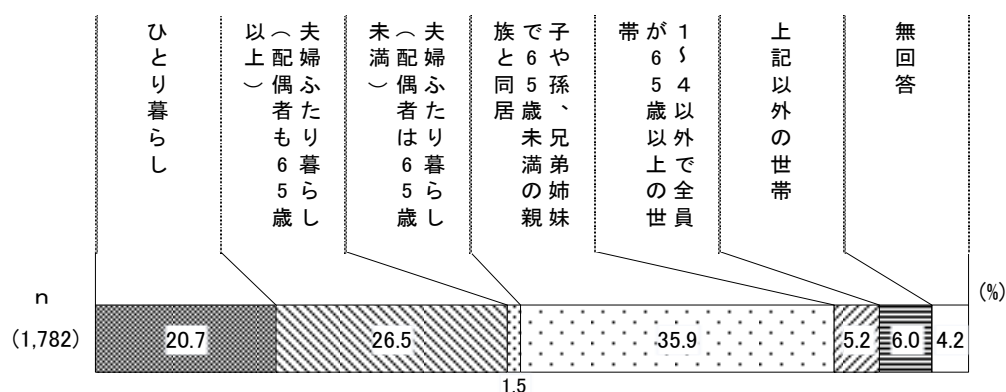
調査対象者の年齢は、「65歳～69歳」が4.8%、「70歳～74歳」が9.0%で、これらを合わせた《前期高齢者》は13.8%となっています。一方、「75歳～79歳」（13.8%）、「80歳～84歳」（26.3%）、「85歳～89歳」（23.0%）、「90歳以上」（19.0%）を合わせた《後期高齢者》は82.1%です。



(3) 家族構成

問3 あなたの家族構成をご記入ください。二世帯住宅の場合は同居と扱います。
(ひとつだけに○)

調査対象者の家族構成は、「子や孫、兄弟姉妹で65歳未満の親族と同居」が35.9%で最も高く、次いで「夫婦ふたり暮らし(配偶者も65歳以上)」が26.5%となっています。なお、「ひとり暮らし」は20.7%です。

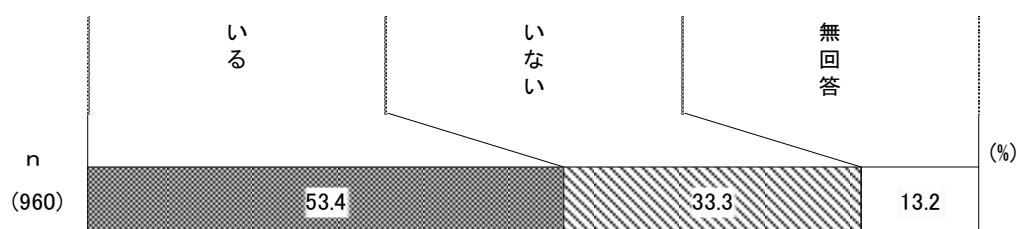


(3-1) 30分以内に駆けつけられる子どもや親族の有無

【問3で「1.」～「3.」か「5.」に○をつけた方におたずねします。】

問3-1 あなたのお子さんやご親族で30分以内に駆けつけられる方はいらっしゃいますか。(ひとつだけに○)

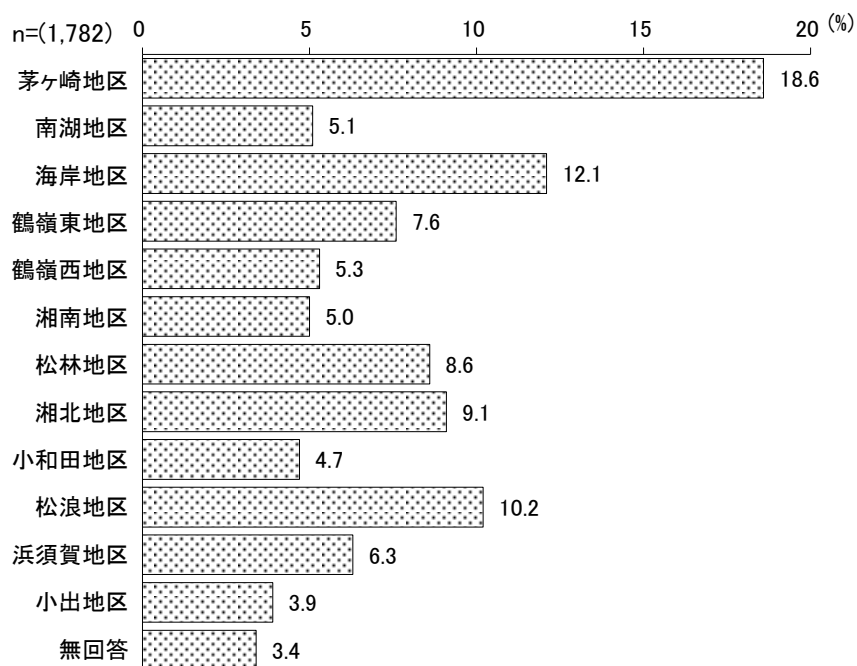
「ひとり暮らし」、「夫婦ふたり暮らし(配偶者も65歳以上)」、「夫婦ふたり暮らし(配偶者は65歳未満)」、「(同居者の)全員が65歳以上の世帯」と回答した方に、30分以内に駆けつけられる子どもや親族の有無をたずねたところ、「いる」が53.4%で、「いない」が33.3%となっています。



(4) 居住地区

問4 あなたのお住まいはどちらですか。(下記の地区から、ひとつだけに○)
※あなたの地区は、封筒の宛名ラベルの右下に記載されています。

調査対象者の居住地区は、「茅ヶ崎地区」が18.6%で最も高くなっています。次いで「海岸地区」が12.1%、「松浪地区」が10.2%、「湘北地区」が9.1%、「松林地区」が8.6%と1割前後です。



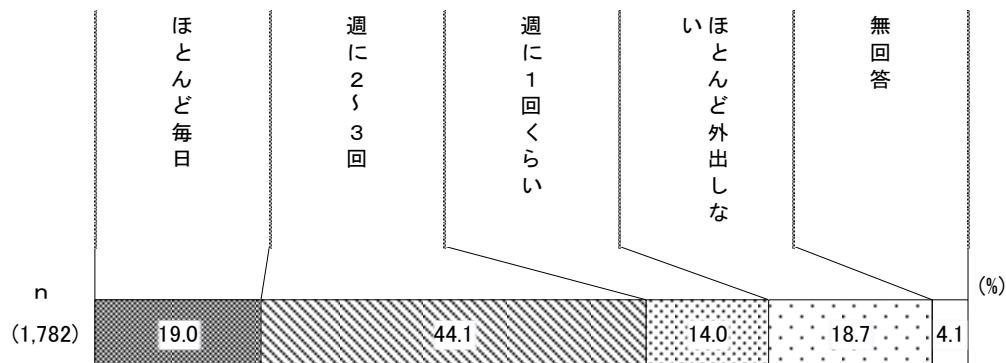
3 日常生活について

(1) 外出頻度

問5 あなたは、週に何回くらい外出（散歩や通院も含む）していますか。

(ひとつだけに○)

外出頻度は、「ほとんど毎日」が19.0%、「週に2～3回」が44.1%で最も高くなっています。「週に1回くらい」(14.0%)と「ほとんど外出しない」(18.7%)を合わせた《閉じこもり傾向》は32.7%です。

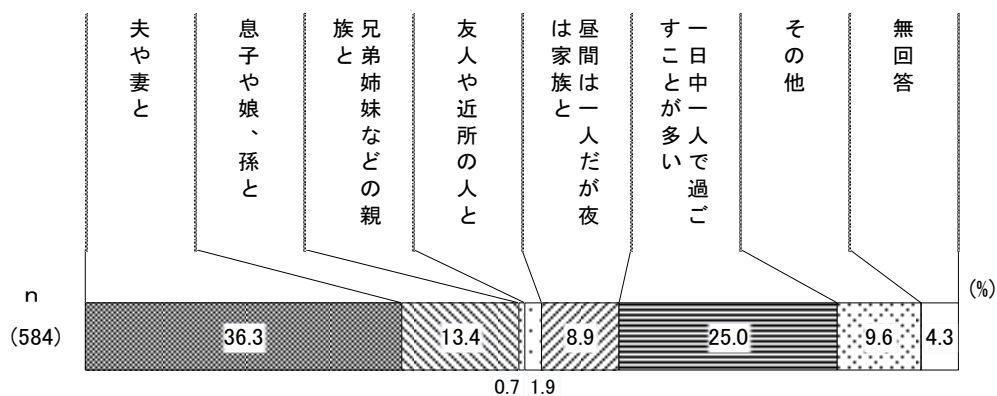


(1-1) 外出しない日に過ごすことが多い人

【問5で「3. 週に1回くらい」、「4. ほとんど外出しない」に○をつけた方におたずねします。】

問5-1 外出しない日はどなたと過ごすことが多いですか。(ひとつだけに○)

外出の頻度で《閉じこもり傾向》と回答した方に、外出しない日に過ごすことが多い人をたずねたところ、「夫や妻と」が36.3%で最も高く、次いで「息子や娘、孫と」が13.4%となっています。一方、「一日中一人で過ごすことが多い」が25.0%みられます。



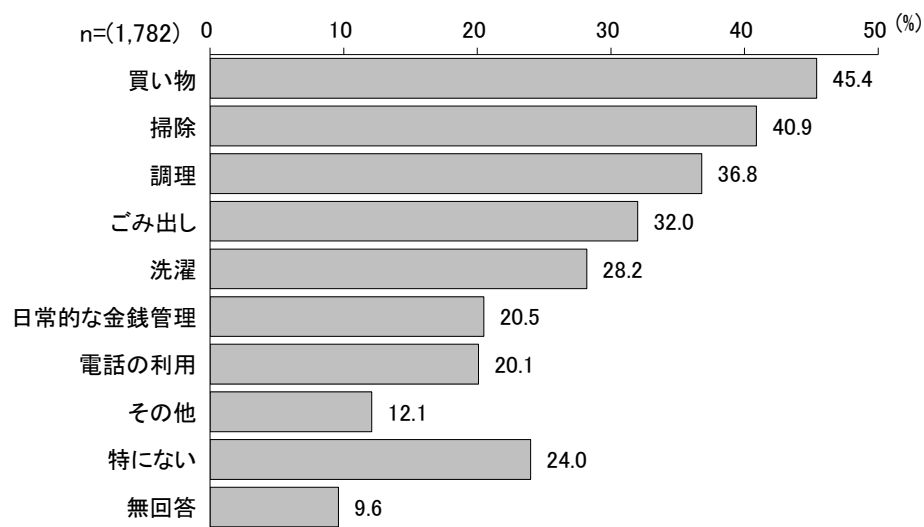
(2) 日常生活の中で不自由を感じること

問6 あなたは、日常生活の中で不自由を感じることはありますか。

(あてはまるものすべてに○)

日常生活の中で不自由を感じることは、《不自由を感じることもある》が66.4%で、「特にない」が24.0%となっています。

不自由を感じることは、「買い物」が45.4%で最も高く、次いで「掃除」が40.9%、「調理」が36.8%、「ごみ出し」が32.0%、「洗濯」が28.2%などとなっています。



※《不自由を感じることもある》＝100%－「特にない」－無回答

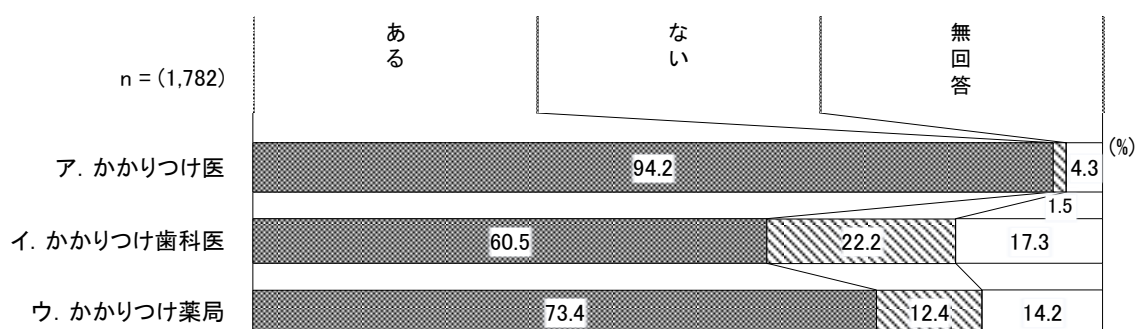
(3) かかりつけの医療機関の有無

問7 あなたには、かかりつけ医、かかりつけ歯科医、かかりつけの薬局がありますか。
(ひとつずつ○)

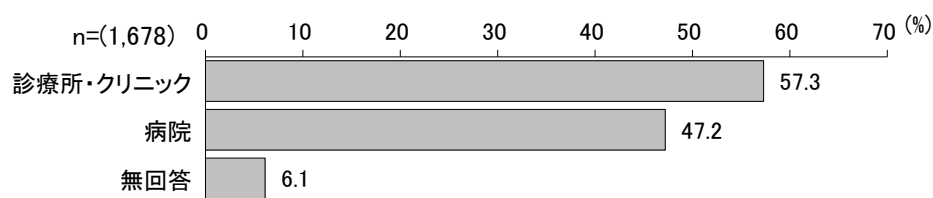
また、かかりつけ医を「1. ある」に○をつけた方は、医療機関も併せてお答えください。(あてはまるものすべてに○)

※かかりつけ薬局とは、薬に関するいろいろな相談に応じ、情報提供してくれる薬局のこと

かかりつけの医療機関について、「ある」は、“ア かかりつけ医”が94.2%で最も高く、次いで“ウ かかりつけ薬局”が73.4%、“イ かかりつけ歯科医”が60.5%となっています。



“ア かかりつけ医”が「ある」と回答した方に、医療機関の種類をたずねたところ、「診療所・クリニック」が57.3%、「病院」が47.2%となっています。

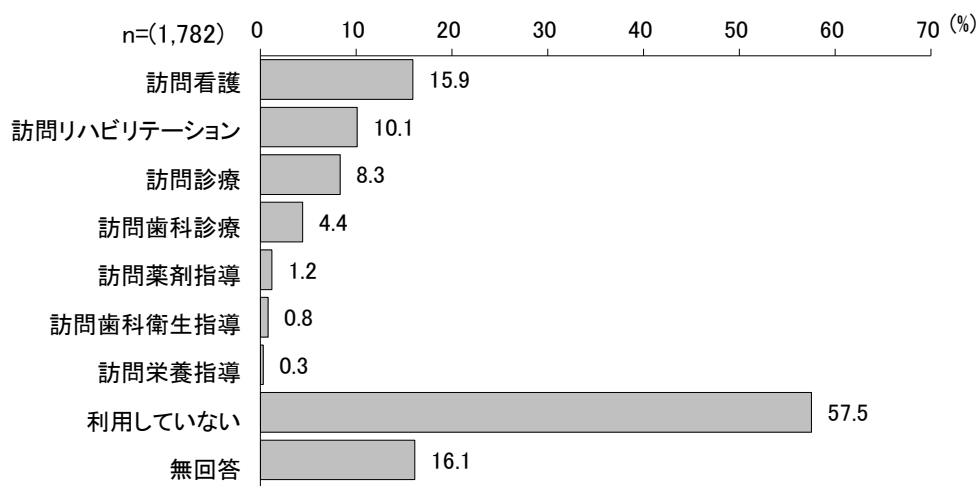


(4) 在宅医療サービスの利用状況

問8 どのような在宅医療サービスを利用していますか。(あてはまるものすべてに○)

在宅医療サービスの利用状況では、《利用している》が26.4%で、「利用していない」が57.5%となっています。

利用している中では、「訪問看護」が15.9%で最も高く、次いで「訪問リハビリテーション」が10.1%、「訪問診療」が8.3%などとなっています。

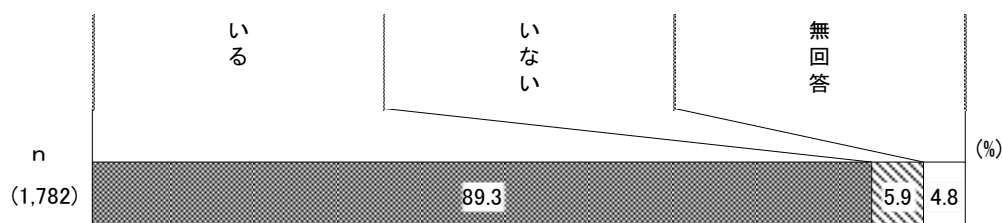


※《利用している》=100%－「利用していない」－無回答

(5) 悩みや心配ごとを相談できる人の有無

問9 あなたには、悩みや心配ごとを相談できる人がいますか。(ひとつだけに○)

悩みや心配ごとを相談できる人や場所が、「いる」は89.3%と高くなっていますが、「いない」が5.9%みられます。

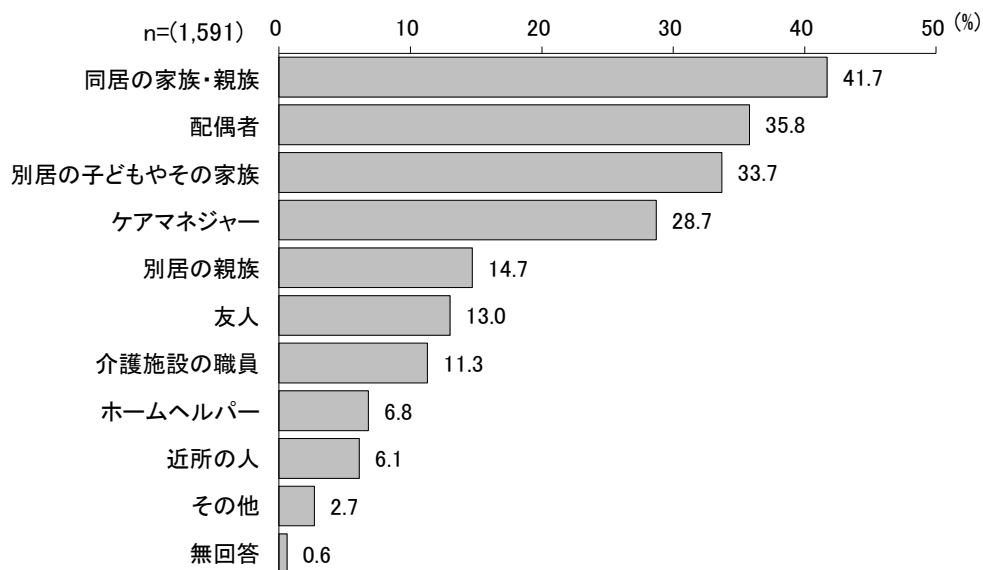


(5-1) 悩みや心配ごとの相談先

【問9で「1. いる」に○をつけた方におたずねします。】

問9-1 その方はどなたですか。(あてはまるものすべてに○)

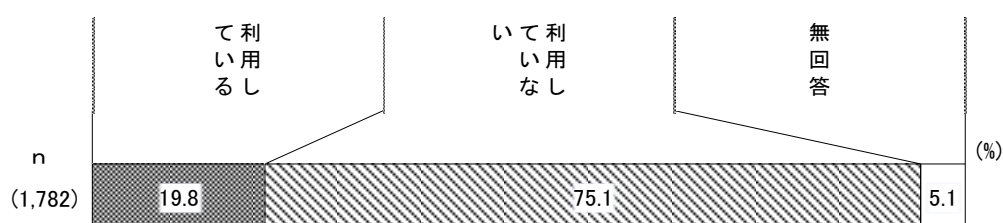
悩みや心配ごとを相談できる人が「いる」と回答した人に、誰に相談するかたずねたところ、「同居の家族・親族」が41.7%で最も高く、次いで「配偶者」が35.8%、「別居の子どもやその家族」が33.7%、「ケアマネジャー」が28.7%などとなっています。



（６）民間事業者によるサービスの利用状況

問10 日常生活の中で民間事業者による家事代行サービスや配食サービスなどを利用していますか。（ひとつだけに○）

民間事業者によるサービスを、「利用している」が19.8%で、「利用していない」が75.1%と高くなっています。

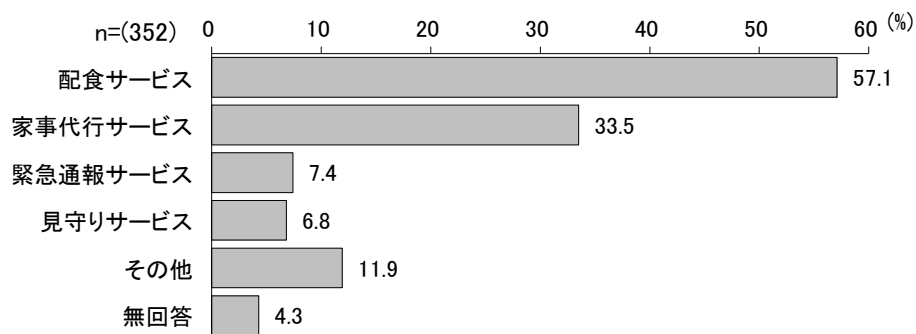


（６－１）利用している民間事業者によるサービス

【問10で「1. 利用している」に○をつけた方におたずねします。】

問10－1 それはどのようなサービスですか。（あてはまるものすべてに○）

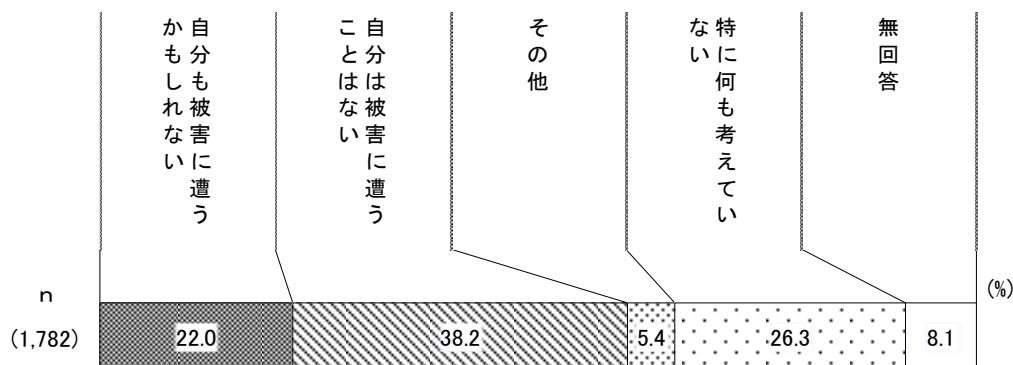
民間事業者によるサービスを「利用している」と回答した方に、どのようなサービスを利用しているかたずねたところ、「配食サービス」が57.1%で最も高く、次いで「家事代行サービス」が33.5%となっています。



(7) 振り込め詐欺に対する考え

問11 あなたは、振り込め詐欺についてどのように考えていますか。(ひとつだけに○)

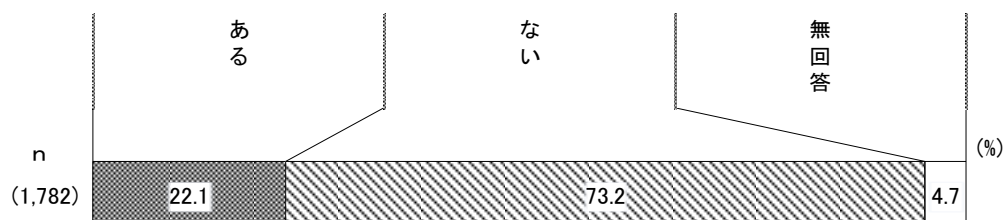
振り込め詐欺について、「自分は被害に遭うことはない」が38.2%で最も高くなっています。また、「特に何も考えていない」が26.3%みられます。



(8) 振り込め詐欺等の電話を受けた経験

問12 あなたは、振り込め詐欺や還付金詐欺の犯人から電話を受けたことがありますか。(ひとつだけに○)

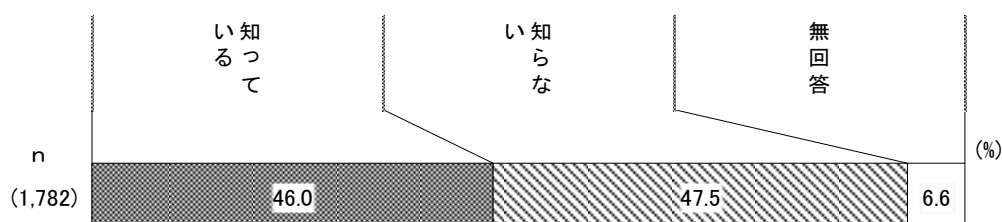
振り込め詐欺等の電話を受けた経験が「ある」は22.1%となっています。



(9) 振り込め詐欺の対策で留守番電話が有効であることへの認識

問13 振り込め詐欺の犯人は、留守番電話に自分の声を残すことはまれですが、振り込め詐欺に留守番電話が有効であることを知っていますか。(ひとつだけに○)

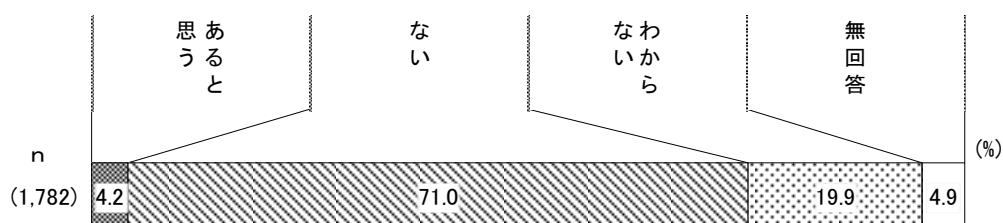
振り込め詐欺の対策で留守番電話が有効であることを、「知っている」は46.0%、「知らない」が47.5%とおおむね並んでいます。



(10) 公的機関が還付金について電話で知らせることがあると思うかについて

問14 市役所等の公的機関が保険料や医療費の還付（お金が戻ってくる）があることを電話で知らせたりすることがあると思いますか。（ひとつだけに○）

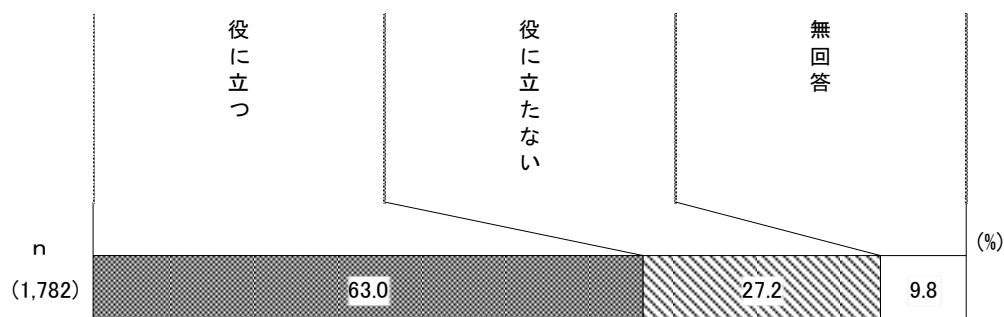
公的機関が還付金について電話で知らせたりすることが、「ない」が71.0%と高くなっていますが、「あると思う」が4.2%、「わからない」が19.9%みられます。



(11) 防災行政用無線による振り込み詐欺の注意喚起の役立ち度

問15 防災行政用無線による振り込み詐欺の注意喚起の放送についておたずねします。役に立ちますか。（ひとつだけに○）

防災行政用無線による振り込み詐欺の注意喚起は、「役に立つ」が63.0%で高く、「役に立たない」が27.2%となっています。

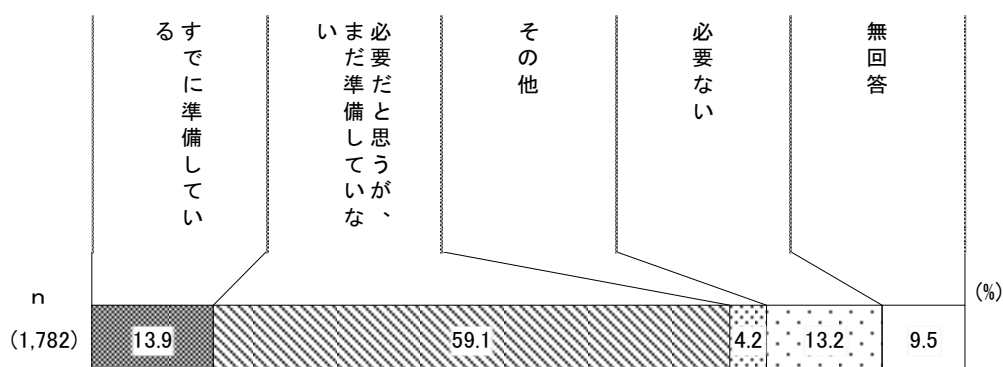


(12) 自分らしい最期を迎えるための準備

問16 あなたは、自分らしい最期を迎えるために、何か準備していますか。

(ひとつだけに○)

自分らしい最期を迎えるための準備については、「すでに準備している」が13.9%で、「必要だと思うが、まだ準備していない」が59.1%と高くなっています。

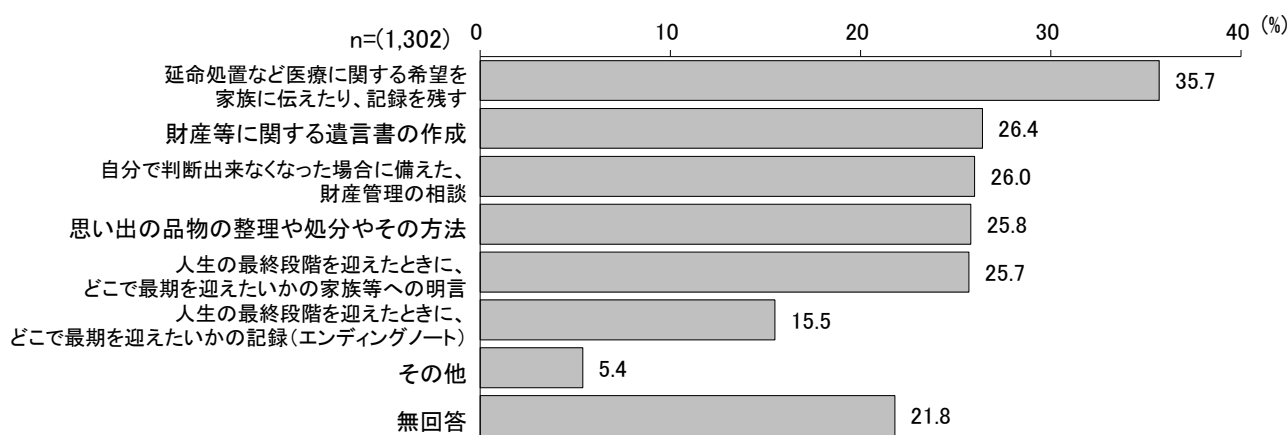


(12-1) 自分らしい最期を迎えるために必要だと思う準備

【問16で「1. すでに準備している」、「2. 必要だと思うが、まだ準備していない」に○をつけた方におたずねします。】

問16-1 どのようなことを準備していますか。また、どのようなことが必要だと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

自分らしい最期を迎えるために「すでに準備している」、「必要だと思うが、まだ準備していない」と回答した方に、必要だと思う準備をたずねたところ、「延命処置など医療に関する希望を家族に伝えたり、記録を残す」が35.7%で最も高くなっています。次いで「財産等に関する遺言書の作成」が26.4%、「自分で判断出来なくなった場合に備えた、財産管理の相談」が26.0%、「思い出の品物の整理や処分やその方法」が25.8%、「人生の最終段階を迎えたときに、どこで最期を迎えたいかの家族等への明言」が25.7%と、おおむね並んでいます。



【自分らしい最期を迎えるための準備の現状別にみた割合の詳細】

この設問は、問16自分らしい最期を迎えるための準備（77ページ参照）の回答状況によって、結果の解釈が異なります。

そこで、問16の回答状況を掛け合わせることによって、すでに準備している方と、まだ準備していない方の必要だと思う準備の割合を算出しました。

その結果、すでに準備している方では、「延命処置など医療に関する希望を家族に伝えたり、記録を残す」が48.8%で最も高く、次いで「財産等に関する遺言書の作成」が42.3%などとなっています。一方、まだ準備していない方では、「延命処置など医療に関する希望を家族に伝えたり、記録を残す」が32.6%で最も高いのは、すでに準備している方と同様ですが、次いで「思い出の品物の整理や処分やその方法」が26.2%、「自分で判断出来なくなった場合に備えた、財産管理の相談」が24.3%となっています。

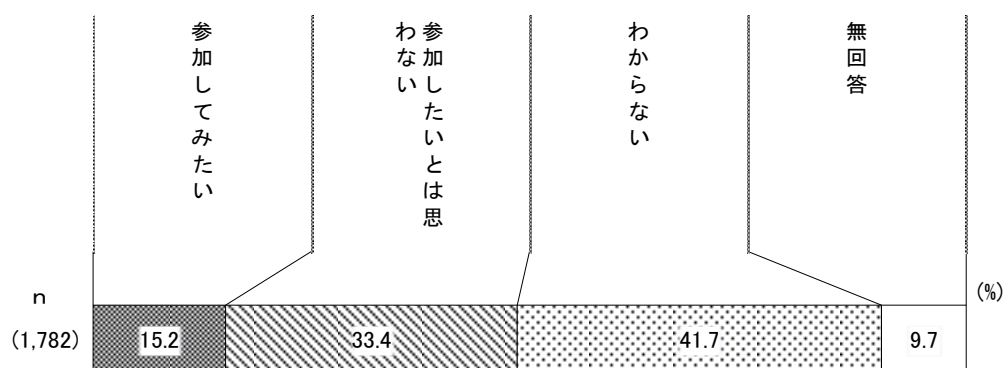
すでに準備している方とまだ準備していない方で大きく違うのは、「財産等に関する遺言書の作成」で、すでに準備している方が約20ポイント高くなっています。また、「延命処置など医療に関する希望を家族に伝えたり、記録を残す」でも、すでに準備している方が約16ポイント高くなっています。

	n	延命処置など医療に関する希望を家族に伝えたり、記録を残す	財産等に関する遺言書の作成	場合分に備え断た、来なく管理のた	思い出の品物の整理や処分	いきの家族等への期を迎えたと	いきの最終段階で最期を迎えたと	その他	無回答
全 体	1,302	35.7	26.4	26.0	25.8	25.7	15.5	5.4	21.8
すでに準備している	248	48.8	42.3	33.5	24.2	25.8	15.3	8.1	6.5
必要だと思うが、まだ準備していない	1,054	32.6	22.7	24.3	26.2	25.6	15.6	4.7	25.4

(13) 自分らしい最期を迎えることを具体的に考える機会への参加意向

問17 あなたは、自分らしい最期を迎えるために、エンディングノートや家族等への伝達など、具体的に考える機会があれば参加してみたいですか。（ひとつだけに○）

自分らしい最期を迎えるために具体的に考える機会へ、「参加してみたい」が15.2%、「参加したいとは思わない」が33.4%です。なお、「わからない」が41.7%で最も高くなっています。

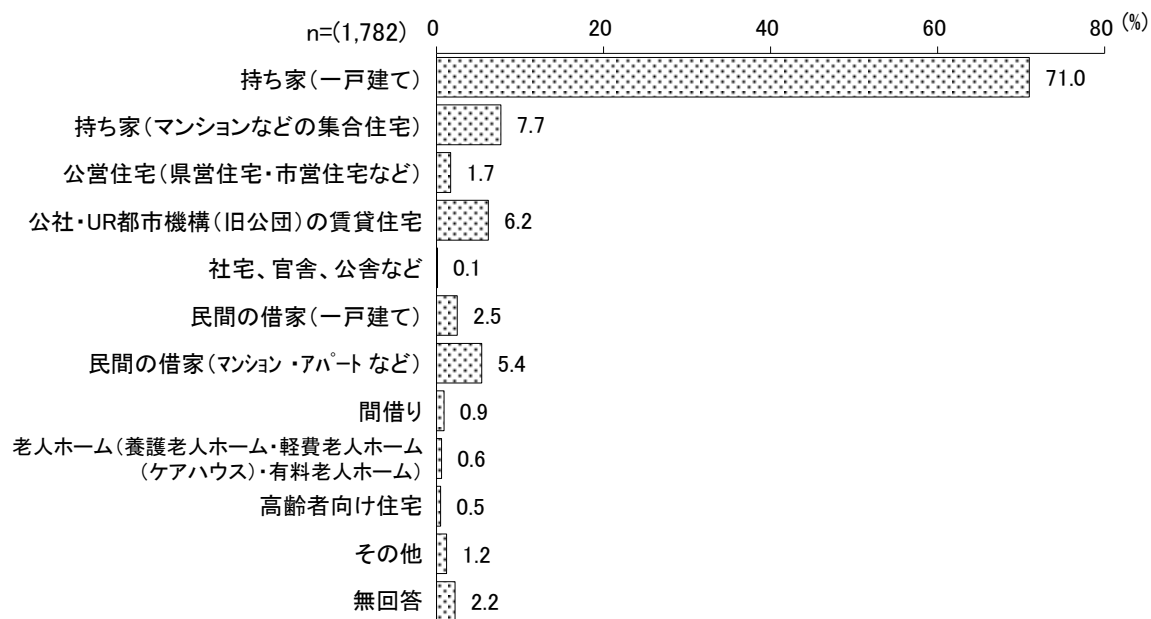


4 住まいについて

(1) 住まいの種類

問18 あなたのお住まいについておたずねします（ひとつだけに○）

住まいの種類は、「持ち家（一戸建て）」が71.0%で最も高く、次いで「持ち家（マンションなどの集合住宅）」が7.7%などとなっています。



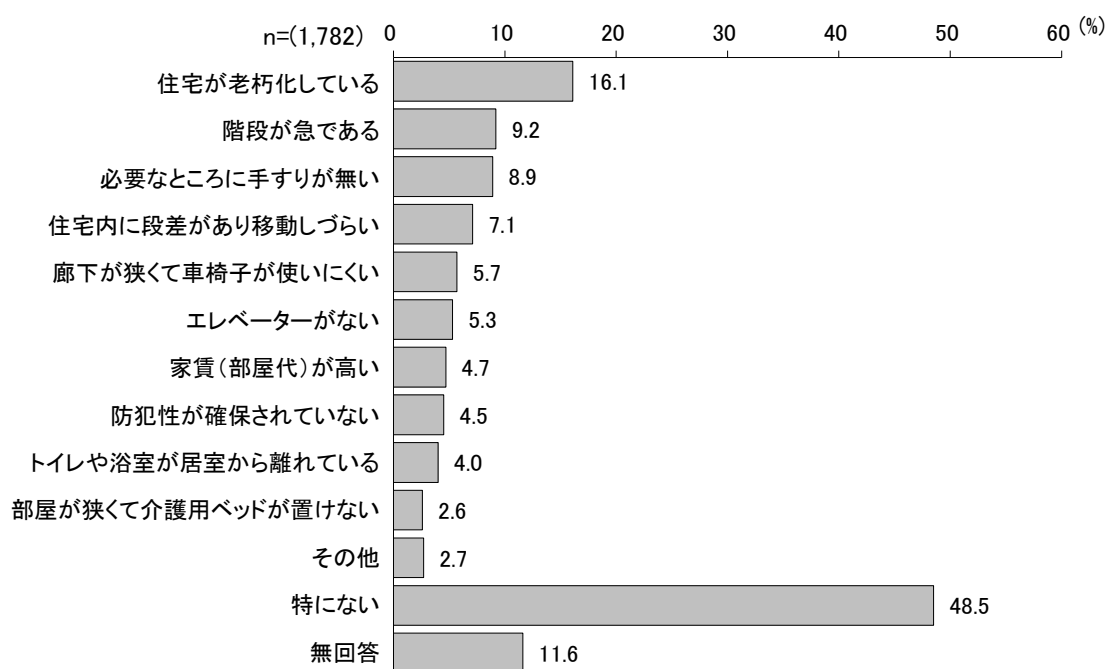
(2) 現在の住まいで困っていること

問19 あなたは、現在のお住まいで困っていることはありますか。

(あてはまるものすべてに○)

現在の住まいで困っていることでは、《困っていることがある》が39.9%で、「特にない」が48.5%となっています。

困っていることの中では、「住宅が老朽化している」が16.1%で最も高くなっています。



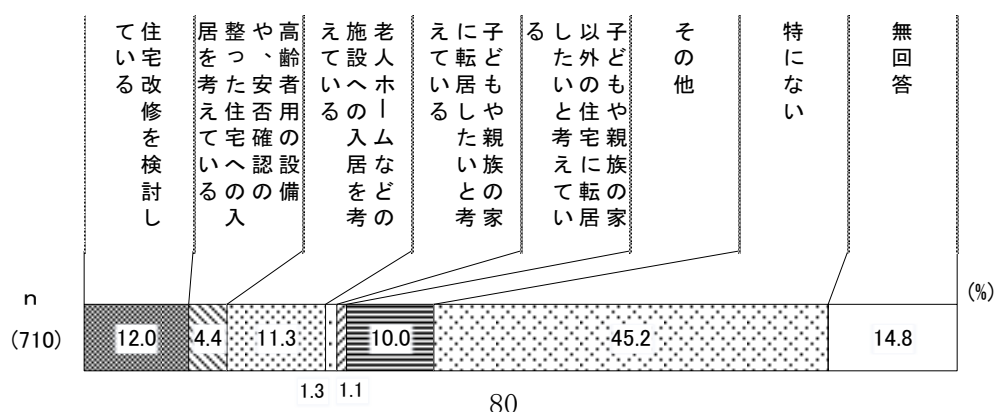
※《困っていることがある》＝100%－「特にない」－無回答

(2-1) 住まいで困っていることを解消するための対策

【問19で「1.」～「11.」に○をつけた方におたずねします。】

問19-1 あなたは、お住まいで困っていることを解消するため何か対策を考えていますか。(ひとつだけに○)

現在の住まいで困っているで、《困っていることがある》と回答した方に、解消するための対策を考えているかたずねたところ、「特にない」が45.2%で最も高くなっています。「住宅改修を検討している」が12.0%、「老人ホームなどの施設への入居を考えている」が11.3%などとなっています。



5 防災について

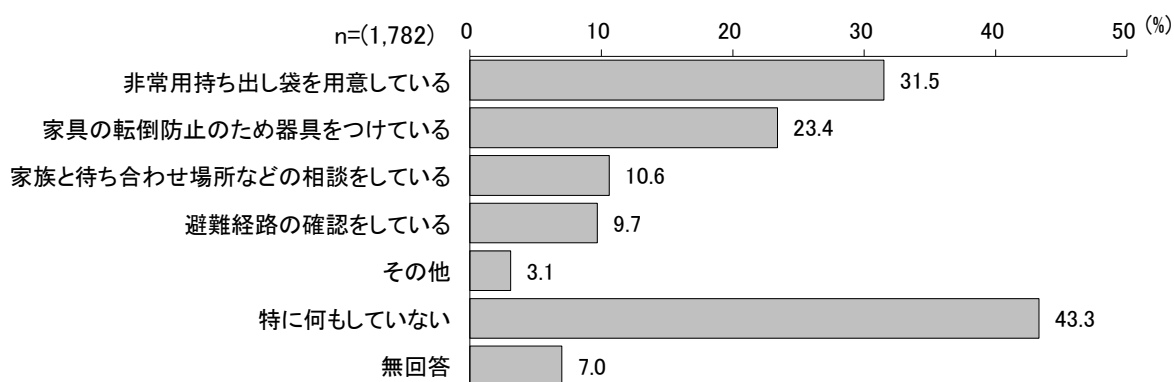
(1) 大きな災害に備えた対策

問20 あなたは、大きな災害に備えて、何か対策をしていますか。

(あてはまるものすべてに○)

大きな災害に備えた対策では、《対策をしている》が49.7%で、「特に何もしていない」が43.3%となっています。

対策をしている中では、「非常用持ち出し袋を用意している」が31.5%で最も高く、次いで「家具の転倒防止のため器具をつけている」が23.4%などとなっています。

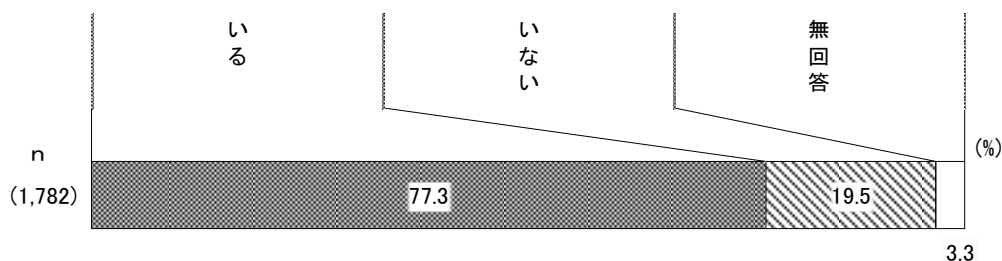


※《対策をしている》＝100%－「特に何もしていない」－無回答

(2) 災害時や緊急時に身近で手助けしてくれる人の有無

問21 あなたは、災害時や緊急時に身近で手助けしてくれる人がいますか。

災害時や緊急時に身近で手助けしてくれる人が、「いる」が77.3%で高くなっていますが、「いない」が19.5%みられます。

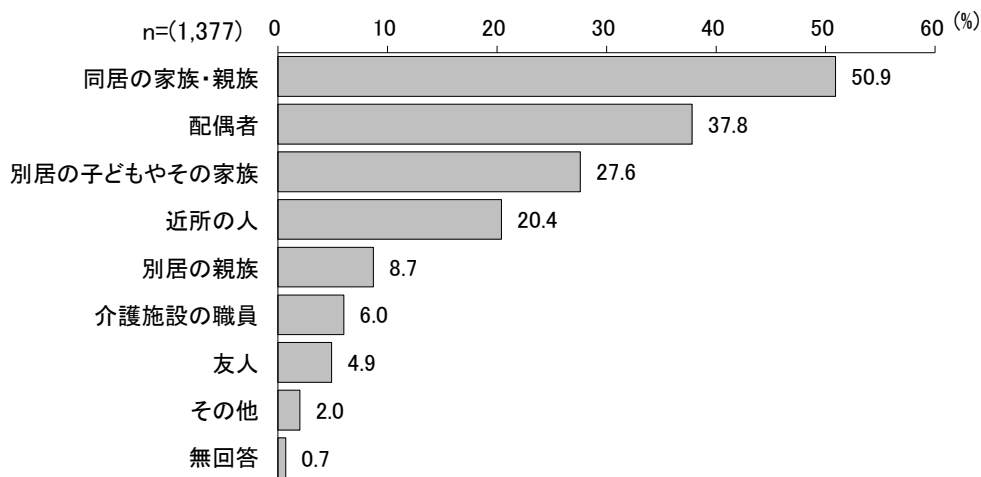


（２－１）災害時や緊急時に身近で手助けしてくれる人

【問 21 で「１．いる」に○をつけた方におたずねします。】

問21－１ その方はどなたですか。（あてはまるものすべてに○）

災害時や緊急時に身近で手助けしてくれる人が「いる」と回答した方に、誰が手助けしてくれるのかをたずねたところ、「同居の家族・親族」が50.9%で最も高く、次いで「配偶者」が37.8%、「別居の子どもやその家族」が27.6%などとなっています。



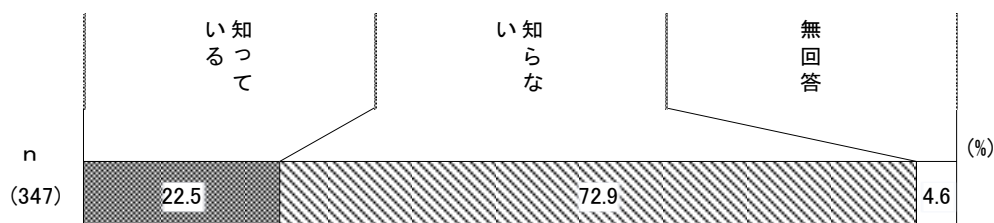
（２－２）災害時要援護者支援制度の認知度

【問 21 で「２．いない」に○をつけた方におたずねします。】

問21－２ 市では、災害時要援護者支援制度という、障害者や高齢者など、日常生活の中で手助けを必要とする人に対して、災害時などに地域の中で支援を受けられるようにする制度があります。

あなたは、この制度を知っていますか。（ひとつだけに○）

災害時や緊急時に身近で手助けしてくれる人が「いない」と回答した方に、災害時要援護者支援制度の認知度をたずねたところ、「知っている」が22.5%で、「知らない」が72.9%と高くなっています。

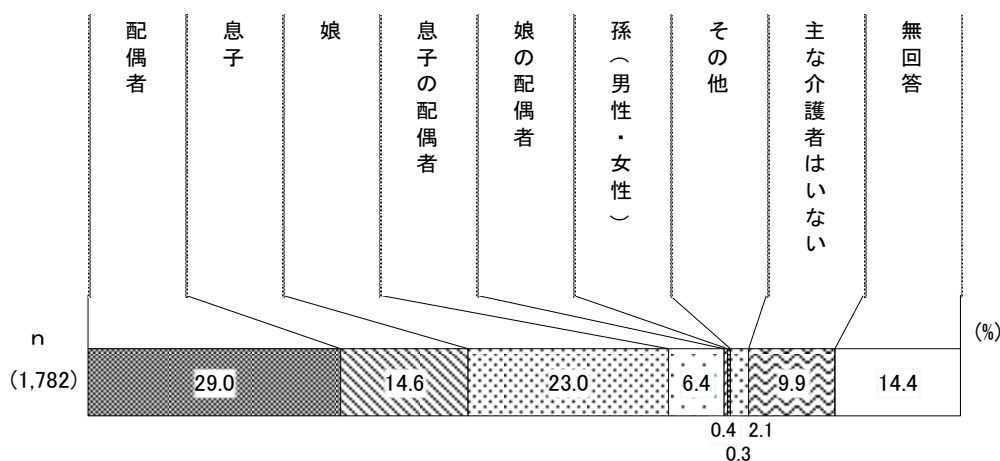


6 介護者について

(1) 主な介護者

問22 あなたの主な介護者はどなたですか。なお、ヘルパーなどの介護職はのぞきます。
(ひとつだけに○)

主な介護者は、「配偶者」が29.0%で最も高く、次いで「娘」が23.0%、「息子」が14.6%などとなっています。一方、「主な介護者はいない」が9.9%みられます。

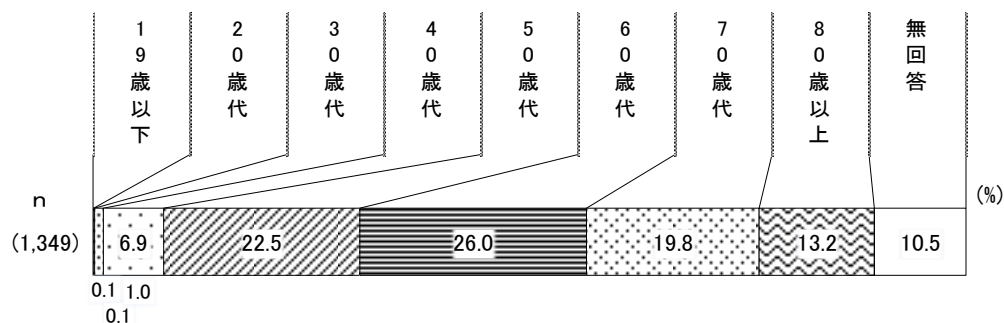


(2) 主な介護者の年齢

【問 23～問 32 は、問 22 で「8. 主な介護者はいない」以外に○をつけた方におたずねします。】

問23 主な介護者の年齢をおたずねします。(ひとつだけに○)

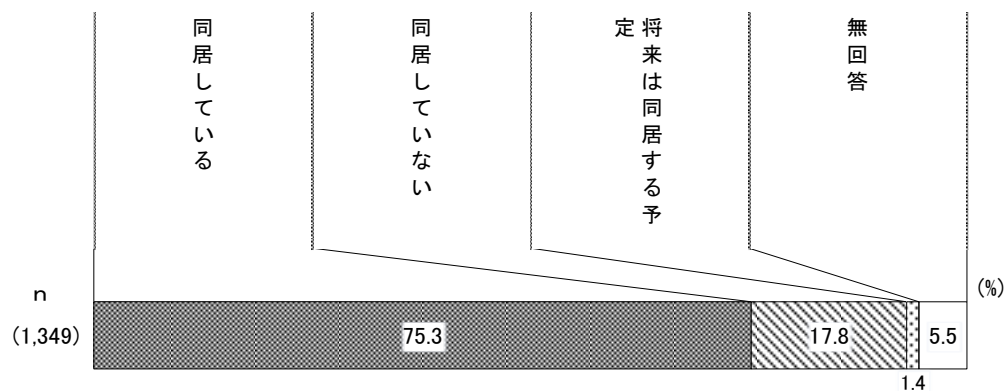
主な介護者の年齢は、「60歳代」が26.0%で最も高く、次いで「50歳代」が22.5%、「70歳代」が19.8%、「80歳以上」が13.2%などとなっています。



(3) 主な介護者の同居の有無

問24 主な介護者は、あなたと同居していますか。(ひとつだけに○)

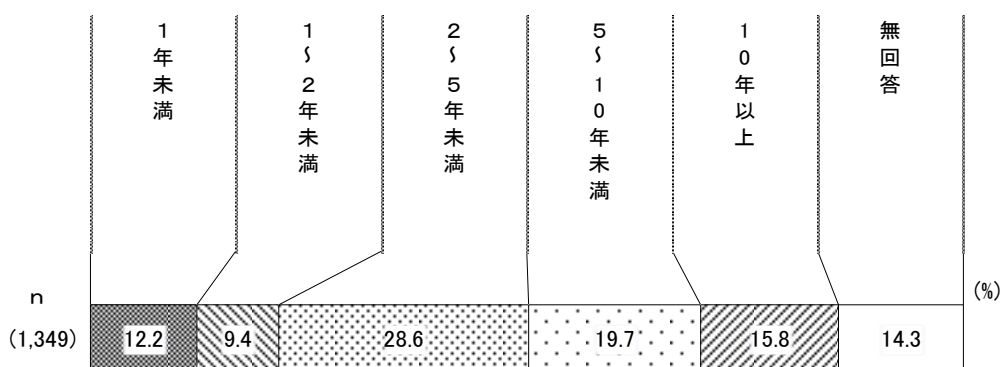
主な介護者の同居の有無は、「同居している」が75.3%と高く、「同居していない」が17.8%となっています。



(4) 主な介護者の介護期間

問25 主な介護者のこれまでの介護期間をおたずねします。(ひとつだけに○)

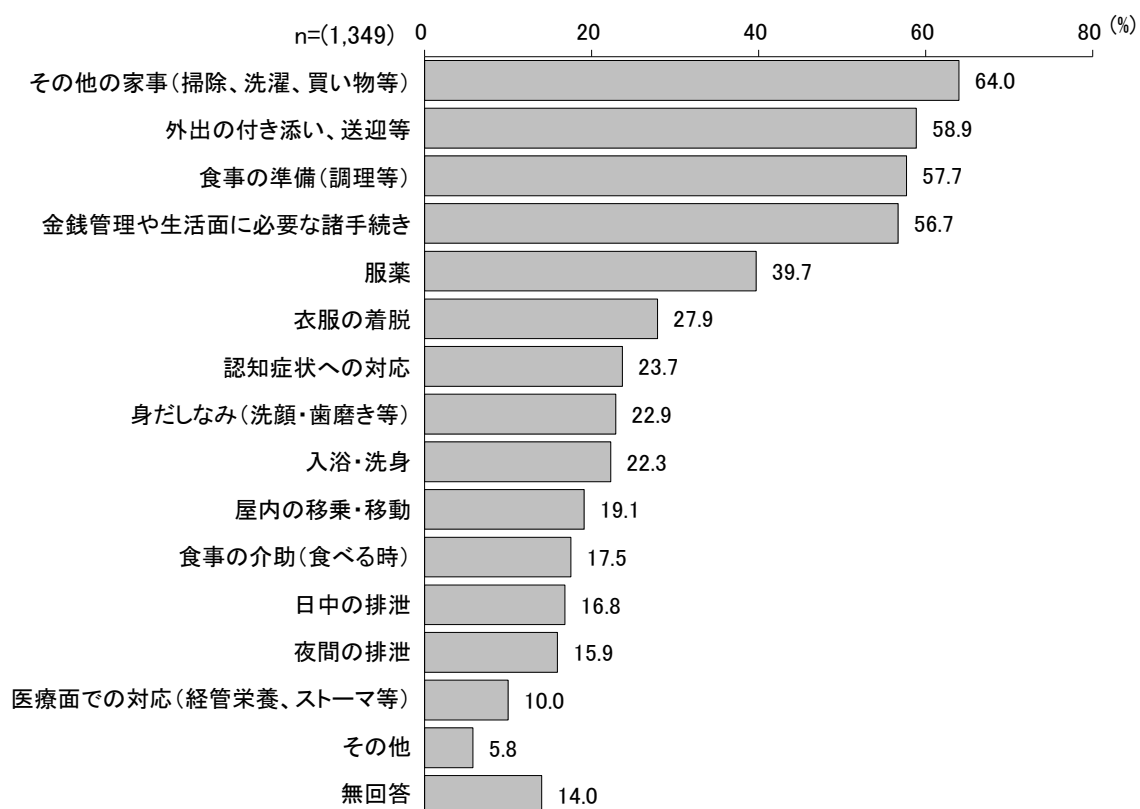
主な介護者の介護期間は、「2～5年未満」が28.6%で最も高く、次いで「5～10年未満」が19.7%、「10年以上」が15.8%などとなっています。



（５）主な介護者が行っている介護等の内容

問26 現在、主な介護者の方が行っている介護等について、おたずねします。
（あてはまるものすべてに○）

主な介護者が行っている介護等の内容としては、「その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）」が64.0%で最も高く、次いで「外出の付き添い、送迎等」が58.9%、「食事の準備（調理等）」が57.7%、「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」が56.7%などとなっています。

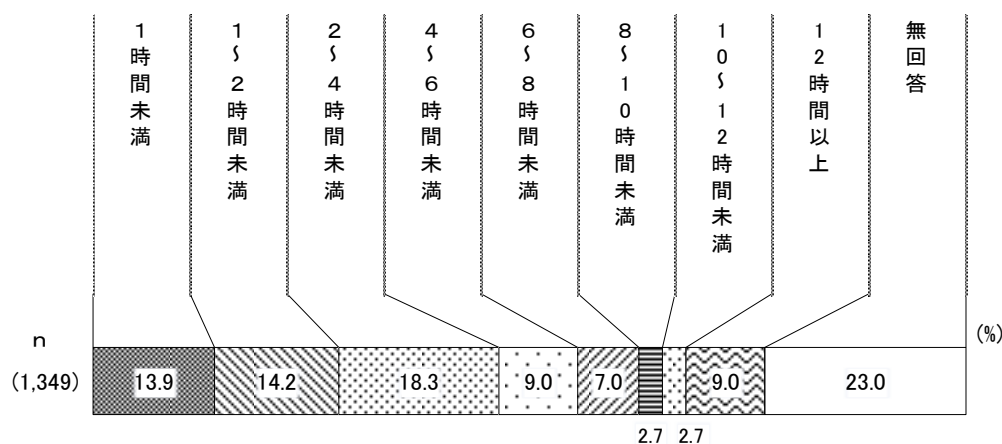


(6) 主な介護者の1日あたりの介護時間

問27 主な介護者が介護を行う時間は1日あたりおよそどのくらいですか。

(ひとつだけに○)

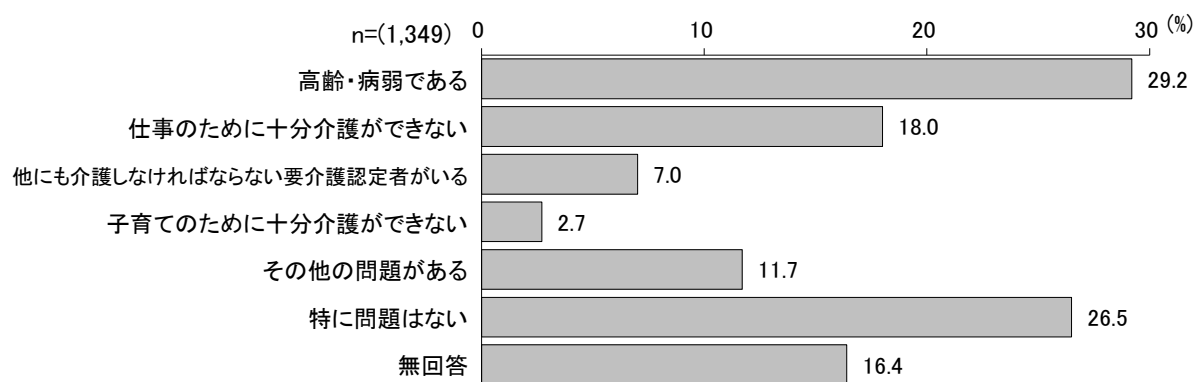
主な介護者の1日あたりの介護時間は、「2～4時間未満」が18.3%で最も高く、次いで「1～2時間未満」が14.2%、「1時間未満」が13.9%などとなっています。



(7) 主な介護者を取り巻く状況

問28 主な介護者の状況についてご記入ください。(あてはまるものすべてに○)

主な介護者を取り巻く状況は、「高齢・病弱である」が29.2%で最も高く、次いで「仕事のために十分介護ができない」が18.0%などとなっています。一方、「特に問題はない」が26.5%です。

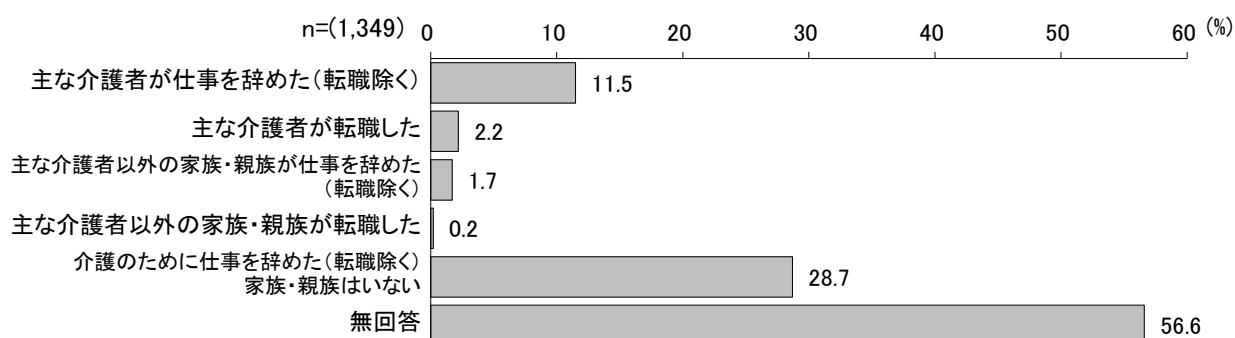


（８）家族や親族の中で介護のために仕事を辞めた人の有無

問29 ご家族やご親族の中で、あなたの介護のために、過去に仕事を辞めた方はいますか。（現在働いているかどうかや、現在の勤務形態は問いません）

（あてはまるものすべてに○）

家族や親族の中で介護のために仕事を辞めた人の有無では、「仕事を辞めた家族や親族がいる」が14.7%で、「介護のために仕事を辞めた（転職除く）家族・親族はいない」が28.7%となっています。仕事を辞めた家族や親族の中では、「主な介護者が仕事を辞めた（転職除く）」が11.5%です。



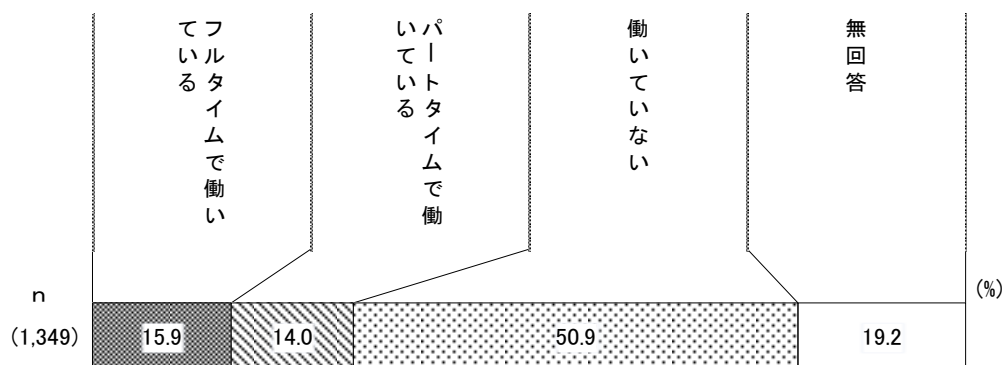
※《仕事を辞めた家族や親族がいる》＝100%－「介護のために仕事を辞めた（転職除く）家族・親族はいない」－無回答

（９）主な介護者の勤務形態

問30 主な介護者の方の現在の勤務形態について、おたずねします。（ひとつだけに○）

※「パートタイム」とは、「1週間の所定労働時間が、同一の事業所に雇用される通常の労働者に比べて短い方」が該当します。いわゆる「アルバイト」、「嘱託」、「契約社員」など、呼び方は異なっても、この条件にあてはまる場合は「パートタイム」になります。自営業・フリーランス等の場合も、就労時間・日数等から「フルタイム」・「パートタイム」のいずれかに○をつけてください。

主な介護者の勤務形態は、「働いていない」が50.9%で最も高くなっています。なお、「フルタイムで働いている」は15.9%、「パートタイムで働いている」は14.0%です。



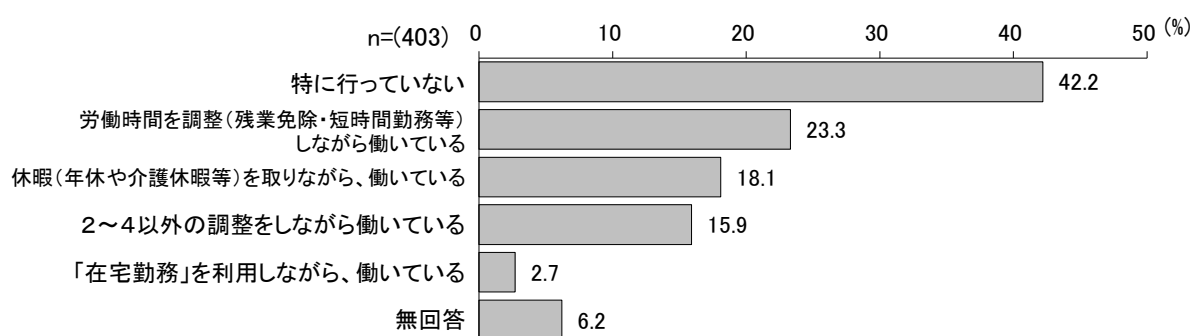
（９－１）主な介護者の勤務形態の調整等

【問30で「1. フルタイムで働いている」、「2. パートタイムで働いている」に○をつけた方におたずねします。】

問30－1 主な介護者の方は、介護をするにあたって、何か働き方についての調整等を行っていますか。（あてはまるものすべてに○）

主な介護者の勤務形態で、「フルタイムで働いている」、「パートタイムで働いている」と回答した方に、勤務形態の調整等を行っているかたずねたところ、《調整等を行っている》が51.6%で、「特に行っていない」が42.2%となっています。

調整等を行っている中では、「労働時間を調整（残業免除・短時間勤務等）しながら働いている」が23.3%で最も高くなっています。

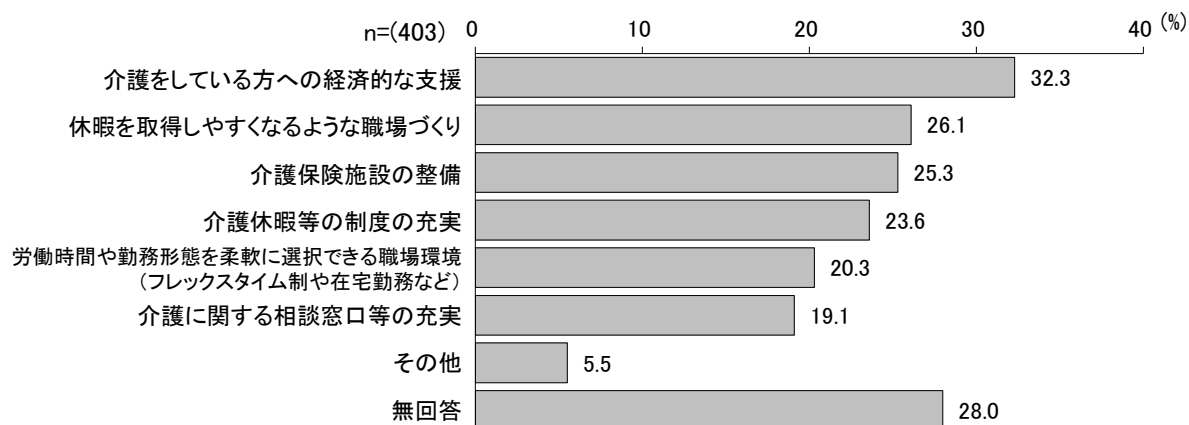


※《調整等を行っている》＝100%－「特に行っていない」－無回答

（９－２）仕事と介護を両立するために効果的だと思う支援等

問30－2 主な介護者の方は、仕事と介護を両立するために、どのような支援等があれば効果があると思いますか。（あてはまるものすべてに○）

主な介護者の勤務形態で、「フルタイムで働いている」、「パートタイムで働いている」と回答した方に、仕事と介護を両立するために効果的だと思う支援等をたずねたところ、「介護をしている方への経済的な支援」が32.3%で最も高くなっています。次いで「休暇を取得しやすくなるような職場づくり」が26.1%、「介護保険施設の整備」が25.3%、「介護休暇等の制度の充実」が23.6%などとなっています。

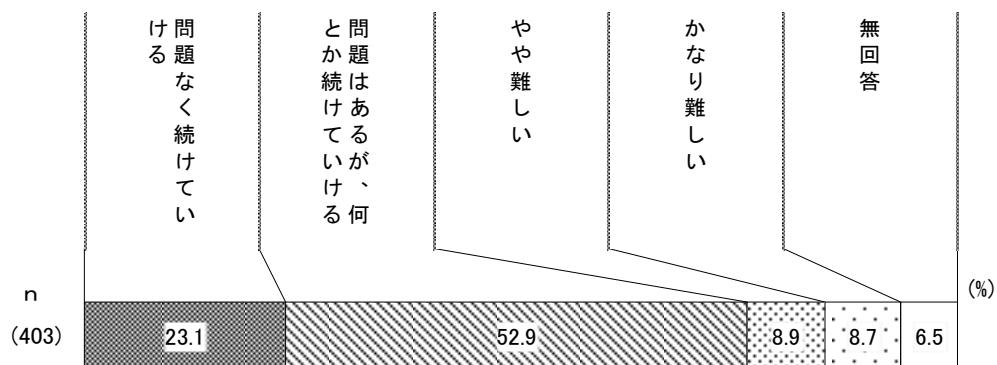


(9-3) 働きながら介護を続けることの今後の見込み

問30-3 主な介護者の方は、今後も働きながら介護を続けていけそうですか。

(ひとつだけに○)

働きながら介護を続けることの今後の見込みは、「問題なく続けていける」が23.1%で、「問題はあるが、何とか続けていける」が52.9%と最も高くなっています。これらを合わせた《続けていける》は76.0%です。一方、「やや難しい」(8.9%)と「かなり難しい」(8.7%)を合わせた、《難しい》は17.6%みられます。

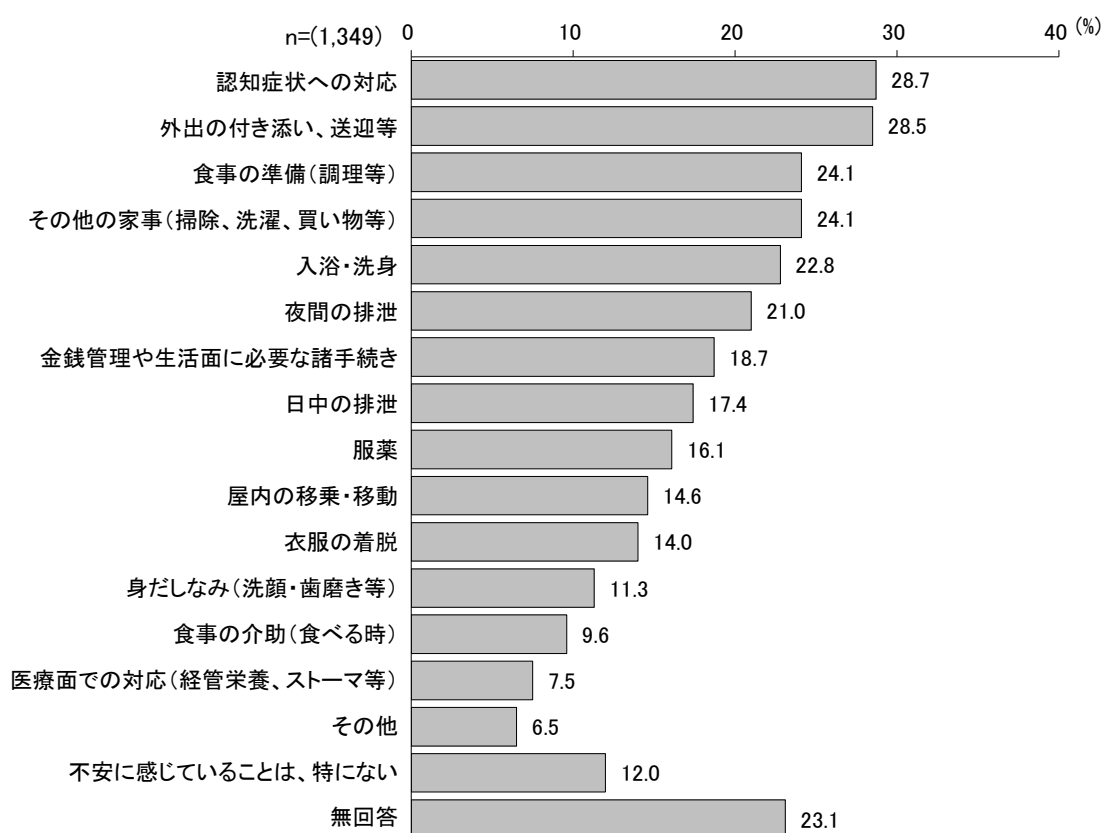


(10) 主な介護者が不安に感じている介護等

問31 主な介護者の方が不安に感じている介護等について、おたずねします。
(あてはまるものすべてに○)

主な介護者が不安に感じている介護等では、《不安を感じている介護等がある》が64.9%で、「不安に感じていることは、特にない」が12.0%となっています。

不安を感じている介護等の中では、「認知症状への対応」が28.7%、「外出の付き添い、送迎等」が28.5%と約3割でおおむね並んで高くなっています。次いで「食事の準備（調理等）」と「その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）」が24.1%、「入浴・洗身」が22.8%、「夜間の排泄」が21.0%などとなっています。



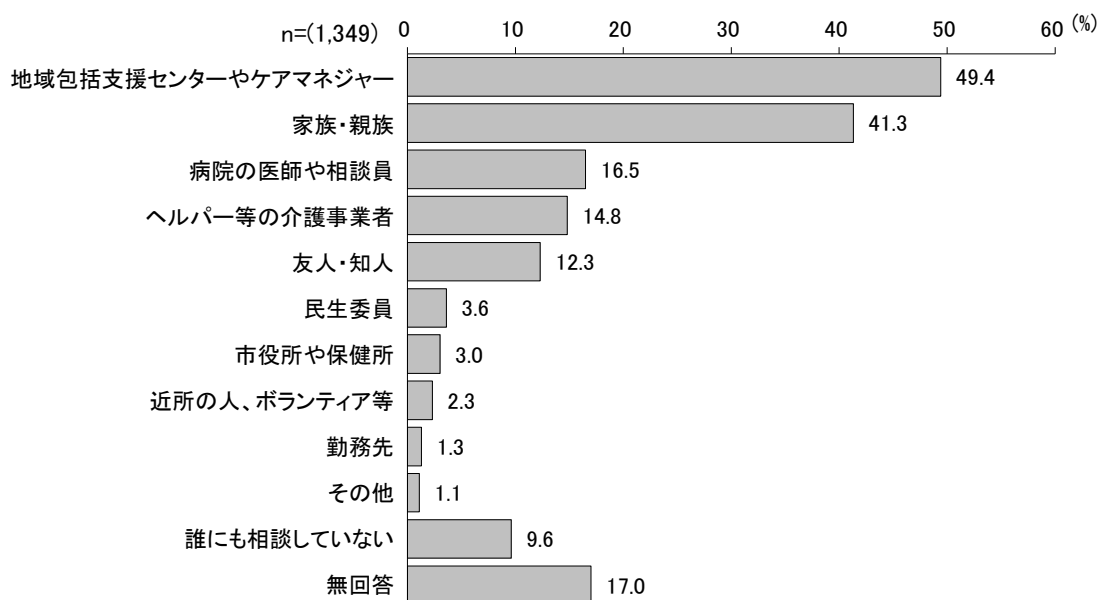
※《不安を感じている介護等がある》＝100%－「不安に感じていることは、特にない」－無回答

(11) 主な介護者の相談先

問32 主な介護者の方は、介護について誰かに相談していますか。

(あてはまるものすべてに○)

主な介護者の相談先としては、「地域包括支援センターやケアマネジャー」が49.4%で最も高く、次いで「家族・親族」が41.3%となっています。一方、「誰にも相談していない」が9.6%みられます。

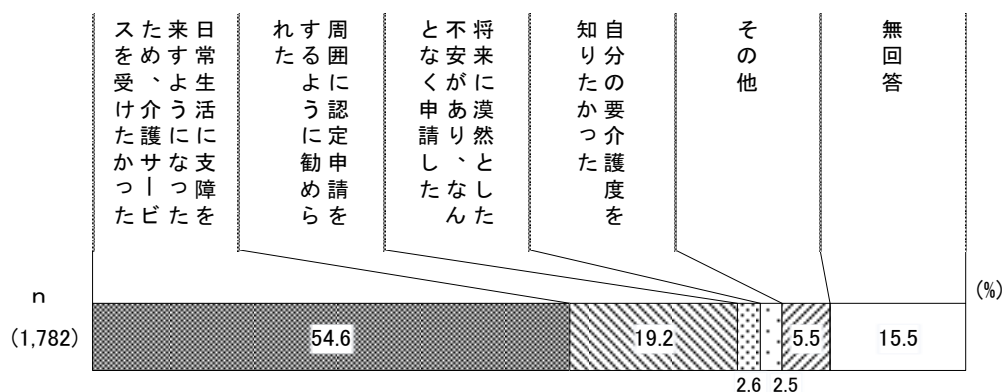


7 介護保険について

(1) 要介護認定を申請した理由

問33 あなたが、要介護認定を申請した理由は何ですか。(ひとつだけに○)

要介護認定を申請した理由は、「日常生活に支障を来すようになったため、介護サービスを受けたかった」が54.6%で最も高く、次いで「周囲に認定申請をするように勧められた」が19.2%となっています。

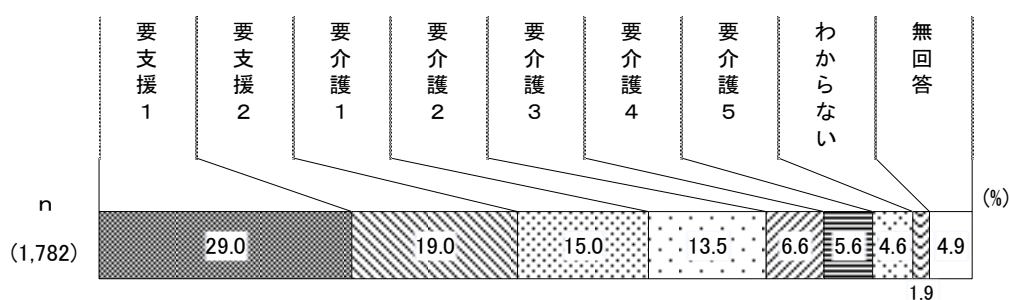


(2) 要介護度

問34 あなたの要介護度はいくつですか。(ひとつだけに○)

要介護度は、「要支援1」が29.0%で最も高く、次いで「要支援2」が19.0%、「要介護1」が15.0%などとなっています。

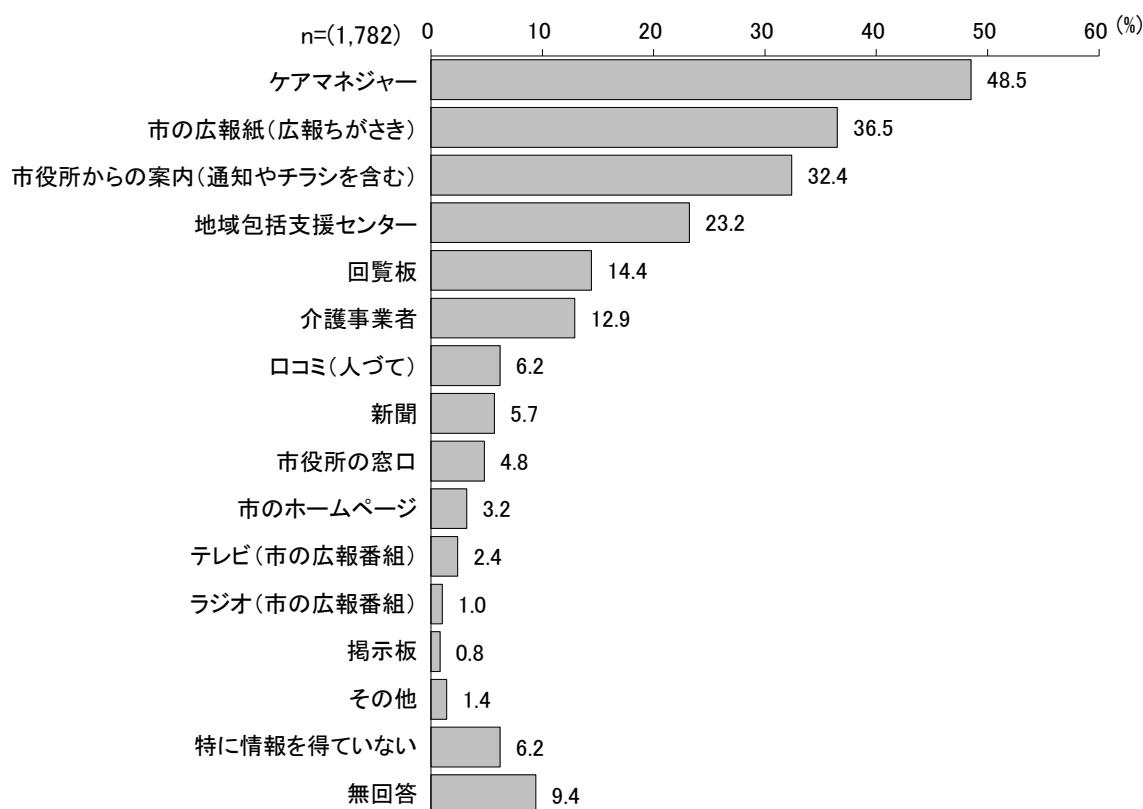
「要支援1」と「要支援2」を合わせた《要支援》は48.0%、「要介護1」と「要介護2」(13.5%)を合わせた《軽度要介護者》は28.5%、「要介護3」(6.6%)、「要介護4」(5.6%)、「要介護5」(4.6%)を合わせた《中重度要介護者》は16.8%です。



(3) 市からの介護保険や高齢者福祉に関する情報源

問35 市からの介護保険や高齢者福祉に関する情報について、どのような手段を通じて入手していますか。(あてはまるものすべてに○)

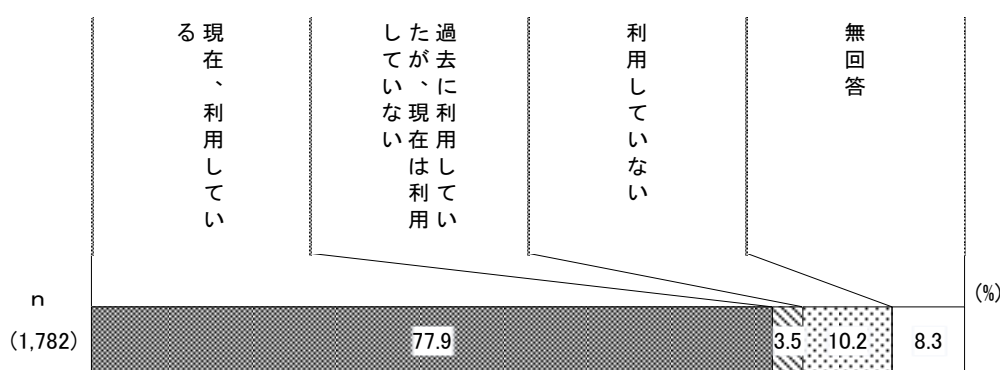
市からの介護保険や高齢者福祉に関する情報源としては、「ケアマネジャー」が48.5%で最も高く、次いで「市の広報紙(広報ちがさき)」が36.5%、「市役所からの案内(通知やチラシを含む)」が32.4%、「地域包括支援センター」が23.2%などとなっています。一方、「特に情報を得ていない」が6.2%みられます。



(4) 介護保険サービスの利用状況

問36 介護保険サービスの利用についておたずねします。(ひとつだけに○)

介護保険サービスの利用状況は、「現在、利用している」が77.9%となっています。一方、「過去に利用していたが、現在は利用していない」が3.5%、「利用していない」が10.2%で、これらを合わせた《未利用》は13.7%です。



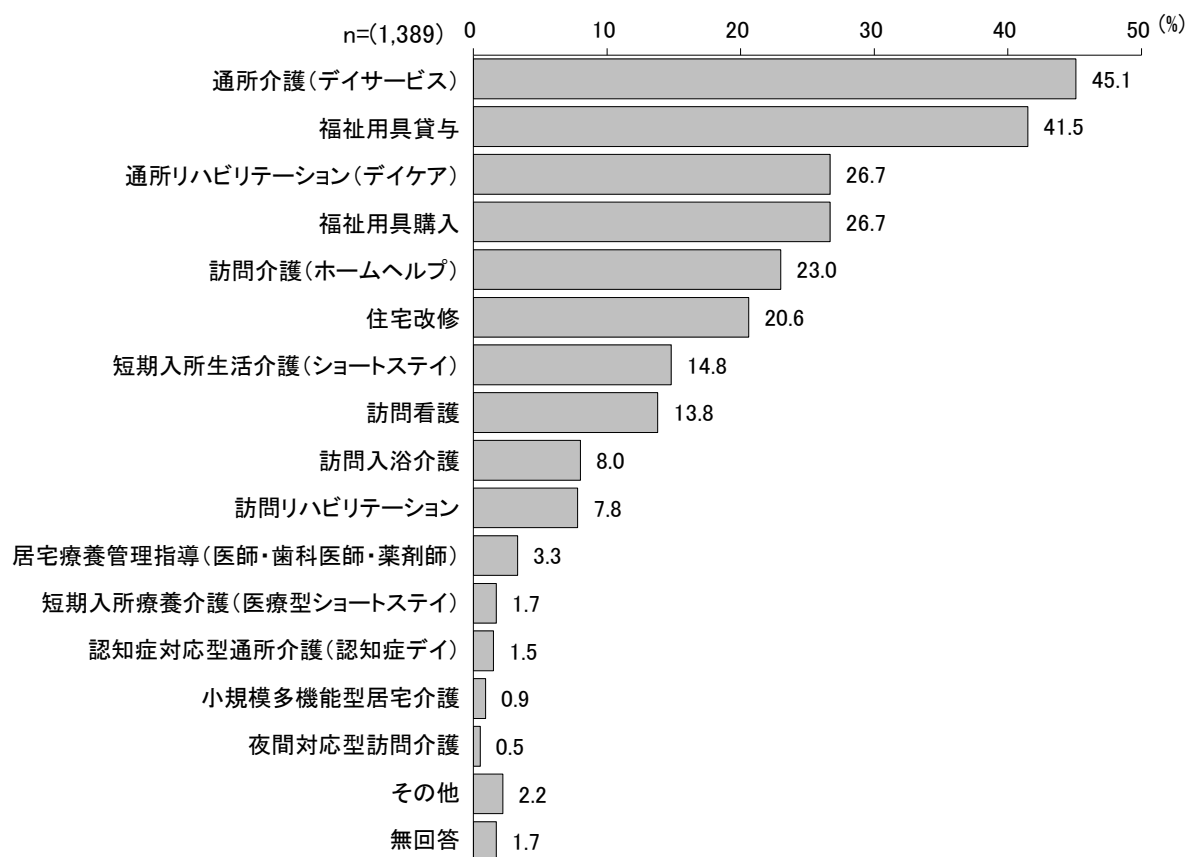
(4-1) 利用している介護保険サービスの種類

【問36で「1. 現在、利用している」に○をつけた方におたずねします。】

問36-1 利用されている介護サービスの種類に○をしてください。

(あてはまるものすべてに○)

介護保険サービスを「現在、利用している」と回答した方に、利用している介護サービスの種類をたずねたところ、「通所介護（デイサービス）」が45.1%で最も高く、次いで「福祉用具貸与」が41.5%となっています。このほか、「通所リハビリテーション（デイケア）」と「福祉用具購入」が26.7%、「訪問介護（ホームヘルプ）」が23.0%などとなっています。

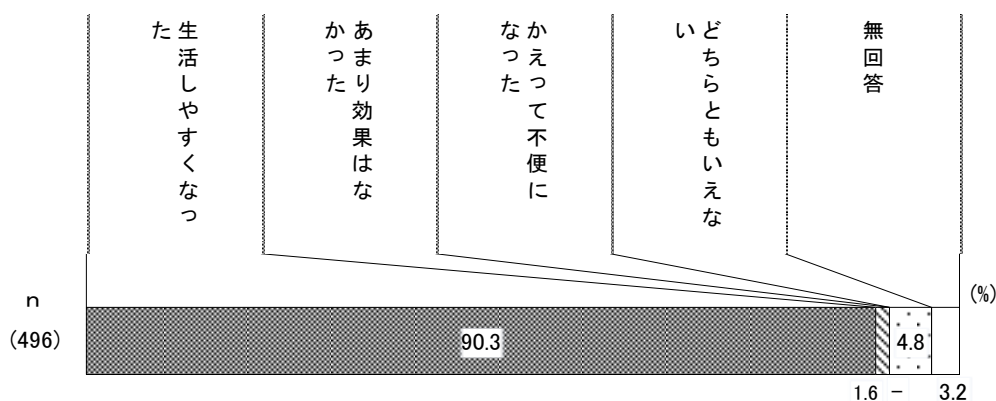


(4-1-1) 福祉用具購入や住宅改修の効果

【問36-1で「9. 福祉用具購入」、「11. 住宅改修」に○をつけた方におたずねします。】

問36-1-1 福祉用具や住宅改修を利用した効果はありましたか。(ひとつだけに○)

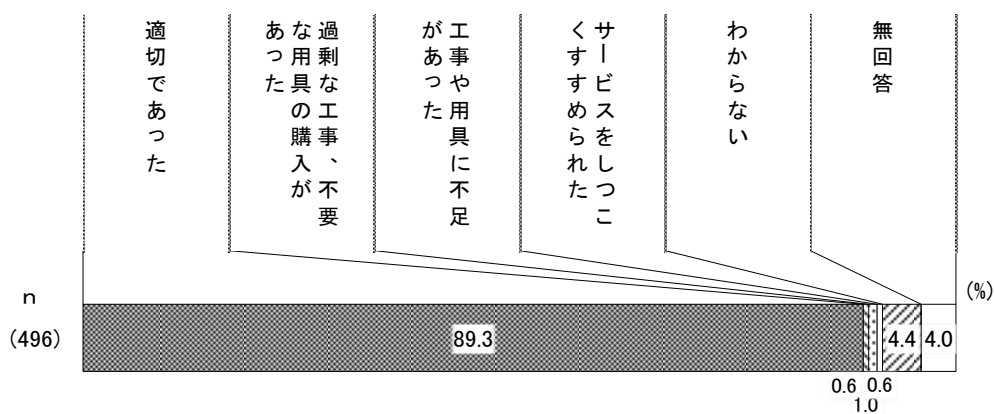
利用している介護保険サービスの種類で、「福祉用具購入」、「住宅改修」を回答した方に、利用した効果をたずねたところ、「生活しやすくなった」が90.3%となっています。



(4-1-2) 福祉用具購入や住宅改修の内容の適切さ

問36-1-2 福祉用具や住宅改修の内容は適切でしたか。(ひとつだけに○)

利用している介護保険サービスの種類で、「福祉用具購入」、「住宅改修」を回答した方に、福祉用具購入や住宅改修の内容の適切さをたずねたところ、「適切であった」が89.3%となっています。



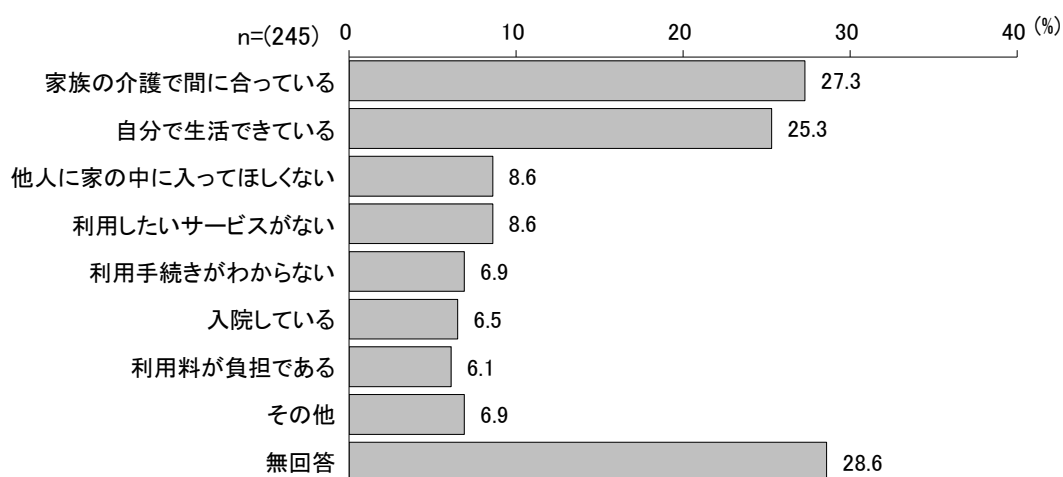
(4-2) 介護保険サービスを利用していない理由

【問36で「2. 過去に利用していたが、現在は利用していない」、「3. 利用していない」に○をつけた方におたずねします。】

問36-2 介護保険サービスを利用していない理由は何ですか。

(あてはまるものすべてに○)

介護保険サービスを《未利用》と回答した方に、その理由をたずねたところ、「家族の介護で間に合っている」が27.3%、「自分で生活できている」が25.3%とおおむね並んで高くなっています。

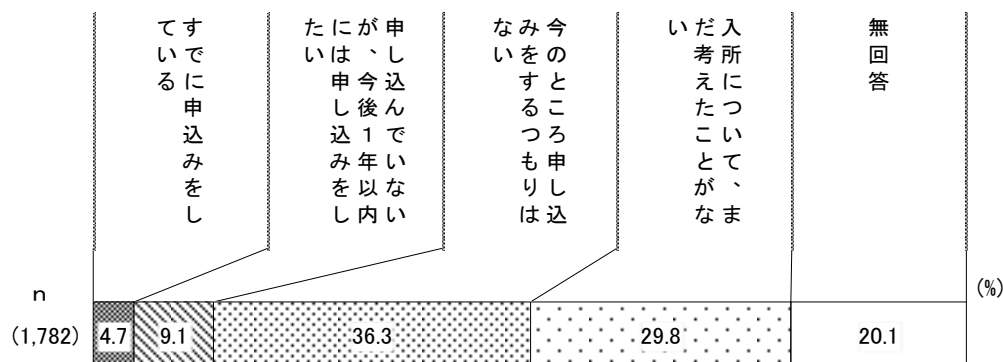


(5) 施設等への入所・入居の検討状況

問37 現時点での、施設等への入所・入居の検討状況について、おたずねします。

(ひとつだけに○)

施設等への入所・入居の検討状況は、「すでに申込みをしている」が4.7%、「申し込んでいないが、今後1年以内には申し込みをしたい」が9.1%となっています。一方、「今のところ申し込みをするつもりはない」が36.3%で最も高く、次いで「入所について、まだ考えたことがない」が29.8%となっています。

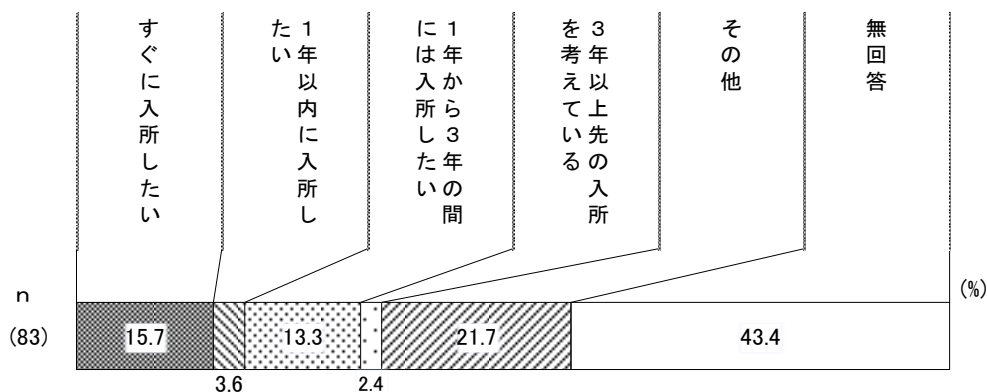


(5-1) 入所希望時期

【問37で「1. すでに申し込みをしている」に○をつけた方におたずねします。】

問37-1 入所の時期は、いつごろをご希望ですか。(ひとつだけに○)

施設等への入所・入居の検討状況で、「すでに申し込みをしている」と回答した方に、入所希望時期をたずねたところ、「すぐに入所したい」が15.7%、「1年以内に入所したい」が3.6%で、これらを合わせた《1年以内》は19.3%となっています。



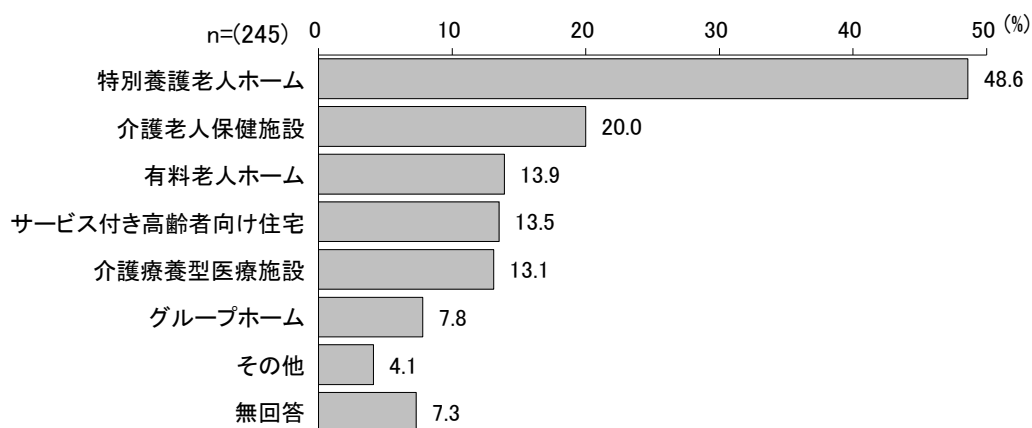
(5-2) 入所・入居の申し込みをしている（申し込みをしたい）施設等

【問37で「1. すでに申し込みをしている」、「2. 申し込んでいないが、今後1年以内には申し込みをしたい」に○をつけた方におたずねします。】

問37-2 申し込みをしている（申し込みをしたい）施設等は、どちらですか。

(あてはまるものすべてに○)

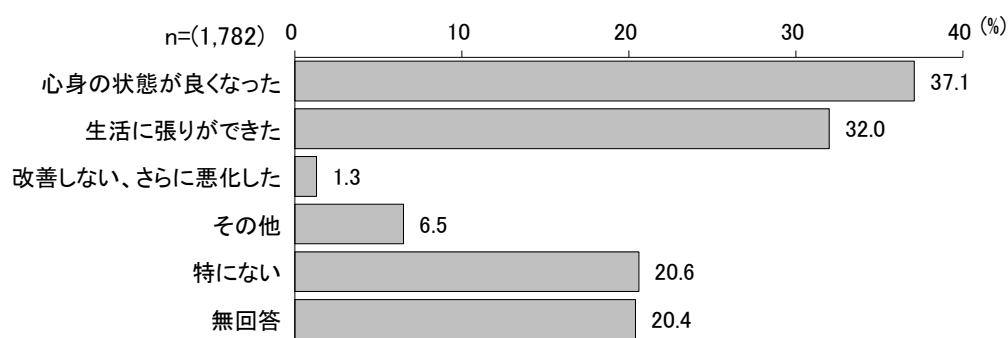
施設等への入所・入居の検討状況で、「すでに申し込みをしている」、「申し込んでいないが、今後1年以内には申し込みをしたい」と回答した方に、申し込みをしている（申し込みをしたい）施設等をたずねたところ、「特別養護老人ホーム」が48.6%で最も高く、次いで「介護老人保健施設」が20.0%となっています。



（６）介護保険サービスを利用したことによる変化

問38 介護保険サービスを利用したことで、次にあげるような変化はありましたか。
（あてはまるものすべてに○）

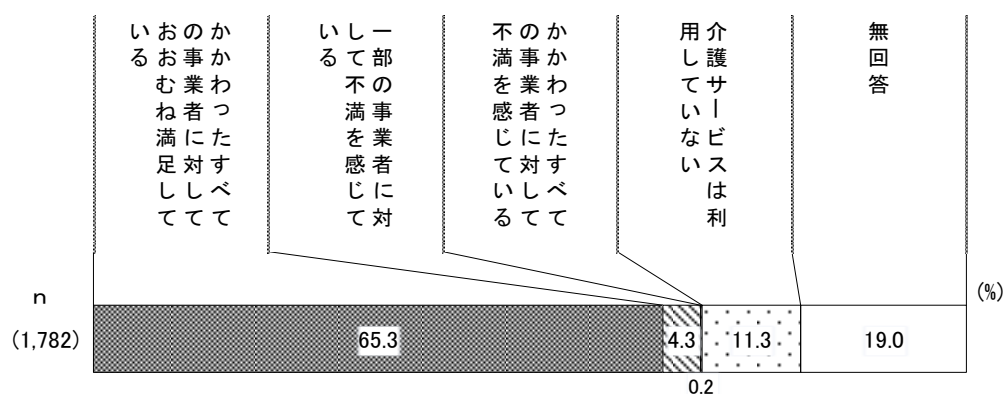
介護保険サービスを利用したことによる変化としては、「心身の状態が良くなった」が37.1%で最も高く、次いで「生活に張りができた」が32.0%などとなっています。一方、「特にない」が20.6%です。



（７）介護保険サービス提供事業者の満足度

問39 過去 1 ヶ月間に利用した、ケアマネジャーを除く介護保険サービス提供事業者に対する満足度はいかがですか。（ひとつだけに○）

介護保険サービス提供事業者の満足度は、「かかわったすべての事業者に対しておおむね満足している」が65.3%で最も高くなっていますが、「一部の事業者に対して不満を感じている」が4.3%みられます。

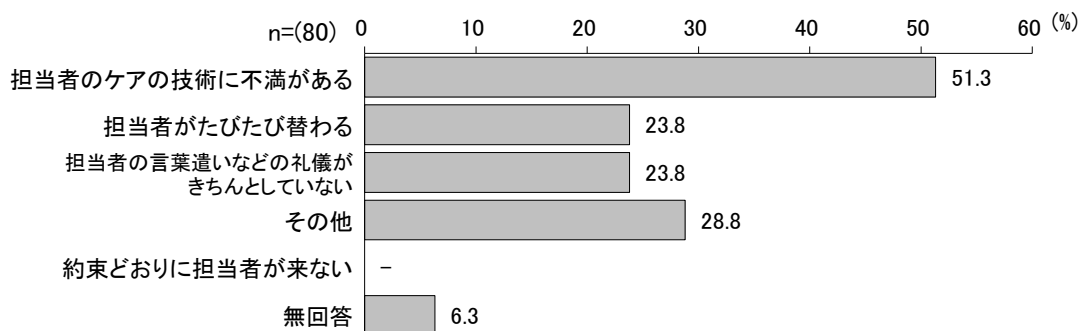


(7-1) 介護保険サービス提供事業者に不満を感じた理由

【問39で「2. 一部の事業者に対して不満を感じている」、「3. かかわったすべての事業者に対して不満を感じている」に○をつけた方におたずねします。】

問39-1 具体的にはどのような不満をお持ちですか。(あてはまるものすべてに○)

介護保険サービス提供事業者の満足度で、「一部の事業者に対して不満を感じている」、「かかわったすべての事業者に対して不満を感じている」と回答した方に、その理由をたずねたところ、「担当者のケアの技術に不満がある」が51.3%で最も高くなっています。

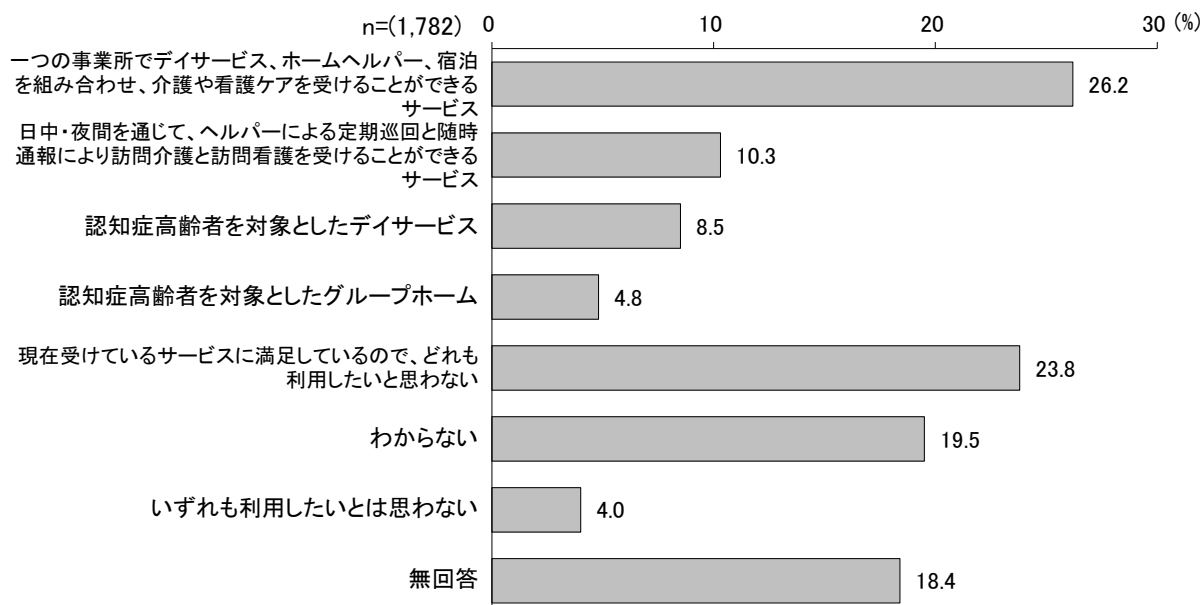


(8) 今後利用したい介護保険サービス

問40 次のサービスのうち、今後、利用してみたいサービスはどれですか。

(あてはまるものすべてに○)

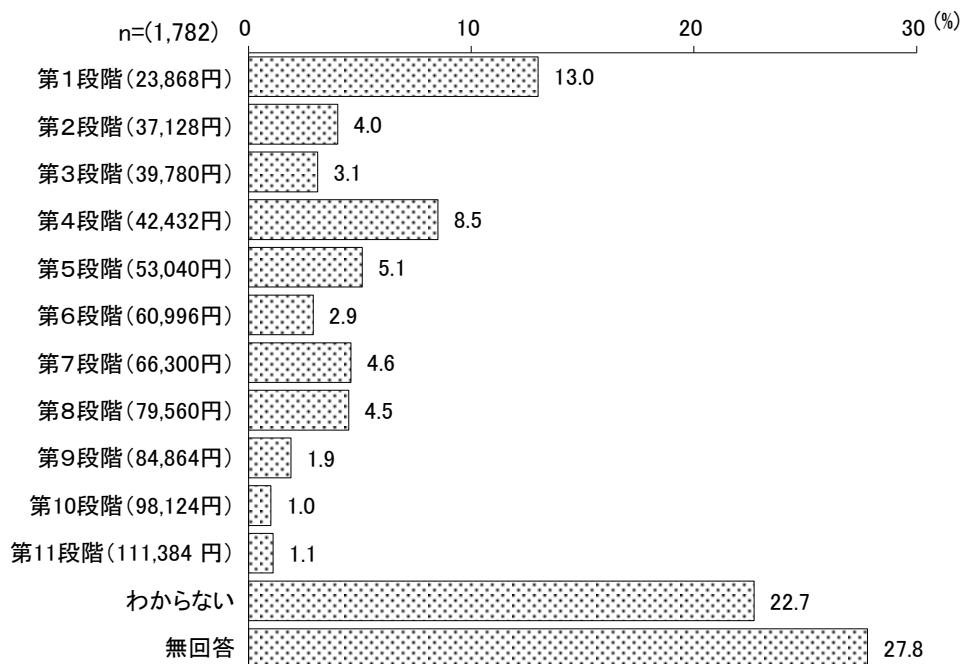
今後利用したい介護保険サービスとしては、「一つの事業所でデイサービス、ホームヘルパー、宿泊を組み合わせ、介護や看護ケアを受けることができるサービス」が26.2%で最も高く、次いで「日中・夜間を通じて、ヘルパーによる定期巡回と随時通報により訪問介護と訪問看護を受けることができるサービス」が10.3%となっています。一方、「現在受けているサービスに満足しているので、どれも利用したいと思わない」が23.8%です。



(9) 介護保険の所得段階区分

問41 あなたの介護保険料の「所得段階区分」は、どの段階ですか。
平成28年度納入通知書の所得段階区分をご確認ください。ご不明な方は、納入通知書をご覧ください。(ひとつだけに○)

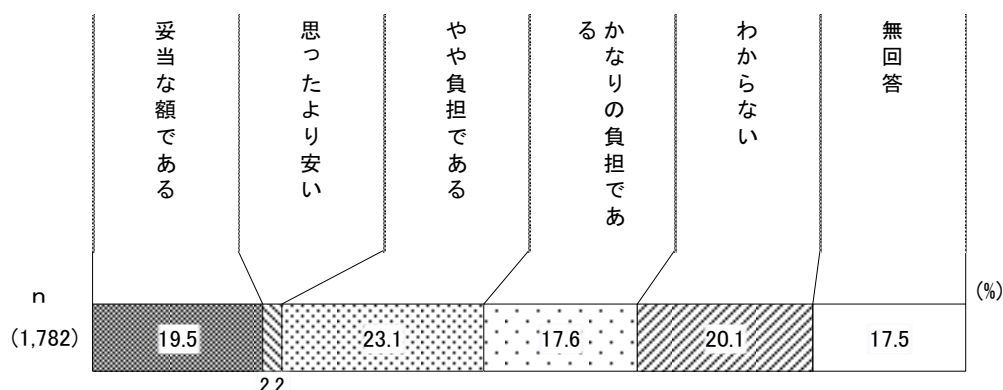
介護保険の所得段階区分では、「第1段階(23,868円)」が13.0%で最も高く、次いで「第4段階(42,432円)」が8.5%などとなっています。



(10) 介護保険料の支払い額について

問42 介護保険料の支払い額について、どのように思いますか。(ひとつだけに○)

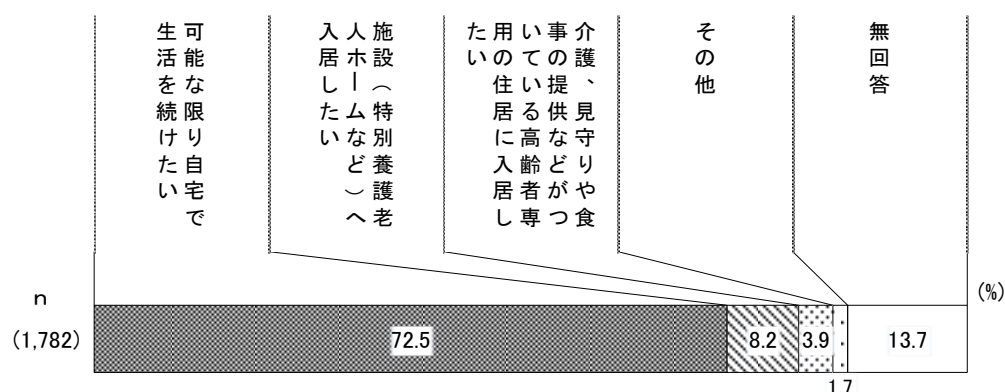
介護保険料の支払い額については、「妥当な金額である」が19.5%、「思ったより安い」が2.2%となっています。一方、「やや負担である」が23.1%で最も高く、「かなりの負担である」(17.6%)を合わせた《負担である》は40.7%です。



(11) 今後介護を受けたい場所

問43 あなたは、今後どのような場所で介護を希望しますか。(ひとつだけに○)

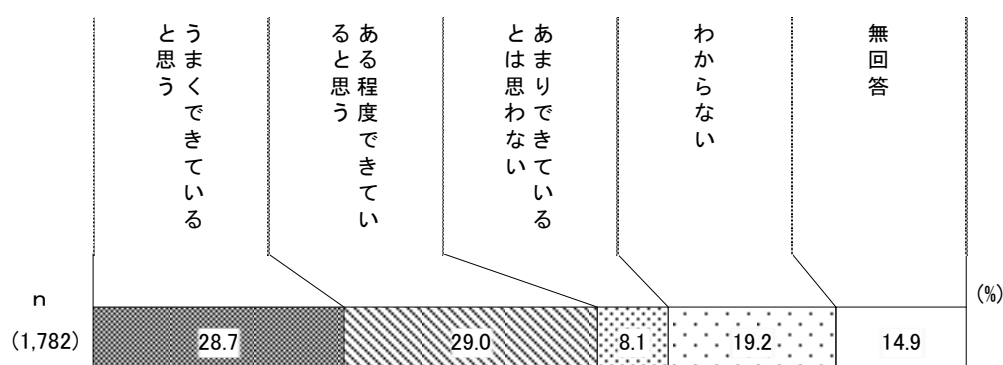
今後介護を受けたい場所では、「可能な限り自宅で生活が続けたい」が72.5%で最も高くなっています。次いで「施設（特別養護老人ホームなど）へ入居したい」が8.2%となっています。



(12) 受けている介護サービスと医療機関の連携状況

問44 あなたの受けている介護サービスについて、医療機関（病院、診療所等）との連携はうまくできていると思いますか。(ひとつだけに○)

受けている介護サービスと医療機関の連携状況では、「うまくできていると思う」が28.7%、「ある程度できていると思う」が29.0%とおおむね並んで高くなっています。これらを合わせた《できていると思う》は57.7%です。一方、「あまりできているとは思わない」が8.1%みられます。

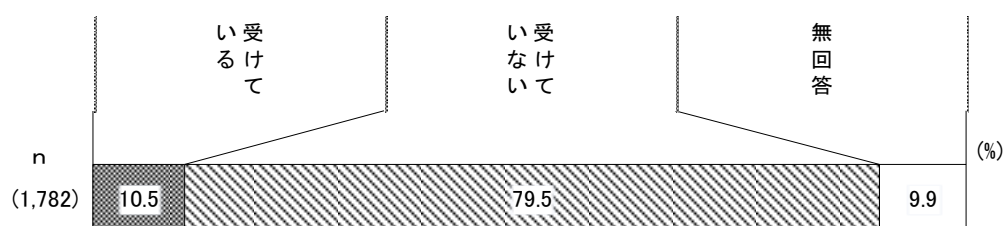


8 今後の「支え合い」のあり方について

(1) 介護保険サービス以外の地域の支え合いによる支援

問45 現在、近隣の住民、ボランティア団体などによる見守り、掃除・洗濯・買い物・ゴミ出しなどの家事援助、その他介護保険サービス以外で地域の支え合いによる支援を受けていますか。

介護保険サービス以外の地域の支え合いによる支援を「受けている」は10.5%で、「受けていない」が79.5%と高くなっています。

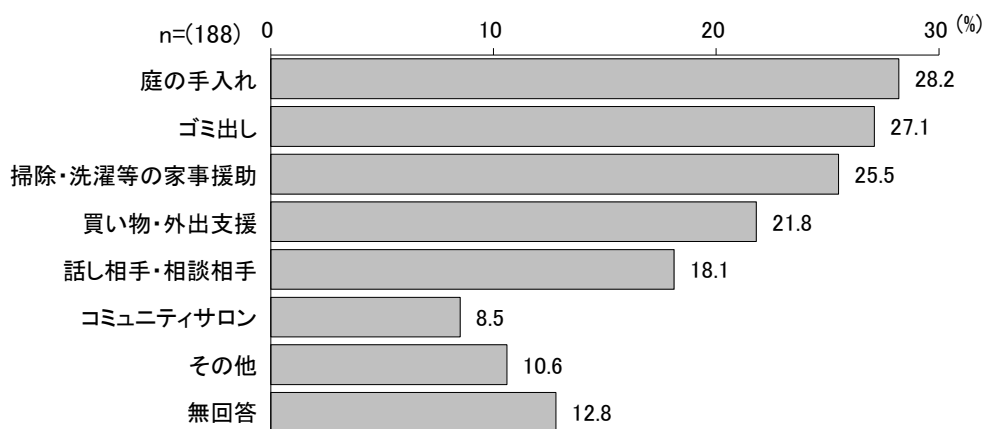


(1-1) 受けている地域の支え合いによる支援の内容

【問45で「1. 受けている」に○をつけた方におたずねします。】

問45-1 それはどのようなサービスですか。(あてはまるものすべてに○)

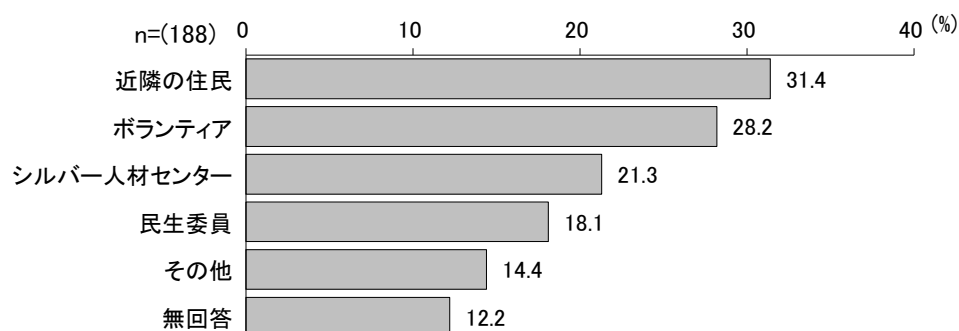
地域の支え合いによる支援を「受けている」と回答した方に、受けている支援の内容をたずねたところ、「庭の手入れ」が28.2%、「ゴミ出し」が27.1%とおおむね並んで高く、次いで「掃除・洗濯等の家事援助」が25.5%などとなっています。



（１－２）地域の支え合いによる支援の提供者

問45-2 それはどなたからのサービスですか。（あてはまるものすべてに○）

地域の支え合いによる支援を「受けている」と回答した方に、支援の提供者をたずねたところ、「近隣の住民」が31.4%、「ボランティア」が28.2%とおおむね並んで高くなっています。次いで「シルバー人材センター」が21.3%、「民生委員」が18.1%などとなっています。

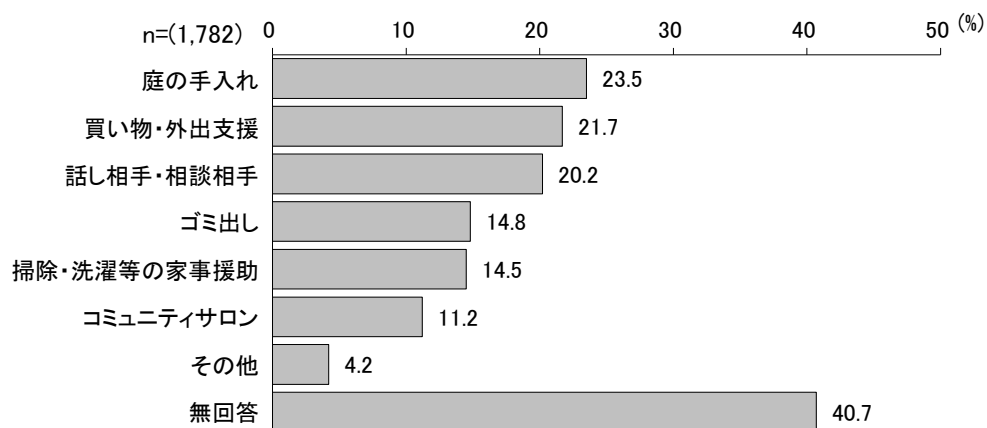


（２）地域の支え合いによる支援で希望するサービス

問46 近隣の住民、ボランティア団体などによる介護保険サービス以外の地域の支え合いにおいてどのようなサービスがあったら良いと思いますか。

（あてはまるものすべてに○）

地域の支え合いによる支援で希望するサービスとしては、「庭の手入れ」が23.5%、「買い物・外出支援」が21.7%、「話し相手・相談相手」が20.2%とおおむね並んで高くなっています。



9 自由回答

(1) 高齢者福祉サービスや介護保険サービスについての市への要望や意見

問47 最後になりますが、高齢者福祉サービスや介護保険サービスについて、市へのご要望、ご意見などがございましたら、ご記入ください。

回答者から寄せられた自由回答の総数は545件でした。回答の主な内容は、以下のとおりです。

なお、「介護保険サービスの充実に対する要望」と「茅ヶ崎市に対する要望・意見」がともに87件と最も多くなっています。

【介護保険サービスに対する要望・意見】

①介護保険サービスの充実に対する要望	87 件
②介護サービスの質の向上に関すること	14 件
③要支援・要介護状態区分の認定に関すること	51 件

【費用負担に関する要望・意見】

①介護保険料に関すること	24 件
②費用負担全般に関すること（生活費、医療費等を含む）	30 件

【茅ヶ崎市の高齢者保健福祉に関する要望・意見】

①介護予防・健康づくりに関すること	10 件
②福祉サービスの充実に関すること	44 件

【まちづくり、生きがいのづくりに関すること】

①ハード面の整備に関すること（施設、道路の整備バリアフリー化）	47 件
②ソフト面の整備に関すること（行事、ボランティア活動等）	35 件

【その他】

①介護保険、福祉などに関する情報提供、及び情報発信に対する要望	23 件
②茅ヶ崎市に対する要望・意見	87 件
③「現状ではまだわからない」、「これから考えたい」という回答	19 件
④「元気で自立した生活を送りたい」という意向	52 件
⑤上記以外（その他の意見、メッセージ等）	56 件

※複数の項目について記入されている回答もあるため、各項目における回答件数の合計と自由回答の総数は一致しません。

第4章 要支援・要介護認定者 個別調査（施設）

第4章 要支援・要介護認定者個別調査（施設）

本章では、施設の種類の違いを勘案して、他の章とは異なり、入所・入居している施設別の分析を中心に言及しています。

なお、介護療養型医療施設に入所している方の人数は少ないため、参考として掲載するものとし、分析には触れていません。

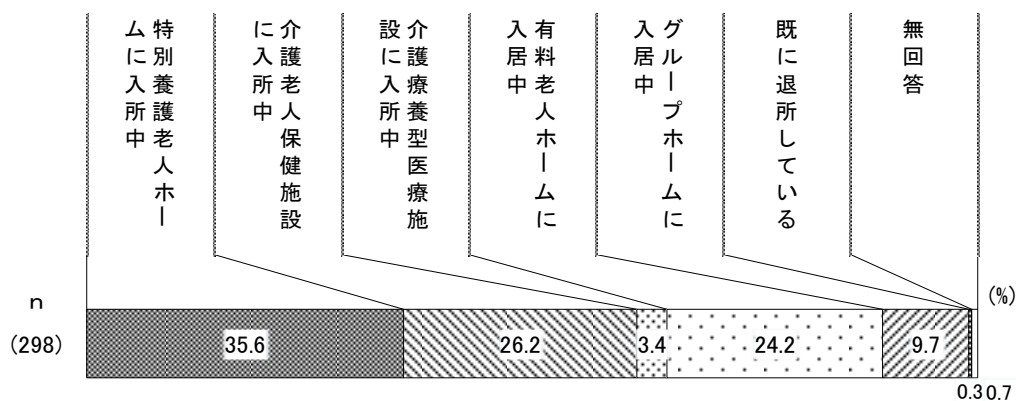
また、厳密には、介護3施設（特別養護老人ホーム、介護老人保健施設、介護療養型医療施設）と居住系サービス（有料老人ホーム、グループホーム）に分かれますが、便宜上、一括して「施設」という表現を用いています。

1 回答者について

（1）入所・入居している施設と退所状況

調査対象者の入所・入居している施設は、「特別養護老人ホームに入居中」が35.6%で最も高く、次いで「介護老人保健施設に入居中」が26.2%、「有料老人ホームに入居中」が24.2%などとなっています。

なお、回収された調査票298件のうち、調査実施時点で「既に退所している」との回答が1件、施設と退所状況に無回答が2件ありました。そのため、本調査の有効回答数は295件です。

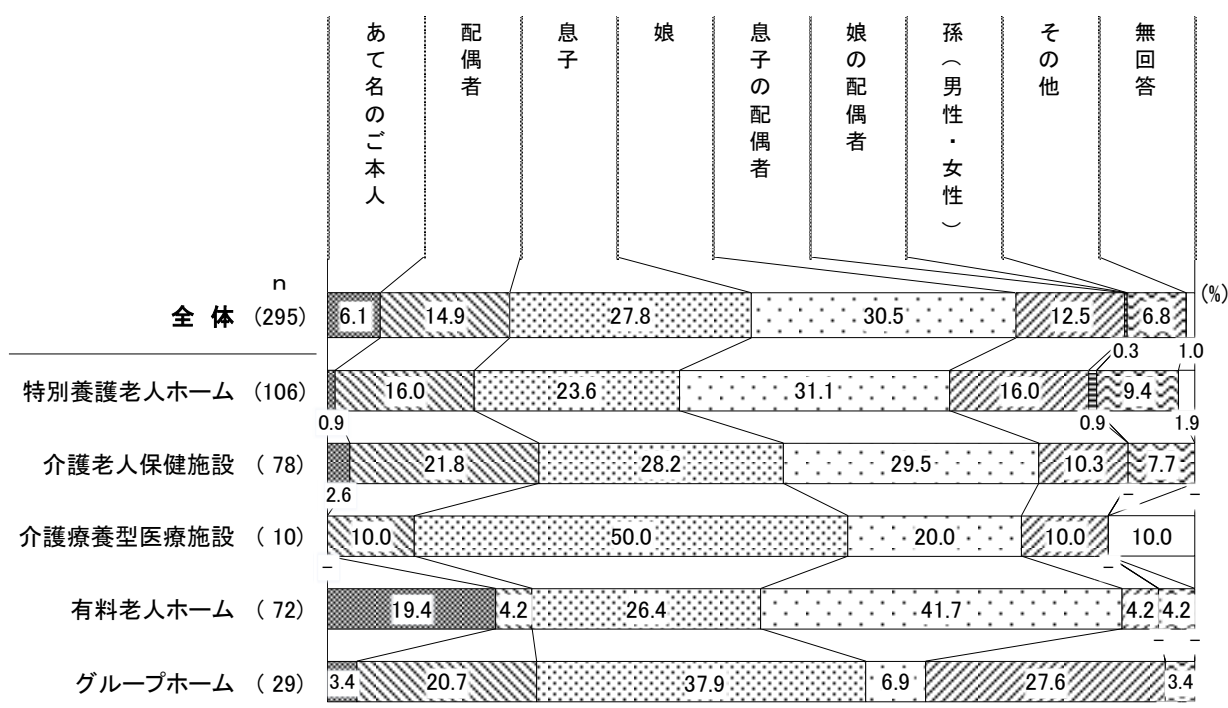


(2) 調査回答者

この調査票にご記入いただいているのは、どなたですか。(ひとつだけに○)

調査回答者は、“特別養護老人ホーム”の入所者、“介護老人保健施設”の入所者、“有料老人ホーム”の入居者では、それぞれの割合は異なりますが、「息子」か「娘」が高くなっています。なお、“有料老人ホーム”の入居者では「あて名のご本人」が19.4%みられます。

“グループホーム”の入居者では、「息子」が最も高くなっていますが、次いで“息子の配偶者”、“配偶者”などとなっています。

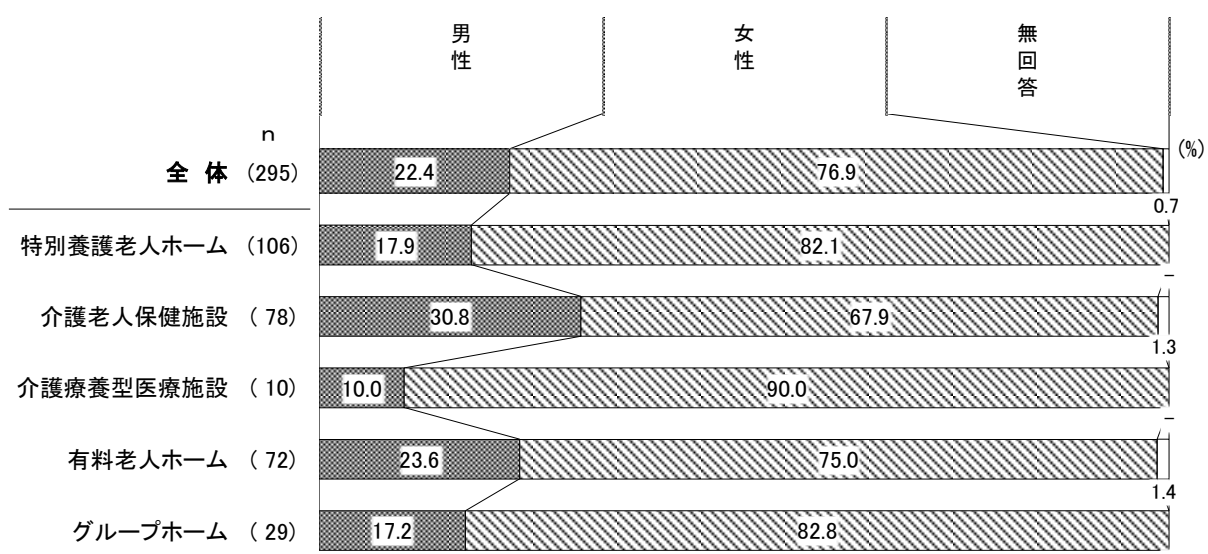


2 回答者（調査対象者）について

（１）性別

問１ あなたの性別をおたずねします。（ひとつだけに○）

調査対象者の性別は、いずれの施設の入所・入居者でも、「女性」の方が「男性」よりも高くなっています。なお、「男性」は、“介護老人保健施設”の入所者で30.8%と、他の施設に比べて高くなっています。

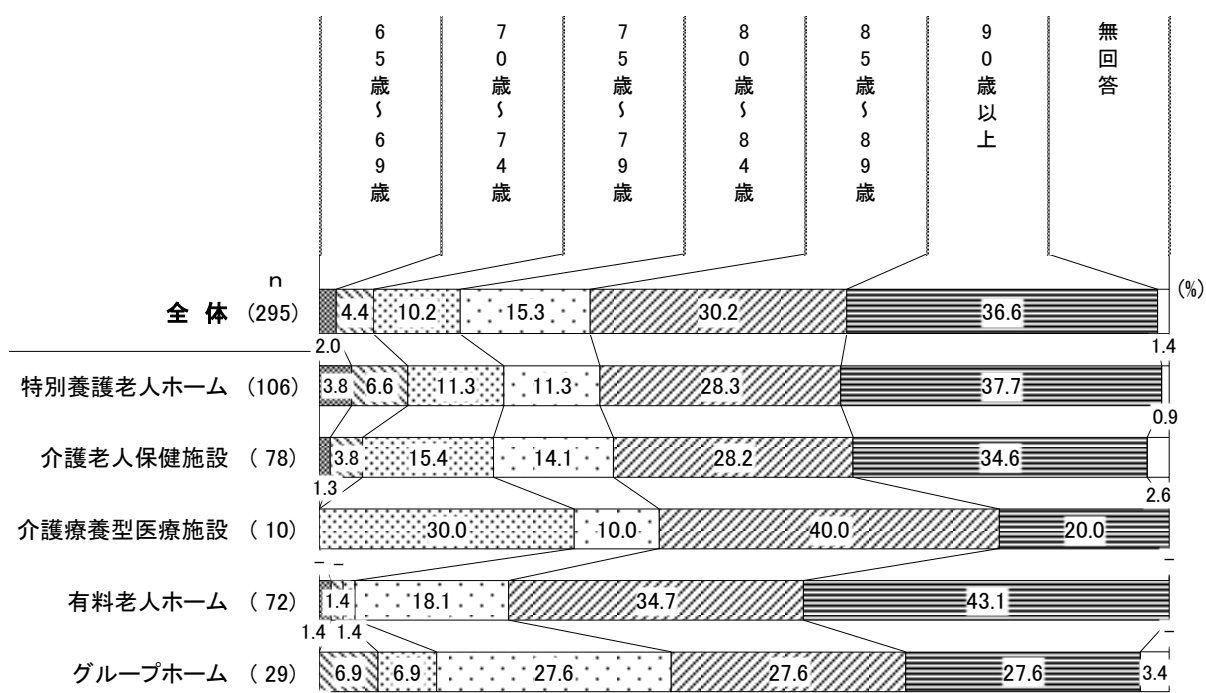


(2) 年齢

問2 あなたの年齢はおいくつですか。(平成28年10月1日現在の満年齢)

(ひとつだけに○)

調査対象者の年齢は、「90歳以上」がそれぞれの施設で高くなっていますが、“グループホーム”の入居者では、「80歳～84歳」、「85歳～89歳」が「90歳以上」と同じ割合で並んでいます。

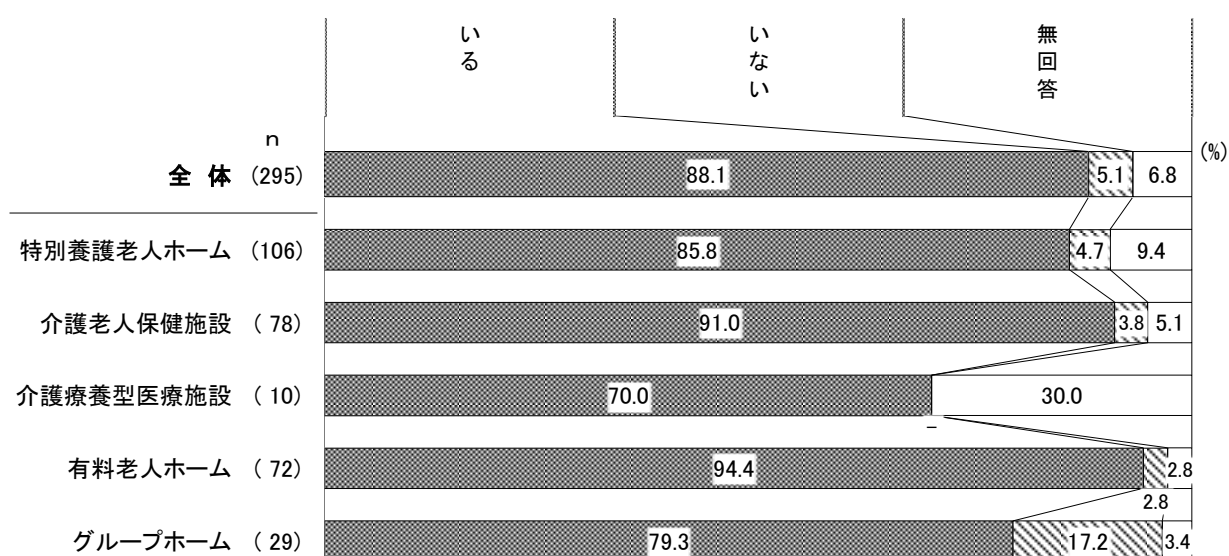


3 日常生活について

(1) 相談者の有無

問3 あなたには、悩みや心配ごとを相談できる人がいますか。

相談者の有無では、いずれの施設の入所・入居者でも、「いる」の方が「いない」よりも高く、特に、「有料老人ホーム」の入居者と「介護老人保健施設」の入所者は、「いる」が9割以上となっています。一方、「いない」は、「グループホーム」の入居者で17.2%と、他の施設に比べて高くなっています。



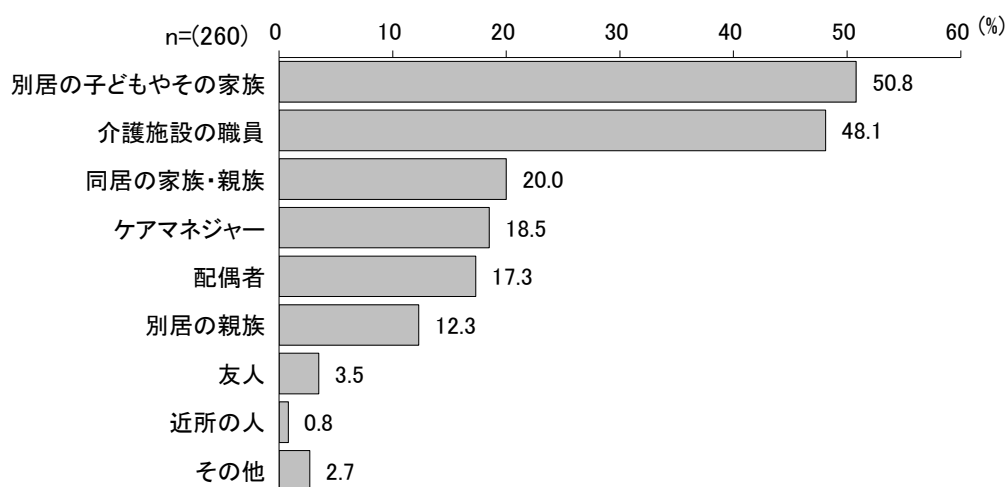
(1-1) 悩みや心配ごとの相談先

【問3で「1. いる」に○をつけた方におたずねします。】

問3-1 その方はどなたですか。(あてはまるものすべてに○)

相談者が「いる」と回答した方に、誰に相談するかたずねたところ、いずれの施設の入所・入居者でも、「別居の子どもやその家族」か「介護施設の職員」が高くなっています。

詳細をみると、“特別養護老人ホーム”の入所者、“介護老人保健施設”の入所者では、「別居の子どもやその家族」と「介護施設の職員」がおおむね並んでいます。一方、“有料老人ホーム”の入居者では「別居の子どもやその家族」が「介護施設の職員」よりも約18ポイント高く、“グループホーム”の入居者では「介護施設の職員」が「別居の子どもやその家族」よりも約26ポイント高くなっています。



	n	別居の子どもやその家族	介護施設の職員	同居の家族・親族	ケアマネジャー	配偶者	別居の親族	友人	近所の人	その他
全 体	260	50.8	48.1	20.0	18.5	17.3	12.3	3.5	0.8	2.7
特別養護老人ホーム	91	51.6	52.7	18.7	14.3	16.5	12.1	5.5	—	2.2
介護老人保健施設	71	40.8	42.3	32.4	22.5	25.4	11.3	1.4	1.4	1.4
介護療養型医療施設	7	42.9	—	42.9	—	—	—	—	—	14.3
有料老人ホーム	68	66.2	48.5	5.9	23.5	10.3	14.7	2.9	—	1.5
グループホーム	23	34.8	60.9	21.7	13.0	21.7	13.0	4.3	4.3	8.7

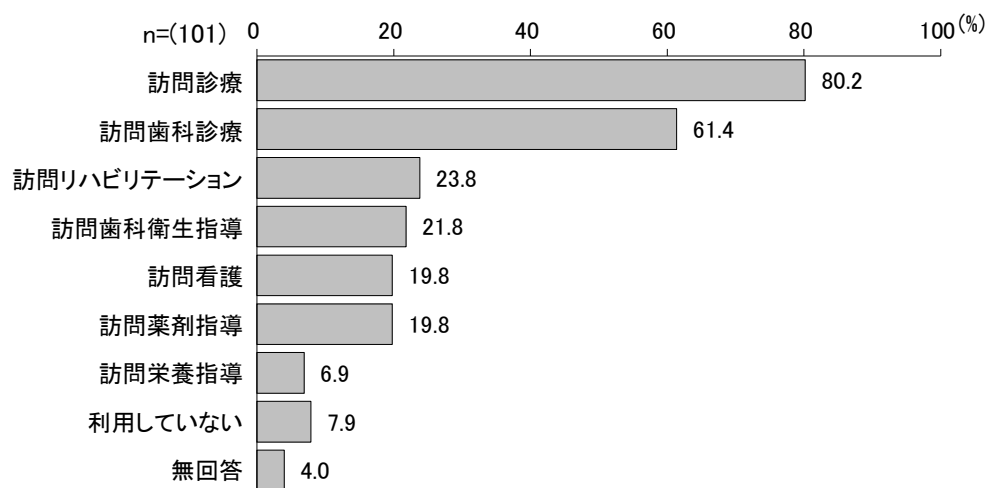
(2) 有料老人ホーム・グループホーム入居者の在宅医療サービス利用状況

【「4. 有料老人ホームに入居中」、「5. グループホームに入居中」に○をつけた方におたずねします。】

問4 どのような在宅医療サービスを利用していますか。(あてはまるものすべてに○)

“有料老人ホーム”の入居者と“グループホーム”の入居者に、在宅医療サービスの利用状況をたずねました。

その結果、どちらの施設の入居者とも「訪問診療」が8割前後で最も高く、次いで「訪問歯科診療」が6割台となっています。このほか、「訪問リハビリテーション」は“有料老人ホーム”の入居者が、“グループホーム”の入居者よりも約24ポイント高く、「訪問看護」でも“有料老人ホーム”の入居者は約18ポイント上回っています。



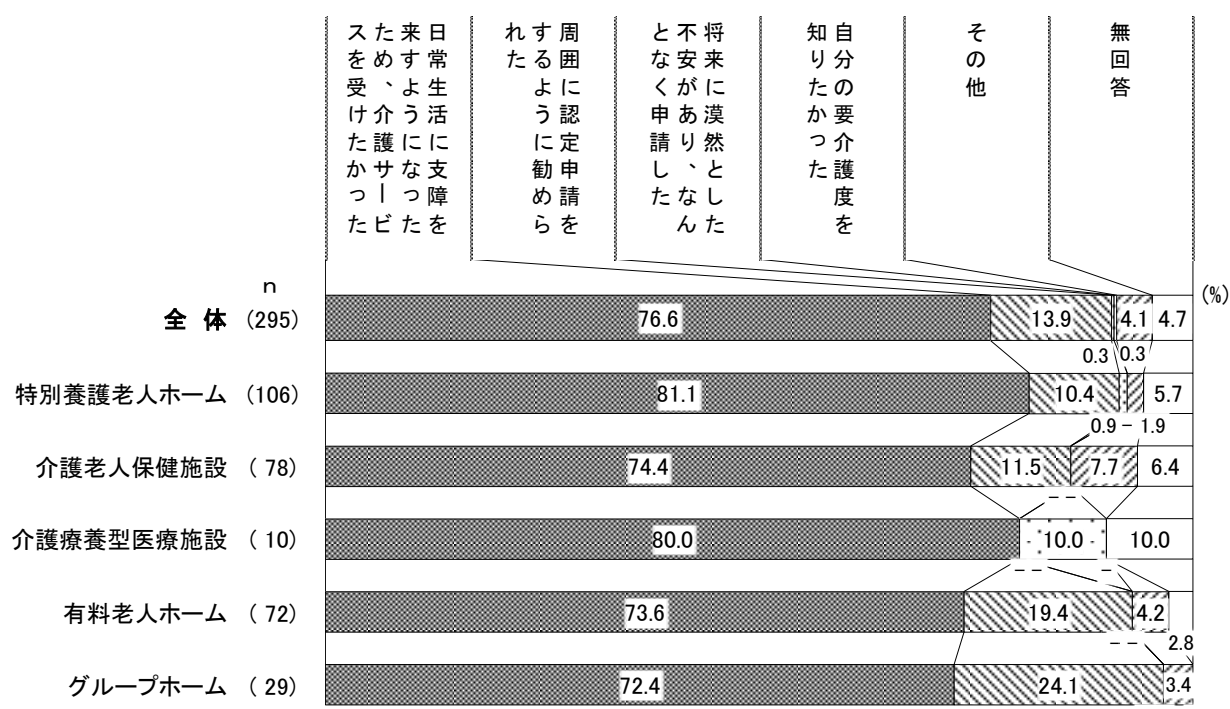
	n	訪問診療	訪問歯科診療	訪問リハビリテーション	訪問歯科衛生指導	訪問看護	訪問薬剤指導	訪問栄養指導	利用していない	無回答
全 体	101	80.2	61.4	23.8	21.8	19.8	19.8	6.9	7.9	4.0
有料老人ホーム	72	79.2	61.1	30.6	23.6	25.0	19.4	9.7	6.9	5.6
グループホーム	29	82.8	62.1	6.9	17.2	6.9	20.7	-	10.3	-

4 介護保険について

(1) 要介護認定を申請した理由

問5 あなたが、要介護認定を申請した理由は何ですか。(ひとつだけに○)

要介護認定を申請した理由は、いずれの施設の入所・入居者でも、「日常生活に支障を来すようになったため、介護サービスを受けたかった」が最も高く、特に、“特別養護老人ホーム”の入所者は81.1%となっています。また、「周囲に認定申請をするように勧められた」は、“グループホーム”の入居者で24.1%と、他の施設に比べて高くなっています。



(2) 要介護度

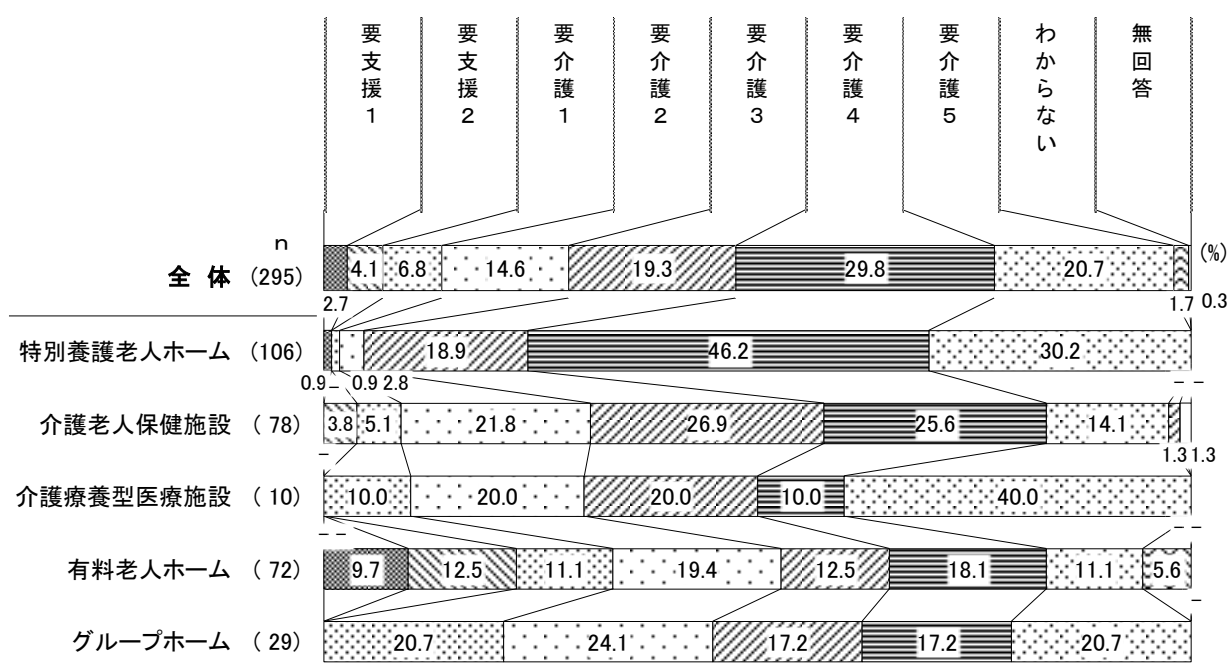
問6 あなたの要介護度はいくつですか。(ひとつだけに○)

要介護度は、“特別養護老人ホーム”の入所者では、「要介護4」が46.2%で最も高く、次いで「要介護5」が30.2%となっています。

“介護老人保健施設”の入所者では、「要介護3」(26.9%)と「要介護4」(25.6%)がおおむね並んで高くなっています。

“有料老人ホーム”の入居者では、「要介護2」(19.4%)と「要介護4」(18.1%)が約2割でおおむね並んでいます。また、他の施設と異なり、「要支援1」(9.7%)と「要支援2」(12.5%)が1割前後です。

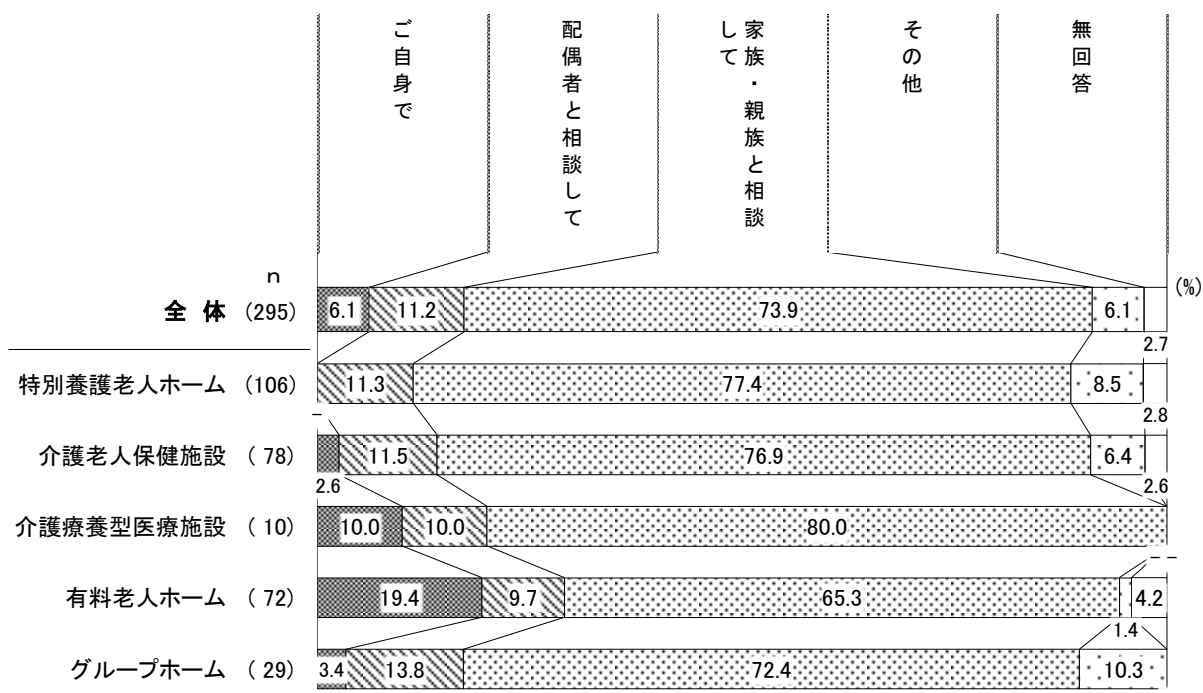
“グループホーム”の入居者では、「要介護2」(24.1%)が最も高く、次いで「要介護1」と「要介護5」が20.7%で並んでいます。



(3) 施設入所の決定者

問7 現在の施設の入所を決めたのはどなたですか。(ひとつだけに○)

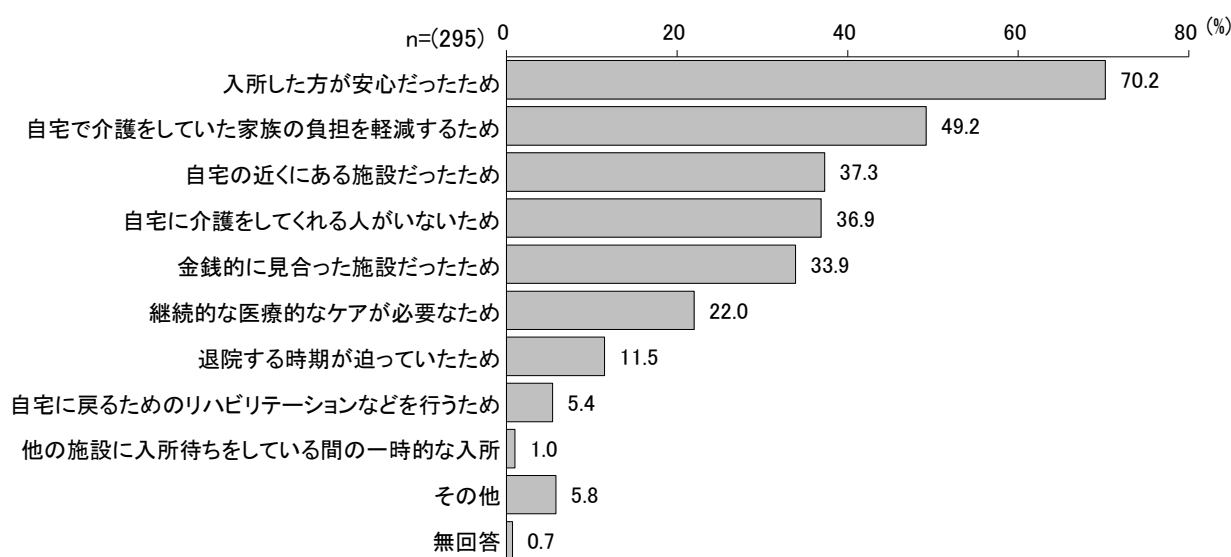
施設入所の決定者は、いずれの施設の入所・入居者でも、「家族・親族と相談して」が最も高くなっています。また、「ご自身で」は、“有料老人ホーム”の入居者で19.4%と、他の施設に比べて高くなっています。



(4) 施設入所の理由

問8 現在の施設に入所した理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

施設入所の理由は、いずれの施設の入所・入居者でも、「入所した方が安心だったため」が最も高く、特に、“特別養護老人ホーム”の入所者と“有料老人ホーム”の入居者は7割台半ばとなっています。2番目に高いのは、“介護老人保健施設”の入所者を除くと、「自宅で介護をしていた家族の負担を軽減するため」です。一方、“介護老人保健施設”の入所者では「自宅に介護をしてくれる人がいないため」が2番目に高くなっています。

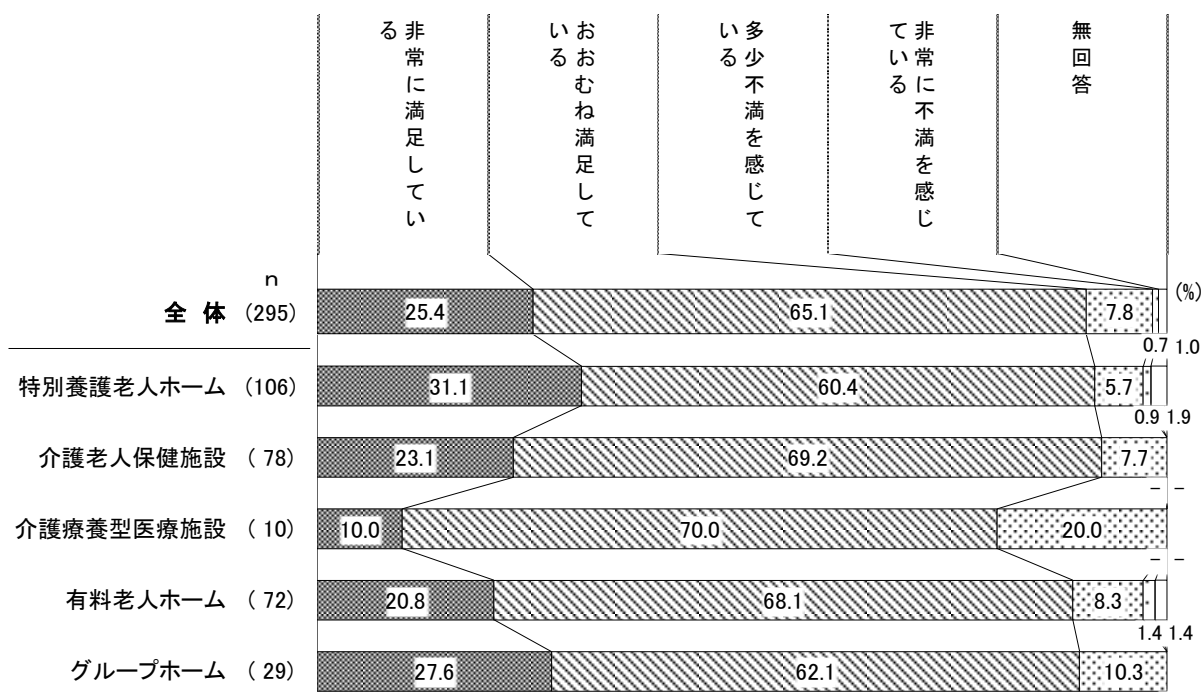


												(%)	
	n	入所した方が安心だったため	自宅の負担を軽減するために家族の負担を軽減するために	自宅の近くにある施設だったため	自宅に介護をしてくれる人がいないため	金銭的に見合った施設だったため	継続的な医療的なケアが必要なため	退院する時期が迫っていたため	リハビリテーションなどを行うため	自宅に戻るためのリハビリテーションなどを行うため	他の施設に入所待ちをしながら一時的な入所	その他	無回答
全 体	295	70.2	49.2	37.3	36.9	33.9	22.0	11.5	5.4	1.0	5.8	0.7	
特別養護老人ホーム	106	73.6	56.6	38.7	32.1	46.2	11.3	7.5	－	－	5.7	1.9	
介護老人保健施設	78	67.9	39.7	35.9	46.2	34.6	29.5	17.9	19.2	2.6	1.3	－	
介護療養型医療施設	10	40.0	30.0	30.0	60.0	30.0	60.0	20.0	－	－	－	－	
有料老人ホーム	72	75.0	44.4	37.5	34.7	27.8	29.2	13.9	1.4	－	9.7	－	
グループホーム	29	62.1	65.5	37.9	27.6	3.4	10.3	－	－	3.4	10.3	－	

（５）施設サービスの満足度

問９ 現在、入居中の施設が提供するサービスに満足していますか。（ひとつだけに○）

施設サービスの満足度は、「非常に満足している」と「おおむね満足している」を合わせた《満足している》が、いずれの施設の入所・入居者でも９割前後と高くなっています。



(5-1) 施設サービスに不満を感じている内容

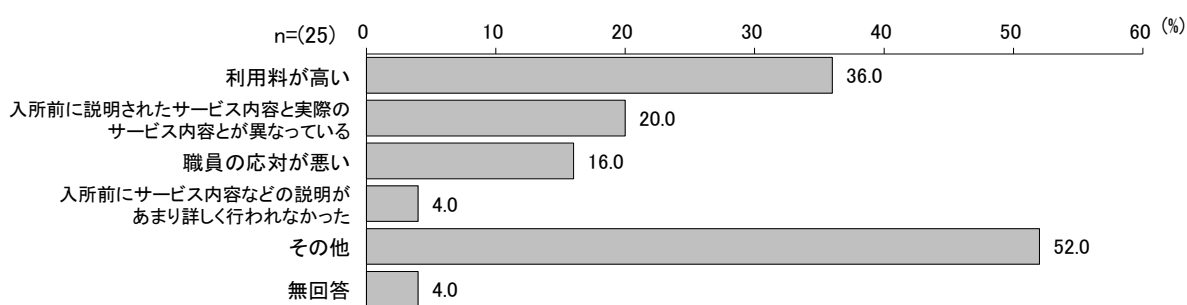
【問9で「3. 多少不満を感じている」、「4. 非常に不満を感じている」に○をつけた方におたずねします。】

問9-1 具体的に感じていらっしゃる内容についてご記入ください。

(あてはまるものすべてに○)

施設サービスの満足度で、「多少不満を感じている」、「非常に不満を感じている」と回答した方に、不満を感じている内容をたずねました。

それぞれの施設の人数が少ないことから、ここでは参考までに件数表を掲載するにとどめます。



		(件)					
	n	利用料が高い	入所前に説明されたサービス内容と実際のサービス内容とが異なっている	職員の対応が悪い	入所前にサービス内容などの説明があまり詳しく行われなかった	その他	無回答
全 体	25	9	5	4	1	13	1
特別養護老人ホーム	7	1	-	1	-	6	-
介護老人保健施設	6	2	3	3	-	1	-
介護療養型医療施設	2	1	-	-	-	2	-
有料老人ホーム	7	3	1	-	1	3	1
グループホーム	3	2	1	-	-	1	-

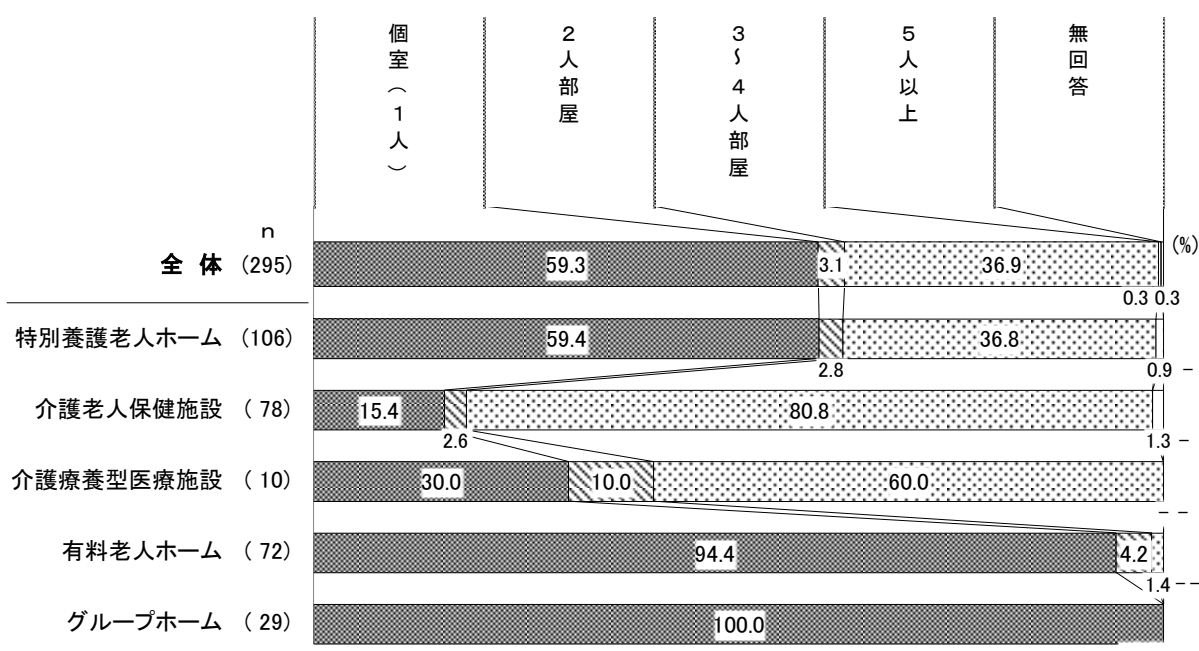
(6) 部屋の定員数

問10 現在、入居中の部屋の定員は何人ですか。(ひとつだけに○)

部屋の定員数は、“特別養護老人ホーム”の入所者では、「個室（1人）」が59.4%で最も高く、次いで「3～4人部屋」が36.8%となっています。

“介護老人保健施設”の入所者では、「3～4人部屋」が80.8%となっています。

“有料老人ホーム”の入居者では「個室（1人）」が94.4%で、“グループホーム”の入居者では全員が「個室（1人）」です。



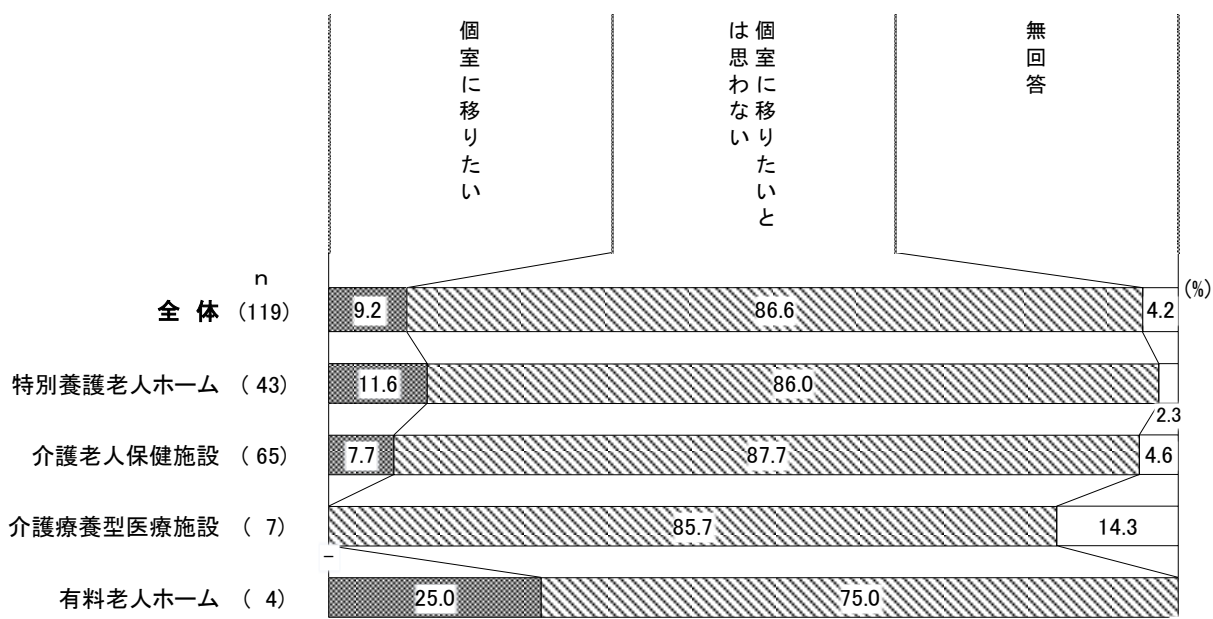
（６－１）個室への移動希望の有無

【問10で「2. 2人部屋」、「3. 3～4人部屋」、「4. 5人以上」に○をつけた方におたずねします。】

問10－1 個室に移動したいというご希望はありますか。（ひとつだけに○）

部屋の定員数で、「2人部屋」、「3～4人部屋」、「5人以上」と回答した方に、個室に移動したいという希望があるかをたずねました。

ここでは、“特別養護老人ホーム”の入所者と“介護老人保健施設”の入所者にだけ言及しますが、どちらも「個室に移りたいとは思わない」が8割台半ばとなっています。

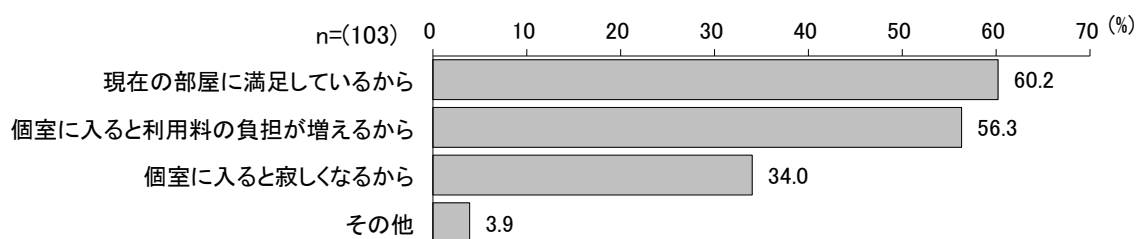


(6-1-1) 個室への移動を希望しない理由

【問10-1で「2. 個室に移りたいとは思わない」に○をつけた方におたずねします。】
問10-1-1 希望しない理由についてご記入ください。(あてはまるものすべてに○)

個室への移動希望の有無で、「個室に移りたいとは思わない」と回答した方に、個室への移動を希望しない理由をたずねました。

ここでは、“特別養護老人ホーム”の入所者と“介護老人保健施設”の入所者にだけ言及しますが、どちらも「現在の部屋に満足しているから」が、それぞれの施設で最も高く、特に、“介護老人保健施設”の入所者は63.2%となっています。また、「個室に入ると利用料の負担が増えるから」でも、“介護老人保健施設”の入所者は59.6%と“特別養護老人ホーム”の入所者よりも11ポイント高くなっています。



	n	現在の部屋に満足しているから (%)	個室に入ると利用料の負担が増えるから (%)	個室に入ると寂しくなるから (%)	その他 (%)
全 体	103	60.2	56.3	34.0	3.9
特別養護老人ホーム	37	56.8	48.6	29.7	5.4
介護老人保健施設	57	63.2	59.6	35.1	3.5
介護療養型医療施設	6	50.0	66.7	33.3	-
有料老人ホーム	3	66.7	66.7	66.7	-
グループホーム	-	-	-	-	-

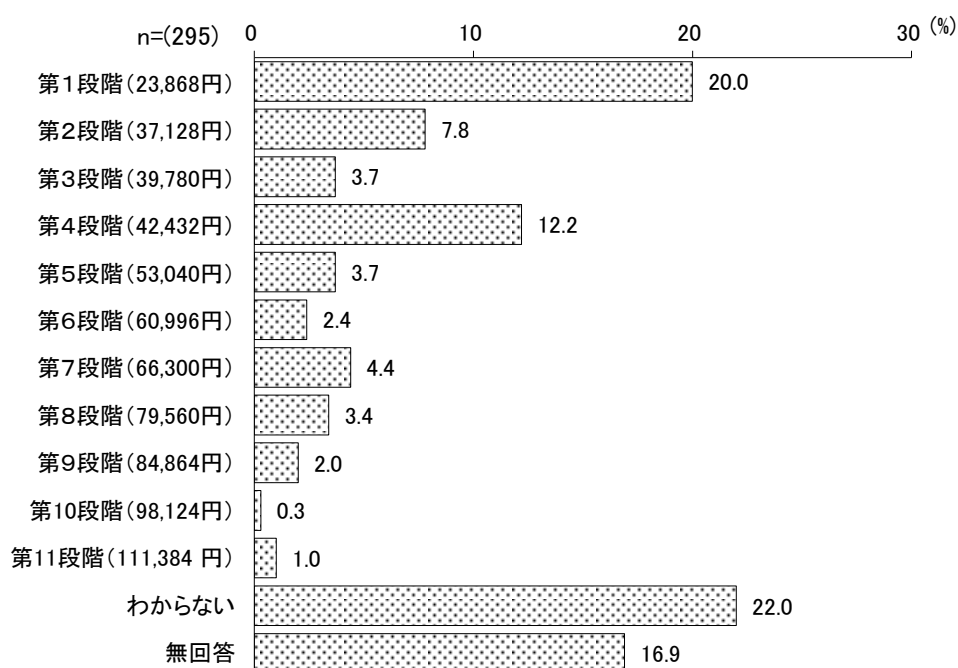
(7) 介護保険の所得段階区分

問11 あなたの介護保険料の「所得段階区分」は、どの段階ですか。

平成28年度納入通知書の所得段階区分をご確認ください。ご不明な方は、納入通知書をご覧ください。(ひとつだけに○)

介護保険の所得段階区分は、“特別養護老人ホーム”の入所者では、「第1段階(23,868円)」が27.4%で最も高くなっています。

“介護老人保健施設”の入所者、“有料老人ホーム”の入居者、“グループホーム”の入居者では、「第1段階(23,868円)」と「第4段階(42,432円)」が高くなっています。

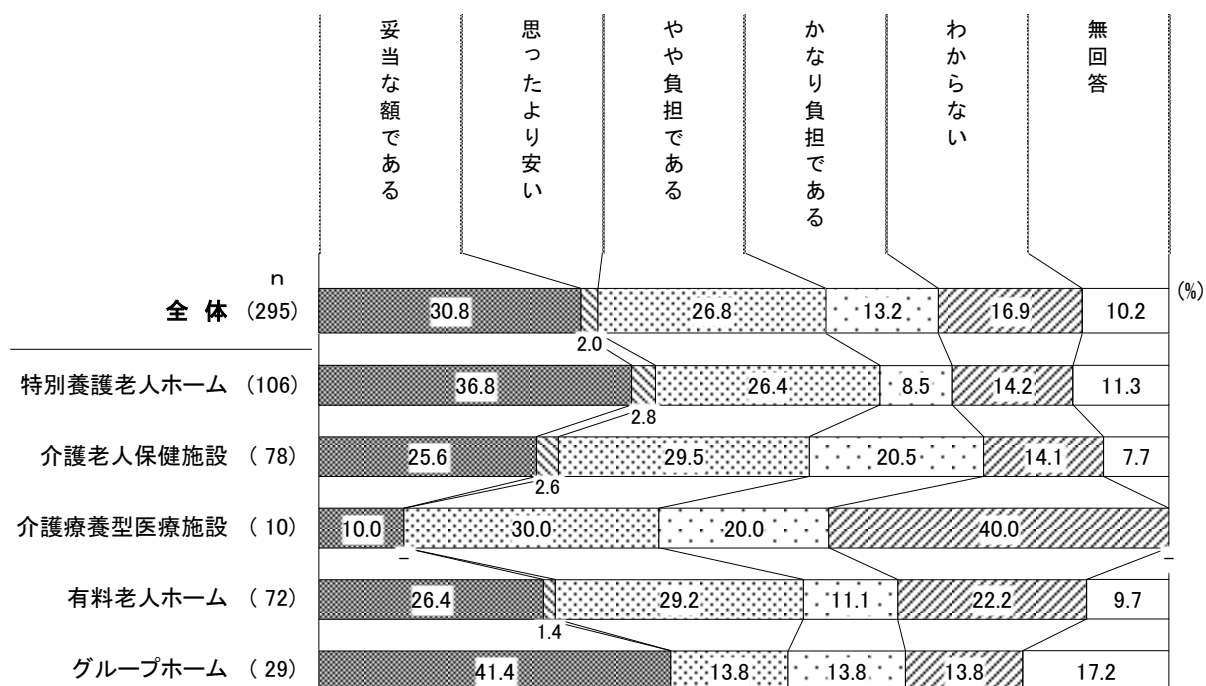


	n	第1段階 (23,868円)	第2段階 (37,128円)	第3段階 (39,780円)	第4段階 (42,432円)	第5段階 (53,040円)	第6段階 (60,996円)	第7段階 (66,300円)	第8段階 (79,560円)	第9段階 (84,864円)	第10段階 (98,124円)	第11段階 (111,384円)	わからない	無回答
全体	295	20.0	7.8	3.7	12.2	3.7	2.4	4.4	3.4	2.0	0.3	1.0	22.0	16.9
特別養護老人ホーム	106	27.4	7.5	5.7	8.5	6.6	1.9	4.7	1.9	0.9	-	0.9	20.8	13.2
介護老人保健施設	78	15.4	9.0	-	14.1	3.8	5.1	7.7	1.3	-	-	-	21.8	21.8
介護療養型医療施設	10	20.0	-	-	20.0	-	-	-	10.0	-	-	10.0	30.0	10.0
有料老人ホーム	72	16.7	9.7	5.6	15.3	1.4	1.4	1.4	5.6	5.6	1.4	1.4	20.8	13.9
グループホーム	29	13.8	3.4	3.4	10.3	-	-	3.4	6.9	3.4	-	-	27.6	27.6

(8) 介護保険料の支払額について

問12 介護保険料の支払い額について、どのように思いますか。(ひとつだけに○)

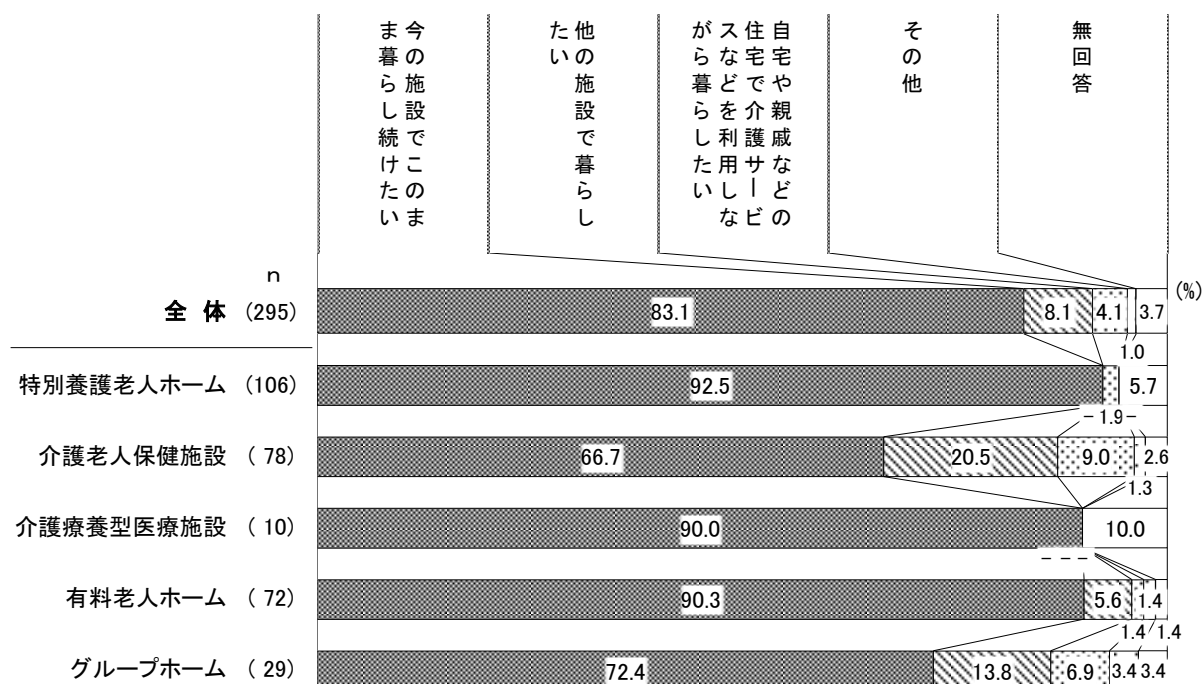
介護保険料の支払額については、“特別養護老人ホーム”の入所者と“グループホーム”の入居者では、「妥当な額である」が最も高く、特に、“グループホーム”の入居者は41.4%となっています。一方、「やや負担である」と「かなり負担である」を合わせた《負担である》は、“介護老人保健施設”の入所者で50.0%と、他の施設に比べて高くなっています。



（９）今後の生活の場についての考え

問13 今後の生活の場について、どのようにお考えですか。（ひとつだけに○）

今後の生活の場についての考えとしては、いずれの施設の入所・入居者でも、「今の施設でこのまま暮らし続けたい」が最も高くなっています。ただし、「介護老人保健施設」の入所者は、他の施設に比べて低く、「他の施設で暮らしたい」が20.5%となっています。



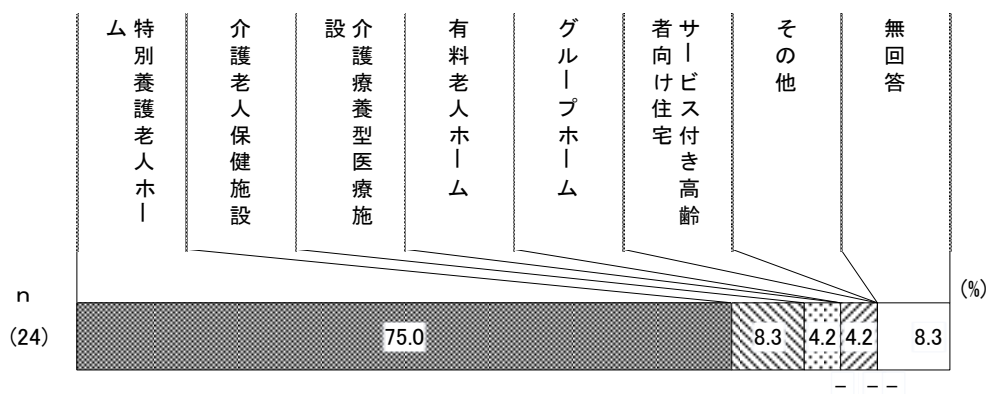
（９－１）生活の場を移したい施設の種類の種類

【問13で「2. 他の施設で暮らしたい」に○をつけた方におたずねします。】

問13-1 暮らしたい施設の種類をご記入ください。（ひとつだけに○）

今後の生活の場についての考えで、「他の施設で暮らしたい」と回答した方に、生活の場を移したい施設の種類の種類をたずねました。

ここでは、「介護老人保健施設」の入所者にだけ言及しますが、「特別養護老人ホーム」が高くなっています。



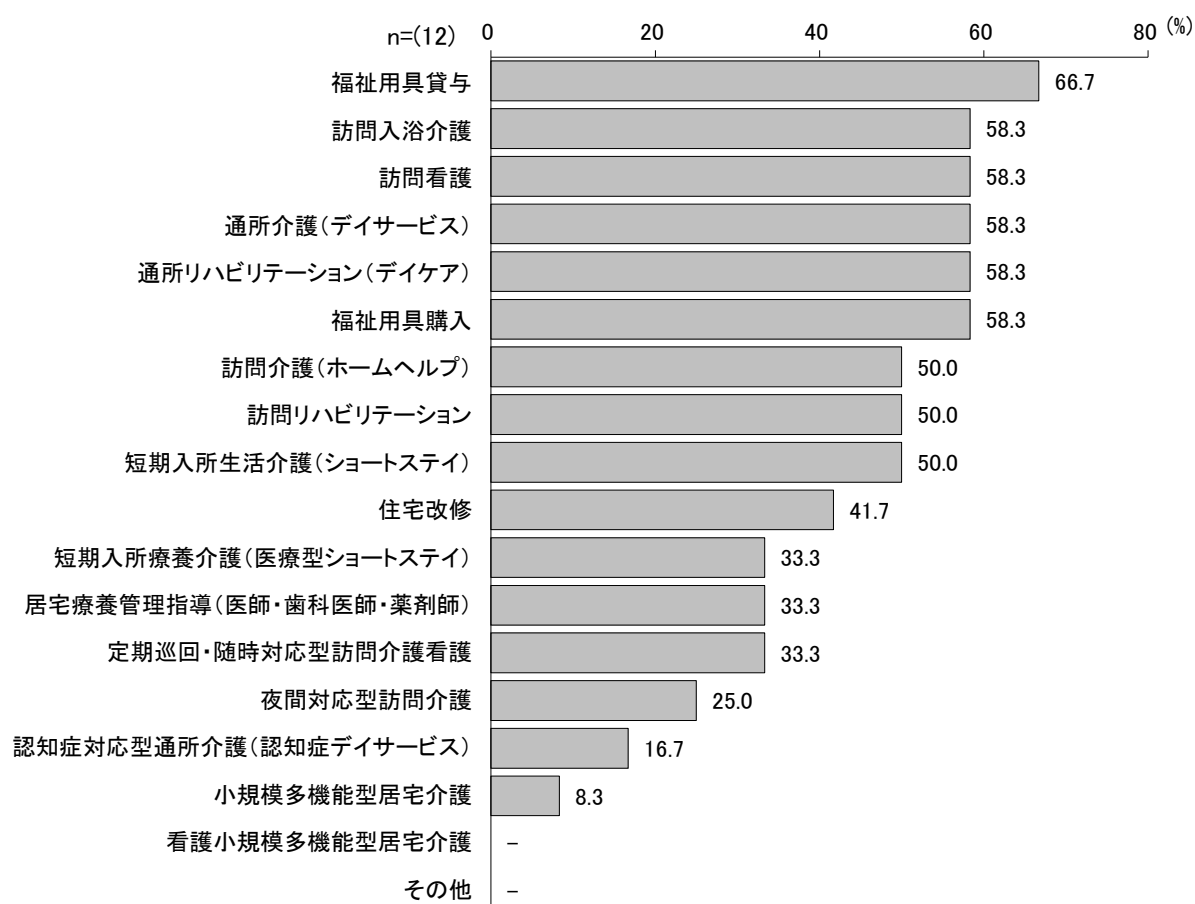
(9-2) 在宅生活をする場合に必要となる介護サービス

【問13で「3. 自宅や親戚などの住宅で介護サービスなどを利用しながら暮らしたい」に○をつけた方におたずねします。】

問13-2 在宅生活をする場合、必要となる介護サービスの種類に○をしてください。
(あてはまるものすべてに○)

今後の生活の場についての考えで、「自宅や親戚などの住宅で介護サービスを利用しながら暮らしたい」と回答した方に、在宅生活をする場合に必要となる介護サービスをたずねました。

それぞれの施設の人数が少ないことから、ここでは参考までに件数表を掲載するにとどめます。



(%)

	n	看護小規模多機能型居宅介護	福祉用具貸与	訪問入浴介護	訪問看護	通所介護（デイサービス）	通所リハビリテーション（デイケア）	福祉用具購入	訪問介護（ホームヘルプ）	訪問リハビリテーション	短期入所生活介護（ショートステイ）
全 体	12	-	66.7	58.3	58.3	58.3	58.3	58.3	50.0	50.0	50.0
特別養護老人ホーム	2	-	50.0	100.0	100.0	50.0	50.0	100.0	50.0	50.0	50.0
介護老人保健施設	7	-	71.4	42.9	28.6	71.4	85.7	42.9	42.9	57.1	57.1
介護療養型医療施設	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
有料老人ホーム	1	-	100.0	100.0	100.0	-	-	100.0	100.0	100.0	100.0
グループホーム	2	-	50.0	50.0	100.0	50.0	-	50.0	50.0	-	-

	n	住宅改修	短期入所療養介護（医療型ショートステイ）	居宅療養管理指導（医師・歯科医師・薬剤師）	定期巡回・随時対応型訪問介護看護	夜間対応型訪問介護	認知症対応型通所介護（認知症デイサービス）	小規模多機能型居宅介護	その他
全 体	12	41.7	33.3	33.3	33.3	25.0	16.7	8.3	-
特別養護老人ホーム	2	50.0	-	50.0	-	50.0	-	-	-
介護老人保健施設	7	42.9	42.9	28.6	42.9	14.3	-	14.3	-
介護療養型医療施設	-	-	-	-	-	-	-	-	-
有料老人ホーム	1	100.0	100.0	100.0	100.0	-	100.0	-	-
グループホーム	2	-	-	-	-	50.0	50.0	-	-

5 自由回答

(1) 高齢者福祉サービスや介護保険サービスについての市への要望や意見

問14 最後になりますが、高齢者福祉サービスや介護保険サービスについて、市へのご要望、ご意見などがございましたら、ご記入ください。

回答者から寄せられた自由回答の総数は78件でした。回答の主な内容は、以下のとおりです。
なお、「介護保険サービスの充実に対する要望」が24件と最も多くなっています。

【介護保険サービスに対する要望・意見】

①介護保険サービスの充実に対する要望	24 件
②介護サービスに対する満足、及び感謝の声	10 件
③介護サービスの質の向上に関すること	2 件
④要支援・要介護状態区分の認定に関すること	5 件

【費用負担に関する要望・意見】

①介護保険サービスの利用料に関すること	2 件
②介護保険料に関すること	6 件
③費用負担全般に関すること（生活費、医療費等を含む）	9 件

【その他】

①介護保険、福祉などに関する情報提供、及び情報発信に対する要望	4 件
②茅ヶ崎市に対する要望・意見	9 件
③上記以外（その他の意見、メッセージ等）	14 件

※複数の項目について記入されている回答もあるため、各項目における回答件数の合計と自由回答の総数は一致しません。

第5章 介護サービス事業所調査

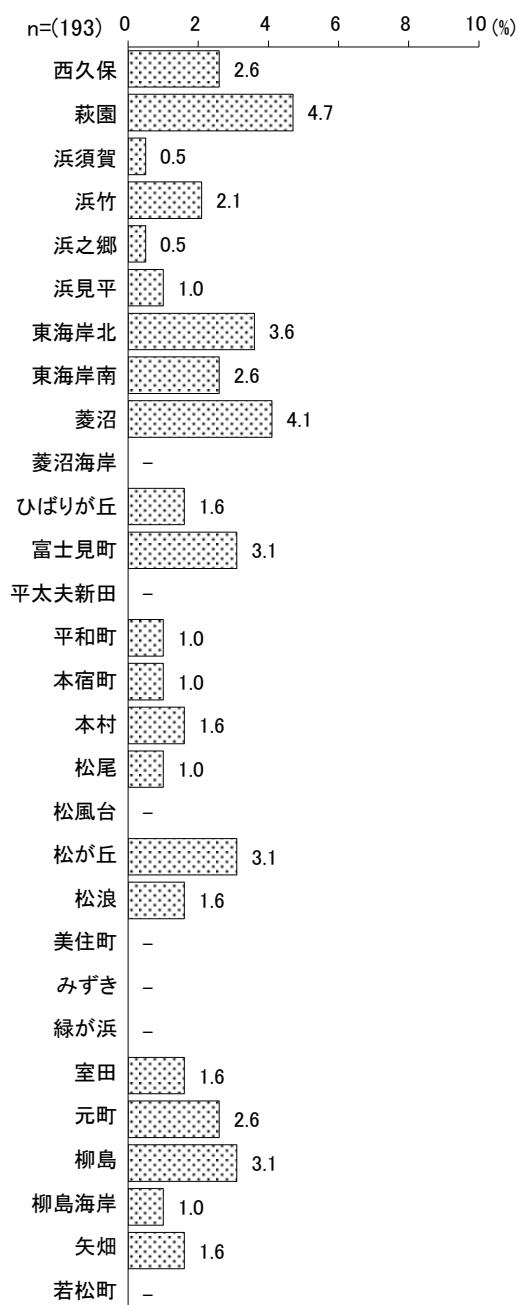
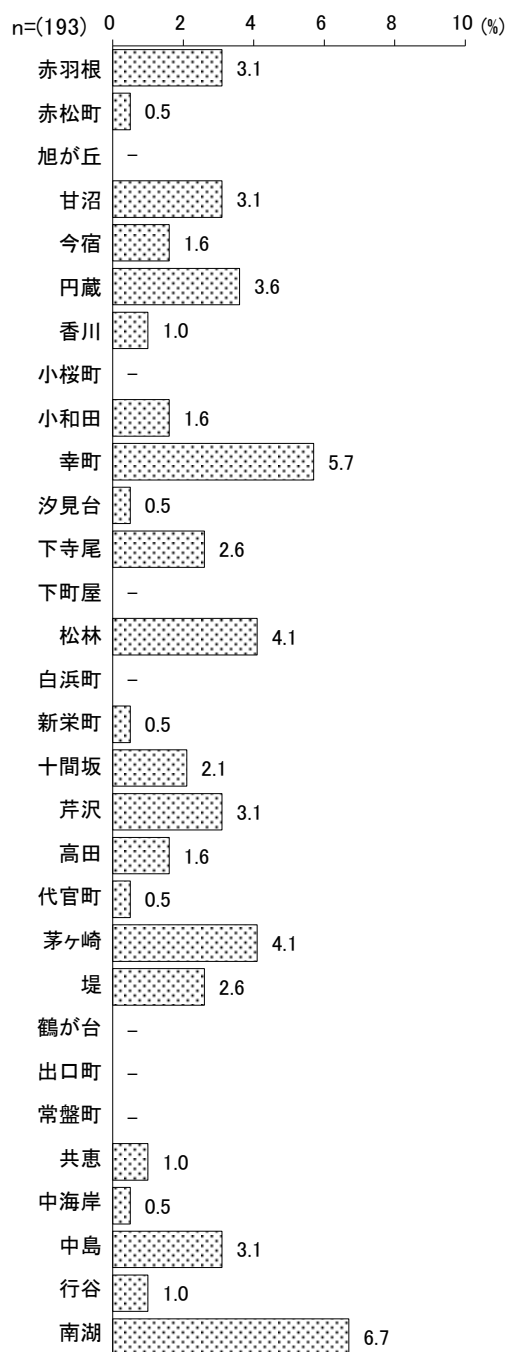
第5章 介護サービス事業所調査

1 事業所の概要について

(1) 事業所の所在地

問1 貴事業所の所在地はどちらですか。(下記の町名から、ひとつだけに○)

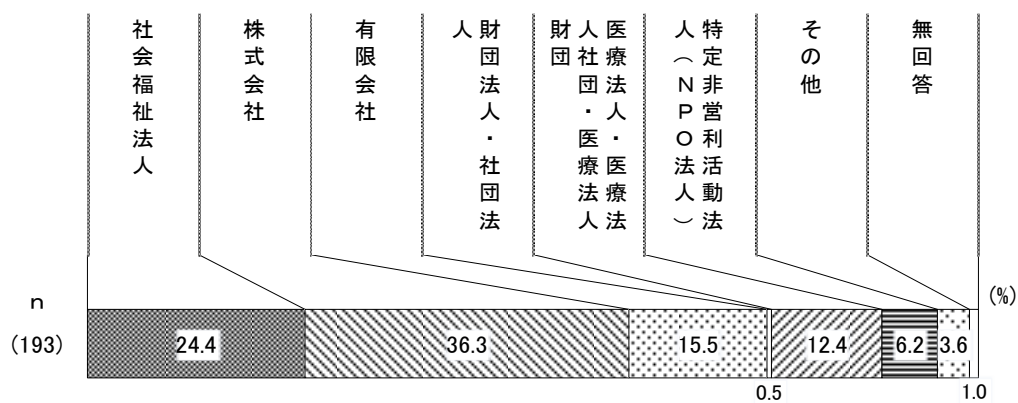
事業所の所在地は、「南湖」が6.7%で最も高く、次いで「幸町」が5.7%となっています。このほか、「萩園」(4.7%)、「松林」(4.1%)、「茅ヶ崎」(4.1%)、「菱沼」(4.1%)が4%台、「円蔵」(3.6%)、「東海岸北」(3.6%)、「赤羽根」(3.1%)、「甘沼」(3.1%)、「芹沢」(3.1%)、「中島」(3.1%)、「富士見町」(3.1%)、「松が丘」(3.1%)、「柳島」(3.1%)が3%台などとなっています。



(2) 事業所の組織（法人格）

問2 貴事業所の組織（法人格）は、次のうちどれですか。（ひとつだけに○）

事業所の組織（法人格）は、「株式会社」が36.3%で最も高く、次いで「社会福祉法人」が24.4%、「有限会社」が15.5%、「医療法人・医療法人社団・医療法人財団」が12.4%などとなっています。



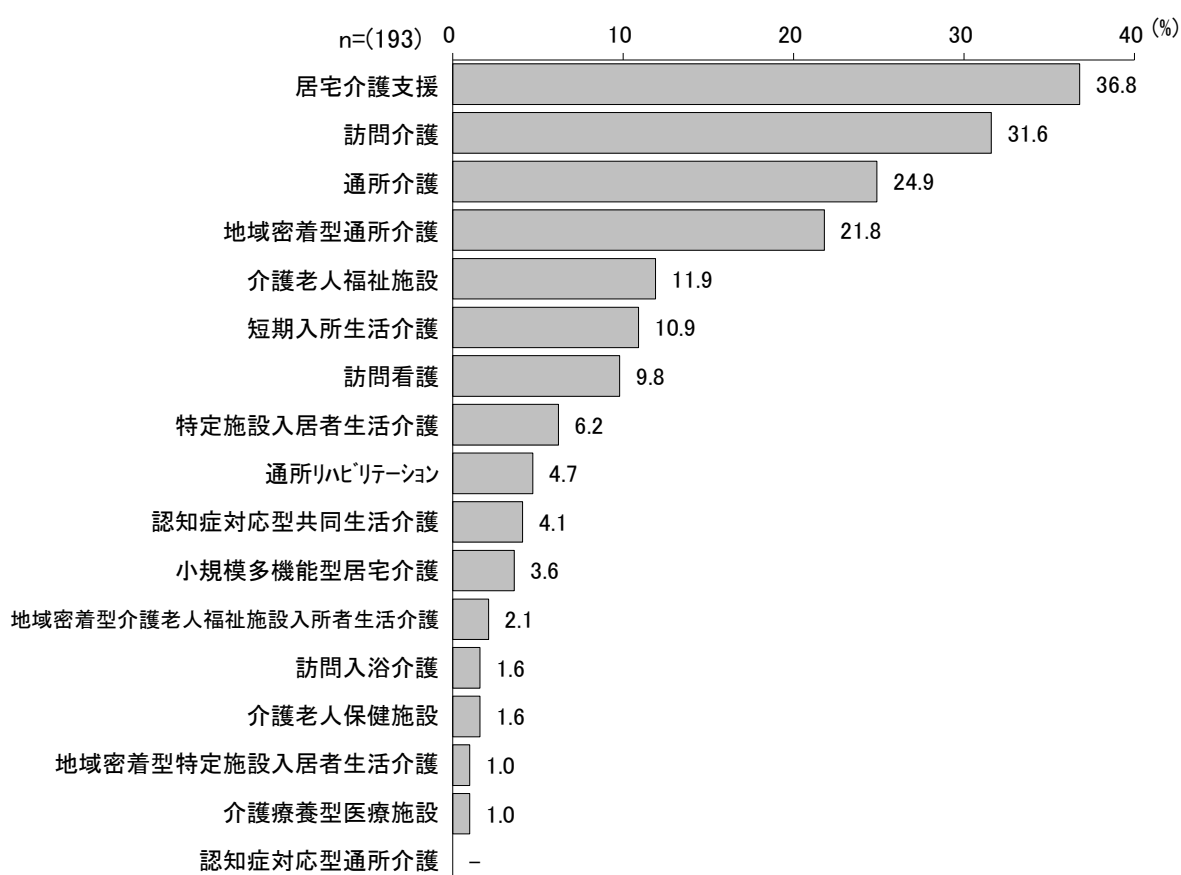
2 事業実態及び今後の事業展開について

(1) 実施している介護サービス

問3 貴事業所で実施している介護サービスの種類（介護予防含む）は、次のどれですか。
（あてはまるものすべてに○）

実施している介護サービスとしては、「居宅介護支援」が36.8%で最も高く、次いで「訪問介護」が31.6%、「通所介護」が24.9%、「地域密着型通所介護」が21.8%などとなっています。

介護3施設は、「介護老人福祉施設」が11.9%、「介護老人保健施設」が1.6%、「介護療養型医療施設」が1.0%です。

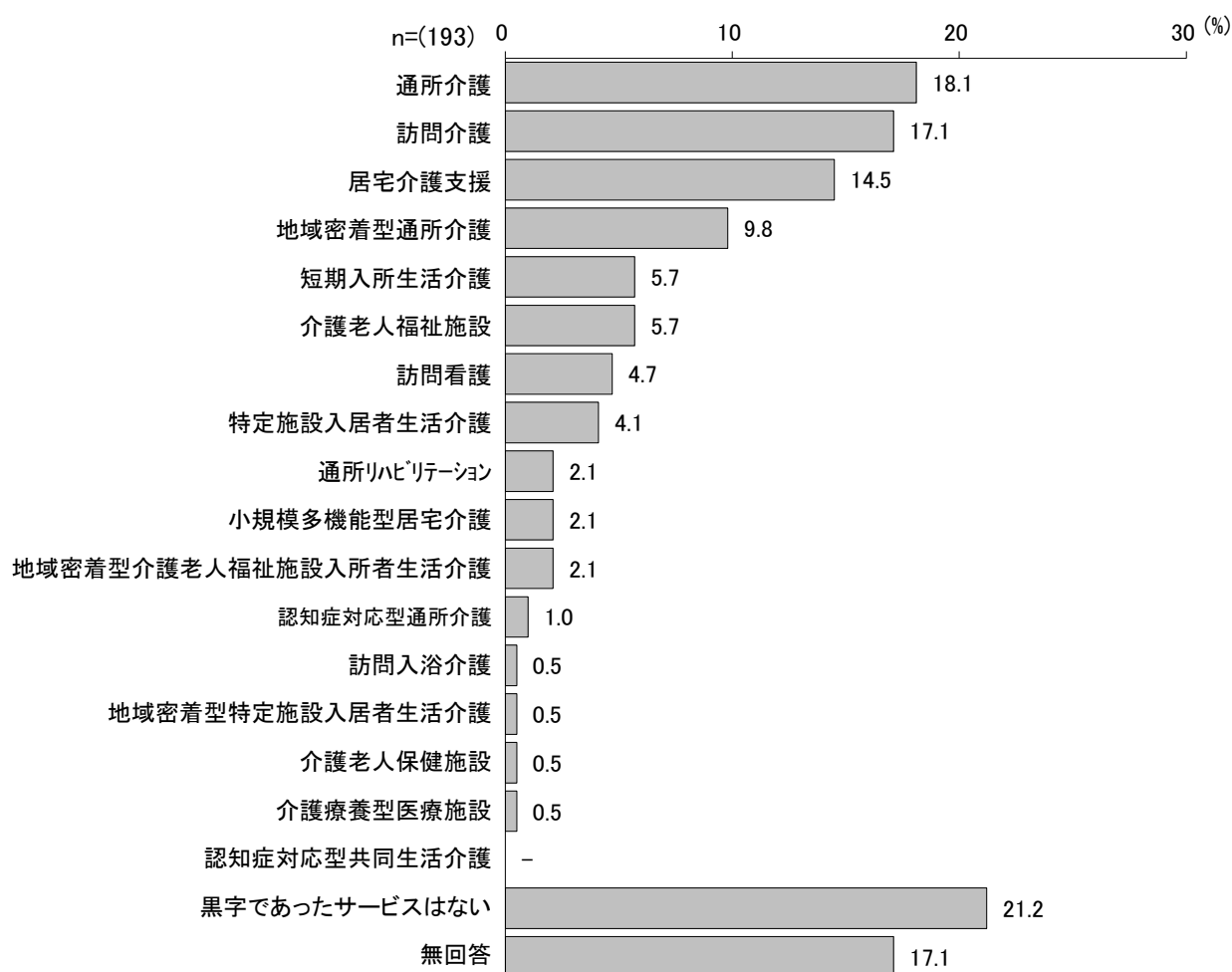


(2) 昨年度決算の収支が黒字であったサービス

問4 問3で○をしたサービスのうち、昨年度（最新の決算）の収支が黒字であったサービス（介護予防含む）はありましたか。（あてはまるものすべてに○）

実施している介護サービスのうち、昨年度決算の収支が黒字であったサービスについては、《黒字であったサービスがある》は61.7%で、「黒字であったサービスはない」が21.2%となっています。

黒字であったサービスの中では、「通所介護」が18.1%で最も高く、次いで「訪問介護」が17.1%、「居宅介護支援」が14.5%などとなっています。

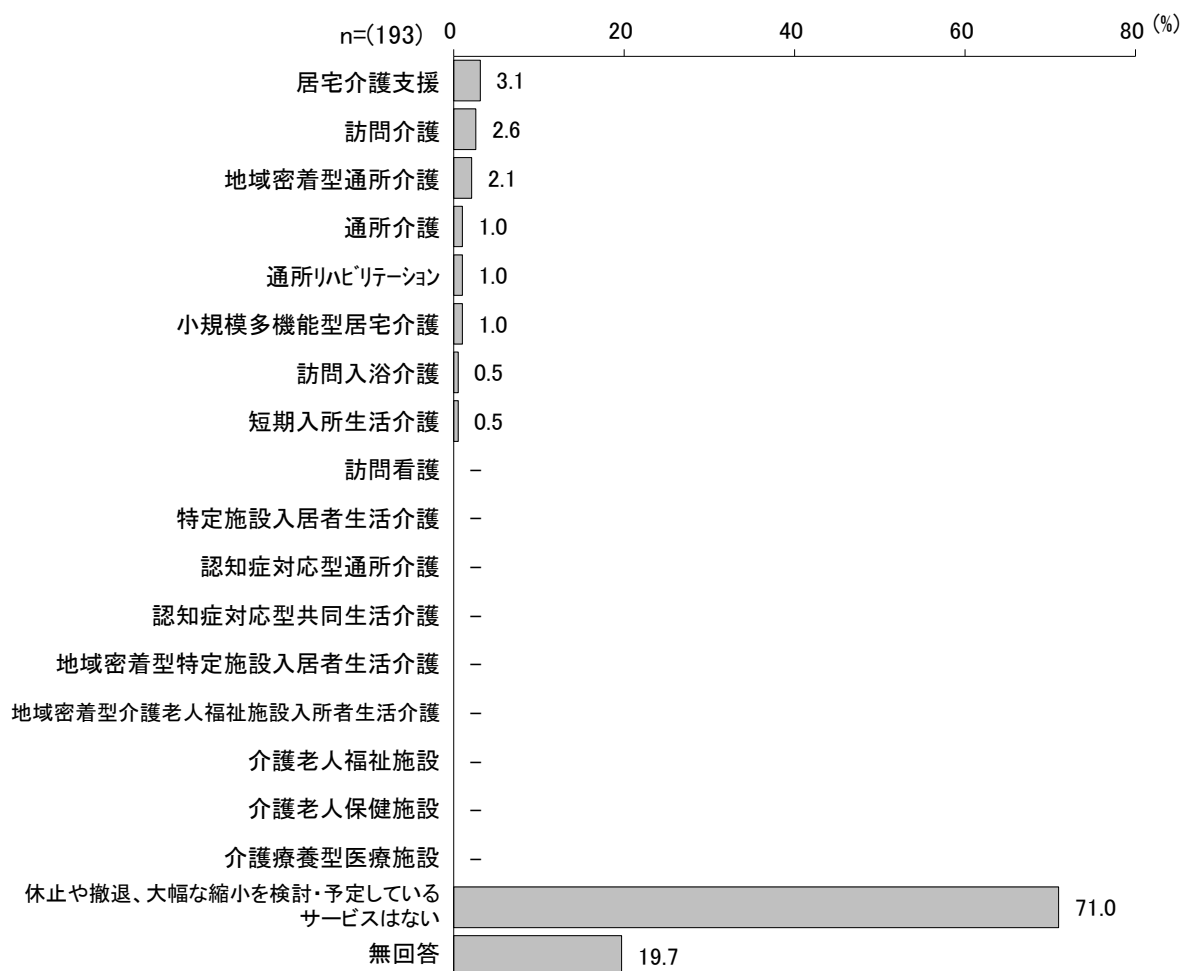


※《黒字であったサービスがある》＝100%－「黒字であったサービスはない」－無回答

(3) 休止や撤退、縮小を検討・予定しているサービス

問5 問3で○をしたサービス（介護予防含む）のうち、今後休止や撤退、大幅な縮小を検討・予定されているサービスはありますか。（あてはまるものすべてに○）

実施している介護サービスのうち、休止や撤退、縮小を検討・予定しているサービスについては、《休止等を予定しているサービスがある》は9.3%で、「休止や撤退、大幅な縮小を検討・予定しているサービスはない」が71.0%となっています。



※ 《休止等を予定しているサービスがある》＝100%－「休止や撤退、大幅な縮小を検討・予定しているサービスはない」－無回答

(3-1) 休止や撤退、縮小を検討・予定している理由

【問5で「1」～「17」に1つでも○をつけた事業所の方におたずねします。】

問5-1 その理由をお聞かせください。(あてはまるものすべてに○)

実施している介護サービスの《休止等を予定しているサービスがある》と回答した事業所に、その理由をたずねました。

回答事業所は18事業所であることから、数表を掲載いたします。結果は次のとおりです。

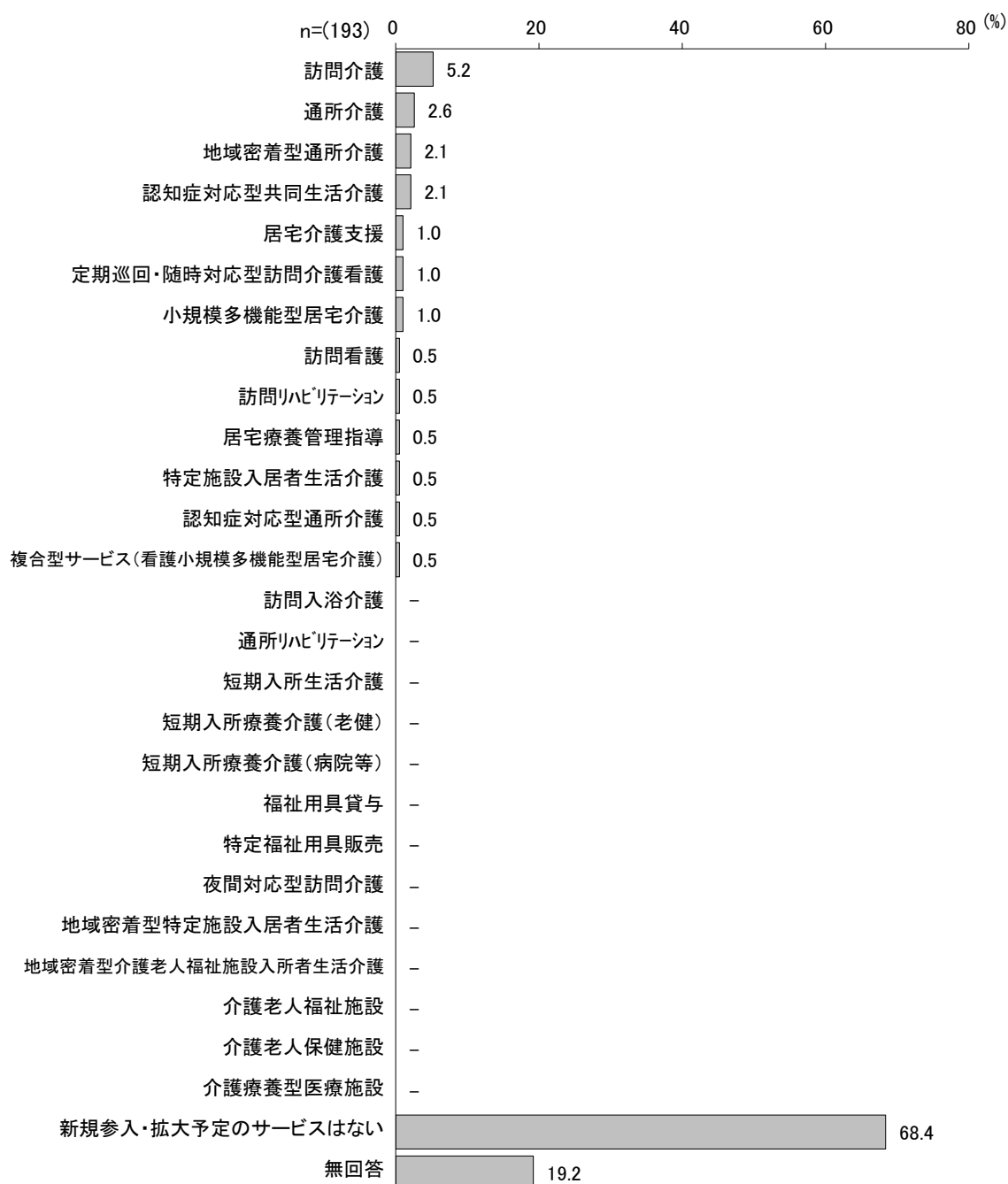
理由	割合
採算が合わない	61.1
サービス提供をする人材確保が難しい	44.4
経営側の都合・方針	27.8
利用者の確保が難しい	22.2
制度改正の流れに対応できない	5.6

(4) 新規参入・提供量の拡大を予定しているサービス

問6 貴事業所で、今後、茅ヶ崎市にて新規参入・提供量の拡大を予定しているサービスがありますか。(あてはまるものすべてに○)

新規参入・提供量の拡大を予定しているサービスについては、「新規参入・提供量の拡大を予定しているサービスがある」は12.4%で、「新規参入・拡大予定のサービスはない」が68.4%となっています。

新規参入・提供量の拡大を予定している中では、「訪問介護」が5.2%、「通所介護」が2.6%などとなっています。

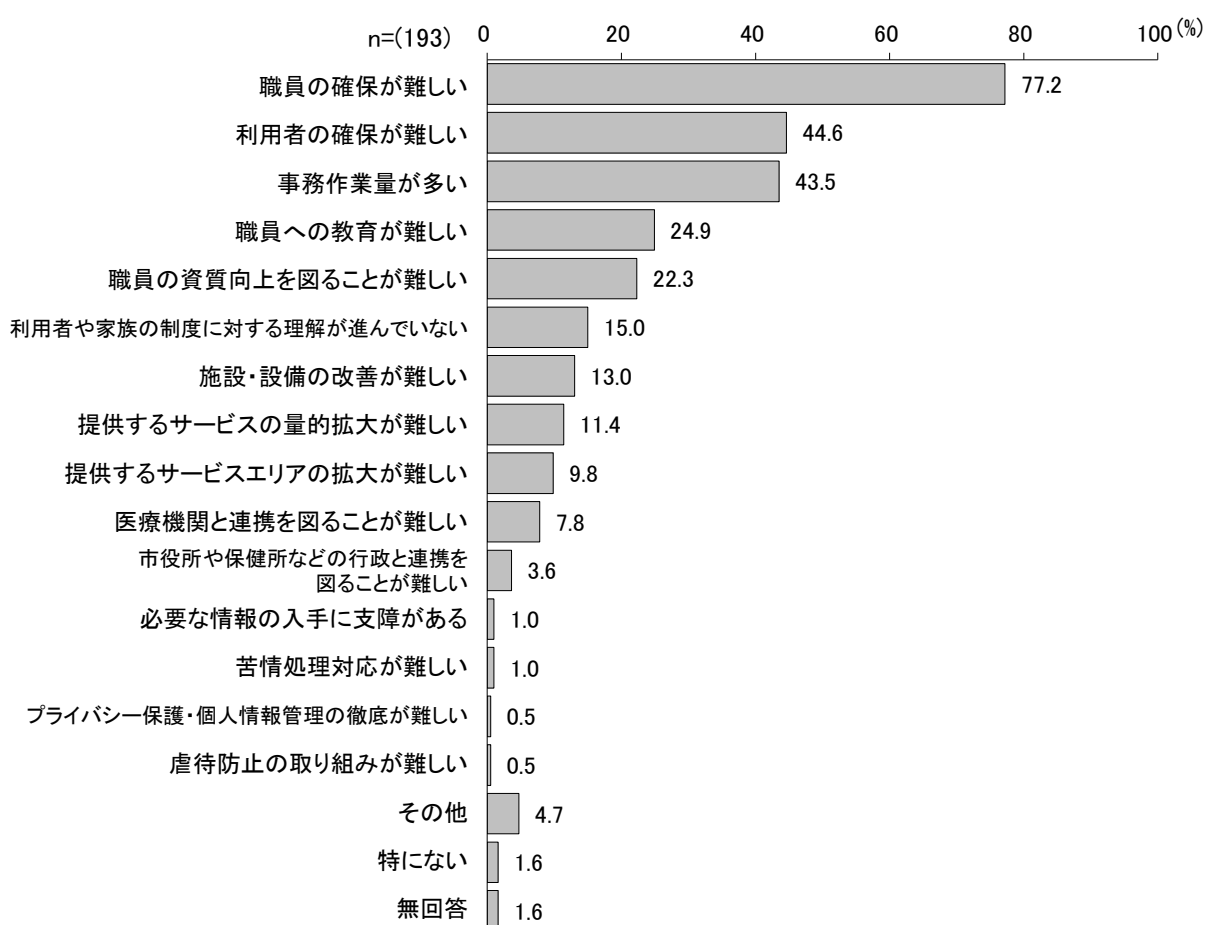


※《新規参入・提供量の拡大を予定しているサービスがある》＝100%－「休止や撤退、大幅な縮小を検討・予定しているサービスはない」－無回答

（５）円滑な事業運営を進めていく上での経営上の問題

問７ 貴事業所が、円滑な事業運営を進めていく上で、特に経営上の問題を感じることはありますか。（あてはまるものすべてに○）

円滑な事業運営を進めていく上での経営上の問題としては、「職員の確保が難しい」が77.2%で最も高く、次いで「利用者の確保が難しい」が44.6%、「事務作業量が多い」が43.5%となっています。このほか、「職員への教育が難しい」が24.9%、「職員の資質向上を図ることが難しい」が22.3%などとなっています。



3 職員体制について

(1) 管理者及び職員数

問8 貴事業所の管理者及び介護職員等の職員数をご記入ください（ご回答の方を含む）。

※いない場合は「0」をご記入ください。

【市内における管理者及び介護職員等の人数分布】

記入いただいた職種別の人数について、回答くださった事業所の合計ではありますが、市全体における職種別の常勤専従、常勤兼務、非常勤の分布を算出しました。

“介護支援専門員”、“管理栄養士・栄養士”、“サービス提供責任者”、“医師”、“機能訓練指導員（PT・OT・ST等）”は、「常勤専従」の割合が他の勤務形態に比べて高くなっており、特に、“管理栄養士・栄養士”と“介護支援専門員”で5割台となっています。

“管理者（施設長）”と“生活相談員・支援相談員”は、「常勤兼務」が他の勤務形態に比べて高く6割前後です。

また、“医師”、“看護職員”、“訪問介護員（ホームヘルパー）”、“介護職員（ヘルパー以外）”は、「非常勤」が他の勤務形態に比べて高く、特に、“訪問介護員（ホームヘルパー）”は77.6%となっています。

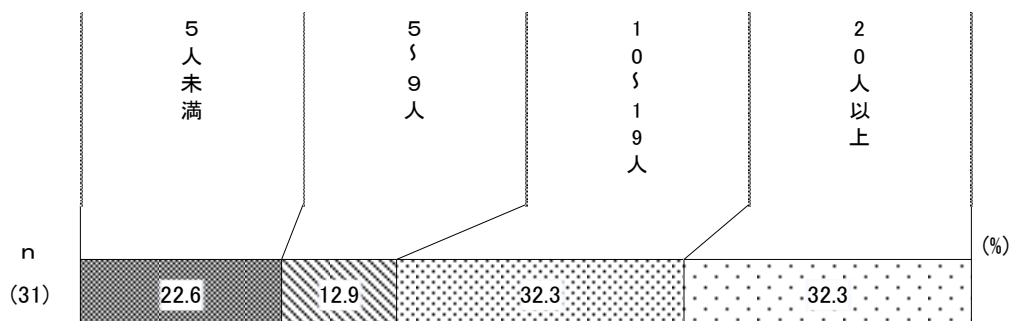
職種		合計	常勤専従	常勤兼務	非常勤
管理者（施設長）	人数（人）	116.1	44.0	72.1	
	割合（％）	(100.0)	(37.9)	(62.1)	
サービス提供責任者	人数（人）	95.6	47.0	41.6	7.0
	割合（％）	(100.0)	(49.2)	(43.5)	(7.3)
医師	人数（人）	6.5	3.0	0.0	3.5
	割合（％）	(100.0)	(46.2)	(0.0)	(53.8)
看護職員	人数（人）	266.7	90.0	64.3	112.4
	割合（％）	(100.0)	(33.7)	(24.1)	(42.1)
訪問介護員（ホームヘルパー）	人数（人）	468.8	64.0	41.1	363.7
	割合（％）	(100.0)	(13.7)	(8.8)	(77.6)
介護職員（ヘルパー以外）	人数（人）	1258.5	428.0	401.5	429.0
	割合（％）	(100.0)	(34.0)	(31.9)	(34.1)
生活相談員・支援相談員	人数（人）	129.8	37.0	77.7	15.1
	割合（％）	(100.0)	(28.5)	(59.9)	(11.6)
管理栄養士・栄養士	人数（人）	26.0	13.0	10.7	2.3
	割合（％）	(100.0)	(50.0)	(41.2)	(8.8)
介護支援専門員	人数（人）	153.5	81.0	53.5	19.0
	割合（％）	(100.0)	(52.8)	(34.9)	(12.4)
機能訓練指導員（PT・OT・ST等）	人数（人）	83.1	32.0	21.1	30.0
	割合（％）	(100.0)	(38.5)	(25.4)	(36.1)

※人数については、常勤換算数も加味しているため、小数点以下第1位まで表示しています。

【登録ヘルパーについて】

実施している介護サービスで「訪問介護」と回答した事業所（61事業所）のうち、登録ヘルパーについては31事業所の回答がありました。

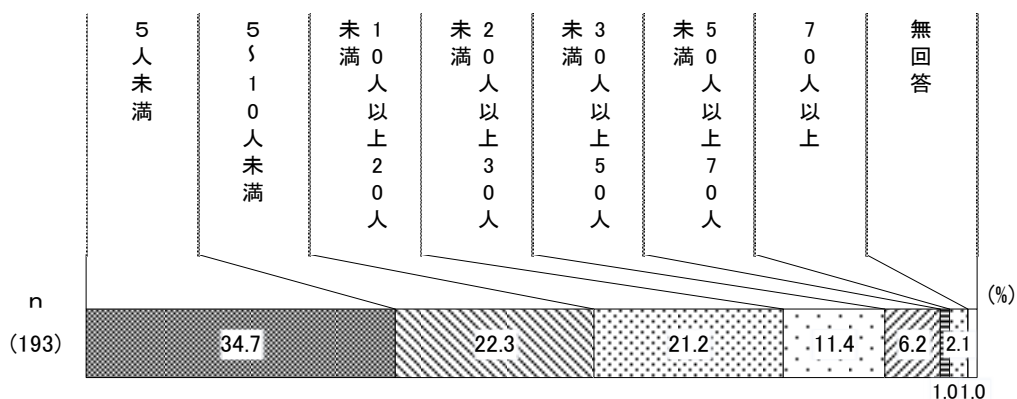
回答のあった各事業所の登録ヘルパーの人数分布を整理したところ、「10～19人」と「20人以上」が32.3%で並んでいます。なお、合計は591.7人で、1事業所あたりの平均人数は19.1人となっています。



	A	B	B/A
	回答した事業所数	登録ヘルパーの合計	1事業所あたりの平均人数
登録ヘルパー	31	591.7	19.1

【事業所の職員規模】

各事業所の登録ヘルパーを除いた全ての職種の人数を合計し、職員規模を算出したところ、「5人未満」が34.7%で最も高く、次いで「5～10人未満」が22.3%、「10人以上20人未満」が21.2%などとなっています。



※一つひとつの職種で常勤専従、常勤兼務、非常勤人数を合計し、その上で、事業所における総合計を算出したものです。

(2) 職員の平均勤続年数

問9 貴事業所における職員の平均勤続年数をご記入ください。

(小数点第2位で四捨五入)

各職種別に常勤の専従・兼務、非常勤の専従・兼務に分けて、平均勤続年数をたずねました。

その結果、「常勤・専従」は、“機能訓練指導員(PT・OT・ST)”を除いて、1事業所あたりの平均勤続年数が約4年～6年となっています。また、「常勤・兼務」は、“看護職員”と“機能訓練指導員(PT・OT・ST)”を除いて、約5年～6年です。

多くの職種で、1事業所あたりの平均勤続年数は、専従・兼務を問わず「常勤」が「非常勤」よりも長い傾向にあります。ただし、“看護職員”は「常勤・兼務」よりも「非常勤・兼務」が、“機能訓練指導員(PT・OT・ST)”は「常勤・専従」よりも「非常勤・専従」が長くなっています。

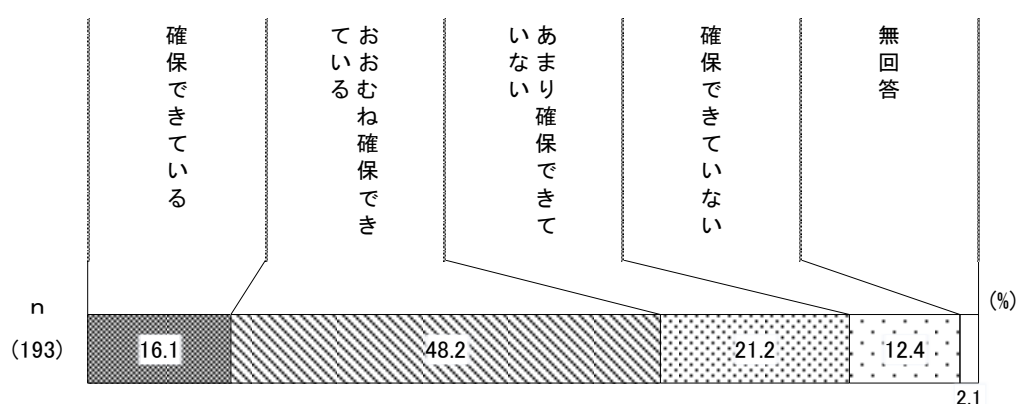
職種	常勤				非常勤			
	専従		兼務		専従		兼務	
	n	平均	n	平均	n	平均	n	平均
看護職員	39	5.3年	31	3.5年	36	3.6年	40	3.6年
介護職員（ヘルパー以外）	57	4.0年	63	5.0年	49	3.4年	52	3.9年
生活相談員・支援相談員	34	4.6年	60	6.3年	7	0.9年	19	3.4年
管理栄養士・栄養士	16	5.8年	20	6.1年	4	0.5年	4	0.1年
介護支援専門員	46	5.7年	53	5.3年	15	4.5年	12	1.7年
機能訓練指導員 (PT・OT・ST)	20	2.7年	19	3.1年	20	3.3年	27	2.9年

4 人材確保や育成・定着について

(1) この1年間の人材確保の状況

問10 この1年間（平成27年10月1日～平成28年9月30日まで）の、貴事業所の人材の確保の状況はいかがですか。（ひとつだけに○）

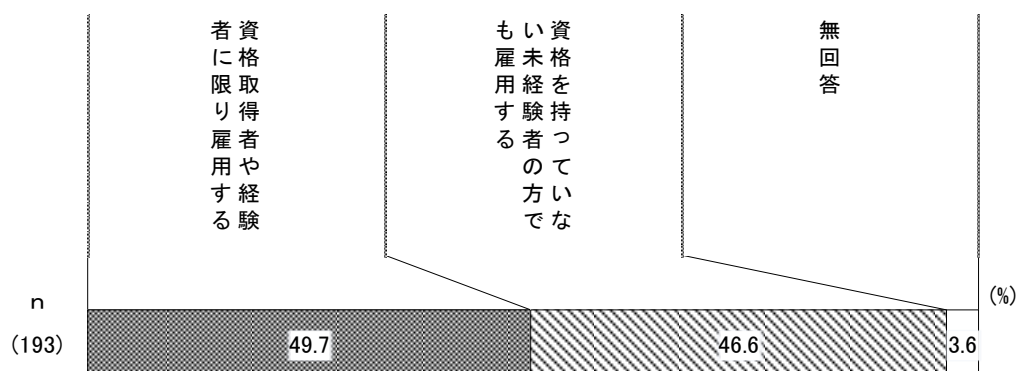
この1年間の人材確保の状況は、「確保できている」が16.1%で、「おおむね確保できている」が48.2%と最も高くなっています。これらを合わせた《確保できている》は64.3%です。一方、「あまり確保できていない」(21.2%)と「確保できていない」(12.4%)を合わせた《確保できていない》は33.6%となっています。



(2) この1年間の人材確保の方針

問11 この1年間で貴事業所の人材確保の方針は次のうちのどちらがあてはまりますか。

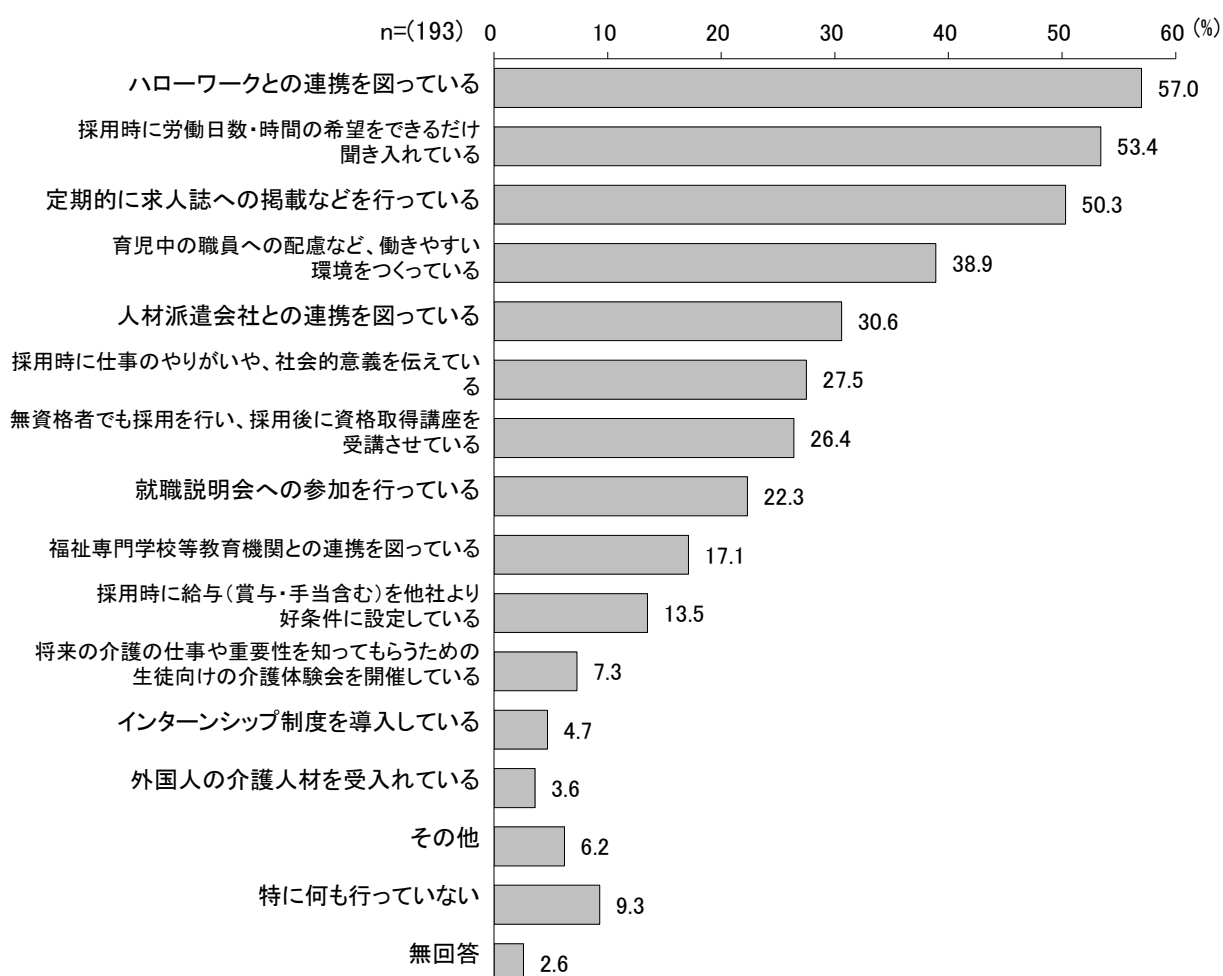
この1年間の人材確保の方針は、「資格取得者や経験者に限り雇用する」が49.7%、「資格を持っていない未経験者の方でも雇用する」が46.6%で、おおむね並んでいます。



(3) 人材確保の取り組み

問12 貴事業所では、人材の確保について、どのような取り組みを行っていますか。
(あてはまるものすべてに○)

人材確保の取り組みとしては、「ハローワークとの連携を図っている」が57.0%で最も高く、次いで「採用時に労働日数・時間の希望をできるだけ聞き入れている」が53.4%、「定期的に求人誌への掲載などを行っている」が50.3%となっています。このほか、「育児中の職員への配慮など、働きやすい環境をつくっている」が38.9%、「人材派遣会社との連携を図っている」が30.6%などとなっています。



（３－１）人材確保の取り組みの効果

【問12で「1」～「14」に1つでも○をつけた事業所の方におたずねします。】

問12－１ 問12の取り組みで効果があったと思う取り組みについてその番号を記載してください。（複数回答可）

人材確保の取り組みを行ったものについて、効果があったと思う取り組みを、更に選んでいただきました。

上位5位を選出したところ、第1位は「採用時に労働日数・時間の希望をできるだけ聞き入れている」、第2位は「育児中の職員への配慮など、働きやすい環境をつくっている」などとなっています。なお、前問で最も高かった「ハローワークとの連携を図っている」は第4位です。

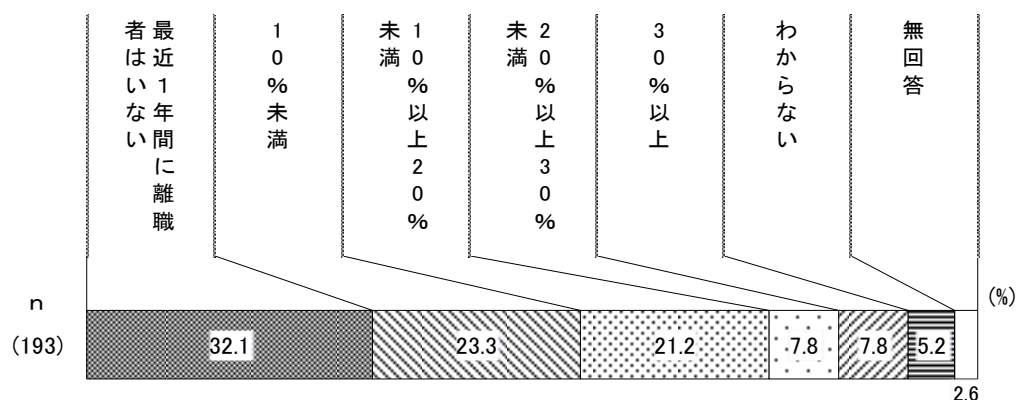
順位	取り組み	割合
第1位	採用時に労働日数・時間の希望をできるだけ聞き入れている	27.6
第2位	育児中の職員への配慮など、働きやすい環境をつくっている	18.2
第3位	定期的に求人誌への掲載などを行っている	15.9
第4位	ハローワークとの連携を図っている	14.1
第5位	無資格者でも採用を行い、採用後に資格取得講座を受講させている	11.8
〃	採用時に仕事のやりがいや、社会的意義を伝えている	11.8

（４）この１年間の離職率

問13 貴事業所のこの１年間（平成27年10月1日～平成28年9月30日まで）の離職率はどのくらいですか。（ひとつだけに○）

※離職率＝この１年間の退職者数÷１年前の在職者数×100とします。

この１年間の離職率では、「最近１年間に離職者はいない」が32.1%で最も高く、次いで「10%未満」が23.3%、「10%以上20%未満」が21.2%などとなっています。



(4-1) 離職者数

【問13で「2. 10%未満」～「5. 30%以上」に○をつけた貴事業所の方におたずねします。】

問13-1 この1年間の離職者数をご記入ください。

この1年間の離職率で、「10%未満」、「10%以上20%未満」、「20%以上30%未満」、「30%以上」と回答した事業所の方に、各職種別の離職者数をたずねました。

職種では、介護職員（ヘルパー以外）における1事業所あたりの離職者数が多い傾向にあります。介護職員（ヘルパー以外）の1事業所あたりの離職者数は、正規職員で2.4人、非正規職員の常勤労働者で3.2人、非正規職員の短時間労働者で2.2人となっています。

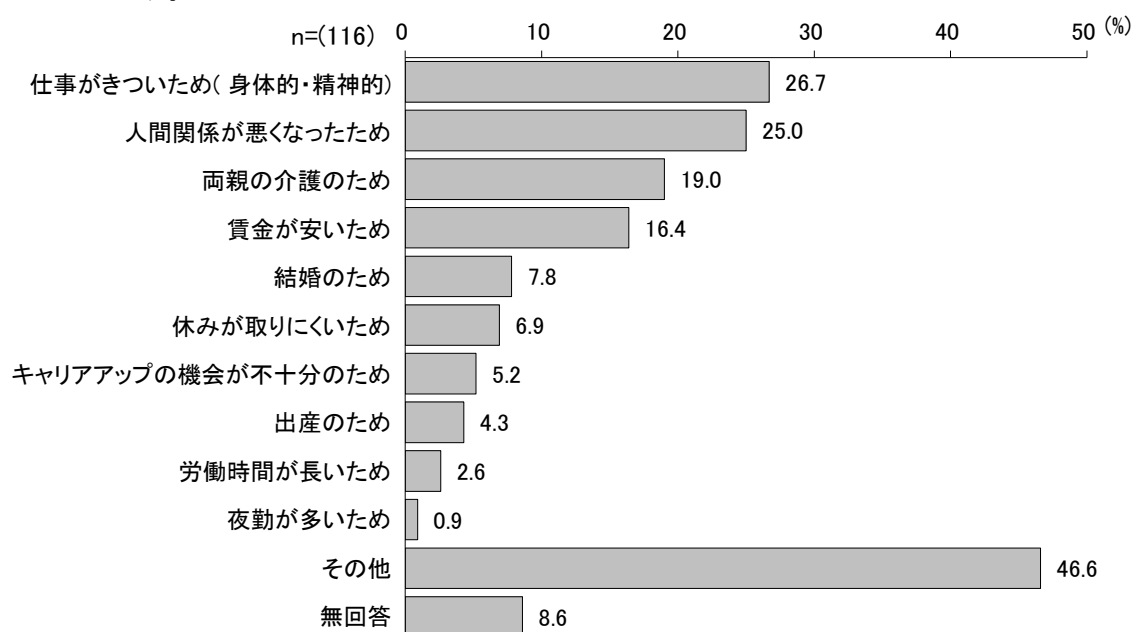
職種	正規職員		非正規職員			
			常勤労働者		短時間労働者	
	n	平均	n	平均	n	平均
看護職員	10	1.1人	4	2.0人	16	1.1人
介護職員（ヘルパー以外）	39	2.4人	22	3.2人	47	2.2人
生活相談員・支援相談員	8	1.3人	2	3.0人	1	1.0人
管理栄養士・栄養士	6	1.3人	—	—	2	1.0人
介護支援専門員	17	1.2人	3	1.3人	7	1.0人
機能訓練指導員（PT・OT・ST）	7	1.0人	—	—	—	—

(4-2) 離職者の離職理由

問13-2 また、貴事業所での離職者の離職理由はどのようなものですか。

（あてはまるものすべてに○）

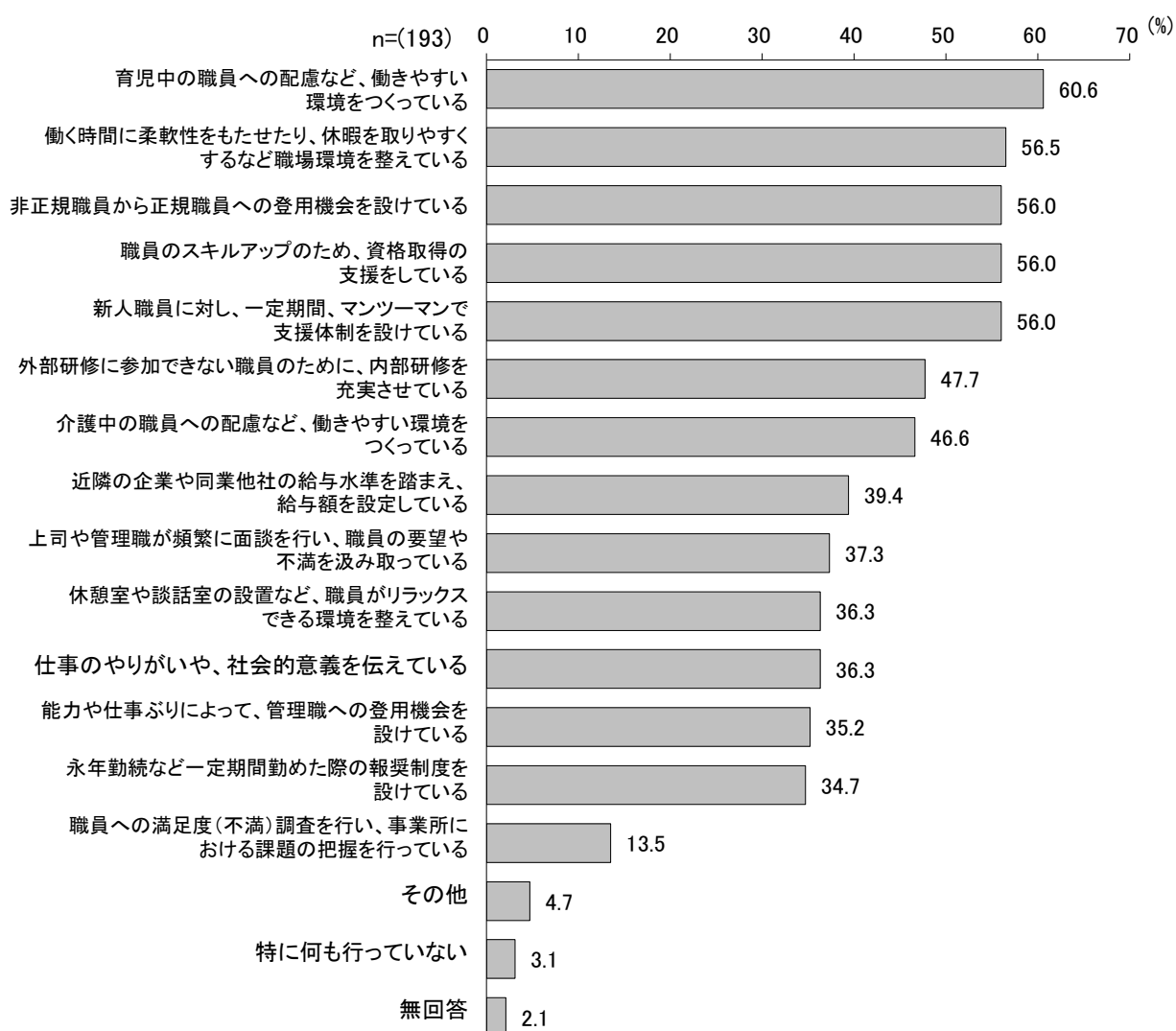
離職者の離職理由としては、「仕事がきついため（身体的・精神的）」が26.7%で最も高く、次いで「人間関係が悪くなったため」が25.0%、「両親の介護のため」が19.0%、「賃金が安い」が16.4%などとなっています。



（５）人材の定着・育成（離職の防止）の取り組み

問14 貴事業所では、人材の定着・育成（離職の防止）について、どのような取り組みを行っていますか。（あてはまるものすべてに○）

人材の定着・育成（離職の防止）の取り組みとしては、「育児中の職員への配慮など、働きやすい環境をつくっている」が60.6%で最も高く、次いで「働く時間に柔軟性をもたせたり、休暇を取りやすくするなど職場環境を整えている」が56.5%となっています。このほか、「非正規職員から正規職員への登用機会を設けている」、「職員のスキルアップのため、資格取得の支援をしている」、「新人職員に対し、一定期間、マンツーマンで支援体制を設けている」が56.0%で並んでいます。



(5-1) 人材の定着・育成（離職の防止）の取り組みの効果

【問14で「1」～「15」に1つでも○をつけた事業所の方におたずねします。】

問14-1 問14の取り組みで効果があったと思う取り組みについてその番号を記載してください。（複数回答可）

人材の定着・育成（離職の防止）の取り組みを行ったものについて、効果があったと思う取り組みを、更に選んでいただきました。

上位5位を選出したところ、第1位は「育児中の職員への配慮など、働きやすい環境をつくっている」と「働く時間に柔軟性をもたせたり、休暇を取りやすくするなど職場環境を整えている」が同率で並び、前問の順位と変わりませんでした。また、第3位は「新人職員に対し、一定期間、マンツーマンで支援体制を設けている」となっています。

順位	取り組み	割合
第1位	育児中の職員への配慮など、働きやすい環境をつくっている	26.2
〃	働く時間に柔軟性を持たせたり、休暇を取りやすくするなど職場環境を整えている	26.2
第3位	新人職員に対し、一定期間、マンツーマンで支援体制を設けている	21.3
第4位	職員のスキルアップのため、資格取得の支援をしている	19.1
第5位	非正規職員から正規職員への登用機会を設けている	16.9

（６）人材の確保・定着・育成に関して行政に求める支援

問15 人材の確保・定着・育成に関して行政に求める支援はありますか。（自由記入）

事業者から寄せられた自由回答の総数は68件でした。回答の主な内容は以下のとおりです。

なお、「人材の育成に関する要望・意見」が26件で最も多くなっています。

また、それぞれの具体的な要望・意見の主なものを抜粋しました。

①人材の確保に関する要望・意見	18 件
②人材の定着に関する要望・意見	26 件
③人材の育成に関する要望・意見	25 件
④その他の要望・意見	9 件

※複数の項目について記入されている回答もあるため、各項目における回答件数の合計と自由回答の総数は一致しません。

【人材の確保に関する要望・意見】

- ・人材の確保において、面接会等を市の主催で、多職種の開催を希望します。定着・育成は事業所側の努力でなんとかしようと思います。地元で働く若者を支援したら、人材定着等につながると思います（UターンJターンみたいな制度等）。
- ・訪問看護を行う看護師を確保するための働きかけをしてほしい。
- ・資格なし、経験なしの方達が派遣会社に登録してしまい、募集が厳しくなっている状態です。市として支援事業はできないでしょうか。
- ・市のホームページなどに、人材募集をしている事業所のコーナーのようなものを作ってほしい。

【人材の定着に関する要望・意見】

- ・若い人が働きやすいように保育所、学童保育など充実させてほしい。若い人が資格を取り就業した際の支援金の支給等もあるとよい。
- ・人材の派遣制度は廃止してほしい。良い人材が派遣に流れ、賃金も倍以上高くなり定着しない。
- ・直接職員に支給される処遇改善。業界全体の低賃金の改善をしなければ定着も育成も望めない。
- ・待遇向上に結びつくような介護報酬の見直しを希望します。

【人材の育成に関する要望・意見】

- ・介護福祉士実務者研修などの資格取得に、もっと充実した助成金制度がほしい。市独自での支援策もあればよい。
- ・色々な事が施設での完結になっているため、職員の視野が狭くなってしまう。中堅職員対象の他施設間の交流の場等があるとよい。
- ・介護職員向けの研修を開催してほしい。介護保険制度理解に向けたものや、コンプライアンスに関する内容のもので、一定数以上の回数がないと参加が難しい。
- ・非常勤職員も含めて、従事者に「総合事業にむけた従事者が求められること」を複数回研修する機会をつくってほしい。従事者が「地域福祉の理念」をきちんと理解し、実践する必要があると思います。

【その他の要望・意見】

- ・保険が財源なので、収入と賃金のバランスが難しい。企業の工夫だけでは限界があると思う。突然のマイナス改定は計画が狂うので、行政は早め早めに具体的な数字や見通しを出してほしい。

5 自由回答

(1) 高齢者福祉サービスや介護保険サービスについての市への要望や意見

問16 高齢者福祉サービスや介護保険サービスについて、市へのご要望、ご意見などがございましたら、お聞かせください。

事業者から寄せられた自由回答の総数は52件でした。ここでは、主要な要望や意見を抜粋して紹介いたします。

- ・独居で近隣の協力が得られない人への緊急通報システムの円滑な導入を早急に希望します。
- ・地域密着型サービスの事業所がひと目で分かるマップがあると、今後、市内在住の介護保険サービス利用検討中の方々によいかと思います。
- ・介護保険外サービスに対しての利用補助の助成金が、利用者に対して必要だと思われます。グループホームの数が不足しているので、増やすように計画してほしい。
- ・サービス情報の提供や、連携・共有できるシステムの充実。
- ・来年4月よりサービスA型単独を考えていますが、報酬単位数が3時間を想定との事での時間制限の中では運営が難しく感じます。緩和された部分が人員基準ですが、人材雇用の面を見るとあまり意味が見えてきません。これからあまり時間もないですが、各事業所等への再度の聞きとり等、よろしくお願いします。
- ・事業者向けに総合事業の説明会を頻繁に行ってくださいなど、介護事業者と共に茅ヶ崎市の介護の水準を上げていこうとされているのが見受けられ、とても心強く感謝しています。
- ・ケアマネジャーは利用者の生活困難を一手に背負っています。担当部門で、できる・できないの回答だけではなく、総合的に相談にのり、アドバイスを頂けるとありがたいと思います。
- ・小学生、中学生、警察の方々に、認知症サポート研修を積極的に受けられる仕組み作り（包括だけでなく授業の中に社会福祉をもっと理解できるように）を進めてほしい。
- ・利用者の中には介護保険該当者でいいのか、もう少し自分で頑張れるのではないかと疑問を感じる人もいます。認定の在り方をもう少し考えてほしい。本当に必要な人に手厚くできる制度であってほしい。認定は現場の声も入れてほしい。
- ・総合事業について報酬を、近隣市町村と同じく包括報酬にしていきたいです。A型について1時間～2時間での実施も可能にしていきたいです。報酬があまりにも低く感じます。

資料編

資料編

1 一般高齢者個別調査 調査票

一般高齢者個別調査票

調査ご協力をお願い

日ごろより、本市の高齢者施策の推進にご理解とご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。

このたび、「第7期茅ヶ崎市高齢者福祉計画・介護保険事業計画」を策定するにあたり、皆様のご意見やご要望を反映させていくための基礎資料として、「一般高齢者個別調査」を実施することになりました。

このアンケート調査は、満65歳以上の市民の方4,500人を無作為抽出し、お送りするものです。ご回答いただいたご意見は、統計的にとりまとめますので、個別のご意見等がそのまま公表されることはありません。

お手数ではありますが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力いただきますようお願い申し上げます。

平成28年11月11日

茅ヶ崎市長 服部 信明

ご記入にあたってのお願い

◇この調査票は、できるだけご本人がご記入ください。ご本人がご記入いただけない場合は、ご家族などがご記入ください。

◇お答えは、平成28年10月1日現在の状況でご記入ください。

◇ここの「あなた」とは、あて名のご本人のことです。（敬称は省略しています。）

◇答えたくない、又は分からない設問は無記入にし、次の設問にお進みください。

◇お答えは、あてはまる項目の番号に「ひとつだけに○」を付けていただくものと、「あてはまるものすべてに○」を付けていただくものがありますのでご注意ください。

◇「その他」にあてはまる場合には（ ）内になるべく具体的に「ご記入ください」。

◇設問によって回答していただく方が限られる場合がありますので、ことわり書きや失印に従って回答してください。特にことわり書きのない場合は次の設問に進んでください。

◇ご記入頂いた調査票は平成28年12月9日（金）までにご投函ください。（同封の封筒によりご返送ください。なお、切手を貼る必要はありません。）

このアンケート調査についてのお問い合わせは、下記までお願いいたします。

連絡先：茅ヶ崎市保健福祉部高齢福祉介護課 生きがい・創出担当
電話 0467-82-1111（代表） ファクス 0467-82-1435

＜調査の前に＞

○現在、あて名のご本人は介護保険の要支援・要介護認定を受けていますか。（ひとつだけに○）

1. 受けている
→この調査の対象ではありませんので、回答は不要です。
お手数ですが、このまま同封の封筒に入れて、ご返送ください。
ご協力ありがとうございます。

2. 受けていない（要支援・要介護認定を申請中の方を含みます）
→下記設問へお進みください。

＜記入者について＞

○この調査票にご記入いただいているのは、どなたですか。（ひとつだけに○）

1. あて名のご本人

2. 配偶者 3. 息子 4. 娘

5. 息子の配偶者 6. 娘の配偶者 7. 孫（男性・女性）

8. その他（具体的に： ）

→【あて名のご本人以外が記入している場合お答えください。】
◇ご本人に代わって記入した理由をお聞かせください。（ひとつだけに○）

1. 医療機関に入院している 2. 仕事・旅行などで長期不在

3. 本人が記入するのは困難 4. 本人が記入したことがない

5. その他（具体的に： ）

これ以降、あて名のご本人についておたずねします。
あて名のご本人以外が記入される場合にも、特にことわり書きのない限り、あて名のご本人についてお答えください。

問1 あなたの性別をおたずねします。(ひとつだけに○)

1. 男性	2. 女性
-------	-------

問2 あなたの年齢をおいくつですか。(平成28年10月1日現在の満年齢(ひとつだけに○))

1. 65歳～69歳	2. 70歳～74歳
3. 75歳～79歳	4. 80歳～84歳
5. 85歳～89歳	6. 90歳以上

問3 あなたの家族構成をご記入ください。二世帯住宅の場合は同居と扱います。

(ひとつだけに○)

1. ひとり暮らし
2. 夫婦ふたり暮らし (配偶者も65歳以上)
3. 夫婦ふたり暮らし (配偶者は65歳未満)
4. 子や孫、兄弟姉妹で65歳未満の親族と同居
5. 1～4以外で全員の65歳以上の世帯
6. 上記以外の世帯

→【問3で「1.」～「3.」か「5.」に○をつけた方におたずねします。】

問3-1 あなたのお子さんやご親族で30分以内に駆けつけられる方はいらっしゃいますか。

(ひとつだけに○)

1. いる	2. いない
-------	--------

《全ての方におたずねします》

問4 あなたのお住まいはどちらですか。(下記の地区から、ひとつだけに○)

※あなたの地区は、封筒の宛名ラベルの右下に記載されています。

1. 茅ヶ崎地区	2. 南湖地区
3. 海岸地区	4. 鶴岡東地区
5. 鶴岡西地区	6. 湘南地区
7. 松林地区	8. 湘北地区
9. 小和田地区	10. 松浪地区
11. 浜須賀地区	12. 小田地区

問5 あなたの現在の健康状態はいかがですか。(ひとつだけに○)

1. よい	2. まあよい	3. ふつう
4. あまりよくない	5. よくない	

問6 健康状態を保つために実践していることはありますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 意識的に運動をする	2. 食事、栄養に注意する
3. 規則正しい生活を心がける	4. 睡眠、休養を十分にとる
5. 仕事を休む	6. 趣味を持つ
7. 人とふれあう	8. 地域の活動に参加する
9. その他 (具体的に:)	
10. 特に実践していることはない	

問7 あなたは、1年に1回以上、健康診断を受けていますか。

1. 受けている	2. 受けていない
----------	-----------

【問7で「2. 受けていない」に○をつけた方におたずねします。】

問7-1 健康診断を受けていない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 健康だから
2. 主治医に検査などをしてもらっているから
3. 手続きがよくわからないから
4. 費用の負担が大変だから
5. 病院へ行くのが嫌だから
6. その他 (具体的に:)

《全ての方におたずねします》

問8 あなたは、1年に1回以上、歯の健康診断を受けていますか。

1. 受けている	2. 受けていない
----------	-----------

問9 あなたは、下記のようなことがどのくらいあてはまりますか。(ひとつずつ○)

ア 周りの人から「いつも同じ事を聞く」などの物忘れがあるとされますか。	1. はい	2. いいえ
イ 自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしていただきますか。	1. はい	2. いいえ
ウ 今日が何月何日かわからない時がありますか。	1. はい	2. いいえ

＜運動についておたずねします＞

問10 あなたには、運動の習慣がありますか。(ひとっだけに○)

1. ある 2. ない

→【問10で「1. ある」に○をつけた方におたずねします。】

問10—1 運動の頻度はどのくらいですか。(ひとつだけに○)

1. ほぼ毎日行っている
2. 週に2〜3回
3. 週に1回程度
4. 月に2〜3回程度
5. 月に1回程度

→【問10で「1. ある」に○をつけた方におたずねします。】

問10-2 どのくらいの期間続けていますか。(ひとつだけに○)

1. 1年未満
2. 1～3年未満
3. 3～5年未満
4. 5～10年未満
5. 10～20年未満
6. 20年以上

→【問10で「1. ある」に○をつけた方におたずねします。】

問10-3 どのような運動を行っていますか。(あてはまるものすべてに○)

1. ウォーキング
2. ジョギング
3. 水泳
4. 体操
5. 筋力トレーニング
6. 太極拳
7. ゲートボール
8. ゴルフ
9. 卓球
10. テニス
11. その他 (具体的に:)

《全ての方におたずねします》

＜食生活や口腔についておたずねします＞

問11 あなたは、どのようなことに気をつけて食事をしていますか。

(○) すべてあるまでは(△)

1. 1日3食食べる
2. 食べ過ぎないようにしている
3. いろいろなものを食べるようにしている
4. 塩辛いものを控える
5. 脂肪の摂りすぎを控える
6. 動物性たんぱく質(肉・魚・卵・乳製品等)の食品を必ず摂るようにしている
7. 自分で食事を作るようにしている
8. その他(具体的に:)
9. 特に気を付けていない

問12 食事を抜くことがありますか。(ひとつだけに○)

1. 毎日ある
2. 週に何度かある
3. 月に何度かある
4. ほとんどない・全くない

問13 あなたは、食事などについて、下記のようなことがどのくらいあてはまりますか。

(OC₄PC₂N₂)

ア	半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか。	1. はい	2. いいえ
イ	お茶や汁物等でむせることがありますか。	1. はい	2. いいえ
ウ	口の湿きが気になりますか。	1. はい	2. いいえ
エ	1 日に 1 回以上は、誰かと一緒に食事をしますか。	1. はい	2. いいえ

＜介護予防事業についておたずねします＞

問14 茅ヶ崎市では、下記のような一般高齢者向けの介護予防事業を行っています。

(1) あなたは、現在、下記の介護予防事業に参加していますか。

(あてはまるものすべてに○)

1. 生活習慣病予防に関する講演会
(糖尿病、腰痛、股関節など要介護状態につながりやすい内容で医師等による講演会)
2. コグニサイズ
(認知症予防のために運動と認知機能の両方を同時に行う教室)
3. ボールウォーキング等
(安全で効果的なウォーキングをするためボール等を使った運動教室)
4. 栄養講座
(缶詰等を使った簡単料理等高齢者が負担なく栄養をとるための料理講座)
5. 歯科保健講座
(嚥下機能 のみこみ)の向上、唾液を出す工夫など口腔機能全般の向上を図る講座)
6. 65 歳からのおしやれ講座等
(介護予防や外出しなくなる気持ちになるための工夫講座【自分に合うカラー、小物の使い方、お化粧等】)
7. 転倒予防教室
(転倒予防のための運動教室【市内各地で毎月開催】)
8. 歌体操
(やさしい童謡を歌いながら普段使っていない筋肉を動かす体操)
9. 脳の健康教室
(認知症の予防に効果があるとされている簡単な「読み書き」・「計算」を行う教室)
10. 60 歳からのフィットネス教室
(市内スポーツクラブの設備等を利用して、多彩なトレーニングを取り入れた運動教室を開催)
11. フレイルチェック
(高齢になって筋力や心身の活力が低下した状態をチェックする取り組み)
12. 参加している事業はない

(2) あなたは、今後、どの介護予防事業へ参加したい（参加し続けたい）と思いますか。
（あてはまるものすべてに○）

1. 生活習慣病予防に関する講演会
2. コグニサイズ
3. ボールウォーキング等
4. 栄養講座
5. 歯科保健講座
6. 65歳からのおしゃれ講座等
7. 転倒予防教室
8. 歌体操
9. 脳の健康教室
10. 60歳からのフィットネス教室
11. フレイルチェック
12. 参加したい（参加し続けたい）事業はない

→【問14（2）で「12. 参加したい（参加し続けたい）事業はない」に○をつけた方におたずねします。】

問14-1 その理由は何か。（あてはまるものすべてに○）

1. 利用する必要があるほど元気だから
2. 同じ目的のために別のことをやっているから
3. 忙しくて利用する時間がないから
4. 介護予防事業に興味がないから
5. 時間帯が合わないから
6. その他（具体的に： ）

《全ての方におたずねします》

問15 あなたはちがさき体操を知っていますか。（ひとつだけに○）

※ちがさき体操は、茅ヶ崎の特徴を取り入れた介護予防、健康づくりの体操

1. 知っている
2. 知らない

→【問15で「1. 知っている」に○をつけた方におたずねします。】

問15-1 ちがさき体操の実施状況を教えてください。（ひとつだけに○）

1. 実施したことがある
2. 現在実施している
3. 実施していない

《全ての方におたずねします》

-----<日常生活についておたずねします>-----

問16 あなたは、下記のようなことがお一人でできますか。（あてはまるものすべてに○）

ア バスや電車で一人で外出していますか。	1. はい	2. いいえ
イ 日用品の買物をしていますか。	1. はい	2. いいえ
ウ 自分で食事の用意をしていますか。	1. はい	2. いいえ
エ 自分で掃除をしていますか。	1. はい	2. いいえ
オ 自分で洗濯をしていますか。	1. はい	2. いいえ
カ 公共料金等の請求書の支払いをしていますか。	1. はい	2. いいえ
キ 預貯金の出し入れをしていますか。	1. はい	2. いいえ

問17 あなたは、週に何回くらい外出（散歩や通院も含む）していますか。（ひとつだけに○）

1. ほとんど毎日	2. 週に2～3回
3. 週に1回くらい	4. ほとんど外出しない

→【問17で「3. 週に1回くらい」、「4. ほとんど外出しない」に○をつけた方におたずねします。】

問17-1 あまり外出しない理由は何か。（あてはまるものすべてに○）

1. 外出するのが面倒	2. 体力面に不安がある
3. 外出したい場所がない	4. 勝ってくれの人がない
5. 人との交流がわずらわしい	6. 家事・介護で忙しい
7. 付き添ってくれる人がいない	8. 交通手段がない
9. 交通量の多い道や坂道が不安	10. ぎっかけや用事がない
11. 金銭的な余裕がない	
12. その他（具体的に： ）	

→【問17で「3. 週に1回くらい」、「4. ほとんど外出しない」に○をつけた方におたずねします。】

問17-2 外出しない日はどなたと過ごすことが多いですか。（ひとつだけに○）

1. 夫や妻と	2. 息子や娘、孫と
3. 兄弟姉妹など親族と	4. 友人や近所の人と
5. 昼間は一人だが夜は家族と	6. 一日中一人で過ごすことが多い
7. その他（具体的に： ）	

《全ての方におたずねします》

問18 現在のくらしで、不安に思っていることはありますか。(あてはまるものすべてに○)

- | | | |
|------------------|-------------------|----------------|
| 1. ご自身や家族の健康 | 2. 家族の介護 | 3. 地震・台風など自然災害 |
| 4. 独居・孤独への不安 | 5. 住まいのこと | 6. 日常の家事仕事 |
| 7. 収入・生活費に関すること | 8. 近隣との関係 | 9. 犯罪・防犯に関すること |
| 10. 趣味・生きがいがないこと | 11. 詐欺・悪質商法に関すること | |
| 12. その他 (具体的に:) | 13. 特にない | |

問19 あなたは、安全で安心なまちづくりを進めるうえで、どのようなことが必要だと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

- | |
|------------------------------------|
| 1. 歩道の段差解消など、歩きやすい環境の整備 |
| 2. 駅や建物内のエレベーター・エスカレーターの設置 |
| 3. 地区を循環するコミュニティバスの導入 |
| 4. 災害発生時の対応、及び防災・防火対策の推進 |
| 5. 詐欺・悪質商法防止のための取り組み |
| 6. 交通安全のための取り組み |
| 7. 防犯灯の設置や防犯パトロール等、地域の安全を守るための取り組み |
| 8. 高齢者を対象とした住宅施策の充実 |
| 9. 利用しやすい公園や広場の整備 |
| 10. 救急医療体制の整備 |
| 11. その他 (具体的に:) |
| 12. 特にない |

問20 あなたには、悩みや心配ごとを相談できる人や相談できるところはありますか。

- | | |
|------------|-------------|
| 1. いる (ある) | 2. いない (ない) |
|------------|-------------|

→【問20で「1. いる (ある)」に○をつけた方におたずねします。】

問20-1 それは誰 (どこ) ですか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|------------------|----------------------------|
| 1. 家族・親族 | 2. 友人・知人 |
| 3. 近所の人 | 4. 町会・自治会の人 |
| 5. マンションの管理人 | 6. 民生委員・児童委員 |
| 7. 地域包括支援センター | 8. 福祉相談室 |
| 9. 市社会福祉協議会 | 10. 地区社会福祉協議会/地区ボランティアセンター |
| 11. シルバー人材センター | 12. 高齢者安心電話 |
| 13. 公的な電話相談先 | 14. 市役所 |
| 15. その他 (具体的に:) | |

9

《全ての方におたずねします》

問21 あなたは、振り込み詐欺についてどのように考えていますか。(ひとつだけに○)

- | | |
|-------------------|------------------|
| 1. 自分も被害に遭うかもしれない | 2. 自分は被害に遭うことはない |
| 3. その他 (具体的に:) | 4. 特に何も考えていない |

問22 あなたは、振り込み詐欺や還付金詐欺の犯人から電話を受けたことがありますか。(ひとつだけに○)

- | | |
|-------|-------|
| 1. ある | 2. ない |
|-------|-------|

問23 振り込み詐欺の犯人は、留守番電話に自分の声を残すことは稀ですが、振り込み詐欺に留守番電話が有効であることを知っていますか。(ひとつだけに○)

- | | |
|----------|---------|
| 1. 知っている | 2. 知らない |
|----------|---------|

問24 市役所等の公的機関が保険料や医療費の還付 (お金が戻ってくる) があることを電話で知らせたりすることがあると思いますか。(ひとつだけに○)

- | | | |
|----------|-------|----------|
| 1. あると思う | 2. ない | 3. わからない |
|----------|-------|----------|

問25 防災行政用無線による振り込み詐欺の注意喚起の放送についておたずねします。役に立ちますか。(ひとつだけに○)

- | | |
|---------|-----------|
| 1. 役に立つ | 2. 役に立たない |
|---------|-----------|

問26 あなたは自分らしい最期を迎えるために、何か準備していますか。(ひとつだけに○)

- | | |
|-----------------|----------------------|
| 1. すでに準備している | 2. 必要だと思うが、まだ準備していない |
| 3. その他 (具体的に:) | 4. 必要ない |

→【問26で「1. すでに準備している」、「2. 必要だと思うが、まだ準備していない」に○をつけた方におたずねします。】

問26-1 どのようなことを準備していますか。また、どのようなことが必要だと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

- | |
|--|
| 1. 財産等に関する遺言書の作成 |
| 2. 自分で判断出来なくなった場合に備えた、財産管理の相談 |
| 3. 人生の最終段階を迎えたときに、どこで最期を迎えたいかの記録 (エンディングノート) |
| 4. 人生の最終段階を迎えたときに、どこで最期を迎えたいかの家族等への明言 |
| 5. 思い出の品物の整理や処分やその方法 |
| 6. 延命処置など医療に関する希望を家族に伝えたり、記録を残す |
| 7. その他 (具体的に:) |

10

《全ての方におたずねします》

問27 あなたは、自分らしい最期を迎えるために、エンディングノートや家族等への伝達など、具体的に考える機会があれば参加してみたいですか。(ひとつだけ○)

1. 参加してみたい	2. 参加したいとは思わない	3. わからない
------------	----------------	----------

問28 あなたには、かかりつけ医、かかりつけ歯科医、かかりつけの薬局がありますか。
(ひとつずつ○)

また、かかりつけ医を「1. ある」に○をつけた方は、医療機関も併せてお答えください。(あてはまるものすべてに○)

ア かかりつけ医	1. ある ↓ (1. 診療所・クリニック 2. 病院)	2. ない
イ かかりつけ歯科医	1. ある	2. ない
ウ かかりつけ薬局	1. ある	2. ない

※かかりつけ薬局とは、薬に関するいろいろな相談に応じ、情報提供してくれる薬局のこと

＜あなたの社会参加についておたずねします＞

問29 あなたの社会参加の状況や今後の意向についておたずねします。

(1) あなたは、現在、下記のような活動をしていますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 趣味、スポーツ、レクリエーション (手芸、ダンス、歩こうの会など)	
2. 学習会、講座 (語学勉強会、大学の公開講座など)	
3. 地域行事 (地域のサロン、老人会など)	
4. 社会・地域貢献活動 (自治会活動、社会貢献団体活動、ボランティア活動など)	
5. 就労	問29-3、問29-4も お答えください
6. 何もしていない	

(2) あなたは、今後、どのような活動をしたい (活動を続けたい) と思いますか。
(あてはまるものすべてに○)

1. 趣味、スポーツ、レクリエーション	
2. 学習会、講座	
3. 地域行事	
4. 社会・地域貢献活動	
5. 就労	問29-3、問29-4も お答えください
6. 何もしていない (できない)	問29-2へ

問29-1へ

【問29 (2) で「1.」～「5.」に○をつけた方におたずねします。】

問29-1 何があれば、より活動をしやすい (続けやすく) になりますか。
(あてはまるものすべてに○)

1. 家族や知人、友人からの後押し	
2. 既に活動している人や市職員などからの勧誘や励まし	
3. 既に活動している人の様子や感想が分かる情報	
4. 団体 (就労の場合は事業所) の活動場所、時間、内容などの情報	
5. その他 (具体的に:)	
6. 特にない	

【問29 (2) で「6. 何もしたいとは思わない (できない)」に○をつけた方におたずねします。】

問29-2 活動をしたいとは思わない (できない) 理由は何ですか。
(あてはまるものすべてに○)

1. 健康・体力に自信がないから	
2. 家事・仕事などで時間の余裕がないから	
3. 経済的な余裕がないから	
4. 人づきあい、人間関係が面倒だから	
5. 興味ある活動がないから	
6. 身近な所で活動する場がないから	
7. 活動に関する情報がないから	
8. 家族を介護しているから	
9. 何をしてもいいかわからないから	
10. その他 (具体的に:)	

(→この設問をお答えいただきましたら、13 ページの間30へお進みください。)

【問29 (1) で「5. 就労」、又は、問29 (2) で「5. 就労」に○をつけた方におたずねします。】

問29-3 就労するうえで、重視することは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 生計が成り立つ収入 (賃金) が確保できること	
2. 自身の生活に合った勤務時間であること	
3. 事務職、現業職などの職種が合うこと	
4. 職場が自宅から近いこと	
5. 体力的に問題がない業務であること	
6. 経験が生かせる業務であること	
7. 地域や人の役に立てる業務であること	
8. 年金が減額されない程度の収入 (賃金) であること	
9. その他 (具体的に:)	
10. 特にない	

【問29（1）で「5. 就労」、又は、問29（2）で「5. 就労」に○をつけた方におたずねします。】

問29－4 あなたは週にどれくらい仕事をしていますか（したいですか）。

(ひとつだけに○)

1. 週4日以上	2. 週2～3日
3. 週1日	4. 月1～3日

《全ての方におたずねします》

問30 あなたが興味を持っていることは何ですか。（あてはまるものすべてに○）

1. 旅行	2. スポーツ、運動、体操	3. 音楽
4. 映画	5. 読書	6. 歌、カラオケ
7. 写真、ビデオ撮影	8. バズル、クイズ	9. 麻雀、トランプ
10. 囲碁、将棋	11. パチンコ	12. グルメ、飲食
13. ファッション、おしゃれ	14. 美容	15. 時事、ニュース
16. 歴史、民俗	17. 語学	18. 資産運用、貯蓄
19. 料理	20. ガーデニング、家庭菜園	21. 手芸
22. パソコン	23. スマートフォン	24. 健康
25. その他（具体的に：_____）		

-----<今後の「支え合い」のあり方についておたずねします>-----

問31 あなたは、地域のボランティア活動に参加したいと思いますか。（ひとつだけに○）

1. 既に参加している	2. 参加したい
3. 参加したくない	

→【問31で「1. 既に参加している」、又は「2. 参加したい」に○をつけた方におたずねします。】

問31－1 あなたがボランティア等で「支える側」として活動したい（している）内容はどのようなものですか。（あてはまるものすべてに○）

1. 掃除・洗濯などの家事援助	2. 買い物
3. ゴミ出しなどの生活援助	4. 介護予防教室などのサポート
5. サロンなどの運営サポート	6. 話し相手
7. 声掛け、見守り、安否確認	8. その他（具体的に：_____）

《全ての方におたずねします》

問32 あなたは将来、ボランティア等に「支えられる側」としてお願いしたいと思う内容はボランティア等に既にお願いしている内容はどのようなものですか。

(あてはまるものすべてに○)

1. 掃除・洗濯などの家事援助	2. 買い物
3. ゴミ出しなどの生活援助	4. サロン活動
5. 話し相手	6. 声掛け、見守り、安否確認
7. その他（具体的に：_____）	8. 特にない

《成年後見制度とは》

○認知症、知的障害、精神障害などによって物事を判断する能力が十分でないと、医学的に判定された方について、本人の権利を守る援助者（「成年後見人」等）を選ぶことで、法律に関係することがらについて本人を支援する制度です。

問33 あなたは、成年後見制度について知っていますか。（ひとつだけに○）

1. 制度の内容について知っていた	2. 名前は聞いたことがある
3. 知らなかった	

問34 本市に成年後見制度の利用・相談窓口があることを知っていますか。

(ひとつだけに○)

1. 知っている	2. 知らない
----------	---------

→【問34で「1. 知っている」に○をつけた方におたずねします。】

問34－1 あなたの知っている相談窓口はどこですか。（あてはまるものすべてに○）

1. 市（障害福祉課・高齢福祉介護課）	2. 地域包括支援センター
3. 成年後見支援センター	4. 社会福祉協議会
5. 地区社会福祉協議会	
6. その他（具体的に：_____）	

《全ての方におたずねします》

問35 あなたは、防災無線を使って、行方不明の高齢者を市民に呼びかけて捜していただいていることについて、どう考えですか。（ひとつだけに○）

1. 必要だと思う（具体的に：_____）
2. 必要ないと思う（具体的に：_____）
3. その他（具体的に：_____）

《全ての方におたずねします》

問36 あなたのお住まいについておたずねします。(ひとつだけに○)

1. 持ち家（一戸建て） 2. 持ち家（マンションなどの集合住宅）
3. 公営住宅（県営住宅・市営住宅など） 4. 公社・UR都市機構（旧公団）の賃貸住宅
5. 社宅、官舎、公舎など 6. 民間の借家（一戸建て）
7. 民間の借家（マンションなど） 8. 間借り
9. 老人ホーム（養護老人ホーム・軽費老人ホーム（ケアハウス）・有料老人ホーム）
10. 高齢者向け住宅
11. その他（具体的に： ）

【問36で「1. 持ち家（一戸建て）」、「2. 持ち家（マンションなどの集合住宅）」に○をつけた方におたずねします。】

問36-1 今後10年の間に、住宅（持ち家）はどのように利用される予定ですか。
(ひとつだけに○)

1. 現在のまま住み続けたい
2. 子どもなどの家族に譲り、家族が居住する
3. 賃貸住宅として家賃収入を得たい
4. 適当な相続人がいないため、いずれは売却したい
5. 適当な相続人はいるが、転居などのため売却したい
6. その他（具体的に： ）

《全ての方におたずねします》

問37 あなたは、現在のお住まいで困っていることはありますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 必要などころに手すりが無い 2. トイレや浴室が居室から離れている
3. 階段が急である 4. 住宅内に段差があり移動しづらい
5. 廊下が狭くて車椅子が使いにくい 6. 部屋が狭くてベッドが置けない
7. エレベーターがない 8. 住宅が老朽化している
9. 防犯性が確保されていない 10. 家賃（部屋代）が高い
11. その他（具体的に： ） 12. 特にない

【問37で「1.」～「11.」に○をつけた方におたずねします。】

問37-1 あなたは、お住まいで困っていることを解消するため何か対策を考えていますか。(ひとつだけに○)

1. 住宅改修を検討している
2. 高齢者用の設備や、安全確認の整った住宅への入居を考えている
3. 老人ホームなどの施設への入居を考えている
4. 子どもや親族の家に転居したいと考えている
5. 子どもや親族の家以外の住宅に転居したいと考えている
6. その他（具体的に： ）
7. 特にない

《全ての方におたずねします》

＜防災についておたずねします＞

問38 あなたは、大きな災害に備えて、何か対策をしていますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 非常用持ち出し袋を用意している 2. 家具の転倒防止のため器具をつけている
3. 避難経路の確認をしている 4. 家族と待ち合わせ場所などの相談をしている
5. その他（具体的に： ）
6. 特に何もしていない

問39 あなたは、災害時や緊急時に身近で手助けしてくれる人がいますか。(ひとつだけに○)

1. いる
2. いない

【問39で「1. いる」に○をつけた方におたずねします。】

問39-1 その方はどなたですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 配偶者 2. 同居の家族・親族
3. 別居の子どもやその家族 4. 別居の親族
5. 近所の人 6. 友人
7. その他（具体的に： ）

【問39で「2. いない」に○をつけた方におたずねします。】

問39-2 市では、災害時要援護者支援制度という、障害者や高齢者など、日常生活の中で手助けを必要とする人に対して、災害時などに地域の中で支援を受けられるようにする制度があります。

あなたは、この制度を知っていますか。(ひとつだけに○)

1. 知っている 2. 知らない

《全ての方におたずねします》

＜介護保険についておたずねします＞

問40 あなたは介護保険の「所得段階区分」は、どの段階ですか。

平成 28 年度納入通知書の所得段階区分をご確認ください。ご不明な方は、納入通知書をご覧ください。(ひとつだけに○)

1. 第1段階 (23,868 円) 2. 第2段階 (37,128 円) 3. 第3段階 (39,780 円)
4. 第4段階 (42,432 円) 5. 第5段階 (53,040 円) 6. 第6段階 (60,996 円)
7. 第7段階 (66,300 円) 8. 第8段階 (79,560 円) 9. 第9段階 (84,864 円)
10. 第10段階 (98,124 円) 11. 第11段階 (111,384 円) 12. わからない

※カッコ内の金額は、年額の介護保険料です。

問41 介護保険料の支払い額について、どのように思いますか。(ひとつだけに○)

1. 妥当な金額である

2. 思ったより安い

3. やや負担である

4. かなりの負担である

5. わからない

問42 あなたは、あなたの地域を担当している「地域包括支援センター」がどこにあるか知っていますか。(ひとつだけに○)

1. 知っている

2. 知らない

→【問42で「1. 知っている」に○をつけた方におたずねします。】

問42-1 あなたは、「地域包括支援センター」を利用したことがありますか。(ひとつだけに○)

1. 利用したことがある

2. 利用したことがない

O「地域包括支援センター」では、高齢者とその家族に対して、暮らしの悩みや保健福祉・介護に関する初期相談、専門機関への相談支援、高齢者の実態把握、権利擁護などを含む相談窓口を設置し、高齢者と家族からの多様な相談に対応しています。

名称	所在地	名称	所在地
ゆず	新栄町13-48	くるみ	高田4-2-18
れんげ	ワラシナビル1階	あかね	アート茅ヶ崎
あい	南湖5-10-6	青空	香川3-21-26
さくら	東海岸南1-1-4	さざなみ	小和田3-3-5
みどり	矢畑1427-1	あさひ	常盤町2-2
すみれ	萩園2360-1	わかば	松浪コミュニティセンター内
	鶴嶺西コミュニティセンター内		旭が丘6-11
	浜見平11-1		芹沢846-3

《全ての方におたずねします》

問43 あなたは、身近な公的機関等に対し、どのようなことを相談したいですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 食事・栄養に関すること

2. 健康維持・介護予防に関すること

3. 医療に関すること

4. 介護に関すること

5. 住まいに関すること

6. 就労に関すること

7. 家事に関すること

8. 相続に関すること

9. 家族に関すること

10. 趣味や生きがいに関すること

11. 金銭管理に関すること

12. 安全・安心に関すること

13. その他(具体的に:)

14. 特になし

問44 あなたは普段生活をしている中で、どのようなところで様々な情報を得ることが多いですか。(あてはまるものすべてに○)

1. テレビ・ラジオ

2. 新聞・本・雑誌

3. インターネット

4. 家族

5. 友人・知人

6. 近所・地域の人

7. 職場の人

8. 医師・歯科医師・薬剤師(薬局)

9. その他(具体的に:)

10. 特に情報を得ていない

問45 市からの、介護保険や高齢者福祉に関する情報について、どのようなところで得ることが多いですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 市の広報紙(広報ちがさき)

2. 市のホームページ

3. 市役所からの案内(通知やチラシを含む)

4. 市役所の窓口

5. 回覧板

6. 掲示板

7. テレビ(市の広報番組)

8. ラジオ(市の広報番組)

9. 新聞

10. 口コミ(人づて)

11. 地域包括支援センター

12. その他(具体的に:)

13. 特に情報を得ていない

問46 あなたは現在、家族の介護をしていますか。(ひとつだけに○)

1. している

2. していない

問47 あなたは、介護が必要となったとき、日常生活の世話をしてくれる人(介護予定者)はいますか。(ひとつだけに○)

1. いる

2. いない

→【問47で「1. いる」に○をつけた方におたずねします。】

問47-1 主な介護予定者はどなたですか。(ひとつだけに○)

1. 配偶者

2. 息子

3. 娘

4. 息子の配偶者

5. 娘の配偶者

6. 孫(男性・女性)

7. その他(具体的に:)

→【問47で「1. いる」に○をつけた方におたずねします。】

問47-2 主な介護予定者の年齢についておたずねします。(ひとつだけに○)

1. 19歳以下

2. 20～30歳未満

3. 30～40歳未満

4. 40～50歳未満

5. 50～60歳未満

6. 60～70歳未満

7. 70～80歳未満

8. 80歳以上

→【問47で「1. いる」に○をつけた方におたずねします。】

問47-3 主な介護予定者は、あなたと同居していますか。(ひとつだけに○)

1. 同居している

2. 同居していない

3. 将来は同居する予定

161

17

18

-----<あなたご自身（あて名のご本人）のことについておたずねします>-----

問1 あなたの性別をおたずねします。(ひとつだけに○)

1. 男性	2. 女性
-------	-------

問2 あなたの年齢はおいくつですか。(平成28年10月1日現在の満年齢(ひとつだけに○))

1. 65歳～69歳	2. 70歳～74歳
3. 75歳～79歳	4. 80歳～84歳
5. 85歳～89歳	6. 90歳以上

問3 あなたの家族構成をご記入ください。二世帯住宅の場合は同居と扱います。

(ひとつだけに○)

1. ひとり暮らし
2. 夫婦ふたり暮らし (配偶者も65歳以上)
3. 夫婦ふたり暮らし (配偶者は65歳未満)
4. 子や孫、兄弟姉妹で65歳未満の親族と同居
5. 1～4以外で全員が65歳以上の世帯
6. 上記以外の世帯

→【問3で「1.」～「3.」か「5.」に○をつけた方におたずねします。】

問3-1 あなたのお子さんやご親族で30分以内に駆けつけられる方はいらっしゃいますか。(ひとつだけに○)

1. いる	2. いない
-------	--------

《全ての方におたずねします》

問4 あなたのお住まいはどちらですか。(下記の地区から、ひとつだけに○)

※あなたの地区は、封筒の宛名ラベルの右下に記載されています。

1. 茅ヶ崎地区	2. 南湖地区
3. 海岸地区	4. 鶴嶺東地区
5. 鶴嶺西地区	6. 湘南地区
7. 松林地区	8. 湘北地区
9. 小和田地区	10. 松浪地区
11. 浜須賀地区	12. 小田地区

-----<日常生活についておたずねします>-----

問5 あなたは、週に何回くらい外出（散歩や通院も含む）していますか。

(ひとつだけに○)

1. ほとんど毎日	2. 週に2～3回
3. 週に1回くらい	4. ほとんど外出しない

→【問5で「3. 週に1回くらい」、「4. ほとんど外出しない」に○をつけた方におたずねします。】

問5-1 外出しない日はどなたと過ごすことが多いですか。(ひとつだけに○)

1. 夫や妻と	2. 息子や娘、孫と
3. 兄弟姉妹などの親族と	4. 友人や近所の人と
5. 昼間は一人だが夜は家族と	6. 一日中一人で過ごすことが多い
7. その他 (具体的に：)	

《全ての方におたずねします》

問6 日常生活の中で不自由を感じることはありますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 調理	2. 買い物	3. 洗濯
4. 掃除	5. 電話の利用	6. 日常的な金銭管理
7. ごみ出し	8. その他 (具体的に：)	
9. 特にない		

問7 あなたには、かかりつけ医、かかりつけ歯科医、かかりつけの薬局がありますか。

(ひとつずつ○)

また、かかりつけ医を「1. ある」に○をつけた方は、医療機関も併せてお答えください。(あてはまるものすべてに○)

ア	かかりつけ医	1. ある 2. ない	↳ (1. 診療所・クリニック 2. 病院)
イ	かかりつけ歯科医	1. ある 2. ない	
ウ	かかりつけ薬局	1. ある 2. ない	

※かかりつけ薬局とは、薬に関するいろいろな相談に応じ、情報提供してくれる薬局のこと

問8 どのような在宅医療サービスを利用していますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 訪問診療	2. 訪問看護
3. 訪問歯科診療	4. 訪問歯科衛生指導
5. 訪問栄養指導	6. 訪問リハビリテーション
7. 訪問薬剤指導	8. 利用していない

問9 あなたには、悩みや心配ごとを相談できる人がいますか。(ひとつだけに○)

1. いる

2. いない

→【問9で「1. いる」に○をつけた方におたずねします。】

問9ー1 その方はどなたですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 配偶者

2. 同居の家族・親族

3. 別居の子どもやその家族

4. 別居の親族

5. 近所の人

6. 友人

7. ケアマネジャー

8. ホームヘルパー

9. 介護施設の職員

10. その他(具体的に:)

《全ての方におたずねします》

問10 日常生活の中で民間事業者による家事代行サービスや配食サービスなどを利用していますか。(ひとつだけに○)

1. 利用している

2. 利用していない

→【問10で「1. 利用している」に○をつけた方におたずねします。】

問10ー1 それはどのようなサービスですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 家事代行サービス

2. 見守りサービス

3. 緊急通報サービス

4. 配食サービス

5. その他(具体的に:)

《全ての方におたずねします》

問11 あなたは、振り込み詐欺についてどのように考えていますか。(ひとつだけに○)

1. 自分も被害に遭うかもしれない

2. 自分は被害に遭うことはない

3. その他(具体的に:)

4. 特に何も考えていない

問12 あなたは、振り込み詐欺や還付金詐欺の犯人から電話を受けたことがありますか。(ひとつだけに○)

1. ある

2. ない

問13 振り込み詐欺の犯人は、留守番電話に自分の声を残すことはまれですが、振り込み詐欺に留守番電話が有効であることを知っていますか。(ひとつだけに○)

1. 知っている

2. 知らない

問14 市役所等の公的機関が保険料や医療費の還付(お金に戻ってくる)があることを電話で知らせたりすることがあると思いますか。(ひとつだけに○)

1. あると思う

2. ない

3. わからない

5

問15 防災行政用無線による振り込み詐欺の注意喚起の放送についておたずねします。役に立ちますか。(ひとつだけに○)

1. 役に立つ

2. 役に立たない

問16 あなたは、自分らしい最期を迎えるために、何か準備していますか。(ひとつだけに○)

1. すでに準備している

2. 必要だと思うが、まだ準備していない

3. その他(具体的に:)

4. 必要ない

→【問16で「1. すでに準備している」、「2. 必要だと思うが、まだ準備していない」に○をつけた方におたずねします。】

問16ー1 どのようなことを準備していますか。また、どのようなことが必要だと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 財産等に関する遺言書の作成

2. 自分で判断出来なくなった場合に備えた、財産管理の相談

3. 人生の最終段階を迎えたときに、どこで最期を迎えたいかの記録(エンディングノート)

4. 人生の最終段階を迎えたときに、どこで最期を迎えたいかの家族等への明言

5. 思いつきの品物の整理や処分やその方法

6. 延命処置など医療に関する希望を家族に伝えたり、記録を残す

7. その他(具体的に:)

《全ての方におたずねします》

問17 あなたは、自分らしい最期を迎えるために、エンディングノートや家族等への伝達など、具体的に考える機会があれば参加してみたいですか。(ひとつだけに○)

1. 参加してみたい

2. 参加したいとは思わない

3. わからない

-----<お住まいについておたずねします>-----

問18 あなたのお住まいについておたずねします。(ひとつだけに○)

1. 持ち家(一戸建て)

2. 持ち家(マンションなどの集合住宅)

3. 公営住宅(県営住宅・市営住宅など)

4. 公社・UR都市機構(旧公団)の賃貸住宅

5. 社宅、官舎、公舎など

6. 民間の借家(一戸建て)

7. 民間の借家(マンション・アパートなど)

8. 間借り

9. 老人ホーム(養護老人ホーム・軽費老人ホーム(ケアハウス)・有料老人ホーム)

10. 高齢者向け住宅

11. その他(具体的に:)

6

165

問19 あなたは、現在のお住まいで困っていることはありませんか。

(あてはまるものすべてに○)

1. 必要なところに手すりが無い

2. トイレや浴室が居室から離れている

3. 階段が急である

4. 住宅内に段差があり移動しづらい

5. 廊下が狭くて車椅子が使いにくい

6. 部屋が狭くて介護用ベッドが置けない

7. エレベーターがない

8. 住宅が老朽化している

9. 防犯性が確保されていない

10. 家賃（部屋代）が高い

11. その他（具体的に：_____）

12. 特になし

【問19で「1.」～「11.」に○をつけた方におたずねします。】

問19-1 あなたは、お住まいで困っていることを解消するため何か対策を考えていますか。（ひとつだけに○）

1. 住宅改修を検討している

2. 高齢者用の設備や、安否確認の整った住宅への入居を考えている

3. 老人ホームなどの施設への入居を考えている

4. 子どもや親族の家に転居したいと考えている

5. 子どもや親族の家以外の住宅に転居したいと考えている

6. その他（具体的に：_____）

7. 特になし

《全ての方におたずねします》

＜防災についておたずねします＞

問20 あなたは、大きな災害に備えて、何か対策をしていますか。（あてはまるものすべてに○）

1. 非常用持ち出し袋を用意している

2. 家具の転倒防止のため器具をつけている

3. 避難経路の確認をしている

4. 家族と待ち合わせ場所などの相談をしている

5. その他（具体的に：_____）

6. 特に何もしていない

問21 あなたは、災害時や緊急時に身近で手助けしてくれる人がいますか。

1. いる

2. いない

→問21-2へ

【問21で「1. いる」に○をつけた方におたずねします。】

問21-1 その方はどなたですか。（あてはまるものすべてに○）

1. 配偶者

2. 同居の家族・親族

3. 別居の子どもやその家族

4. 別居の親族

5. 近所の人

6. 友人

7. 介護施設の職員

8. その他（具体的に：_____）

【問21で「2. いない」に○をつけた方におたずねします。】

問21-2 市では、災害時要援護者支援制度という、障害者や高齢者など、日常生活の中で手助けを必要とする人に対して、災害時などに地域の中で支援を受けられるようにする制度があります。

あなたは、この制度を知っていますか。（ひとつだけに○）

1. 知っている

2. 知らない

《全ての方におたずねします》

＜あなたを介護してくれる方（主な介護者等）についておたずねします＞

○主な介護者の方、もしくはご本人にご回答・ご記入をお願いいたします。

問22 あなたはの主な介護者はどなたですか。なお、ヘルパーなどの介護職はのぞきます。

(ひとつだけに○)

1. 配偶者

2. 息子

3. 娘

4. 息子の配偶者

5. 娘の配偶者

6. 孫（男性・女性）

7. その他（具体的に：_____）

8. 主な介護者はいない

【問23～問32は、問22で「8. 主な介護者はいない」以外に○をつけた方におたずねします。】

(主な介護者はいない方は、11ページの問33へお進みください。)

問23 主な介護者の年齢をおたずねします。（ひとつだけに○）

1. 19歳以下

2. 20歳代

3. 30歳代

4. 40歳代

5. 50歳代

6. 60歳代

7. 70歳代

8. 80歳以上

問24 主な介護者は、あなたと同居していますか。（ひとつだけに○）

1. 同居している

2. 同居していない

3. 将来は同居する予定

問25 主な介護者のこれまでの介護期間をおたずねします。（ひとつだけに○）

1. 1年未満

2. 1～2年未満

3. 2～5年未満

4. 5～10年未満

5. 10年以上

問26 現在、主な介護者の方が行っている介護等について、おたずねします。
(あてはまるものすべてに○)

【身体介護】	
1. 日中の排泄	2. 夜間の排泄
3. 食事の介助 (食べる時)	4. 入浴・洗身
5. 身だしなみ (洗顔・歯磨き等)	6. 衣服の着脱
7. 屋内の移乗・移動	8. 外出の付き添い、送迎等
9. 服薬	10. 認知症状への対応
11. 医療面での対応 (経管栄養、ストーマ等)	
【生活援助】	
12. 食事の準備 (調理等)	13. その他の家事 (掃除、洗濯、買い物等)
14. 金銭管理や生活面に必要な諸手続き	
【その他】	
15. その他 (具体的に：)	

問27 主な介護者が介護を行う時間は1日あたりおおよそどのくらいですか。(ひとつだけに○)

1. 1時間未満	2. 1～2時間未満	3. 2～4時間未満
4. 4～6時間未満	5. 6～8時間未満	6. 8～10時間未満
7. 10～12時間未満	8. 12時間以上	

問28 主な介護者の状況についてご記入ください。(あてはまるものすべてに○)

1. 高齢・病弱である
2. 他にも介護しなければならない要介護認定者がいる
3. 仕事のために十分介護ができない
4. 子育てのために十分介護ができない
5. その他の問題がある (具体的に：)
6. 特に問題はない

問29 ご家族やご親族の中で、あなたの介護のために、過去に仕事を辞めた方はいますか。
(現在働いているかどうかや、現在の勤務形態は問いません)

(あてはまるものすべてに○)	
1. 主な介護者が仕事を辞めた (転職除く)	
2. 主な介護者以外の家族・親族が仕事を辞めた (転職除く)	
3. 主な介護者が転職した	
4. 主な介護者以外の家族・親族が転職した	
5. 介護のために仕事を辞めた (転職除く) 家族・親族はいない	

問30 主な介護者の方の現在の勤務形態について、おたずねします。(ひとつだけに○)

1. フルタイムで働いている	2. パートタイムで働いている
3. 働いていない	

※「パートタイム」とは、「1週間の所定労働時間が、同一の事業所に雇用される通常の労働者に比べて短い方」が該当します。いわゆる「アルバイト」「嘱託」「契約社員」など、呼び方は異なっても、この条件にあてはまる場合は「パートタイム」になります。自営業・フリーランス等の場合も、就労時間・日数等から「フルタイム」「パートタイム」のいずれかに○をつけてください。

→【問30で「1. フルタイムで働いている」, 「2. パートタイムで働いている」に○をつけた方におたずねします。】

問30-1 主な介護者の方は、介護をするにあたって、何か働き方についての調整等をしていきますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 特に行っていない
2. 労働時間を調整 (残業免除・短時間勤務等) しながら働いている
3. 休暇 (年休や介護休暇等) を取りながら、働いている
4. 「在宅勤務」を利用しながら、働いている
5. 2～4以外の調整をしながら働いている

→問30-2 主な介護者の方は、仕事と介護を両立するために、どのような支援等があれば効果があると思いますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 介護休暇等の制度の充実
2. 休暇を取得しやすくなるような職場づくり
3. 労働時間や勤務形態を柔軟に選択できる職場環境 (フレックスタイム制や在宅勤務など)
4. 介護に関する相談窓口等の充実
5. 介護保険施設の整備
6. 介護をしている方への経済的な支援
7. その他 (具体的に：)

→問30-3 主な介護者の方は、今後も働きながら介護を続けていけそうですか。
(ひとつだけに○)

1. 問題なく続けていける	2. 問題はあるが、何とか続けていける
3. やや難しい	4. かなり難しい

問31 主な介護者の方が不安に感じている介護等について、おたずねします。
(あてはまるものすべてに○)

【身体介護】	
1. 日中の排泄	2. 夜間の排泄
3. 食事の介助 (食べるとき)	4. 入浴・洗身
5. 身だしなみ (洗顔・歯磨き等)	6. 衣服の着脱
7. 屋内の移乗・移動	8. 外出の付き添い、送迎等
9. 服薬	10. 認知症状への対応
11. 医師面での対応 (経管栄養、ストロー等)	
【生活援助】	
12. 食事の準備 (調理等)	13. その他の家事 (掃除、洗濯、買い物等)
14. 金銭管理や生活面に必要な諸手続き	
【その他】	
15. その他 (具体的に：)	16. 不安に感じていることは、特にない

問32 主な介護者の方は、介護について誰かに相談していますか。
(あてはまるものすべてに○)

1. 家族・親族	2. 友人・知人
3. 近所の人、ボランティア等	4. 地域包括支援センターやケアマネジャー
5. 市役所や保健所	6. ヘルパー等の介護事業者
7. 病院の医師や相談員	8. 民生委員
9. 勤務先	10. その他 (具体的に：)
11. 誰にも相談していない	

《全ての方におたずねします》

＜介護保険についておたずねします＞

問33 あなたが、要介護認定を申請した理由は何ですか。(ひとつだけに○)

1. 日常生活に支障を来すようになったため、介護サービスを受けたかった
2. 周囲に設定申請をするように勧められた
3. 将来に漠然とした不安があり、なんとなく申請した
4. 自分の要介護度を知りたかった
5. その他 (具体的に：)

問34 あなたの要介護度はいくつですか。(ひとつだけに○)

1. 要支援 1	2. 要支援 2	3. 要介護 1	4. 要介護 2
5. 要介護 3	6. 要介護 4	7. 要介護 5	8. わからない

問35 市からの介護保険や高齢者福祉に関する情報について、どのような手段を通じて入手していますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 市の広報紙 (広報ちがさき)	2. 市のホームページ	4. 市役所の窓口
3. 市役所からの案内 (通知やチラシを含む)	6. 掲示板	7. テレビ (市の広報番組)
5. 回覧板	9. 新聞	10. 口コミ (人づて)
8. ラジオ (市の広報番組)	12. ケアマネジャー	13. 介護事業者
11. 地域包括支援センター	14. その他 (具体的に：)	
15. 特に情報を得ていない		

問36 介護保険サービスの利用についておたずねします。(ひとつだけに○)

1. 現在、利用している	→ 問36-2へ
2. 過去に利用していたが、現在は利用していない	
3. 利用していない	

【問36で「1. 現在、利用している」に○をつけた方におたずねします。】

問36-1 利用されている介護サービスの種類に○をしてください。(あてはまるものすべてに○)

1. 訪問介護 (ホームヘルプ)	2. 訪問入浴介護
3. 訪問看護	4. 訪問リハビリテーション
5. 通所介護 (デイサービス)	6. 通所リハビリテーション (デイケア)
7. 短期入所生活介護 (ショートステイ)	8. 短期入所療養介護 (医療型ショートステイ)
9. 福祉用具購入	10. 福祉用具貸与
11. 住宅改修	12. 居宅療養管理指導 (医師・歯科医師・薬剤師)
13. 夜間対応型訪問介護	14. 認知症対応型通所介護 (認知症デイ)
15. 小規模多機能型居宅介護	
16. その他 (具体的に：)	

【問36-1で「9. 福祉用具購入」、「11. 住宅改修」に○をつけた方におたずねします。】

問36-1-1 福祉用具や住宅改修を利用した効果はありましたか。(ひとつだけに○)

1. 生活しやすくなった	2. あまり効果はなかった
3. かえって不便になった	4. どちらともいえない

問36-1-2 福祉用具や住宅改修の内容は適切でしたか。(ひとつだけに○)

1. 適切であった	2. 過剰な工事、不要な用具の購入があった
3. 工事や用具に不足があった	4. サービスをうまく使えなかった
5. わからない	

【問36で「2. 過去に利用していたが、現在は利用していない」、「3. 利用していない」に○をつけた方におたずねします。】

問36-2 介護保険サービスを利用していない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 自分で生活できている	2. 家族の介護で間に合っている
3. 利用料が負担である	4. 他人に家の中に入ってほしくない
5. 利用したいサービスがない	6. 入院している
7. 利用手続きがわからない	
8. その他 (具体的に:)	

《全ての方におたずねします》

問37 現時点での、施設等への入所・入居の検討状況について、おたずねします。(ひとつだけに○)

1. すでに申込みをしている
2. 申し込んでいないが、今後1年以内には申し込みをしたい
3. 今のところ申し込みをするつもりはない
4. 入所について、まだ考えたことがない

→【問37で「1. すでに申込みをしている」に○をつけた方におたずねします。】

問37-1 入所の時期は、いつごろをご希望ですか。(ひとつだけに○)

1. すぐに入所したい	2. 1年以内に入所したい
3. 1年から3年の間には入所したい	4. 3年以上先の入所を考えている
5. その他 (具体的に:)	

→【問37で「1. すでに申込みをしている」、「2. 申し込んでいないが、今後1年以内には申込みをしたい」に○をつけた方におたずねします。】

問37-2 申し込みをしている (申し込みをしたい) 施設等は、どちらですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 特別養護老人ホーム (常時介護が必要な方が利用する福祉施設)
2. 介護老人保健施設 (リハビリなどを行い在宅生活への復帰をめざす施設)
3. 介護療養型医療施設 (常時介護が必要な方が利用する医療施設)
4. 有料老人ホーム (介護等を受けられる民間の施設)
5. グループホーム (認知症の方の小規模な居住施設)
6. サービス付き高齢者向け住宅 (高齢者用の設備や安否確認の体制が整えられた住宅)
7. その他 (具体的に:)

《全ての方におたずねします》

問38 介護保険サービスを利用したことで、次にあげるような変化はありましたか。(あてはまるものすべてに○)

1. 生活に張りができた	2. 心身の状態が良くなった
3. 改善しない、さらに悪化した	4. その他 (具体的に:)
5. 特になし	

問39 過去1ヶ月間に利用した、ケアマネジャーを除く介護保険サービス提供事業者に対する満足度はいかがですか。(ひとつだけに○)

1. かわったすべての事業者に対しておおむね満足している
2. 一部の事業者に対して不満を感じている
3. かわったすべての事業者に対して不満を感じている
4. 介護サービスは利用していない

→【問39で「2. 一部の事業者に対して不満を感じている」、「3. かわったすべての事業者に対して不満を感じている」に○をつけた方におたずねします。】

問39-1 具体的にどのような不満をお持ちですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 担当者がたびたび替わる
2. 担当者の言葉遣いなどの礼儀がきちんとしていない
3. 担当者のケアの技術に不満がある
4. 約束どおりに担当者が来ない
5. その他 (具体的に:)

《全ての方におたずねします》

問40 次のサービスのうち、今後、利用してみたいサービスはどれですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 一つの事業所でデイサービス、ホームヘルパー、宿泊を組み合わせ、介護や看護ケアを受けることができるサービス
2. 認知症高齢者を対象としたデイサービス
3. 認知症高齢者を対象としたグループホーム
4. 日中・夜間を通じて、ヘルパーによる定期巡回と随時通報により訪問介護と訪問看護を受けることができるサービス
5. 現在受けているサービスに満足しているのですが、どれも利用したいと思わない
6. わからない
7. いずれも利用したいとは思わない

問41 あなたの介護保険料の「所得段階区分」は、どの段階ですか。

〔平成28年度納入通知書の所得段階区分をご確認ください。ご不明な方は、納入通知書をご覧ください。(ひとつだけに○)〕

1. 第1段階 (23,868円)	2. 第2段階 (37,128円)	3. 第3段階 (39,780円)
4. 第4段階 (42,432円)	5. 第5段階 (53,040円)	6. 第6段階 (60,996円)
7. 第7段階 (66,300円)	8. 第8段階 (79,560円)	9. 第9段階 (84,864円)
10. 第10段階 (98,124円)	11. 第11段階 (111,384円)	12. わからない

※カッコ内の金額は、年額の介護保険料です。

問42 介護保険料の支払い額について、どのように思いますか。(ひとつだけに○)

- | | | |
|--------------|------------|------------|
| 1. 妥当な額である | 2. 思ったより安い | 3. やや負担である |
| 4. かなりの負担である | 5. わからない | |

問43 あなたは、今後どのような場所で介護を希望しますか。(ひとつだけに○)

- | |
|---|
| 1. 可能な限り自宅で生活を続けたい |
| 2. 施設（特別養護老人ホームなど）へ入居したい |
| 3. 介護、見守りや食事の提供などがついている高齢者専用の住居（有料老人ホーム、ケア付き賃貸住宅など）に入居したい |
| 4. その他（具体的に：_____） |

問44 あなたの受けている介護サービスについて、医療機関（病院、診療所等）との連携はうまくできていると思いますか。(ひとつだけに○)

- | | |
|-------------------|-----------------|
| 1. うまくできていると思う | 2. ある程度できていると思う |
| 3. あまりできているとは思わない | 4. わからない |

-----<今後の「支え合い」の在り方についておたずねします>-----

問45 現在、近隣の住民、ボランティア団体などによる見守り、掃除・洗濯・買い物・ゴミ出しなどの家事援助、その他介護保険サービス以外で地域の支え合いによる支援を受けていますか。

- | | |
|----------|-----------|
| 1. 受けている | 2. 受けていない |
|----------|-----------|

→【問45で「1. 受けている」に○をつけた方におたずねします。】

問45-1 それはどのようなサービスですか。(あてはまるものすべてに○)

- | | | |
|--------------------|--------------|----------|
| 1. 掃除・洗濯等の家事援助 | 2. 買い物・外出支援 | 3. ゴミ出し |
| 4. コミュニティサロン | 5. 話し相手・相談相手 | 6. 庭の手入れ |
| 7. その他（具体的に：_____） | | |

→問45-2 それはどんなからのサービスですか。(あてはまるものすべてに○)

- | | | |
|-----------|--------------------|---------------|
| 1. ボランティア | 2. 近隣の住民 | 3. シルバー人材センター |
| 4. 民生委員 | 5. その他（具体的に：_____） | |

《全ての方におたずねします》

問46 近隣の住民、ボランティア団体などによる介護保険サービス以外の地域の支え合いにおいてどのようなサービスがあったら良いと思いますか。

(あてはまるものすべてに○)

- | | | |
|--------------------|--------------|----------|
| 1. 掃除・洗濯等の家事援助 | 2. 買い物・外出支援 | 3. ゴミ出し |
| 4. コミュニティサロン | 5. 話し相手・相談相手 | 6. 庭の手入れ |
| 7. その他（具体的に：_____） | | |

問47 最後になりますが、高齢者福祉サービスや介護保険サービスについて、市へのご要望、ご意見などがございましたら、ご記入ください。

ご協力ありがとうございます。12月9日（金）までにご返送ください。

3 要支援・要介護認定者個別調査（施設） 調査票

<調査の前に>

○現在、あて名のご本人の状況について、あてはまるものひとつに○をつけてください。

1. 特別養護老人ホームに入居中

2. 介護老人保健施設に入居中

3. 介護療養型医療施設に入居中

4. 有料老人ホームに入居中

5. グループホームに入居中

6. 既に退所している

→あて名のご本人が「既に退所している」場合、この調査の対象ではありませんでした。

このまま同封の封筒に入れてご返送ください。
ご協力ありがとうございます。

<回答者について>

○この調査票にご記入いただいているのは、どなたですか。(ひとつだけに○)

1. あて名のご本人

2. 配偶者

3. 息子

4. 娘

5. 息子の配偶者

6. 娘の配偶者

7. 孫 (男性・女性)

8. その他 (具体的に)

これ以降、あて名のご本人についておたずねします。
あて名のご本人以外が記入されている場合にも、特にことわり書きのない限り、あて名のご本人についてご記入ください。

要支援・要介護認定者個別調査票（施設）

調査ご協力をお願い

日ごろより、本市の高齢者施策の推進にご理解とご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。

このたび、「第7期茅ヶ崎市高齢者福祉計画・介護保険事業計画」を策定するにあたり、皆様のご意見やご要望を反映させていくための基礎資料として、「要支援・要介護認定者個別調査」を実施することになりました。

このアンケート調査は、平成28年10月において要支援・要介護の認定を受けている方500名を無作為抽出し、お送りするものです。ご回答いただいたご意見は、統計的にとりまとめますので、個別のご意見等がそのまま公表されることはありません。

お手数ではありますが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力いただきますようお願い申し上げます。

平成28年11月11日

茅ヶ崎市長 服部 信明

ご記入にあたってのお願い

◇この調査票は、できるだけご本人がご記入ください。ご本人がご記入いただけない場合は、ご家族などがご記入ください。

◇お答えは、平成28年10月1日現在の状況でご記入ください。

◇ここでいう「あなた」とは、あて名のご本人のことです。(敬称は省略しています。)

◇答えたくない、又は分からない設問は無記入にし、次の設問にお進みください。

◇お答えは、あてはまる項目の番号に「ひとつだけに○」を付けていただくものと、「あてはまるものすべてに○」を付けていただくものがありますのでご注意ください。

「その他」にあてはまる場合には()内になるべく具体的にご記入ください。

◇設問によって回答していただく方が限られる場合がありますので、ことわり書きや失印に従って回答してください。特にことわり書きのない場合は次の設問に進んでください。

◇ご記入いただいた調査票は平成28年12月9日(金)までにご投函ください。
(同封の封筒によりご返送ください。なお、切手を貼る必要はありません。)

このアンケート調査についてのお問い合わせは、下記までお願いします。

連絡先：茅ヶ崎市保健福祉部高齢福祉課 支援給付担当
電話 0467-82-1111 (代表) ファックス 0467-82-1435

171

-----<あなたご自身（あて名のご本人）のことについておたずねします>-----

問 1 あなたの性別をおたずねします。

1. 男性	2. 女性
-------	-------

問 2 あなたの年齢はいくつですか。(平成 28 年 10 月 1 日現在の満年齢(ひとつだけに○))

1. 65 歳～69 歳	2. 70 歳～74 歳
3. 75 歳～79 歳	4. 80 歳～84 歳
5. 85 歳～89 歳	6. 90 歳以上

-----<日常生活についておたずねします>-----

問 3 あなたには、悩みや心配ごとを相談できる人がいますか。

1. いる	2. いない
-------	--------

→【問 3 で「1. いる」に○をつけた方におたずねします。】

問 3-1 その方はどなたですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 配偶者	2. 同居の家族・親族
3. 別居の子どもやその家族	4. 別居の親族
5. 近所の人	6. 友人
7. ケアマネジャー	8. 介護施設の職員
9. その他 (具体的に：)	

【2 ページの<調査の前>に>で、「4. 有料老人ホームに入居中」、「5. グループホームに入居中」に○をつけた方におたずねします。】

問 4 どのような在宅医療サービスを利用していますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 訪問診療	2. 訪問栄養指導
3. 訪問看護	4. 訪問リハビリテーション
5. 訪問歯科診療	6. 訪問薬剤指導
7. 訪問歯科衛生指導	8. 利用していない

-----<介護保険についておたずねします>-----

問 5 あなたが、要介護認定を申請した理由は何ですか。(ひとつだけに○)

1. 日常生活に支障を来すようになったため、介護サービスを受けたかった
2. 周囲に認定申請をするように勧められた
3. 将来に漠然とした不安があり、なんとなく申請した
4. 自分の要介護度を知っていた
5. その他 (具体的に：)

問 6 あなたの要介護度はいくつですか。(ひとつだけに○)

1. 要支援 1	2. 要支援 2	3. 要介護 1	4. 要介護 2
5. 要介護 3	6. 要介護 4	7. 要介護 5	8. わからない

問 7 現在の施設への入所を決めたのはどなたですか。(ひとつだけに○)

1. ご自身で
2. 配偶者と相談して
3. 家族・親族と相談して
4. その他 (具体的に：)

問 8 現在の施設に入所した理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 入所した方が安心だったため
2. 自宅の近くにある施設だったため
3. 金銭的に見合った施設だったため
4. 自宅に介護をしてくれる人がいないため
5. 自宅で介護をしていた家族の負担を軽減するため
6. 他の施設に入所待ちをしている間の一時的な入所
7. 退院する時期が迫っていたため
8. 継続的な医療的なケアが必要のため
9. 自宅に戻るためのリハビリテーションなどを行うため
10. その他 (具体的に：)

問9 現在、入所中の施設が提供するサービスに満足していますか。(ひとつだけに○)

1. 非常に満足している	2. おおむね満足している
3. 多少不満を感じている	4. 非常に不満を感じている

→【問9で「3. 多少不満を感じている」、「4. 非常に不満を感じている」に○をつけた方におたずねします。】

問9-1 具体的に不満を感じていらっしゃる内容についてご記入ください。
(あてはまるものすべてに○)

1. 職員の応対が悪い
2. 入所前にサービス内容などの説明があまり詳しく行われなかった
3. 入所前に説明されたサービス内容と実際のサービス内容とが異なっている
4. 利用料が高い
5. その他 (具体的に：)

問10 現在、入所中の部屋の定員は何人ですか。(ひとつだけに○)

1. 個室 (1人)
2. 2人部屋
3. 3～4人部屋
4. 5人以上

→【問10で「2. 2人部屋」、「3. 3～4人部屋」、「4. 5人以上」に○をつけた方におたずねします。】

問10-1 個室に移動したいというご希望はありますか。(ひとつだけに○)

1. 個室に移りたい
2. 個室に移りたいとは思わない

→【問10-1で「2. 個室に移りたいとは思わない」に○をつけた方におたずねします。】

問10-1-1 希望しない理由についてご記入ください。(あてはまるものすべてに○)

1. 現在の部屋に満足しているから
2. 個室に入ると利用料の負担が増えるから
3. 個室に入ると寂しくなるから
4. その他 (具体的に：)

問11 あなたの介護保険料の「所得段階区分」は、どの段階ですか。
(平成28年度納入通知書の所得段階区分をご確認ください。ご不明な方は、納入通知書をご覧ください。(ひとつだけに○))

1. 第1段階 (23,868円)	2. 第2段階 (37,128円)	3. 第3段階 (39,780円)
4. 第4段階 (42,432円)	5. 第5段階 (53,040円)	6. 第6段階 (60,996円)
7. 第7段階 (66,300円)	8. 第8段階 (79,560円)	9. 第9段階 (84,864円)
10. 第10段階 (98,124円)	11. 第11段階 (111,384円)	12. わからない

※カッコ内の金額は、年額の介護保険料です。

問12 介護保険料の支払い額について、どのようにお感じになりますか。(ひとつだけに○)

1. 妥当な額である	2. 思ったより安い	3. やや負担である
4. かなり負担である	5. わからない	

問13 今後の生活の場について、どのようにお考えですか。(ひとつだけに○)

1. 今の施設でこのまま暮らし続けたい
2. 他の施設で暮らしたい
3. 自宅や親戚などの住宅で介護サービスなどを利用しながら暮らしたい
1---> (次ページ問13-2へ)
4. その他 (具体的に：)

→【問13で「2. 他の施設で暮らしたい」に○をつけた方におたずねします。】

問13-1 暮らしたい施設の種類をご記入ください。(ひとつだけに○)

1. 特別養護老人ホーム (常時介護が必要な方が利用する福祉施設)
2. 介護老人保健施設 (リハビリなどを行い在宅生活への復帰をめざす施設)
3. 介護療養型医療施設 (常時介護が必要な方が利用する医療施設)
4. 有料老人ホーム (介護を受けられる民間の施設)
5. グループホーム (認知症の方の小規模な居住施設)
6. サービス付き高齢者向け住宅 (高齢者用の設備や安否確認の体制が整えられた住宅)
7. その他 (具体的に：)

【問13で「3. 自宅や親戚などの住宅で介護サービスなどを利用しながら暮らしたい」に○をつけた方におたずねします。】
問13-2 在宅生活をする場合、必要となる介護サービスの種類に○をしてください。
(あてはまるものすべてに○)

1. 訪問介護 (ホームヘルプ)	2. 訪問入浴介護
3. 訪問看護	4. 訪問リハビリテーション
5. 通所介護 (デイサービス)	6. 通所リハビリテーション (デイケア)
7. 短期入所生活介護 (ショートステイ)	8. 短期入所療養介護 (医療型ショートステイ)
9. 福祉用具購入	10. 福祉用具貸与
11. 住宅改修	12. 居宅療養管理指導 (医師・歯科医師・薬剤師)
13. 夜間対応型訪問介護	
14. 認知症対応型通所介護 (認知症デイサービス)	
15. 小規模多機能型居宅介護 (1つの事業所で、ホームヘルプ・デイサービス・宿泊を組み合わせて利用するサービス)	
16. 看護小規模多機能型居宅介護 (訪問看護と小規模多機能型居宅介護を組み合わせて利用するサービス)	
17. 定期巡回・随時対応型訪問介護看護 (日中・夜間を通じて、ホームヘルパーによる定期巡回と随時通報により訪問介護と訪問看護が受けられるサービス)	
18. その他 (具体的に：	)

問14 最後になりますが、高齢者福祉サービスや介護保険サービスについて、市へのご要望、ご意見などがございましたら、ご記入ください。

ご協力ありがとうございます。12月9日(金)までにご返送ください。

4 介護サービス事業者調査

介護サービス事業所調査票

調査ご協力をお願い

日ごろより、本市の高齢者施策の推進にご理解とご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。

このたび、「第7期茅ヶ崎市高齢者福祉計画・介護保険事業計画」を策定するにあたり、事業者の皆様のご意見やご要望を反映させていただくための基礎資料として、「介護サービス事業所調査」を実施することになりました。

このアンケート調査は、市民に介護サービスを提供している事業所を対象に、お送りするものです。ご回答いただいたご意見は、統計的にとりまとめますので、個別のご意見等がそのまま公表されることはありません。

また、ご回答の内容について、本市の雇用労働行政の資料として活用するとともに、後日ご連絡をとらせていただくことがありますので、あらかじめご了承ください。

お手数ではありますが、調査の趣旨をご理解の上、ご協力いただきますようお願い申し上げます。

平成28年11月11日

茅ヶ崎市長 服部 信明

ご記入にあたってのお願い

◇この調査票は、サービスの管理者または、それに準じる方がご記入ください。

◇お答えは、平成28年10月1日の状況でご記入ください。

◇調査票は、市内の介護サービスを提供されている事業所に送付させていただきます。

◇同一所在地で複数の事業所登録をされている事業者様へは、複数の調査票が届きます。

大変お手数をお掛けいたしますが、指定を受けているサービス（介護予防サービス、地域密着型介護予防サービス、訪問リハビリテーション、福祉用具貸与、特定福祉用具販売、短期入所療養介護、居宅療養管理指導を除く）1つに対して、調査票を1部利用して、ご協力賜りますようお願い申し上げます。

※事業所単独では回答し難い質問に関しては、貴事業所の運営主体の法人と調整のうえ、お答えください。

◇お答えは、あてはまる項目の番号に「ひとつだけに○」を付けていただくものと、「あてはまるものすべてに○」を付けていただくものがありますのでご注意ください。

◇「その他」にあてはまる場合には（ ）内になるべく具体的に記入してください。

◇設問によって回答していただく方が限られる場合がありますので、ことわり書きや失印に従って回答してください。特にことわり書きのない場合は次の設問に進んでください。

◇ご記入いただいた調査票は平成28年12月9日（金）までにご投函ください。

（同封の封筒によりご返送ください。なお、切手を貼る必要はありません。）

このアンケート調査についてのお問い合わせは、下記までお願いいたします。

連絡先：茅ヶ崎市保健福祉部高齢福祉介護課 支援給付担当
電話 0467-82-1111（代表） ファックス 0467-82-1435

＜調査の前に＞

○貴事業所の事業所名や連絡先をご記入ください。

事業所名	記入者名
電話番号	(事業所名及び記入者名を公表することはありません)

＜貴事業所の概要についておたずねします＞

問1 貴事業所の所在地はどちらですか。(下記の町名から、ひとつだけに○)

(ア行)	1. 赤羽根	2. 赤松町	3. 旭が丘	4. 甘沼	5. 今宿
	6. 円蔵				
(カ行)	7. 香川	8. 小桜町	9. 小和田		
(サ行)	10. 幸町	11. 汐見台	12. 下寺尾	13. 下町屋	14. 松林
	15. 白浜町	16. 新栄町	17. 十間坂	18. 芹沢	
(タ行)	19. 高田	20. 代官町	21. 茅ヶ崎	22. 堤	23. 鶴が台
	24. 出口町	25. 常盤町	26. 共恵		
(ナ行)	27. 中海岸	28. 中島	29. 行谷	30. 南湖	31. 西久保
(ハ行)	32. 萩園	33. 浜須賀	34. 浜竹	35. 浜之郷	36. 浜見平
	37. 東海岸北	38. 東海岸南	39. 菱沼	40. 菱沼海岸	41. ひばりが丘
	42. 富士見町	43. 平太夫新田	44. 平和町	45. 本宿町	46. 本村
(マ行)	47. 松尾	48. 松風台	49. 松が丘	50. 松浪	51. 美住町
	52. みずき	53. 緑が浜	54. 室田	55. 元町	
(ヤ行)	56. 柳島	57. 柳島海岸	58. 矢畑		
(ワ行)	59. 若松町				

問2 貴事業所の組織(法人格)は、次のうちどれですか。(ひとつだけに○)

1. 社会福祉法人	
2. 株式会社	
3. 有限会社	
4. 財団法人・社団法人	
5. 医療法人・医療法人社団・医療法人財団	
6. 特定非営利活動法人 (NPO 法人)	
7. その他 (具体的に：)	()

問3 貴事業所で実施している介護サービスの種類(介護予防を含む)は、次のどれですか。
(あてはまるものすべてに○)

1. 居宅介護支援
2. 訪問介護
3. 訪問入浴介護
4. 訪問看護
5. 通所介護
6. 通所ハビテーション
7. 短期入所生活介護
8. 特定施設入居者生活介護
9. 認知症対応型通所介護
10. 地域密着型通所介護
11. 小規模多機能型居宅介護
12. 認知症対応型共同生活介護
13. 地域密着型特定施設入居者生活介護
14. 地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護
15. 介護老人福祉施設
16. 介護老人保健施設
17. 介護療養型医療施設

問4 問3で○をしたサービスのうち、昨年度（最新の決算）の収支が黒字であったサービス（介護予防を含む）はありましたか。（あてはまるものすべてに○）

1. 居宅介護支援
2. 訪問介護
3. 訪問入浴介護
4. 訪問看護
5. 通所介護
6. 通所ハビリテーション
7. 短期入所生活介護
8. 特定施設入居者生活介護
9. 認知症対応型通所介護
10. 地域密着型通所介護
11. 小規模多機能型居宅介護
12. 認知症対応型共同生活介護
13. 地域密着型特定施設入居者生活介護
14. 地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護
15. 介護老人福祉施設
16. 介護老人保健施設
17. 介護療養型医療施設
18. 黒字であったサービスはない

問5 問3で○をしたサービス（介護予防を含む）のうち、今後休止や撤退、大幅な縮小を検討・予定されているサービスはありますか。（あてはまるものすべてに○）

1. 居宅介護支援
2. 訪問介護
3. 訪問入浴介護
4. 訪問看護
5. 通所介護
6. 通所「ハビ」リテーション
7. 短期入所生活介護
8. 特定施設入居者生活介護
9. 認知症対応型通所介護
10. 地域密着型通所介護
11. 小規模多機能型居宅介護
12. 認知症対応型共同生活介護
13. 地域密着型特定施設入居者生活介護
14. 地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護
15. 介護老人福祉施設
16. 介護老人保健施設
17. 介護療養型医療施設
18. 休止や撤退、大幅な縮小を検討・予定しているサービスはない

→【問5で、「1」～「17」に1つでも○をつけた事業所の方におたずねします。】

問5-1 その理由をお聞かせください。(あてはまるものすべてに○)

1. 採算が合わない
2. サービス提供をする人材確保が難しい
3. 利用者の確保が難しい
4. 用地確保が難しい
5. 制度改正の流れに対応できない
6. 事業者指定を受けられない
7. 経営側の都合・方針
8. その他（具体的に：　　）

《全ての方におたずねします》

問6 貴事業所で、今後、茅ヶ崎市にて新規参入・提供量の拡大を予定しているサービスがありますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 居宅介護支援	2. 訪問介護
3. 訪問入浴介護	4. 訪問看護
5. 訪問ヘルパ/リハビリ	6. 居宅療養管理指導
7. 通所介護	8. 通所リハビリテーション
9. 短期入所生活介護	10. 短期入所療養介護(老健)
11. 短期入所療養介護(病院等)	12. 福祉用具貸与
13. 特定福祉用具販売	14. 特定施設入居者生活介護
15. 定期巡回・随時対応型訪問介護看護	16. 夜間対応型訪問介護
17. 認知症対応型通所介護	18. 地域密着型通所介護
19. 小規模多機能型居宅介護	20. 認知症対応型共同生活介護
21. 地域密着型特定施設入居者生活介護	22. 地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護
23. 複合型サービス(看護小規模多機能型居宅介護)	
24. 介護老人福祉施設	25. 介護老人保健施設
26. 介護療養型医療施設	
27. 新規参入・拡大予定のサービスはない	

問7 貴事業所が、円滑な事業運営を進めていく上で、特に経営上の問題を感じingことはありますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 職員の確保が難しい	
2. 職員への教育が難しい	
3. 利用者の確保が難しい	
4. 提供するサービスの量的拡大が難しい	
5. 提供するサービスエリアの拡大が難しい	
6. 事務作業量が多い	
7. 施設・設備の改善が難しい	
8. 必要な情報の入手に支障がある	
9. プライバシー保護・個人情報管理の徹底が難しい	
10. 苦情処理対応が難しい	
11. 虐待防止の取り組みが難しい	
12. 職員の資質向上を図ることが難しい	
13. 利用者や家族の制度に対する理解が進んでいない	
14. 市役所や保健所などの行政と連携を図ることが難しい	
15. 医療機関と連携を図ることが難しい	
16. その他(具体的に：	)
17. 特になし	

＜職員体制についておたずねします＞

問8 貴事業所の管理者及び介護職員等の職員数をご記入ください(ご回答の方を含む)。

※いない場合は「0」をご記入ください。

※常勤換算とは、当該業務に従事した1週間の勤務時間を通常の1週間の規定勤務時間で除し算出します。数値は小数第2位で四捨五入してください。

例) [常勤職員A業務の場合] 規定勤務時間が週40時間で、Aさんが訪問介護に20時間、通所介護に20時間従事した場合、訪問介護0.5、通所介護0.5となります。

例) [非常勤職員Bの場合] 規定勤務時間が週40時間で、Bさんが訪問介護に週に15時間従事した場合、訪問介護0.4(0.375を四捨五入)となります。

	常勤専従	常勤兼務		非常勤	
		専従	換算数	専従	換算数
管理者(施設長)	人	人	人	人	人
サービス提供責任者	人	人	人	人	人
医師	人	人	人	人	人
看護職員	人	人	人	人	人
訪問介護員(ホームヘルパー)	人	人	人	人	人
介護職員(ヘルパー以外)	人	人	人	人	人
生活相談員・支援相談員	人	人	人	人	人
管理栄養士・栄養士	人	人	人	人	人
介護支援専門員	人	人	人	人	人
機能訓練指導員(PT・OT・ST等)	人	人	人	人	人

問9 貴事業所における職員の平均勤続年数をご記入ください。(小数第2位で四捨五入)

	常勤		非常勤	
	専従	兼務	専従	兼務
看護職員	平均 . 年	平均 . 年	平均 . 年	平均 . 年
介護職員(ヘルパー以外)	平均 . 年	平均 . 年	平均 . 年	平均 . 年
生活相談員・支援相談員	平均 . 年	平均 . 年	平均 . 年	平均 . 年
管理栄養士・栄養士	平均 . 年	平均 . 年	平均 . 年	平均 . 年
介護支援専門員	平均 . 年	平均 . 年	平均 . 年	平均 . 年
機能訓練指導員(PT・OT・ST等)	平均 . 年	平均 . 年	平均 . 年	平均 . 年

＜人材確保や育成・定着についておたずねします＞

問10 この1年間（平成27年10月1日～平成28年9月30日まで）の、貴事業所の人材の確保の状況はいかがですか。（ひとつだけに○）

1. 確保できている
2. おおむね確保できている
3. あまり確保できていない
4. 確保できていない

問11 この1年間で貴事業所の人材確保の方針は次のうちどちらがあたりはまりますか。

1. 資格取得者や経験者に限り雇用する
2. 資格を持っていない未経験者の方でも雇用する

問12 貴事業所では、人材の確保について、どのような取り組みを行っていますか。

（あてはまるものすべてに○）

1. 定期的に求人誌への掲載などを行っている
2. 就職説明会への参加を行っている
3. 福祉専門学校等教育機関との連携を図っている
4. ハローワークとの連携を図っている
5. 人材派遣会社との連携を図っている
6. 無資格者でも採用を行い、採用後に資格取得講座を受講させている
7. 採用時に給与（賞与・手当含む）を他社より好条件に設定している
8. 採用時に労働日数・時間の希望をできるだけ聞き入れている
9. 育児中の職員への配慮など、働きやすい環境をつくっている
10. 採用時に仕事のやりがいや、社会的意義を伝えている
11. インターネット制度を導入している
12. 将来の介護の仕事や重要性を知ってもらうための生徒向けの介護体験会を開催している
13. 外国人の介護人材を受入れている
14. その他（具体的に：_____）
15. 特に何も行っていない

→【問12で、「1」～「14」に1つでも○をつけた事業所の方におたずねします。】

問12－1 問12の取り組みで効果があったと思う取り組みについてその番号を記載してください。（複数回答可）

回答：_____

《全ての方におたずねします》

問13 貴事業所のこの1年間（平成27年10月1日～平成28年9月30日まで）の離職率はどのくらいですか。（ひとつだけに○）

1. 最近1年間に離職者がいない
2. 10%未満
3. 10%以上20%未満
4. 20%以上30%未満
5. 30%以上
6. わからない

※離職率＝この1年間の退職者数÷1年前の在職者数×100 とします

→【問13で「2. 10%未満」～「5. 30%以上」に○をつけた事業所の方におたずねします。】

問13－1 この1年間の離職者数をご記入ください。

	正規職員	非正規職員	
		常勤労働者	短時間労働者
看護職員	人	人	人
介護職員（ α ～ ϵ 以外）	人	人	人
生活相談員・支援相談員	人	人	人
管理栄養士・栄養士	人	人	人
介護支援専門員	人	人	人
機能訓練指導員（PT・OT・ST）	人	人	人

問13－2 また、貴事業所での離職者の離職理由どのようなものですか。

（あてはまるものすべてに○）

1. 結婚のため
2. 出産のため
3. 両親の介護のため
4. 労働時間が長い
5. 夜勤が多い
6. 休みが取りにくい
7. キャリアアップの機会が十分でない
8. 賃金が安い
9. 仕事がきついため（身体的・精神的）
10. 人間関係が悪くなった
11. その他（具体的に：_____）

《全ての方におたずねします》

問14 貴事業所では、人材の定着・育成（離職の防止）について、どのような取り組みを行っていますか。（あてはまるものすべてに○）

- | |
|--|
| 1. 近隣の企業や同業他社の給与水準を踏まえ、給与額を設定している |
| 2. 永年勤続など一定期間勤めた際の報奨制度を設けている |
| 3. 能力や仕事ぶりによって、管理職への登用機会を設けている |
| 4. 非正規職員から正規職員への登用機会を設けている |
| 5. 外部研修に参加できない職員のために、内部研修を充実させている |
| 6. 職員のスキルアップのため、資格取得の支援をしている |
| 7. 新人職員に対し、一定期間、マンツーマンで知識や技能を指導するなどの支援体制を設けている |
| 8. 育児中の職員への配慮など、働きやすい環境をつくっている |
| 9. 介護中の職員への配慮など、働きやすい環境をつくっている |
| 10. 働く時間に柔軟性をもたせたり、休暇を取りやすくなるなど職場環境を整えている（ワークライフバランスの推進） |
| 11. 休憩室や談話室の設置など、職員がリラクゼーションできる環境を整えている |
| 12. 上司や管理職が頻繁に面談を行い、職員の要望や不満を汲み取っている |
| 13. 仕事のやりがいや、社会的意義を伝えている |
| 14. 職員への満足度（不満）調査を行い、事業所における課題の把握を行っている |
| 15. その他（具体的に： ） |
| 16. 特に何も行っていない |

【問14で「1」～「15」に○をつけた貴事業所の方におたずねします。】

問14-1 問14の取り組みで効果があったと思う取り組みについてその番号を記載してください。（複数回答可）

回答：

《全ての方におたずねします》

問15 人材の確保・定着・育成に関して行政に求める支援はありますか。（自由記入）

回答：

問16 高齢者福祉サービスや介護保険サービスについて、市へのご要望、ご意見などがございましたら、お聞かせください。

こちらで終了です。

ご協力ありがとうございました。12月9日（金）までにご返送ください。

茅ヶ崎市
第 7 期茅ヶ崎市高齢者福祉計画・介護保険事業計画に関する調査
報告書

平成 2 9 年 3 月

編集・発行 茅ヶ崎市保健福祉部高齢福祉介護課
〒253-8686 神奈川県茅ヶ崎市茅ヶ崎一丁目 1 番 1 号
電話 0467-82-1111（代表）
